

# 沖繩県主要水系調査書

(沖繩本島中北部地域)

昭和 63 年 3 月

沖繩県企画開発部  
土地利用対策課

# 調査書の概要

## 1. 趣 旨

本県では水資源開発計画、水利用計画、治水計画等の適正且つ合理的な策定にとって不可欠な水に関する基礎資料を整備するため、二級河川水系の流域及びその周辺地域を対象として、水調査を実施している。

この調査は、治水、利水、水文関係の既存の資料を収集し、地図と簿冊にまとめるものであるが、本調査書は、その成果物であり、水利現況図と対をなすものである。

## 2. 記 載 区 域

満名川、大井川、羽地大川、源河川、真謝川、轟川、幸地川、汀間川、屋部川、我部祖河川、漢那福地川、新川、名嘉真川の各流域及びその周辺地域。

## 3. 記 載 内 容

- (1) 水文観測所の諸元及び観測記録、水利施設の諸元及び水利記録、流域の概要等である。
- (2) 水文観測所、水利施設等には、本調査と対をなす利水現況図との関連づけのため、番号を付ししてある。

## 4. 作 業 分 担

- (1) 次のとおりである。

沖縄県企画開発部土地利用対策一調査全般、編集、印刷

沖縄県土木建築部河川課一資料収集、利水現況の原稿図の作成

- (2) 資料の収集にあたっては次の機関の協力を頂いた。

沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部河川課

“ 北部ダム事務所

“ 北部ダム統合管理事務所

“ 農業水産部土地改良課

気象庁沖縄气象台

沖縄県環境保健部環境衛生課

“ 公害対策課

沖縄県農林水産部農林建設課

“ 耕地課

“ 林務課

沖縄県企業局

今帰仁村

本部町

名護市  
恩納村  
宜野座村  
金武町

(財)日本気象協会沖縄支部

## 5. 記 載 時 点

記載した資料は、昭和61年度に収集し、昭和62年度に編集、印刷したものであり、記載時点は、昭和61年12月であるが昭和62年10月までの変化は努めてフォローした。

# (1) 収 録 資 料

本調査に収集した諸資料は主として次の諸調査項目について、収集、編集したものである。

## I) 降 水 量 資 料

降水量観測所は、下記の資料に基づき降水量観測所総括表、一覧表に整理し取りまとめた。

沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部河川課

“ 北部ダム事務所  
“ 北部ダム統合管理事務所  
“ 農林水産部土地改良課

気象庁沖縄气象台

沖縄県土木建築部河川課

沖縄県企業局

(財)日本気象協会沖縄支部

## II) 水 位、流 量 資 料

水位、流量観測所は、下記の資料に基づき、水位、流量総括表及び諸元一覧表に取りまとめた。

沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部河川課

“ 北部ダム事務所  
“ 北部ダム統合管理事務所  
“ 農林水産部土地改良課

## III) 地 下 水 位 資 料

地下水位観測井戸は、下記の地下水調査業務報告書に基づき地下水位観測井戸総括表、一覧表に整理しとりまとめた。

沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部河川課

#### IV) 水 質 資 料

水質調査地点は、下記の資料に基づき、水質調査地点総括表一覧表に取りまとめた。

沖繩開発庁沖繩総合事務局開発建設部北部ダム事務所

”

北部ダム統合管理事務所

沖繩県環境保健部公害対策課

#### V) 取水口、排水口資料

農業用水口及び排水口は、下記の資料等に基づき、取水方法別、排水方法別などの総括表、農業用取水口一覧表、農業用排水一覧表に整理し取りまとめた。工業用取水口及び排水口は、下記の資料等に基づき取水方法及び排水方法別総括表、工業用取水口一覧表、工業用排水口一覧表に整理し取りまとめた。

沖繩県土木建築部河川課

沖繩県企業局

今帰仁村

本部町

名護市

恩納村

宜野座村

金武町

#### VI) 主要井戸資料

主要井戸は、「沖繩水資源開発調査報告書（地質調査所1972）」、「農業用地下水実態調査報告書（沖繩県農林水産部耕地課）」の他に現地調査をし、農業用井戸、工業用井戸、上水道井戸、その他の用途別に分類整理し、主要井戸（用途別）一覧表に整理し取りまとめた。

#### VII) 上水道及び簡易水道資料

簡易水道等資料は、下記の資料を基にし、水道用水（簡易水道）総括表、地区一覧表に整理し取りまとめた。

沖繩県環境保健部環境衛生課

沖繩県企業局

今帰仁村

本部町

名護市

恩納村

宜野座村

金武町

#### Ⅷ) 工業用水使用状況資料

工業用水の使用状況は、「沖縄県の工業(工業統計調査)」とヒヤリング調査を基に工業用水使用状況調査一覧表に整理し、取りまとめた。

#### Ⅸ) ダム資料

ダムは堰培部の高さ15m以上のものについて下記の資料を基に、ダム総括表、ダム一覧表に整理し取りまとめた。

沖縄総合事務局開発建設部河川課

” 北部ダム統合管理事務所

沖縄県土木建築部河川課

宜野座村

恩納村

#### X) 溜池資料

溜池は、沖縄県農林水産部耕地課、農林建設課等の資料を基に溜池総括表、溜池一覧表に整理し取りまとめた。

#### XI) 下水道資料

下水道は、本部町、名護市の公共下水道について、本部町、名護市の資料を基に下水道一覧表に整理し取りまとめた。

#### XII) 土地改良区資料

土地改良区は沖縄県等の資料を基に、土地改良区一覧表に整理し取りまとめた。

## (2) 利水現況図の概要

### 1. 利水現況図

この地図は、沖縄県が作成した資料図(収集資料を整理し図示した図面)をもとに、編集図化したものである。この地図には水利用と関係の深い各種観測施設および保安林の区域を図示している。

本地域の利水現況図は、2万5千分の1四六版2面からなっている。

### 2. 利水現況図の表示事項

この地図は9色刷りで、次の事項を表示した。

- (1) 河川、湖沼
- (2) 用排水路等
- (3) 取水、排水施設

ダム，取水口，樋門，樋管，ポンプ場，排水口

- (4) 井 戸  
深井戸，浅井戸
- (5) 利水関連施設  
浄水場，配水池，水力発電所
- (6) 受益地区等  
用水路，用水，水道等受益地区
- (7) 治山治水関連施設および区域等  
保安林，保安林指定予定地
- (8) 土地利用  
水田，畑地（かんがい施設を有するもののみ）
- (9) 観測施設および観測地点
- (10) 水系流域界
- (11) 行政界  
市町村界

### 3. 各事項別の表示の基準

次の基準に従って表示した。

- (1) 河川，湖沼  
河川法の適用される二級河川を河川の幅が0.6 m以上の場合は2条線，0.6 m未満の場合は1条線で表示した。
- (2) 用水路及び水管  
目的別に色分けで表示した。
- (3) 取水，排水施設  
各施設とも目的別に色分けし，該当河川の略記号および対照番号を付記した。ダムは堤高15 m以上のものを表示した。また，有効貯水量が50,000 m<sup>3</sup>以上のダムについては，名称および貯水量を付記した。  
なお，調査書に水位調節ダムとして分類されているものは，多目的ダムとして表示した。
- (4) 井戸・湧水  
目的別に色分けし，深井戸と浅井戸を区別（その基準は深度30 m）し，地区ごとに海の部分に抜き出して表示した。
- (5) 利水関連施設  
浄水場，配水池は目的別に色分けされた用水路の色と同じとし，用水路とつなぐようにした。
- (6) 受益地区等  
地図には工業用水，上水道，簡易水道の受益地区を目的別に色分けで表示した。受益地区は対

照番号を付した。

(7) 保安林

保安林は、国有林と民有林とに分けて機能を水源・涵養、土砂流水及びその他の3機能に細分し表示した。

(8) 土地利用

水田およびかんがい施設を有する畑地について表示した。

(9) 観測施設及び観測地点

各種観測施設を自記と普通に分けて表示し、対照番号、名称、所属を付記した。又、降水量観測については、年平均降雨量もあわせて表示した。

(10) 水系流域界

水系毎に流域界を表示した。流域界で囲まれた内部に河川名と流域面積を表示した。

(11) 行政界

行政界と水系流域界、その他の界線が一致する場合は行政界を基図に合わせ、水系流域界及びその他の界線は若干ずらして表示した。

#### 4. その他

(1) 目的別色分け

図の理解を容易にするため、水の利用目的や関係別に記号類を次のような色に統一した。

農業用水関係	緑
農業排水関係	青
工業用水関係	赤
水道用水関係	橙
多目的用水関係	紫
治山・治水関係	茶
観測施設、行政界	黒
河川・湖沼	青

農業排水路とその他の河川の図上の表現は同じである。

(2) 調査書対照番号

次のものには調査書と対照できる対照番号を付した。

I) 取水、排水施設

対照番号は記号と同じ色で付した。番号の順は目的別に一連とし、水系順、本川より支川へ、下流より上流へ付すことを原則とした。

(イ) ダム

ダムの名称と所属の略号を( )内に書き入れた。

(ロ) 自然取水・排水、樋門、樋管、ポンプ場

水系の頭文字をつけ、水系別に対照番号を付した。頭文字は、2級水系の場合は、大文字と小文字、その他の水系は小文字であらわした。

(例) 2級水系…福地川 Fku      その他河川…佐手川 sat

## II) 井戸・湧水

対照番号を記号と同じ色で付した。番号の順は深井戸、浅井戸の区別なく、市町村の頭文字をつけ、目的別、市町村別に一連とした。

## III) 上水道、簡易水道受益地区

地区番号を受益地区の中央に、目的別の色で書いた。

## IV) 観測施設

種類別に一連の対照番号とし、所属を示す頭文字を( )内に書いた。所属を示す記号は、次のとおりである。

沖繩総合事務局開発建設部河川課(河)

”                      北部ダム事務所(北ダム)

”                      農林水産部土地改良課(土改)

気象台(気)

沖繩県土木建築部河川課(県)

沖繩県企業局(企)

沖繩県環境保健部公害対策課(環)

## (3) その他の注記

(2)のほか、次のものを注記した。

(I) 市町村名

(II) 2級河川名

(III) 主な用排水路名

(IV) 発電所名

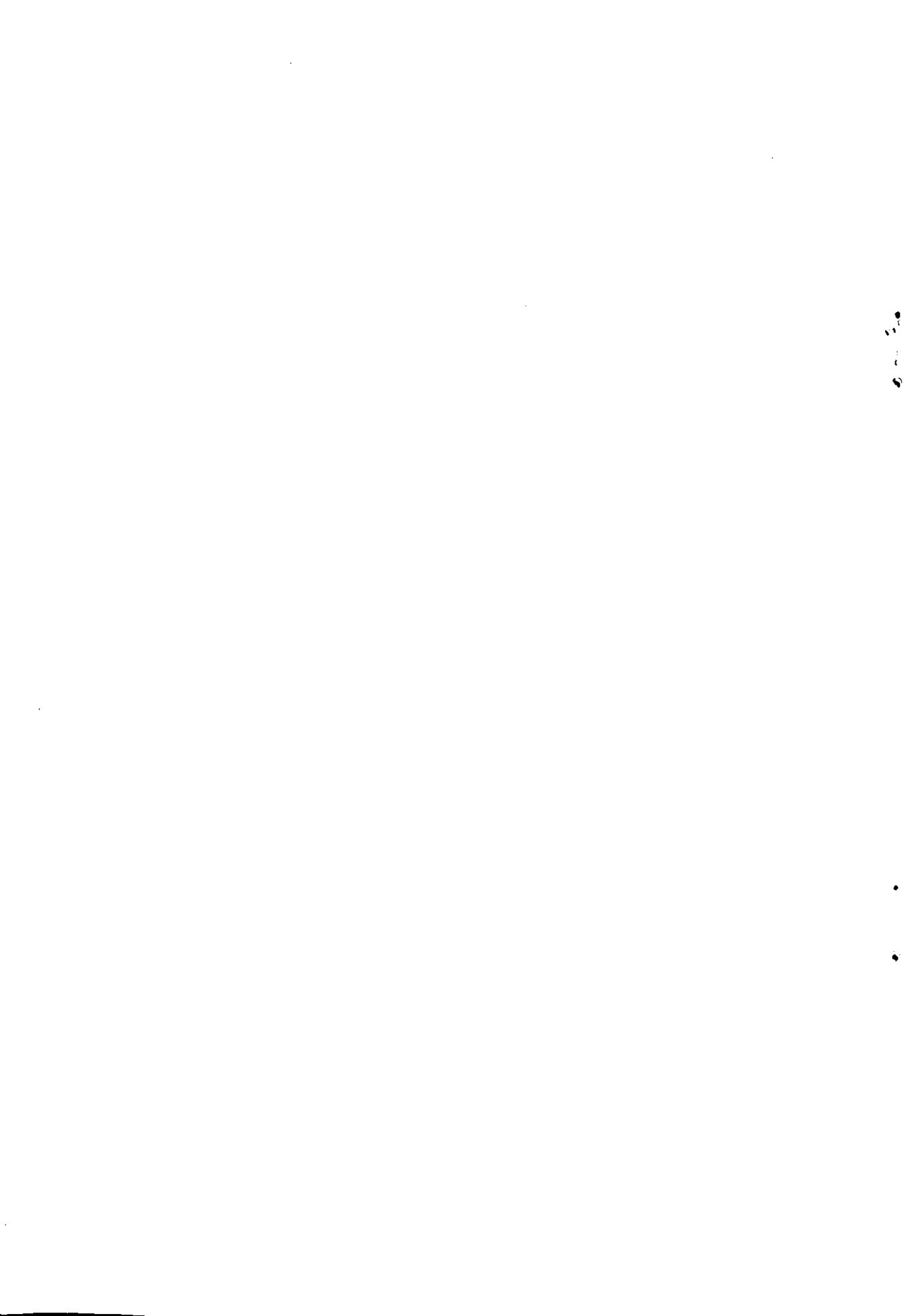
(V) 流域面積

## (4) 編集に使用した資料

編集は主として1/2万5千の地形図上に所要事項を記入した資料図及び所定の様式に基づき、調査し収集した資料によって行った。

図は、概ね61年12月の状態を表わした。





調 書 編

調 査 流 域 の 概 要

## 調査流域概要目次

第1章 流域の概要（市町村別）	9
第2章 各河川の概要（主要二級河川水系）	13
2-1 主要二級河川の概要	16
第3章 自然状況の概要	30
3-1 地 形	30
3-2 地 質	32
3-3 地下水の分布	34
3-4 植 物 相	35
3-5 動 物 相	37
第4章 社会・経済的状況の概要	39
4-1 人 口	39
4-2 産 業	41
4-3 土 地 利 用	47
第5章 気象及び水質の概要	51
5-1 気 象	51
5-2 水 質	53
第6章 主要河川の利用状況	61
第7章 中北部地域における河川開発計画	63
7-1 長期水需計画	63
7-2 沖縄北部河川総合開発計画	64
7-3 西系列水源開発事業計画	67
第8章 水害危険カ所と洪水概要	73
8-1 水害危険カ所	73
8-2 水 害	79
第9章 治水事業の概要	84
9-1 河川改修事業	84
9-2 砂 防 事 業	85

## 第1章 流域の概要（市町村）

今調査地域は1市、2町、3村から構成される中北部地域で、地形的に分類すると、一ツ岳、多野岳、久志岳を分水嶺として東支那海側に源河川流域、羽地大川流域、我部祖河川流域など、太平洋には汀間川流域、大浦川流域などが分布し国頭脊梁山地を中心とする地域とカルスト地形を中心に丘陵地が広がる本部半島地域とに区分される。

本部半島地域には大井川流域、満名川流域、西屋部川流域などが分布するがカルスト地形の発達がよく、古期石灰岩が分布するために地下水貯水能力及び地下水の透水性が大きく、比湧出力が他地域に比べて大きい。

名護市以南の地域はブート岳、ジャフン岳、恩納岳、屋嘉岳、石川岳の山々が東西に連なり、それぞれの山々から太平洋側（宜野座、金武）と東支那海側（恩納村）にそれぞれ注ぐ地域からなっている。太平洋側に注ぐ河川は南東（海）に向かって小起伏やゆるやかな台地が広がり海岸低地に続いている。東支那海に注ぐ河川流域の規模が小さく河川勾配が急でかつ流路が短い河川が多い。

沖縄本島中北部地域は94水系160の大小の中小河川で構成され、県内の二級河川指定61河川のうち本地域には、14河川があり県河川の22.9%が存在している。

又、本地域において、羽地大川、漢那ダムなど国の多目的ダムが現在建設中であり、名護以北の国頭地域同様に県内水源の重要な水源地帯となっている。

次に市町村別の水系の特徴は下記の通りである。

### 1. 今 婦 仁 村

今婦仁村は沖縄本島の北部、本部半島の北東部にあって東から南東部は名護市、西部は本部町に接し北は東支那海に面している。村の北東1.5kmの海上に古宇利島があり、総面積は39.7km<sup>2</sup>である。

村の南側には、東部半島中央部の連山の一画を形成している乙羽岳があり、北の東支那海に向かってゆるやかな傾斜地平坦地が広がり、農業地帯となっている。村を東西に二分する形で、南の山岳地から北の東支那海へ流れている二級河川の大井川がある。

今婦仁村の流域は大小8水系13河川で構成されている。

### 2. 本 部 町

本部町は、本部半島の西側に位置し、西側は東支那海に面し、北側は今婦仁村と接し、東側は八重岳、嘉津字岳をはさんで名護市と接し、町の西側には3.46km<sup>2</sup>の瀬底島がある。

そして本部町を二分する形で乙羽岳と八重岳、嘉津字岳にはさまれた低地を二級河川の満名川が流れ、町の中心である渡久地港に注いでいる。本部町の流域は中小5水系8河川で構成されて

いる。

本部半島地域は前述したように古期石灰岩を狭在する古期岩層からなっており、降水を浸透しやすい性質を持っているので河川の流域はカルスト地形が発達し、普通の河川の流域と違う様相を示しており、地形的には河川らしい形態をとらず、石灰岩の中に浸透した降水が低地あるいは海中から湧水として流出するケースが多いため、満名川以外は流域が短い河川となっている。

このような地域においては河川流域の他に地質構造からの地下水流域が発達している。

### 3. 名 護 市

本市の地形は、本島部を多野岳、一ツ岳、久志岳と国頭脊梁山地が北東から南西に走り、それらの山々を源とする大小43の水系と87の小中河川が太平洋と東支那海に注いでいる。本島から西側へ突き出した本部半島部に嘉津宇岳、八重岳などの山地があり、その両者にはさまれて台地や低地が広がり、特に昭和30年代までは羽地大川、我部祖河川、屋部川流域の河口付近の低地は沖縄本島の米どころとして知られていたところである。

北は屋我地島にはさまれて羽地内海をつくり、そこに源河川、羽地大川、我部祖河川などの二級河川が注いでいる。

南は名護湾が入り込み波静かな名護浦となって、屋部川、西屋部川、幸地川、轟川等の二級河川が注いでいる。

又、太平洋側の大浦湾には大浦川、汀間川などの河川が注いでいる。

### 4. 宜 野 座 村

宜野座村は、村の北西部に古知屋岳（264.2 m）、ガラマン岳（253.8 m）、漢那岳（233.3 m）等の標高200 mの山々が連なり、本村のシンボルであると同時に豊富な水資源の「源」となっている。

本村の水系には慶武原水系（普通河川）、宜野座福地川水系（普通河川）、漢那福池川水系（二級河川）があり村土を縦方向に区分している。それぞれの流域面積は慶武原川（413 ha）、宜野座川（93 ha）、漢那福池川（945 ha）で、ダム建設がなされ（計画中も含む）飲料水、農業用水に利用されている。しかし流域の広い範囲がキャンプハンセン区域であるため、演習や戦車道等により赤土流出が生じており、その対策が課題である。又、海岸線はこれらの河川によって入江が形成され、マングローブ林も見られる。漢那や惣慶にはリーフや砂浜が発達している。

本村の流域は小中8水系9河川から構成され、標高の低い地域であり、それぞれの河川は複雑な谷筋を形成している。そのため標高の低い割には地形的に変化に富んでいる。山地や丘陵地が村土の57%を占めている。台地上には水系に沿って谷が発達し、厳しい急斜面により地形に変化を与えている。この台地上から海岸沿にかけては集落や農用地が分布している。

## 5. 金 武 町

本町は、町の北側を恩納村と背接し、その接点には一ツ岳（121 m）、ブート岳（214 m）、ジャフン岳（250 m）、恩納岳（363 m）、屋嘉岳（250 m）、石川岳（214 m）の山々が東西に連なり、それぞれの山々から南東（太平洋側）向って小起伏やゆるやかな台地が広がり海岸低地に続いている。

本町は9水系15河川の中小河川からなり、主な水系としては県の金武ダムがある億首川水系、石川川水系、加茂川水系、美徳川水系、渡久比那川水系、前田川水系などがある。本町には二級河川はなく全て普通河川であり、北側の山々を源とするこれらの小河川は海岸に向かって南北方向に流れ、谷を形成し、地形に変化を与えている。

町の中心である字金武、字並里の台地は琉球灰岩が覆い、雨水は地下へ浸透するために表流水はなく、石灰岩と基盤岩（千枚岩）との境界から湧水が流出している。又、億首川流域や美徳川流域、渡久比那川流域の河口付近は、沖積土壌が分布しており水田に利用されている。

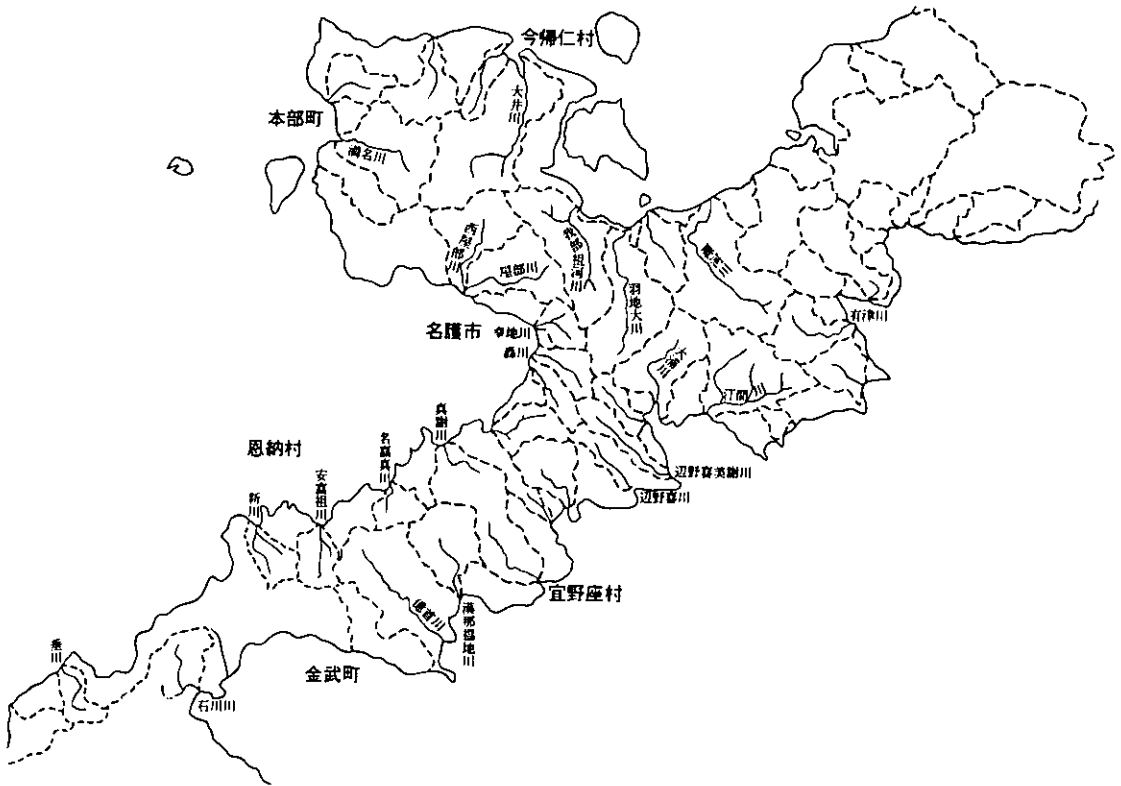
## 6. 恩 納 村

恩納村は沖縄本島のほぼ中央部の西海岸側に位置し、西北27.4 km、東西4.2 kmと極端に南北に細長い形をなしている。西側は東支那海に面し、東側は恩納岳、石川岳の山々が重なり、北はヤーン川、南は長浜川で区切られている。村土の面積は50.9 km<sup>2</sup>を有し本村は、北に名護市、東に宜野座村、金武町、石川市、南に沖縄市、読谷村の三市一町二村に持する。

恩納村の水系の特徴は村土が南北27.4 km、東西4.2 kmと極端に南北に細長い形をなし、背後の東側には200～250 mの山々が重なっているために、それらの山々を源として流程の短い小河川が東支那海に注いでいる。

村内には、二級河川が名嘉真川、新川の2河川、普通河川が43河川あり、21水系、45の中小河川で構成されている。

图1-1 流域图



## 第2章 各河川の概要（主要二級河川水系）

沖縄県には二級河川及び普通河川を併せて300余りの中小河川があり、このうち特に県民生活に重要な関わりのある44水系61河川を県知事が二級河川に指定し管理を行っている。(表2-1)

中北部地域の二級河川は表2-3に示すように13水系、14河川である。本調査地域の二級河川の平均流域(km<sup>2</sup>)は11.01と沖縄の二級河川に比べて小さく、また、平均河川延長も3.6kmで沖縄県の4.9kmに比べて、1.3kmも短いことになる。また、本土の二級河川に比べてみても平均流域が小さく、平均河川延長(km)においても沖縄県の二級河川は短い。(表2-2)また、河川勾配も図2-1に示すように本土の河川に比べて勾配であり、流域面積、流路延長も短い。

このように、沖縄の河川は地形的条件から流域面積が小さく流路延長が短く、かつ急勾配の河川である。そのため降水時には急激に増水し川沿いに洪水被害をもたらす、降雨がない場合には渇水になってしまう特徴を持っている。

このように河川の流量が激しく変化し、年間を通して安定した流量となっていないために本土の河川に比べて治水上、利水問題の多い河川である。

表2-1 指定河川表

昭和62年3月末日現在

地区別内訳		水系数	河川数	延長
北 部	二級河川	23	32 (10)	141.85
	準用河川	3	6	9.6
中 部	二級河川	8	10	58.40
	準用河川	3	5	18.0
南 部	二級河川	6	11	43.11
	準用河川	1	3	3.6
八 重 山	二級河川	7	8 (1)	54.4
	準用河川	6	6	8.75
合 計	二級河川	44	61 (11)	298.35
	準用河川	13	30	39.95

注 ( )内は、沖縄振興開発特別措置法第7条の規定に基づき、国の直轄工事を行うことのできる区間を指定した河川数



表 2-2 本土の二級河川との比較

		河川数	平均流域(km <sup>2</sup> )	平均河川延長(km)
中北部地域の二級河川(A)		14	11.0	3.6
沖縄の二級河川(B)		61	12.1	4.9
全 国	一級河川(C)	13,439	17.9	6.4
	二級河川(D)	6,724	15.8	5.2
(A) / (D) %			69.6	69.2
(B) / (D) %			76.5	94.2

図 2-1 河川勾配

河川勾配

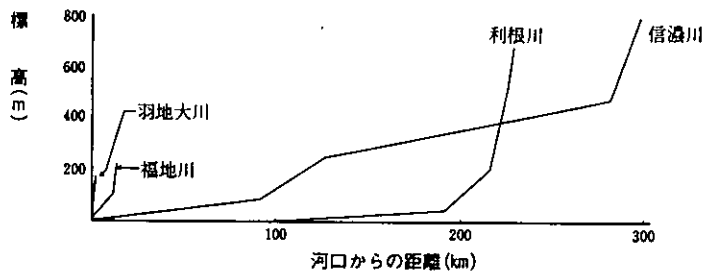


表 2-3 中北部地域二級河川指定一覧表

番号	河川名	指定区間	指定延長	流域面積	指定年月日
19	満名川	左岸 本部町字並里以下海に至る	4,000	12.37	S 15. 12. 10
		右岸 "			
20	大井川	左岸 本部町字伊豆味以下海に至る	8,000	22.90	S 15. 12. 10
		右岸 "			
21	真謝川	左岸 名護市字喜瀬真謝原 1135 番地々先から海に至る	1,800	5.34	S 47. 5. 6
		右岸 名護市字喜瀬喜瀬原 1089 番地々先から海に至る			
22	轟川	左岸 名護市字数久田轟木 597 番地の1地先から海に至る	1,000	3.63	S 47. 5. 6
		右岸 名護市字数久田轟木 598 番地の1地先から海に至る			
23	幸地川	左岸 名護市字名護幸地原 5629 番地々先から海に至る	1,900	4.2	S 47. 5. 6
		右岸 名護市字名護幸地原 5670 番地々先から海に至る			
24	西屋部川	左岸 名護市字旭川福地原 211 番地から屋部川合流点に至る	1,900	8.51	S 47. 5. 6
		右岸 名護市字旭川福地原 40 番地先から屋部川流点に至る			
25	屋部川	左岸 名護市字宮里座喜原 1018 番地の1地先から海に至る	3,400	20.09	S 47. 5. 6
		右岸 名護市字宮里名座喜原 1030 番地の1地先から海に至る			
26	我部祖河川	左岸 名護市字伊差川大袋 1064 番地々先から海に至る	3,700	13.66	S 47. 5. 6
		右岸 名護市字伊差川仲嵩 1137 番地々先から海に至る			
27	羽地大川	左岸 名護市字田井等大川 1027 番地々先から海に至る	5,000	14.79	S 47. 5. 6
		右岸 名護市字親川カジラヌ原 863 番地々先から海に至る			
28	源河川	左岸 名護市字源河以下海に至る	10,300	19.96	S 15. 12. 10
		右岸 "			
29	汀間川	左岸 名護市字三原福地原 389 番地々先から海に至る	4,000	12.65	S 47. 5. 6
		右岸 "			
30	漢那福地川	左岸 宜野座村字漢那福地原 2478 - 1 地々先から漢那橋に至る	3,700	9.0	S 53. 9. 16
		右岸 "			
31	新川	左岸 恩納村字恩納目座 1693 番地々先から海に至る	800	3.9	S 47. 5. 6
		右岸 恩納村字恩納目座 1738 番地々先から海に至る			
32	名嘉間川	左岸 恩納村字名嘉間金武上原 915 番地々先から海に至る	1,000	4.27	S 47. 5. 6
		右岸 恩納村字名嘉間村内原 330 番地々先から海に至る			
計	13 水系 14 河川		50,500	154.27	

屋部川水系

## 2-1 主要二級河川の概要

### 1. 源 河 川

源河川は名護市街から国道58号線を北へ10kmいった源河集落の中心を南北に流れる全長10.30kmの二級河川で流域面積19.96km<sup>2</sup>と県内でも比較的大きい河川の一つである。

この河川の源は東側を宇橋山(299m)、西側を多野岳(395m)、南側を一ッ岳(295.2m)に持ち、桃原川、福地川(普通河川)と合流して東支那海へ注ぎ、古くから豊かな水量を誇っており、その水は下流の水田地帯を潤おしていた。又、河口はギンカンナト呼ばれ、山原船が出入りし那覇、泊へ山原の産物を運送する港でもあった。しかし、戦後、時代と共に山原船が消え、水田が消え、源河川のシンボルであったリュウキュウアユも姿を消している。源河川の流域は上流、各支流の殆どが森林地帯で田畑は少なく山林が多く、人家、畜舎も無いが、河川沿に近年源集落と東村有銘集落を結ぶ林道が建設されている。

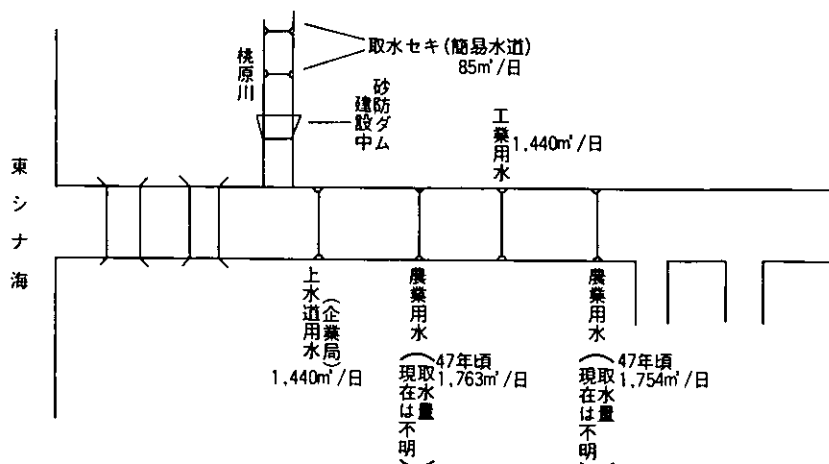
水質は良好で下流にはボラ、フナ等の川魚が見られるが有名なアユについては、戦後の混乱時による乱獲と山地開発の赤土の流出によって姿を消した。

現在アユを再び呼び戻す住民運動が真剣に取り組まれている。

昭和47年頃の水利利用状況は、河川の取水堰から農業用水として11.7haの水田に引水が行われ、3.517m<sup>3</sup>/日が取水されている。又、上水道用水21.280m<sup>3</sup>/日、工業用水1,400m<sup>3</sup>/日、支流からは生活用水(簡易水道)130m<sup>3</sup>/日が取水され、合計20,140m<sup>3</sup>/日程度が常時取水されていた。

現在は図2-2に示すように畑11.7haにかんがい用水を行っているが取水が不定期であるので、農業用水の取水量は不明である。簡易水道の水源として、桃原川の簡易取水堰から85m<sup>3</sup>/日、工業用水は北部製糖羽地工場が1,440m<sup>3</sup>/日の取水を行っている。

図2-2 源河川水利モデル図



## 2. 羽地大川

羽地大川は沖縄随一の水田地帯を潤していたところであり、昔から水利組合があり組織的な農業用水事業が実施されていたところである。

この河川は多野岳、名護岳等の山々を源にした流域面積 14.79 km<sup>2</sup>、流路指定延長50kmの二級河川で南北に流れ、田井等、振慶名、親川、仲尾次の4集落の密集地を流れ羽地内海に注いでいる。

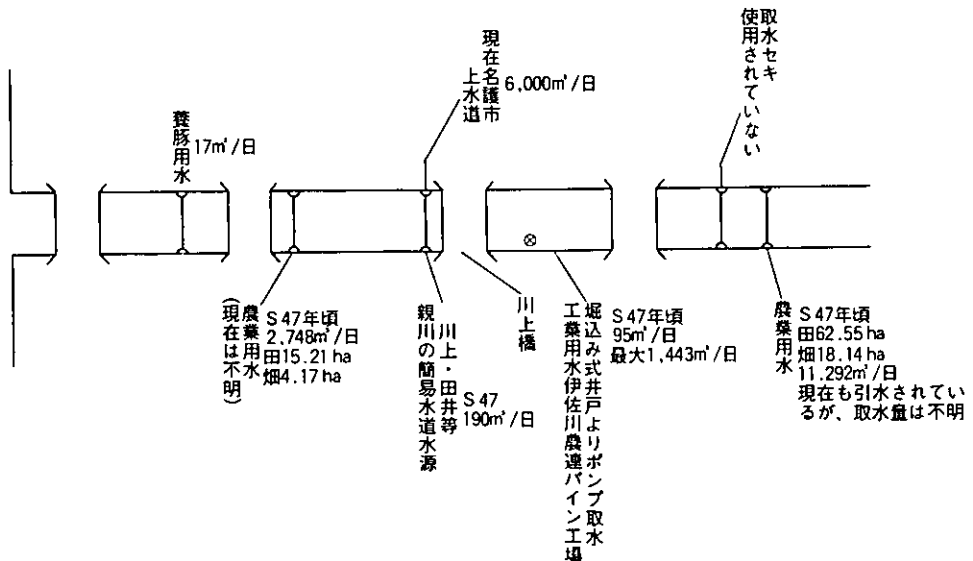
羽地大川は、西暦1735年の豪雨のため山崩れがあり末會有の大洪水で堤防が総決壊となり、その流域の水田の殆どが流失したため琉球王朝はその報に接し、この修復と国営事業を行った。その計画改修は治山、治水に造指の深い祭温によって実施された。改善前の河川は現在の名護市上水道の取水堰より上流約200 m付近のところから大きく蛇行して、田井等、振ケ名、呉我集落を通過して呉我港に河口を持っていた。祭温の河川の設計工夫は、小流を緩かにして取水の便利上、各所に曲折をつけて蛇行線造ったのである。

同河川の改修は、大正5～10年頃、羽地平野に流下する数本の小河川と切り離され、現在の仲尾次へ流路を変更する工事が行われた。その後、洪水による災害が少なくなった。

戦後は、山地開発（主にパイン畑）がかなり大規模に進められたため砂、礫の流出が多く、少々の降雨でも濁流になりやすい河川となっている。

羽地大川にかかる取水施設は昭和47年頃では取水堰が6ヶ所あり、農業用水としては3ヶ所から14,057 m<sup>3</sup>/日が取水され、水田77.76ha、畑22.31haにかんがいされていた。又、工業用水としては伊差川農連パイン工場が95 m<sup>3</sup>/日の取水を行い、宇川上、田井等、親川の集落が簡易水道として190 m<sup>3</sup>/日を取水していた。

図 2-3 羽地大川水利モデル図



現在は農業用水として取水が行われているが、水田からサトウキビ畑に変わったためどの程度取水が行われているか不明である。上水道用水は名護が6,000 m<sup>3</sup>/日の取水を行っている。

又、羽地大川には、国管理の多目的ダムが建設中であり、このダムが完成すれば、かんがい用水として最大83,800 m<sup>3</sup>/日、水道用水12,000 m<sup>3</sup>/日が取水される予定である。

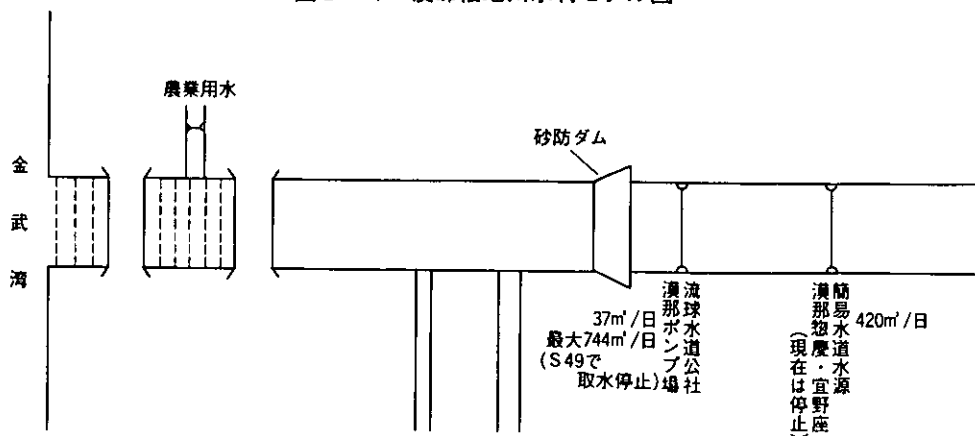
### 3. 漢那福地川

本河川は名護市、恩納村、宜野座の三市町村にまたがる漢那岳の南側斜面の流域を上流として、漢那集落西側を通り太平洋に注いでいる。河川の上流部分は北西～南西に流れ、中流から下流にかけては北～南へ流れる流域面積9.0 km<sup>2</sup>、指定延長3.7 kmの二級河川である。指定区域は殆どが平坦で流れも緩慢である。上流付近は砂利床が多く、中、下流に行くと泥及び砂利床になっている。中流から上流にかけてはアメリカ軍の演習地内（キャンプハンセン）に入っており土地利用としては下流付近に畑地が点在している状況である。河口より500 m付近に沖縄自動車道が通っており、その上流に現在、国管理の多目的ダム、漢那ダム（総貯水量8.2×10<sup>6</sup> m<sup>3</sup>）が建設中である。

漢那川は河口部で広がっているため、これまで大雨時の氾濫によって家屋及び農作物に被害を与えることが少ない。又、漢那橋から上流50 mまでは河中の広い潮帯河川となっておりマングローブが繁茂して沼地状態を呈していたが、現在は河口部の河川改修、上流の開発によって赤土の流出により、しだいに減少しつつある。

昭和47年頃の利水状況は上流の簡易堰から自然流下で漢那、惣慶、宜野座の3集落の簡易水道水源として420 m<sup>3</sup>/日が取水され、又砂防ダム後方から琉球水道公社がスタンドパイプ式で平日37 m<sup>3</sup>/日、最大744 m<sup>3</sup>/日の取水を行っていたが昭和49年に取水停止された。本流からの農業用水の取水はなかったようである。現在も本流からの取水はないが支流から農業用水が近くの小規模の水田や畑に引水されているのみである。その他の取水施設はない。

図 2-4 漢那福地川水利モデル図



#### 4. 汀 間 川

本河川は、名護市（旧久志村）汀間に河口をもつ、流域面積 12.65 ㎞<sup>2</sup>、指定延長 4.0 ㎞の二級河川である。上流は名護市の多野岳と一ツ岳を結ぶ森林地帯からなり、支流も多く、流れも急であり、水は清く、川床は岩が多く周囲は農耕地が少ない。下流は太平洋に向かって河口に汀間集落があり右河床沿には県道70号線が横ぎり、三原集落につながっている。

河川は河口から上流まで殆ど均一な縦断勾配を有し、且つ流域内の林相も良く、流域の開発が進んでいないため、山腹崩壊も少なく土砂の流出量も少ない。従って豪雨が降った時も水田や畑に被害が及ぶことは少ないようである。

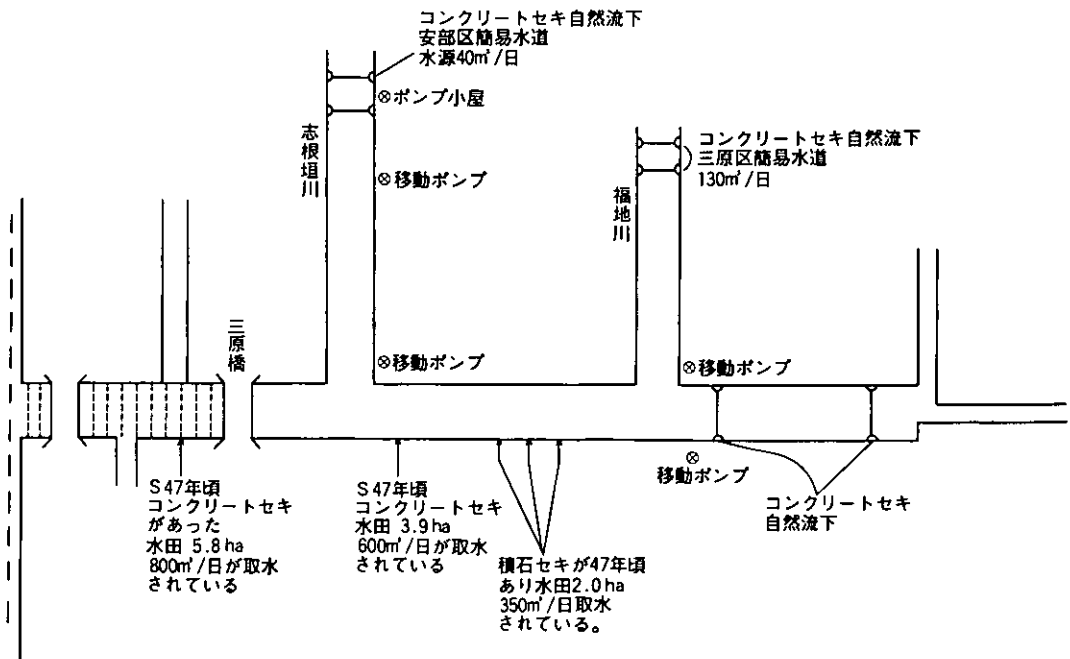
以前は河川堤内地は殆どが水田であったが、現在はきび畑に切り替えられている。水田が盛んな頃（昭和47年以前）は、この川沿いに水田が15haあり、この河川に全部で6ヶ所の取水堰が設けられていた。その内訳は、コンクリート取水堰3ヶ所、玉石を積み上げた取水堰3ヶ所から約 2,000 ㎥/日の農業用水が引水されていた。

積石取水堰は明治時代に三原部落民によって造られ、維持管理されてきたが、河川改修によって現在は一つも残されていない。又、中流付近には昭和52年～53年頃まで養鰻場が数ヶ所にあったが、これも現在は一つも残っていない。

現在は農業用水の取水施設は2ヶ所に堰が設置され、開路式の自然流下で農業用水を取水しており、又、移動式ポンプで数ヶ所から取水を行っているが、取水量はわずかであると思われる。

志根垣川から取水堰1ヶ所、ポンプ場水で1ヶ所の計2ヶ所で取水が行われ、その他移動式ポンプが1ヶ所設置されている。しかし、農業用水の取水量は把握していない。

図 2—5 汀間川水利モデル図



又、生活用水（簡易水道）は、安部集落、三原集落、三原福地集落が汀間川支流にコンクリート堰を設けて、3ヶ所から計150 m<sup>3</sup>/日の取水が行われている。

## 5. 満 名 川

満名川は南側を八重岳、嘉津字岳に、また北側を乙羽岳に源をもち、本部町を二分するように東西に流れ谷低地帯を発達させ、流域面積1,237km<sup>2</sup>、指定延長4.0 kmの二級河川である。

本河川は河口部が渡久地港内になっているため、豪雨が降った場合には上流から流出される多量の礫や土砂は、河床及びこの港内に堆積されるために港内は土砂の堆積で浅くなる。そのため度々、浚渫工事が行われている。

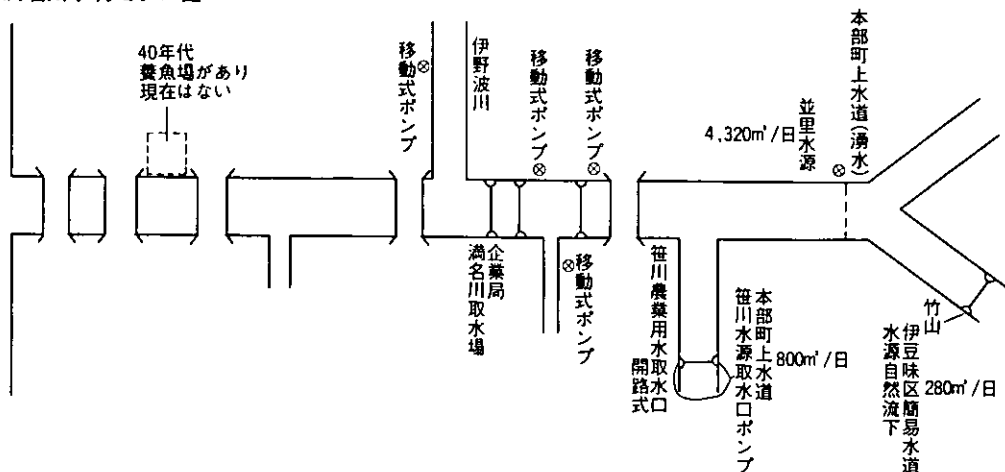
また、河口付近の渡久地橋より約260 mの地点、運立橋の河床高の比高差は12.3 mで縦断勾配は約1/200位のゆるやかな勾配であるため、通常はゆるやかな流れである。しかし、台風などによる豪雨が続くと洪水の氾濫を誘発する原因ともなっている。

満名川の上流域は、戦後まで殆ど山林、原野であったが昭和25年頃からパイン栽培、果園などの山地開発が盛んになり、大雨になると常時、水量のない支流も大流となって本流に合流して洪水となる。昭和45年10月、4月～7月にかけて台風フロッシーが沖縄全域に350mm～900mmの豪雨をもたらした時、本部町の街は満名川の氾濫によって大洪水にみまわれ、琉球政府の災害救助法の適用を受ける大水害を受けた。その際に河川護岸にも欠壊岸部分が生じ復旧工事が行われた。

昭和47年頃まで満名川下流の河川沿いの伊野波、並里には水田が広がっていたが取水は本流の流川からは殆どなく支流、あるいは湧水が使用されていた。又、満名橋の下流の右側には養魚場があり、河口近くの頭首工より取水が行われていたが、現在はその痕跡も残っていない。又、上流1,430 mの支流の上流側25m地点に豊富な水量を誇る湧水があり、本部町の生活用水の水源地となっていた。

図2-6 満名川水利モデル図

満名川水利モデル図



現在、満名川の本流からの農業用水の取水は、各頭首工付近から移動式ポンプを利用して小規模に用水を行っているだけである。支流の笹川水源からは開路式の用水路を設け農業用水の取水を行っているが取水量は把握していない。

又、上水道は沖縄県企業局が余剰水を取水するための施設はあるが、取水はまだ行われていない。支流泉口川の上流25m地点の湧水から、本部町の上水道として4,320 m<sup>3</sup>/日が取水され、その他の支流笹川水源、竹山水源からも上水道及び簡易水道水源（伊豆味区）として800 m<sup>3</sup>/日、280 m<sup>3</sup>/日の取水が行われている。

満名川流域からの工業用水の取水は行われていない。

## 6. 大井川

この河川は名護市、本部町の境内から今帰仁村の中心地である仲宗根集落を流れ東支那海に注ぐ流域面積 22.90 km<sup>2</sup>、指定延長 8.0 kmの二級河川である。

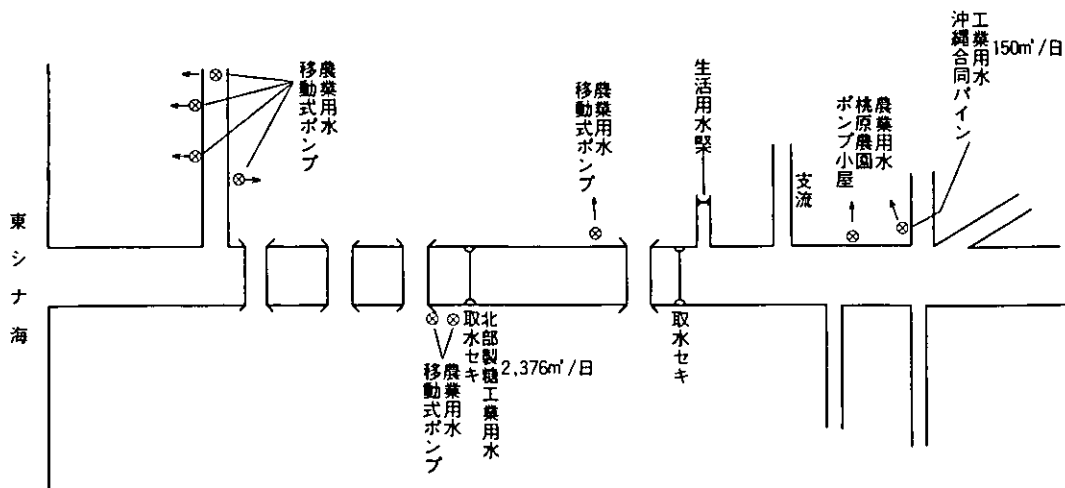
本河川は深い山の中を流れている河川ではなく、小高い丘の麓を流れている河川でごく一部を徐げば河口から上流端まで川沿いに道路が走っている。

河川は本部山地を浸蝕し蛇行した自然河道となっており、河床は全般に岩盤が多く河川の整備は他の二級河川に比べて進んでいなかったが、現在では整備がなされつつある。

上流はパイン、ミカン畑も多く農家が点々と散在し、又、山林も多く、河川沿いの農家から雑排水も流れ込んでいる。川沿いには水も多量に必要とする北部製糖工場やパイン工場及び農園などがあるがこの河川は干ばつが続くと表流水が干上ってしまうため、河川からの安定的な取水ができない状況にある。反対に河川の平均縦断勾配は 1 / 110 で、豪雨が降ったときには河口から上流部まで全域に亘って急激に増水し、降雨が止むと短期的に大半の水量が流出してしまう特徴を持っている。

昭和47年頃の河川の利水施設は殆どなく、桃原農園が農業用水としているのみであった。

図 2-7 大井川水利モデル図





農業用水の取水は、本流及び支流から移動式ポンプ数ヶ所から取水が行われているが取水量は不明である。また、工業用水は北部製糖工場が2,376  $\text{m}^3/\text{日}$ 、本部町伊豆味の合同パイソ工場が雑用水として150  $\text{m}^3/\text{日}$ の取水を行っている。

生活用水は呉我山の点在する集落が支流から取水を行っているが、取水量は不明である。

## 7. 我部祖河川

我部祖河川は、名護岳の北1 km付近から金川、深田川、奈佐田川を伴い羽地内海に注ぐ勾配のゆるやかな河川で、国道58号線、県道本部環状線を横断している。

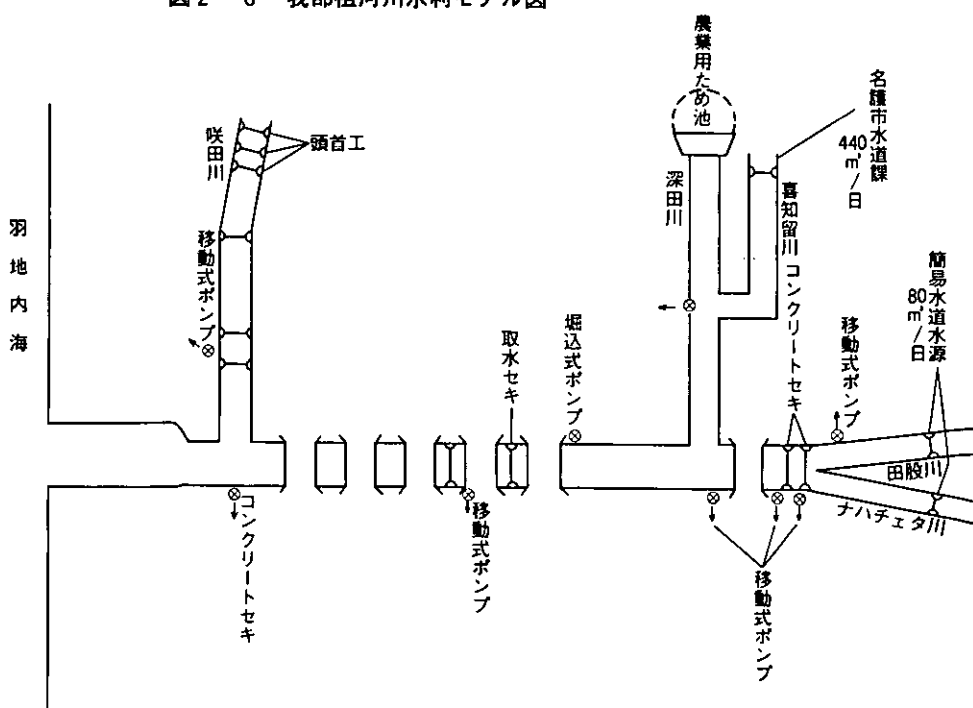
我部祖河川は、我部祖河集落、伊差川集落側でかなり蛇行した河川であったが、昭和45年頃の我部祖河の土地改良等により河川の流路は現在のように改修された。

我部祖河川の上流は、先第三系、緑色岩類が分布し、河口部にはかなりの面積をもつ沖積平野があり、以前は県内唯一の水田地帯であったが、現在はその大部分が畑に転換されている。

本河川は指定延長 3.7 km、流域面積 13.66  $\text{km}^2$ の二級河川である。昭和47年以前の水田地帯であった時は、河川がかなり高度に利用されていた。利水施設は本流に4ヶ所、咲田川に6ヶ所の取水堰が設けられ、それから水田への引水が行われていた。しかし、キビ畑に転換されるようになり、これらの施設の殆どが利用されなくなっている。

現在は、上水道は支流の喜知留川から名護市が440  $\text{m}^3/\text{日}$ 、田股川とナハチュマタ川から山田区が簡易水道源として合計80  $\text{m}^3/\text{日}$ の取水が行われている。農業用水は頭首工周辺及び支流、ため池から移動式ポンプで取水がなされているが、取水量は不明である。

図 2-8 我部祖河川水利モデル図



## 8. 屋 部 川

屋部川は明治時代には、水深もかなりあって、当時は農機具、堆肥及び収穫物の運搬に船が利用できる程の水量があったが、水の利用はあまりなかったようである。戦前は河口から150～200m程川沿いにサキシマハマボウが繁り、白銀橋付近の河口にはチヌ、イサギ等の魚類が多く生息し、またシテナジミが捕れることも有名であった。

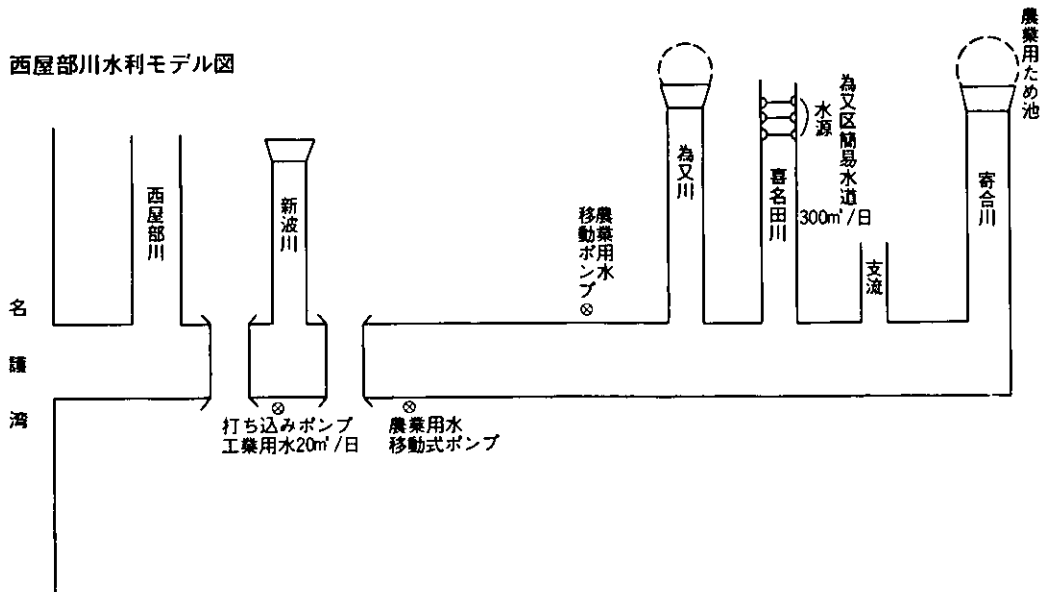
この河川は中生代の石灰岩からなる嘉津宇岳を上流とする西屋部川と屋部集落で合流している。河川の流域は戦後、パイン、果樹作物に適当な傾斜をもった低い山岳地帯であるため、パイン及び果樹栽培が急速に普及して、山地という山地は無計画に開墾されてしまったため、豪雨時には表土が流出し河床へ土砂、礫が大量に堆積されてしまった。それは、河床が上昇した原因ともなっている。

本河川は指定延長3.4km、流域面積20.09㎏で東支那海（名護湾）に河口を持つ二級河川である。河川の状況は河口から上流2kmの所まで河床全体に赤褐色の赤土が堆積している。ひどい所では数十センチメートルの堆積がある。平均縦断勾配は、約1/150のかなりゆるやか川で、下流部一帯には肥沃な沖積低地があり耕地として利用されている。

この沖積低地は数10年前までは水稲作が盛んであったが現在では殆どサトウキビ畑に転換されている。この低地は土地改良事業が実施され、起点から1,400m上流の山間に農業用ため池が築造されたが、あまり有効に利用されていない。

昭和47年頃の利水状況は、農業用水としては、川沿いに長期干ばつに備えて畑への冠水並びに畜牛飼育のために打ち込み井戸が6ヶ所あり、農業用水路が1ヶ所あったが取水量は不明である。その他、上流の支流からは簡易水道の水源として為又区が取水を行っていた。

図2-9 西屋部川水利モデル図



現在の利水状況は、農業用水として川沿いの数ヶ所に移動式ポンプが設置され、屋部川の支流の寄合川、為又川、新波川には農業用ため池が建設されて、そこからポンプで土地改良区にかんがいが行われている。生活用水としては、為又区が支流喜名田川に簡易取水堰を設置して自然流下で300 m<sup>3</sup>/日の取水を行っている。

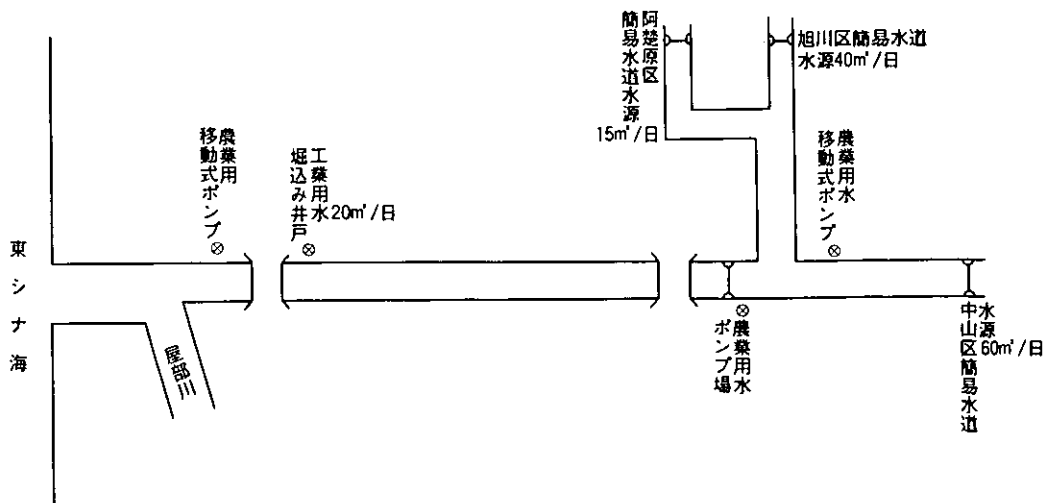
## 9. 西屋部川

西屋部川は、屋部川と同様に屋部集落を流れ屋部川と合流し、東支那海に注ぐ指定延長1.9 m、流域面積8.51 km<sup>2</sup>の二級河川である。支流は八重岳、嘉津宇岳に続く本部山岳の急峻な谷間を曲折して流れており河床全体的に岩が多く、河川は殆ど整備がなされていない。上流域は全体に山林地帯でパイン、ミカン栽培からなる山地が多く、村落は小さな単位で点在している。又、下流は屋部集落を通り川沿いは農耕地、村落地となっており、数10年前までは村落後方の耕地は殆ど水田であったが、現在はサトウキビ畑に変わっている。さらに、河床も上流の開墾が屋部川の流域に比べてなされていないため赤土の堆積も少なく、河川の水質も村落や農耕地からの排水が流れ込んでいるものの、それほど汚染されていない。

47年頃の利水状況は勝見橋後方に取水堰があり、その堰から水田に引水するための農業用水が取水されていた。又、生活用水は上流の支流から中山区、旭川区、河楚原区が簡易水道の水源として取水していたようである。

現在は勝見橋後方の取水堰からポンプで農業用水の取水が行われ、その他に移動式ポンプが数ヶ所に設置されている。また、工業用水としては、屋部給油所が洗浄水として、20 m<sup>3</sup>/日を河川沿いに堀井戸式によって取水をしており、生活用水としては中山区が中山集落北東約5 kmの地点から60 m<sup>3</sup>/日、旭川区が育英学園北方から約40 m<sup>3</sup>/日、それに阿楚原区が阿楚原集落後方から15 m<sup>3</sup>/日の合計105 m<sup>3</sup>/日の取水が行われている。

図 2-10 西屋部川水利モデル図



## 10. 幸 地 川

幸地川は指定延長 1.9 km、流域面積 4.2 ㎢の二級河川である。そのうち河川の大部分は名護市街地を流れる街の川である。上流は名護岳を源として二つの支流を伴い、一つは桜祭りで知られる名護城のふもとで合流し、もう一つの支流は名護城北側の市街地を横ぎって市街地の中心地で合流し、名護市のシンボルで知られるヒンプンガジマルの足元を流れて名護湾に注いでいる。

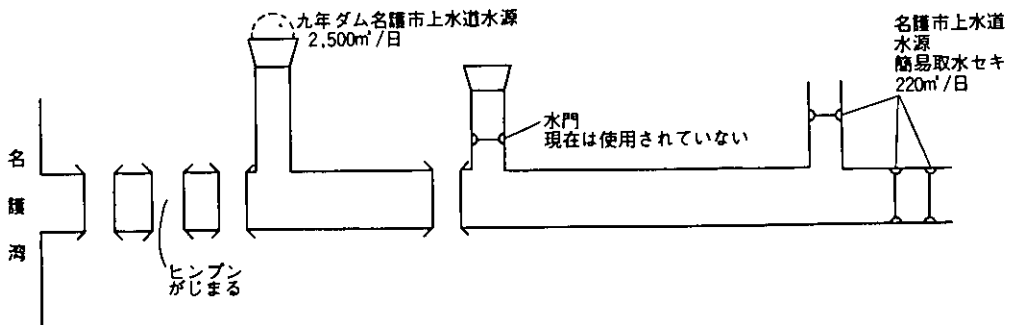
戦前、この河川はヒンプンガジマルの付近にクムイ（小堀）という地名が残っているように川の水は清く、カニやエビ、川魚などが動き回るせせらぎで、時には迷ったイルカが川をさか登って街の近くまで来たという話もある。

戦後すぐは水量、水質とも良好で、子供たちの遊び場、あるいは、母親たちの洗濯場として使用されていたが、しかし、名護市街地が拡大し、市街地の後方まで住宅が建設されるに従って、水量が乏しくなり、市街地からの雑排水やゴミで河川が汚れるようになった。そこで名護市は、幸地川を改修して市民が水辺に親しめるよう計画を行っている。

昭和47年以前の幸地川の利水施設としては、名護城入り口の支流に堰があり、その水門から集落後方の水田へ引水が行われていた。しかし、現在はその一帯は住宅地になっているため使用されていない。工業用水としては、オリオンビール社が幸地川の河床付近に堀井戸 4ヶ所を設け、そこから 1,700 ㎥/日の揚水が行われていた。生活用水は名護市の上水道として上流の簡易堰から自然流下で取水が行われていた。

現在は農業用水の取水はなく、生活用水としては名護市の上水道水源として、幸地川上流の 3ヶ所の堰から約 220 ㎥/日の取水が行われている。工業用水としては、オリオンビール社が堀井戸で約 2,000 ㎥/日程度の取水がなされている。

図 2-11 幸地川水系モデル図



## 11. 轟 川

名護市街地より約 1.8 km南南西に数久田集落があり、そこに流域面積 3.63 ㎢、指定延長 1.0 kmの名護湾を河口とする二級河川が流れている。

轟川の河口から 1.2 km上流の地点に第二轟橋がありその上流に滝の高さ 8 m、滝壺の巾約 6 m、

深さ約1.5 mの滝がある。沖縄本島の滝では最も有名である。

この滝の左右の巨巖（火成岩）の間から落下し飛散する水しぶきは観る人々に涼しさを満喫させ、その眺望は「幽邃俗塵」の滝といわれ、戦前は特に若い女性の見学者が多かったとのことである。また、首里、那覇から名護に向かう行客は必ずこの滝を来訪するとのことであった。

轟の滝は、沖縄県の名勝として昭和31年に県指定がなされており、轟の滝を称えた琉歌の代表的な一首に「夏もよそなくゆき浮世名に立ちゆる数久田轟の滝のふもと」がある。

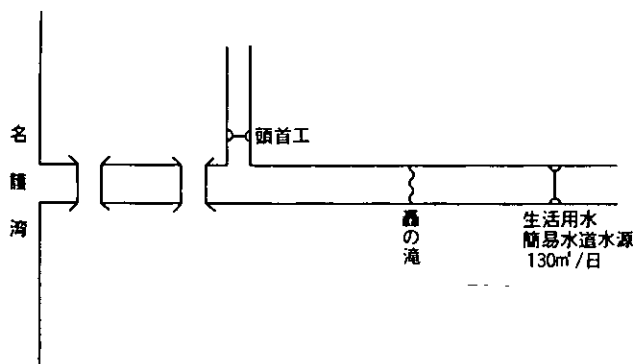
轟川は、久志岳、辺野古岳に源を発し、その水質は数久田集落上流までは清らかであるが下流(特に河口)においては、集落内の家庭雑排水が流入して水質の悪化を招いている。この川の河口は昭和50年に数久田橋より河口に向かい200m先まで、国道58号線の新設のために埋め立てが行われ、その部分に新数久田橋が設けられている。河口より約600 mまでは汐入がある。

河川の災害としては、昭和43年に台風の影響で高潮が発生し、河川が氾濫して、床上浸水や家畜、農作物に被害を与えているが、それ以降は氾濫はなく、河川としては極めて穏やかである。

昭和47年以前の水利利用状況は、農業用水が第二轟橋の支流の取水堰から周辺農地にかんがいがなされていたが、現在は使用されていない。生活用水は、滝の上流に数久田区の簡易水道水源として堰が設けられ、自然流域で取水が行われていた。

現在は農業用水の取水はなく生活用水として、轟の滝の上流から数久田区の簡易水道水源として130 m<sup>3</sup>/日が取水されている。

図 2-12 轟川水利モデル図



## 12. 真 謝 川

名護市街地より国道58号線に沿って南へ約8 km行くと名護市の最南端に位置する喜瀬集落がある。この集落は恩納村、宜野座村と境界を接する。

真謝川は喜瀬集落を二分する形で西に蛇行し、東西は畑並びに森林地帯、南は沖縄本島中央部を縦断する山々を分水嶺として、4つの支流を伴って北の東支那海に河口を持つ、流域面積5.34 km<sup>2</sup>、指定延長1.8 kmの二級河川である。

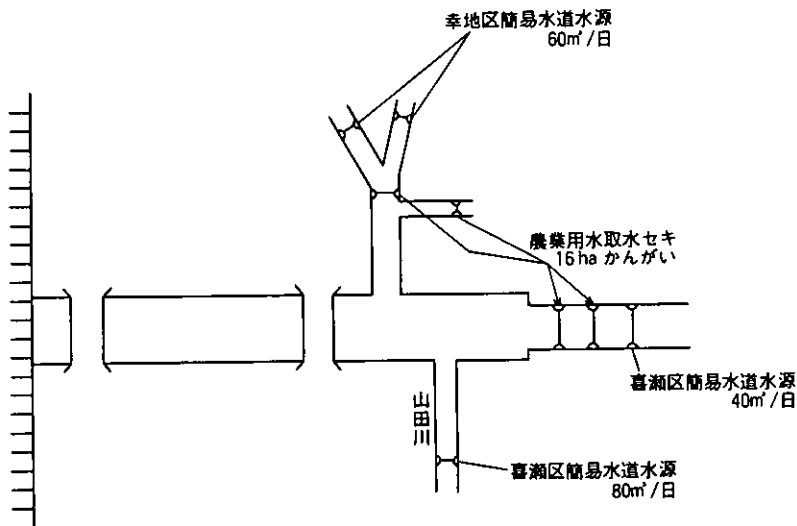
真謝川は、真謝福地川と集落のすぐ後方で合流しているが、その上流の低湿地にはのどかな水田地帯が広がっている。北西側の名護湾に突き出す部分には部瀬名岬があり、その海岸一帯は景勝の地で沖縄海中公園となり、また岬の付根の部分には国民宿舎名護浦荘がある。集落の北側の海岸は名護市の市民海水浴場に指定され、喜瀬の海岸一帯は県内でも重要な海岸リゾート地となっている。

真謝川は緩やかな勾配をなし、河川の流れば穏やかである。しかし過去においては、台風時の降雨、梅雨期の降雨、気象変化による高潮等で幾度となく災害をもたらしている河川である。

昭和47年以前の河川利用状況は、真謝川沿いの殆どが水田であったため各所に取水堰が設けられ、農業用水水源として、高度に利用されていた。生活用水としては、上流の幸地川支流から喜瀬集落の生活用水が取水されていた。

現在の河川利用状況は農業用水として、真謝土地改良区が4ヶ所の頭首工を設け、16haの水田にかんがいを行っている。生活用水としては、真謝川上流約3kmの2ヶ所の堰から幸喜集落が簡易水道水源として60 $\text{m}^3$ /日、喜瀬集落南方2.7kmの幸地川支流と喜瀬集落南方2.5kmの山田川から自然流下で、それぞれ40 $\text{m}^3$ /日、80 $\text{m}^3$ /日、合計120 $\text{m}^3$ /日の取水がなされている。

図 2-13 真謝川水系モデル図



### 13. 名 嘉 真 川

恩納村の北端に位置し、名護市、宜野座村と持っているのが字名嘉真集落である。名嘉真集落の中心を南北に蛇行して流れ、河口付近には小規模な平野部を広げているのが名嘉真川である。この河川は指定延長1.0km、流域面積3.27 $\text{km}^2$ の二級河川で3支流を伴って東支那海に注いでいる。

昭和52年に河川整備事業が計画され、上流約1.5kmのところに砂防ダムが建設され同時に河床に堆積した土砂の浚渫、護岸工事がダムサイドより両岸下流280mに亘って行われている。特に名嘉真

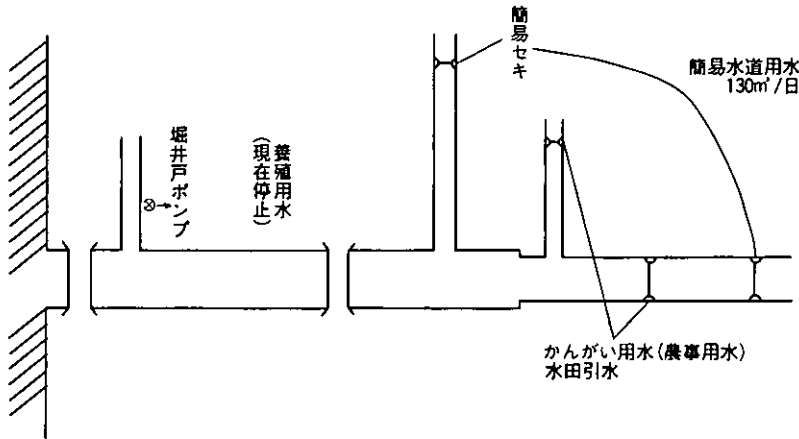
川にかかるスプラ橋より西部は他の地域よりも一段と低い地域となっており、降雨時(160mm前後)には家屋の浸水に見舞われた為に、当該地域の住民はスプラ橋の西部へ住民移転を行ってきている。従って本流の周辺及び支流川田川の南部には水田が広がり、護岸沿いの一帯は人家がまばらで住宅地域は国道58号線沿いの西側に広がっている。

昭和47年以前の利水状況は周辺の耕作地の殆どが水田であり、河川本流及び支流の数ヶ所に取水堰が設置され水田に引水が行われていた。生活用水は、名嘉真区の簡易水道水源として名嘉真川上流から自然流下で取水が行われていた。

現在の利水状況は、水田かんがい用水として2ヶ所の取水堰から取水が行われている。支流からは河床沿いに堀井戸を設け、そこから養殖用の揚水が近年まで行われていたが、現在は廃業のため取水は停止されている。

生活用水としては、名嘉真川区の簡易水道水源として、名嘉真川上流の2ヶ所の取水堰から自然流下で110 m<sup>3</sup>/日の取水が行われている。

図 2-14 名嘉真川水利モデル図



#### 14. 新 川 川

新川川は恩納村役場の北側に河口を持ち、恩納岳を源とする指定延長0.8 km、流域面積 3.9 km<sup>2</sup>の二級河川で、河口付近で広くなりそこで当袋川と合流している。

新川川上流キャンプハンセン内には、総貯水量370,000 m<sup>3</sup>の農業用フィルダムがあり、これは昭和32年に築造され、水田及び畑地57haにかんがいがしていたが現在は老朽化しているため新たな改修が行われている。

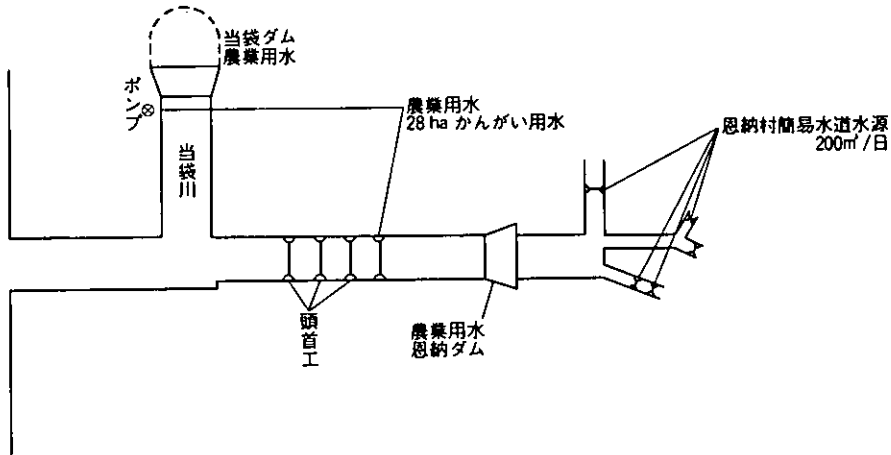
また、当袋川には昭和56年に完成した当袋ダムがある。このダムは重力式コンクリートダムで堤高25.8 m、総貯水量740,000 m<sup>3</sup>の洪水調節ダムである。

昭和47年頃までは新川、当袋川の平地の河川沿いは水田が広がっていたが、現在はサトウキビ畑に

轉換されている。新川，当袋川には数ヶ所の取水堰が設けられ，そこから水田かんがいのために揚水が行われていた。また，恩納ダムの上流からは，恩納集落の簡易水道水源として取水が行われていた。

現在は新川の上流，恩納ダムの取水口より，恩納土地改良組合が畑地かんがい用水として28haのかんがい用水の取水を行っている。また，下流の頭首工からはポンプで水田（水イモ）に引水が行われている。また，当袋川の当袋ダムより恩納土地改良組合が畑地かんがい用水の取水を行っている。生活用水は，字恩納区の簡易水道水源として恩納ダム後方の4カ所の支流から約200 m<sup>3</sup>/日の取水がなされている。

図 2-15 新川川水利モデル図





### 第3章 自然状況の概要

#### 3-1 地形

調査地域の地形は、本島部を多野岳、久志岳、恩納岳と国頭脊梁山地が北東から南西に走り、それらの山々を源とする多くの小河川が太平洋と東支那海に注いでいる。又、本島から西側へ突き出した本部半島部には嘉津宇岳、八重岳などの本部山地がある。これらの山地の地質は石灰岩からなる古期の岩層から形成され、本部半島はカルスト地形を中心に丘陵地の広がる地帯である。国頭脊梁山地と本部の山地の両者にはさまれたところに台地や沖積地が広がり、南は名護湾となっている。反対側の太平洋の地域は本島部の国頭脊梁の山々から南東（太平洋側）に向かって小起伏ゆるやかな台地が広がり海岸低地が続いている。名護市以南は国頭脊梁の山々として恩納岳、屋嘉岳、石川岳が南西に連なっている。それぞれの山から太平洋、東支那海に向かって山から海までの距離が短いため小起

図3-1 標高区分

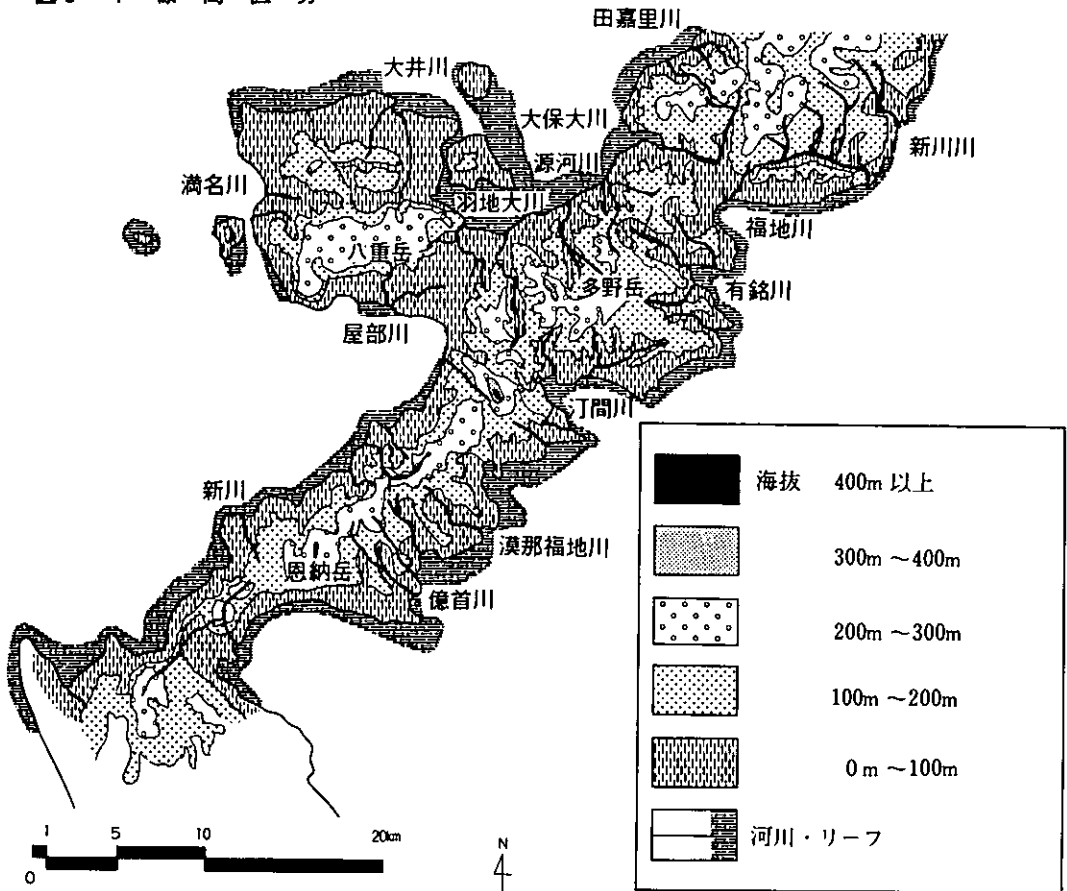


表3-1 調査地域の地形区分と高度区分

	今帰仁村		本部町		名護市		恩納村		宜野座村		金武町		計		中南部地域			
	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率		
地形区分	山麓地	3.28	8.3	14.51	26.3	45.51	26.1	6.57	12.9	1.77	5.8	3.37	8.9	75.01	7.7	4.03	1.2	
	丘陵地	12.47	31.7	18.49	33.5	95.29	45.2	28.83	56.6	13.70	44.7	20.75	54.9	189.53	44.6	155.59	45.0	
		台高位	4.14	10.5	2.27	4.1	13.36	6.3	1.11	2.2	1.57	5.1	0.13	0.3	22.58	5.3	4.26	1.2
	中位地(砂礫)	2.04	5.2	3.00	5.4	24.20	11.5	3.40	6.6	6.63	21.6	0.16	0.16	45.43	10.7	3.61	1.1	
		低位	1.05	2.7	—	—	5.90	2.8	—	—	0.26	0.8	—	—	7.21	1.7	1.92	0.6
	台高位地(石灰岩)	1.67	4.2	0.61	1.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.28	0.5	42.66	12.3
		中位	3.71	9.4	9.30	16.9	—	—	4.28	8.4	4.72	15.4	3.49	9.2	25.50	6.0	42.61	12.3
	低位地	7.79	19.8	3.43	6.2	0.78	0.3	0.65	1.3	—	—	—	—	—	12.65	3.0	41.67	12.1
		3.22	8.2	3.56	6.5	25.85	12.3	6.06	11.9	2.01	6.6	3.24	8.6	43.94	10.3	48.36	14.0	
	湖沼・ダム	—	—	—	—	—	—	0.06	0.1	—	—	0.63	1.9	0.69	0.2	0.73	0.2	
計	39.37	100%	55.17	100%	210.89	100%	50.96	100%	30.66	100%	37.77	100%	424.82	100%	345.44	100%		
0～100m	30.71	78.0	31.75	57.5	121.18	57.4	41.34	81.1	27.39	89.3	31.06	82.2	283.43	66.7	297.21	85.4		
100～200m	7.32	18.6	15.38	27.9	66.18	31.4	8.49	16.7	3.06	10.0	5.06	13.4	105.49	24.8	46.06	13.2		
200～400m	1.34	3.4	7.88	14.3	23.53	11.1	1.07	2.1	0.21	0.7	1.02	2.7	35.05	8.2	4.01	1.2		
400～600m	—	—	0.16	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	0.16	0.1	—	—		
湖沼・ダム	—	—	—	—	—	—	0.06	0.1	—	—	0.63	1.7	0.69	0.2	0.73	0.2		
計	39.37	100%	55.17	100%	210.89	100%	50.96	100%	30.66	100%	37.77	100%	424.82	100%	348.01	100%		
標高区分																		

伏起伏丘陵や台地が直接に接している。

本地域は、県内でも国頭地域(山地、丘陵地が全面積の85%)に次いで山地丘陵の面積が占める割合が高い地域で、全面積の62.2%を占めている。ちなみに本島中南部地域は、42.2%である。市町村別でみると、名護市、恩納村で山地、丘陵地面積の占める割合が高く、今帰仁村、宜野座村では台地の面積の占める割合が高くなっている。

標高区域でみると、標高200m以上を越える地域が8.3%で国頭地域の25.5%に比べるとはるかに低いが、本島中南部の1.2%に比べると占める割合が高くなっている。また100mを越える地域は33.3%を占め、約1/3の割合を占めていることになる。

### 3-2 地 質

沖縄本島中北部(表3-2)の先新第三系は、一般に北北東走向20~50西北西落ちであり、ほぼ走向方向に帯状にのびて分布している。東側の見かけ上は下位の地層から、西に向かって、砂岩頁岩互層(嘉陽層)、千枚岩(名護層)、名護層緑色岩部層の順に配列されている。これらは国頭層群と定義されている。さらに西に本部層相当石灰岩体、本部半島には湧川層、与那嶺層(本部層を中心に介在する)、今帰仁層の順に8帯に分かれて並び、西側の名護層千枚岩中に石英斑岩が、また同層及び名護層緑色岩部層中に安山岩斑岩が、岩脈あるいは岩床として、やはり北北東方向に細長くのびて貫入している。

本部半島のつけ根には新第三紀から第四紀にかけての呉我礫層や仲尾次砂層が分布している。又半島の北部から西北にかけては第四紀更新世の琉球層群の石灰岩を砂礫層が平坦面を作っている。また、沖縄本島主部の沿岸には琉球層群の同時異相と考えている国頭礫層群が点々と分布している。

東側の国頭層群ははげしく褶曲し、東西両側に分布する名護層と嘉陽層のそれぞれは、大規模な斜褶曲をなす一連の地層である。軸は名護層、嘉陽層とも北東ないし北北東方向で、場所により北西或いは南東に傾斜している。

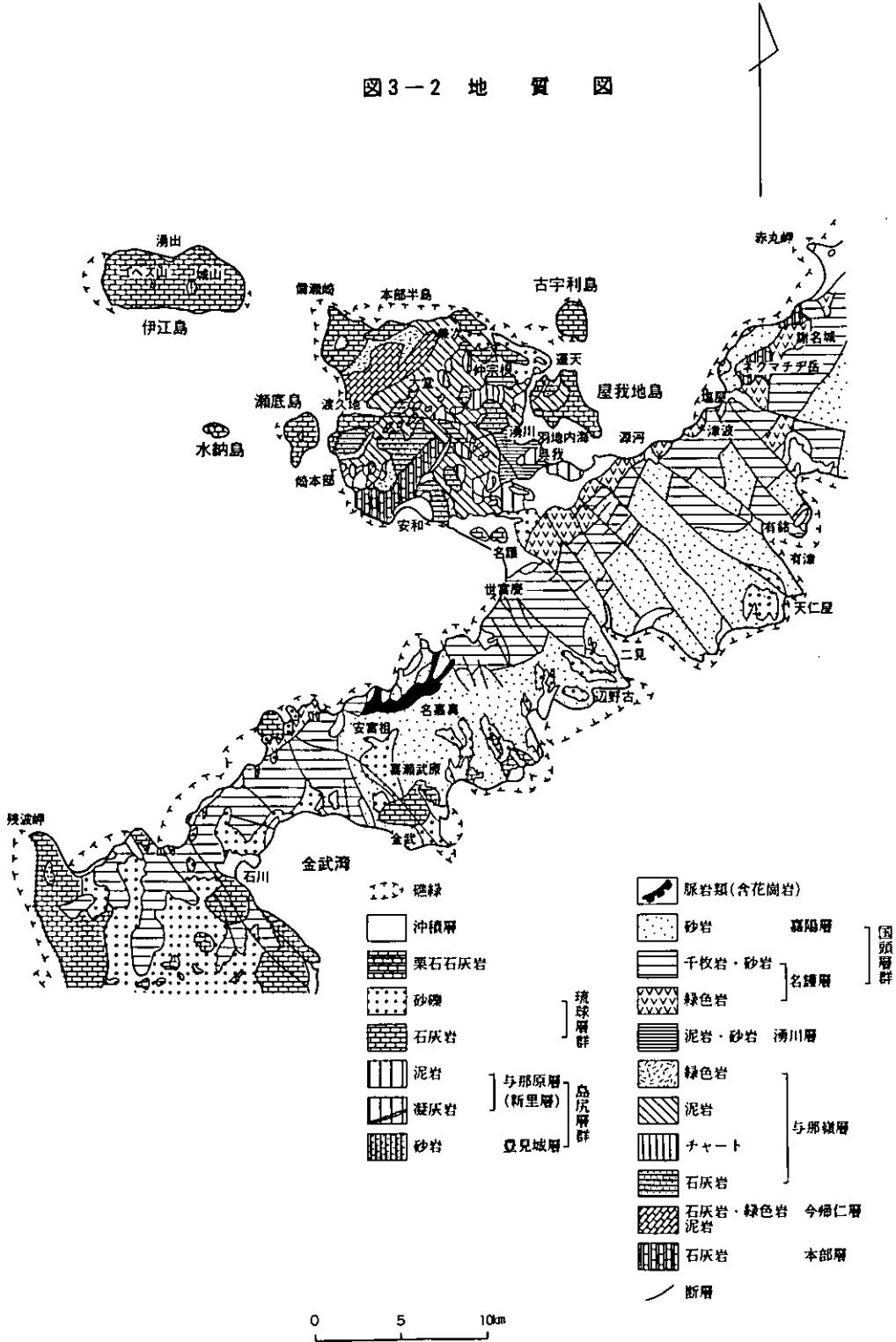
褶曲軸に平行して縦走断層がみとめられ、その最大のもは辺土衝上断層である。本部半島の今帰仁層と与那嶺層を境とする兼次、渡久地内の断層も高角の衝上性縦走断層である。本部層と東側の与那嶺層の境界を走る衝上断層もあり、こ

表3-2 沖縄島中・北部の層序

新 生 代	第 四 紀	完新世	沖積層・ビーナサンド・サンゴ礁	岩 脈		
		更 新 世	琉球層群		国頭礫層	
			仲尾次砂層			
	第 三 紀	鮮新世	呉我礫層			
		中新世	安山岩 石英斑岩			
		漸新世				
		始新世	国頭層群		嘉陽層	
		暁新世			名護層	
	中 生 代	白亜紀			?	オリストストローム
		ジュラ紀			湧川層	
三畳紀			(与那嶺層 今帰仁層 本部層)			
古 生 代	ペルム紀					

の断層に沿って安山岩斑岩シートの貫入がみられる。本部半島の構造は地層が乱雑堆積物からなるため、極めて複雑となっている。  
 (琉球弧の地質誌 木崎甲子郎編集より抜粋)

図3-2 地質図

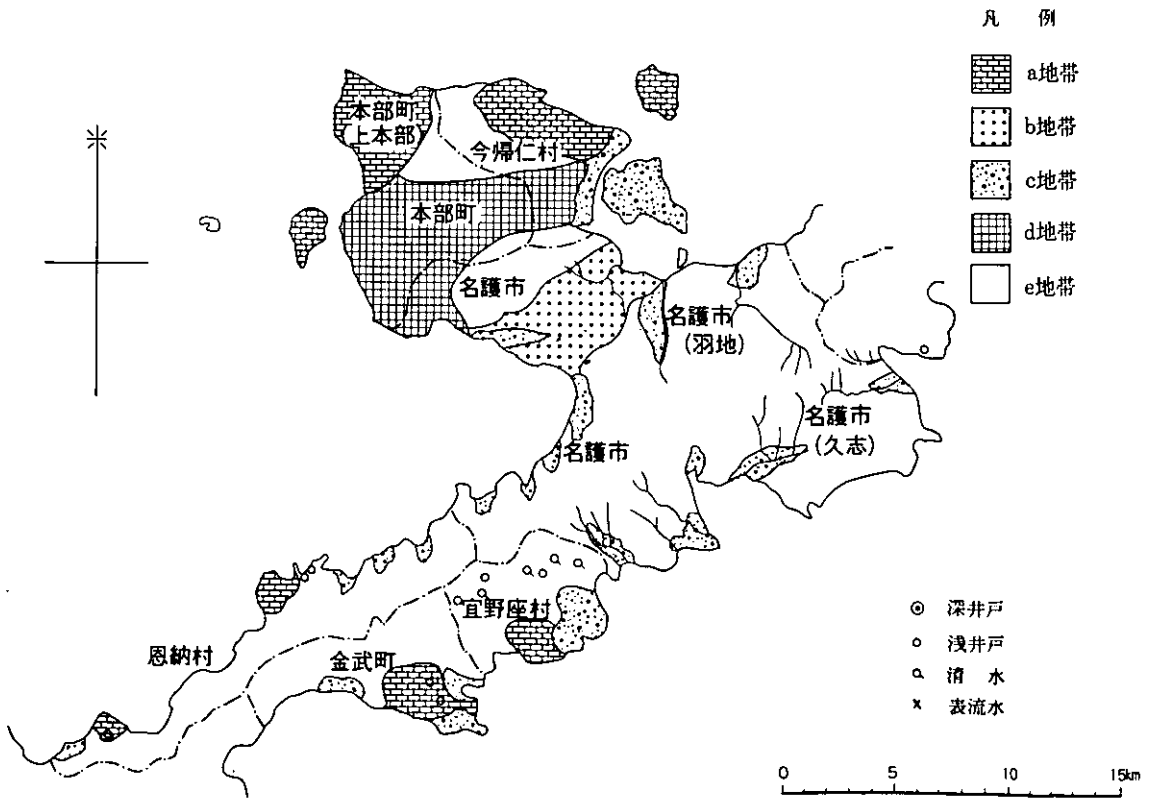


### 3-3 地下水の分布

地下水は、帯水層の地質状態及び地質構造に支配される面が大きく、その分布及び賦存の状態もそれぞれの地質の違いによって異なった形態を示し、また水量、水質の面においてもそれらの特徴がよく現われている。従って、地下水区の区分は水理地質的な環境の違いから便宜的に区分すると、沖縄本島中北部は次の5つの区分に分類される。

- a. 新しい琉球石灰岩に広く覆われた地帯
- b. 新三紀層及びそれより新しい砂礫層が厚く堆積している地帯
- c. 新しい砂礫層が積している地帯
- d. 古期石灰岩が多く分布する地帯
- e. 千枚岩などの古期岩層が広く分布する地帯

図3-3 水理地質の区分



今回調査地域では、

a 地帯は、本部半島の今帰仁村北部及び本部町の北部から北西部にかけての臨海部の地域、一部恩納村の万座一帯及び金武町の市街地の金武、並里にみられ、おおむね琉球石灰岩が広く分布しており、穏やかな平地ないし台地状の地形をなしている。

b 地帯は、名護市街地から羽地の西部にかけて本部半島のつけ根にあたる部分で未固結の砂礫層が厚く（50m程度）広く分布しており、低地ないし丘陵地形をなしている。

c 地帯は河川の沿岸低地の表層部を形成し、層厚は一般的に薄く数メートル程度で砂、礫などが多く、小規模の帯水量で水量も少ないが、簡易水道が整備されていない昭和40年以降には河川沿の集落では浅井戸を掘って生活用水としていたところが多い。

d 地帯は本部半島の北部から北西の臨海部を除く今帰仁村南部、本部町西部、本部町、名護市屋部の本部半島の主部地帯で、千枚岩、粘板岩からなる古期岩層地帯に広く古期石灰岩が分布しており、起伏の多い山地を形成している。この地帯の地下水は古期石灰岩の割目や空洞がある程集中し、比較的規模の大きい湧水が数多くみられる。

e 地帯は、本部半島を除く恩納村から国頭村に至る北部地区を主とする地帯で、おおむね千枚岩、結晶片岩、粘板岩などの古期岩層が広く分布するところで、一般的には不透水層で地形の谷部を表流水として流下し、河川を形成している。

### 3-4 植 動 相

調査地域における植生をおおまかにみると本島部の多野岳、久志岳、恩納岳と国頭脊梁山地はリュウキュウアオキースタジイ群集が主要をなし、集落の後方地、あるいは開墾が行われたところに一部リュウキュウマツ群落のみられる。集落周辺は畑地雑草群であるか他にチガヤスキ群落あるいは水田雑草群落のみられる。

本部半島は国頭脊梁山地とは植生がかなり異なり、リュウキュウアオキースタジイ群集は呉我山西側一帯と安波岳北西部周辺、喜津宇岳西側一帯及び、本部町伊豆味の北側の山地に散在し、その周辺をリュウキュウマツ集落がとり囲むように散在し分布している。また、安波岳、嘉津宇岳の高位、北山城周辺及び乙羽岳の古期石灰岩の分布するところには、ナガミボチヨウジークスソハカエデ群集が分布し、農地周辺の原野には畑地雑草群がみられ、山の傾斜のパイン畑の跡にはチガヤスキ群集がみられる。海岸線にはモクマオウ植林が点在している。

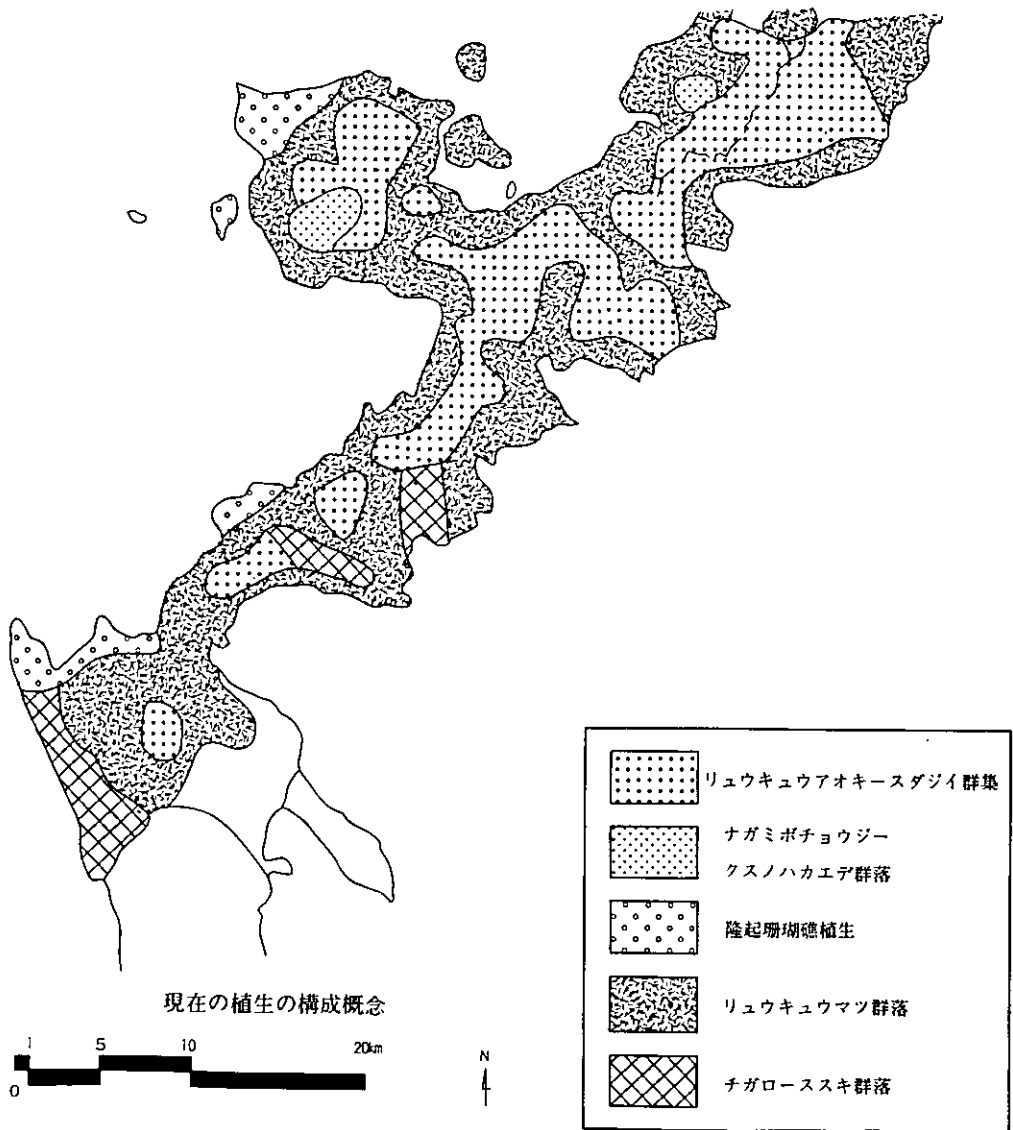
屋我地島、瀬底島、古宇利島は殆どが耕作地であるが、高位段丘の一部にはリュウキュウマツ群落が分布し、海岸線はモクマオウ植栽がされている。瀬底島や古宇利島の海岸線はアダソーオオハマボウ群集もみられる。

名護市以南の恩納村、金武町では、リュウキュウアオキースタジイ群集は恩納岳、屋嘉岳、石川岳の山頂の一部に残り斜面のほとんどがリュウキュウマツ群集におおわれている。海岸地や沖積低地は、

ほとんどが耕作地植生となっており、その殆どが畑地雑草群落であるが、他にはチガーススキ集落  
がみられ、海岸線はモクマオウの植栽がみられる。

本地域における重要な植生としては、今帰仁村諸志東広原の諸志御嶽の植物群集が国指定天然記念  
物となっている。県指定天然記念物としては、嘉津字岳、安和岳、八重岳自然保護区の植物群落、今  
帰仁村天底のしまちすじのり、今帰仁村字親泊のこぼていし、名護市のシンボル名護のひんぶんがじ  
まる、名護番所跡のフクキ群、名護市宮里前のイスノハギリ林、万座毛石灰岩植物群落などがあり、  
その他に各地域で御嶽林や集落などの屋敷林が残されており、各市町村の指定天然記念物になってい  
るものが多い。

図3-4 植 生 図



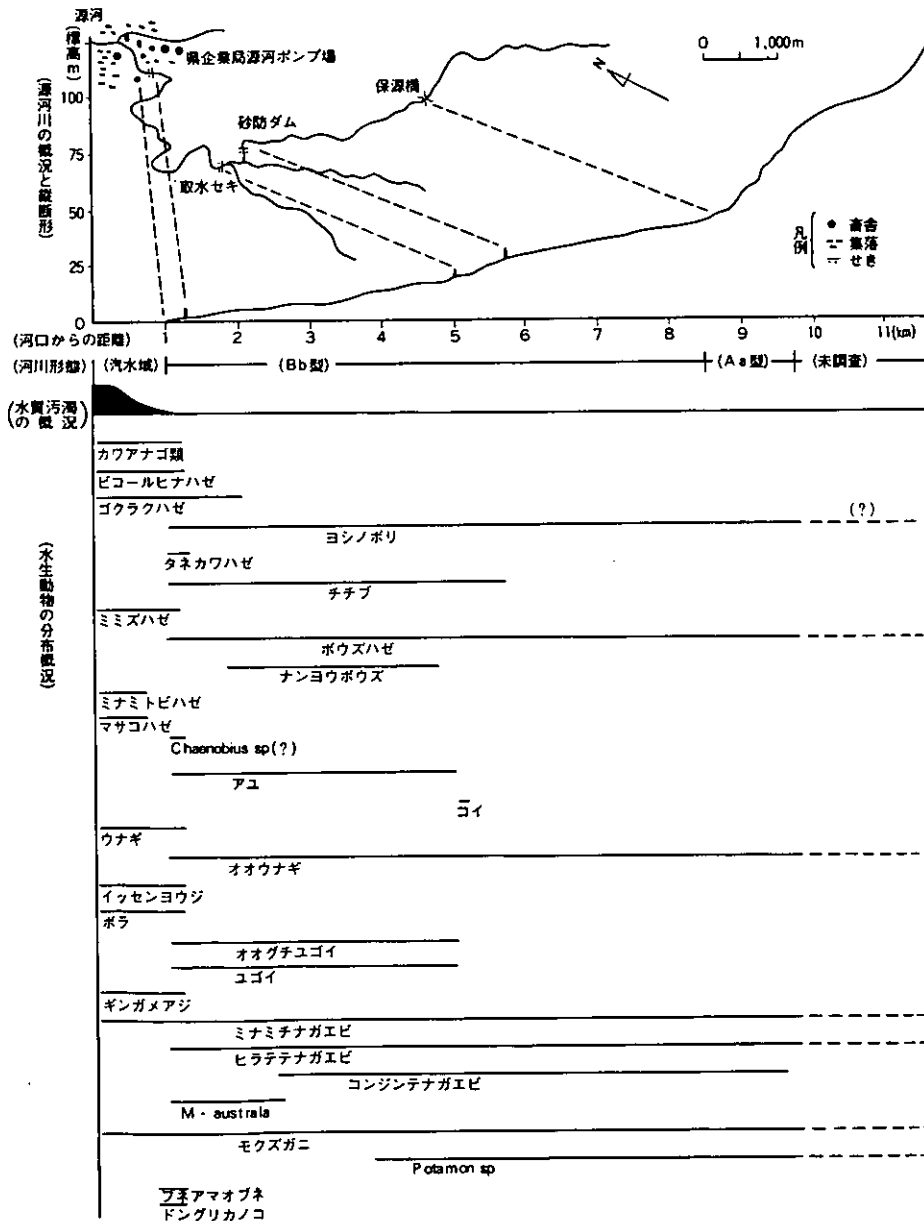
### 3-5 動物相

#### 1. 淡水動物

沖縄本島中北部の河川は中南部の河川に比べると水質汚濁の程度はさほどでもなく、淡水動物も比較的豊富でアユやタナゴモドキなど学術的に重要な魚類も生息している。

しかし、上流の農地開発や集落内からの畜産排水、雑排水で水質汚濁の程度は年々増加しつつあ

図 3-5 河川における水生動物の一例



源河川における水生動物の分布概況 (1976)



り、又、河川施設や河川改修工事などによって淡水動物の場が破壊されつつある。

一般的に県内河川に住む魚類や甲殻類のうち、一生を通して淡水だけで生活する種類は僅少で、殆どが海と関わりがある。例えば、ウナギ科は淡水で生活した成魚は海へ下がって産卵し、ふ化した稚魚が川へさかのぼってくる。降海型の魚類である。アユやハゼ垂目の多くの魚類は淡水域で産卵するが、ふ化直後海へ下がって、ある期間海で過ごした後、再び川へさか登ってきて生活する両型回遊魚である。エビやカニなどの甲殻類もそのような生活をするものが多い。従って、県内の河川の淡水動物も生活史の全過程を淡水域で送る種類は非常に少なく、ある期間は海で生活する回遊魚や一時的に河口部に（汽水域）や淡水域や侵入してくる海産の魚類が多い。

源河川における水質生物の分布の一例(図3-5)を見てもわかるように、県内河川は川の規模が小さく、魚類の生活の場が狭いうえに流量の変化が大きく、純淡水魚は生活しにくい場所であり、生息しても個体数は少ない。

又、貴重な淡水動物としては魚類では、タナゴモドキ、タメトモハゼ、ナンヨウホウズ、リボンスズメ、カワヨウジ等は調査地域が沖縄本島の分布北限となっている。その他にモツコ、アユ、は沖縄本島が日本の分布南限になっている。

サワガニ科についてみると、アラモトサワガニ、オキナワミナミサワガニが貴重種となっている。

## 2. 陸上動物

本調査地域は国頭地域に次いで数々の重要な生物が生息するが、年々地域の開発によって、これらの重要生物は減少しつつある。国の天然記念物として指定されている、リキウキュウヤマガメ、オキナワトゲネズミ、ケナガネズミ、アカヒゲが生息し、また県指定の天然記念物としてはフタオチョウ、コノハチョウ、クロイワトカゲモドキ、イボイモリ、その他に重要な生物としてはイシカワガエル、オキナワコキクガシラコウモリ、リュウキュウウラ、ナミジャノメが生息している。本調査の主な生息場所としては、多野岳、名護岳、久志岳、一ツ岳の国頭脊梁山地や本部半島の八重岳、嘉津宇岳などでリュウキュウアオキースダジイ群落やナガミボチョウジークスノハカエデ群落（亜熱帯常緑広葉樹林）の自然林が残されている地域で、動物相も豊富で、また貴重な生物の生息する地域でもある。その他に、羽地水田地帯、久志水田地帯、喜瀬、名嘉真、金武、並里などの水田地帯や河口のマングローブ林、羽地内海などは水島の生息地となっておりバン、シロハラクイナ、カモ類、カワセミ、シギ、チドリ類など多くの渡り鳥が飛来してくる地域となっている。

## 第4章 社会，経済状況の概要

### 4-1 人口

本地域の人口は，県人口が増加する中であって，昭和45年には一時減少するが，現在は殆ど横ばい状態である。

昭和30年の人口を100とすると，昭和60年の人口は101.4%と殆ど変化はみられない。本地域の中で，今帰仁村と本部町は昭和50年頃には海洋博の影響で一時的に増加を示すが，全体的にみると減少のパターンを示しており，過疎化地域である。名護市，宜野座村の人口は昭和50年頃を境として減少傾向から増加傾向を示す反転増加のパターンを示し，また，恩納村は横ばい，金武町は増加横ばいのパターンを示している。

また，構造的な側面から調査地域の人口をみると0～14歳の幼少人口の割合は沖縄県の27.4%に対して26.8%で0.6ポイント低くなっている。15歳～64歳までの生産年齢人口は沖縄県の64.0%に対して60.7%で沖縄県よりも生産年齢人口が少ない。15歳～29歳までの若年層では沖縄県の22.8%に対して19.7%と低いのは，中南部，あるいは本土への流出口が沖縄県よりも多いためだと思われる。さらに65歳以上の高年層は沖縄県8.6%に対して12.5%と高くなっており，高年層の多い地域であるといえる。

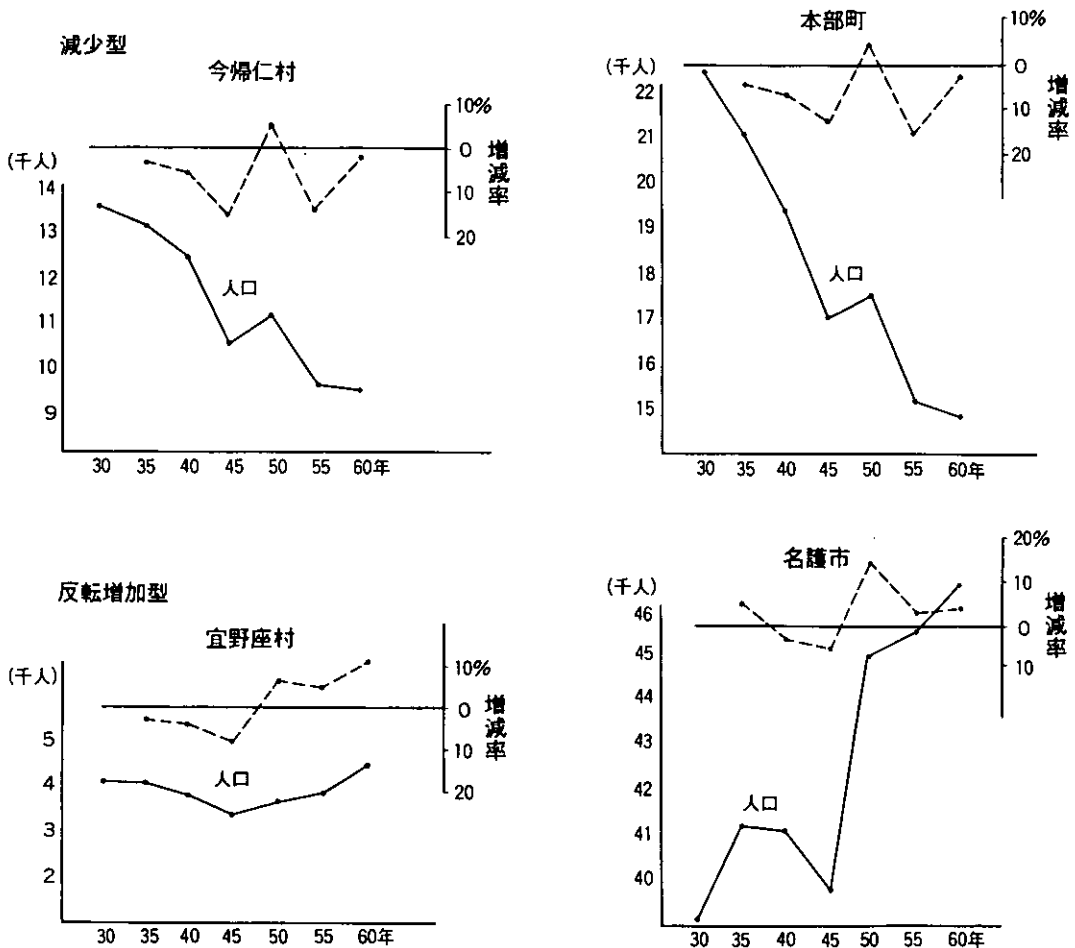
市町村別では幼少人口の割合が高いのは宜野座村，名護市の反転増加型の地域で高く生産年齢層の比率は恩納村，金武町の増加は横ばい型で高い。また，65歳以上の高年齢層の比率が高いのは今帰仁村，本部町の過疎化が進行している減少型で高い比率を占めている。

表4-1 人口の推移

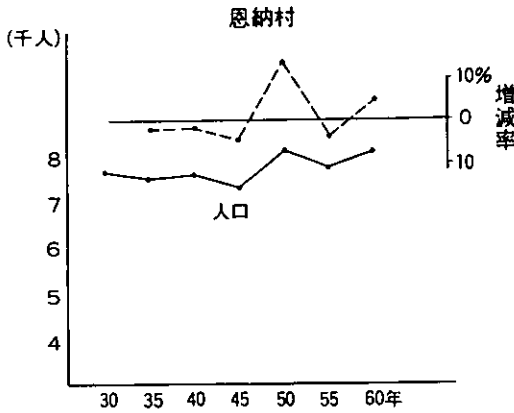
	実				数		
	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
今帰仁村	13,775	13,319	12,531	10,508	11,101	9,593	9,465
本部町	22,854	21,442	19,657	17,152	17,805	15,307	15,116
名護市	39,224	41,662	41,595	39,799	45,207	45,991	49,038
恩納村	7,866	7,715	7,783	7,433	8,270	8,013	8,269
宜野座村	4,335	4,128	3,944	3,566	3,818	4,022	4,414
金武町	6,885	8,846	9,191	9,953	10,112	9,745	10,006
計	94,939	97,112	94,701	88,411	96,313	92,671	96,308
北部圏	133,557	133,587	126,695	114,070	118,562	113,921	116,966
沖縄県	801,065	883,122	934,176	945,111	1,042,572	1,106,559	1,179,097

	昭和30年を100とする指数						
	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
今帰仁村	100.0	96.6	90.9	76.2	80.5	69.6	68.7
本部町	100.0	93.8	86.0	75.0	77.9	66.9	66.1
名護市	100.0	106.2	106.0	101.4	115.2	117.2	125.0
恩納村	100.0	98.0	98.9	94.4	105.1	101.8	105.1
宜野座村	100.0	95.2	90.9	82.2	88.0	92.7	101.8
金武町	100.0	128.4	133.4	144.5	146.8	141.5	145.3
計	100.0	102.2	99.7	93.1	101.4	97.6	101.4
北部圏	100.0	100.0	94.8	85.4	88.7	85.2	87.5
沖縄県	100.0	110.2	116.6	117.9	130.1	138.1	147.2

図4-1 市町村別人口推移パターン



横バイ型



増加横バイ型

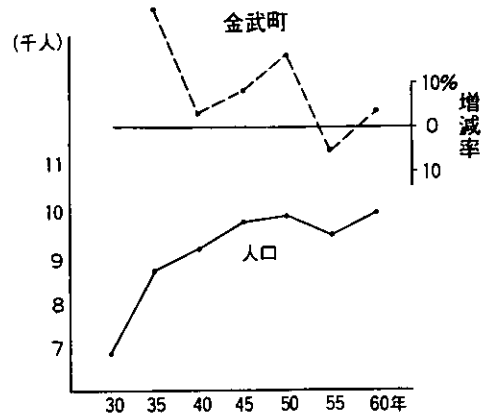


表4-2 年齢階層別人口

	総 数		0才～14才		15才～29才		30才～44才		45才～64才		65才以上	
	人 口	比 率	人 口	比 率	人 口	比 率	人 口	比 率	人 口	比 率	人 口	比 率
今帰仁村	9,465	100.0	2,285	24.1	1,669	17.6	1,688	17.8	2,152	22.8	1,671	17.7
本部町	15,116	100.0	3,584	23.7	2,958	19.6	2,819	18.7	3,269	21.6	2,486	16.4
名護市	49,038	100.0	13,992	28.6	9,829	20.0	10,693	21.8	9,310	19.0	5,212	10.6
恩納村	8,268	100.0	2,010	24.3	1,836	22.2	1,550	18.8	1,787	21.6	1,085	13.1
宜野座村	4,414	100.0	1,320	29.9	798	18.1	903	20.5	799	18.1	594	13.4
金武町	10,005	100.0	2,582	25.8	1,913	19.1	2,137	21.4	2,381	23.8	992	9.9
計	96,306	100.0	25,773	26.8	19,003	19.7	19,790	20.5	19,698	20.5	12,040	12.5
北部圏	113,572	100.0	29,663	26.1	21,921	19.3	22,813	20.1	23,995	21.1	15,178	13.4
沖縄県	1,179,097	100.0	322,523	27.4	268,098	22.8	257,300	21.8	228,721	19.4	101,947	8.6

## 4-2 産 業

### (1) 産 業 構 造

本調査地域の就業人口は37,661人（昭和55年国調）で産業別内訳は第1次産業24.4%、第2次産業21.3%、第3次産業54.3%となっている。沖縄県の就業人口と比較すると第1次産業では沖縄県の12.6%より高く、第3次産業は沖縄県の65.6%より低くなり、また、第2次産業はそれほどの相違はない。

しかしながら各市町村別に就業者の比率をみると、第1次産業が高いのは今帰仁村、本部町、宜野座村で30%以上となっており、第1次産業中心の産業構造である。名護市、恩納村、金武町は第

3次産業の比率が高く、第3次産業を主体とした産業構造になっている。これらの地域の特徴としては名護市は北部圏の中心市街地として、北部圏の社会、経済の中心的役割を持ち、恩納村は県内でもリゾート観光地、海浜観光地としては最も進展している地域である。さらに、金武町は米軍基地を中心とした基地関連業務地であり、それぞれの自然的、社会的、経済的条件によって産業構造の形成が行われている。

表 4-3 産業就業人口 (昭和55年)

	人 口		第 1 次 産 業		第 2 次 産 業		第 3 次 産 業	
	人 数	比 率	人 数	比 率	人 数	比 率	人 数	比 率
今 婦 仁 村	4,240	100	1,924	45.3	751	17.7	1,565	36.9
本 部 町	6,471	100	1,945	30.0	1,534	23.7	2,992	42.6
名 護 市	18,193	100	3,220	17.7	3,952	21.7	11,021	60.5
恩 納 村	3,495	100	848	24.3	741	21.2	1,906	54.5
宜 野 座 村	1,696	100	601	35.4	322	19.0	773	45.6
金 武 町	3,566	100	644	18.1	727	20.4	2,195	61.5
計	37,661	100	9,182	24.4	8,027	21.3	20,452	54.3
北 部 地 域	43,235	100	11,147	25.8	9,786	22.6	22,267	51.5
沖 縄 県	428,729	100	53,931	12.6	92,187	21.5	282,164	65.8

## (2) 農 業

昭和60年度における沖縄県の農家数は44,314戸で、本地域は16.2%の7,192戸が分布している。このうち専業農家は2,335戸で34.5%を占め、兼業農家は4,857戸、67.5%である。これを沖縄県と比べると専業農家（沖縄県25.2%）の割合が高く兼業農家の割合が沖縄県（74.8%）より低くなっている。また市町村別にみると専業農業の割合が高いのは今婦仁村、本部町である。低いのは恩納村、金武町であるが、恩納村は特に第2種兼業農家の比率が高い。

経営耕地面積をみると、調査地域は1.0ha以上を持つ農家の占める割合は19.2%である。沖縄県の(25.6%)や北部圏(22.9%)よりも低くなっている。従って、本地域は経営耕地面積が小さく、8割以上の農家が1.0ha以下の農地しか持っていないことになる。

農地の粗生産額(昭和60年「生産農業所得統計」)では県全体として1,160.4億円であり、このうち耕種農業が794.9億円(68.5%)、畜産が361.9億円(31.2%)となっている。

調査地域は粗生産額209.6億円(県全体の18.1%)、耕種農業124.9億円(県全体の26.3%)、畜産が84.4億円(県全体の23.3%)を占めている。

粗生産額の内訳をみると耕種ではサトウキビの43.3億円で耕種農業の34.7%を占め、その他(花

キ園芸など) 37.0億円で29.6%となっており、この地域のサトウキビに次ぐ基幹作物であったパイ  
ンは6.6億円で5.2%まで低下している。

次に畜産は84.4億円で豚が41.9億円(49.7%)、鶏が33.8億円(40.1%)で、豚と鶏で全体の73.9  
%を占めている。鶏については、沖縄県全体(73.5億円)の48.7%を占めている。

市町村別にみると今帰仁村、本部町がサトウキビ、野菜、花キ、園芸及び豚、名護市は豚、鶏の畜  
産が多く、次にサトウキビ、花キ、園芸、恩納村は鶏、花キ、園芸、サトウキビ、宜野座村はサト  
ウキビ、鶏、豚、金武町は豚、サトウキビが主な産地となっている。

従って、本調査地域の農業経営は花キ、サトウキビの耕種農業と豚、鶏の畜産を組み合わせた複  
合農業である。

表4-4 専業、兼業別農家数(昭和60年)

市町村	総 農家 数	専 業 農家	兼 業 農 家						構 成 比			
			男子生産年 齢人口のい る世帯。	計	第1兼業農家		第2兼業農家		専業農家	男子生産年 齢人口のい る世帯。	第1兼業農家	第2兼業農家
					世帯 専徒	世帯 専徒	世帯 専徒	世帯 専徒				
今帰仁村	1,298	514	456	784	359	305	425	58	39.6	35.1	27.7	32.7
本部町	1,375	522	291	853	309	257	544	117	38.0	21.2	22.5	39.5
名護市	2,573	885	215	1,688	623	500	1,065	144	34.4	8.3	24.2	41.4
恩納村	831	134	64	697	115	91	582	166	16.1	7.7	13.8	70.1
宜野座村	512	142	75	370	114	87	256	49	27.7	14.6	22.3	50.0
金武町	603	138	85	465	176	120	289	39	22.9	14.1	29.2	47.9
計	7,192	2,335	1,186	4,857	1,696	1,360	3,161	573	32.5	16.5	23.6	43.9
北部圏	9,646	3,182	1,668	6,464	2,329	1,831	4,135	722	33.0	17.3	24.1	42.9
沖縄県	44,314	11,176	6,339	33,138	9,811	8,100	23,327	4,754	25.2	14.3	22.1	52.7

1985年農業センサス

表4-5 農業粗生産額及び農業所得

単位(百万円)

市町村	農業粗生産額																生産農業所得			
	耕種										畜産				加工					
	小計										養蚕小計	牛		豚		鶏卵		その他畜産	農産物	
	米	麦米穀区	いも類	野菜	果実	パイナップル	工業農作物	とうもろこし	葉たばこ	その他		肉用牛	豚	鶏	その他畜産					
今帰仁村	—	—	34	700	175	142	981	905	76	930	—	754	174	96	364	194	173	21	—	1,994
本部町	—	1	72	416	303	151	707	707	—	519	—	718	71	37	439	190	41	18	—	1,424
名護市	42	—	90	1,185	635	299	1,683	1,661	—	1,395	—	4,257	166	95	2,395	1,672	1,056	24	8	4,109
界納村	23	—	22	113	45	12	464	430	—	448	—	1,094	88	28	172	828	58	6	14	946
直野茂村	—	—	17	115	67	49	389	375	—	305	—	717	156	36	273	283	260	5	4	763
金武町	28	—	29	171	9	7	273	258	—	118	—	902	126	13	551	219	179	6	5	617
計	93	1	264	2,700	1,234	660	4,497	4,336	76	3,715	—	8,442	781	305	4,194	3,387	1,767	80	31	9,853
北都圏	94	7	367	3,185	2,336	1,529	7,206	6,194	794	4,556	—	11,111	1,528	863	5,902	3,585	1,846	94	82	14,022
沖縄県	667	42	1,445	22,473	3,328	2,170	41,150	37,374	3,367	11,369	218	36,198	8,817	4,995	19,459	7,357	6,380	529	137	60,969

表4-6 経営耕地面積規模別農家数（昭和60年）

市町村	総農家数	例外規定	0.3ha未満	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~2.5	2.5~3.0	3.0~5.0	5.0ha以上
今帰仁村	1,298	15	244	217	456	211	71	40	22	20	2
本部町	1,375	1	461	265	436	125	46	24	5	11	1
名護市	2,573	86	786	438	739	290	128	47	27	26	6
恩納村	831	8	270	181	268	80	20	2	1	1	—
宜野座村	512	8	109	91	186	56	31	16	5	7	3
金武町	603	4	264	124	156	31	15	4	2	3	—
計	7,192	122	2,134	1,316	2,241	793	311	133	62	68	12
％	100	117	29.7	18.3	31.1	11.0	4.3	1.8	0.9	0.9	0.2
北部圏	9,646	228	2,722	1,656	2,823	1,103	496	259	147	178	34
％	100	2.4	28.2	17.2	29.3	11.4	5.1	2.7	1.5	1.8	0.4
沖縄県	44,314	463	12,807	7,465	12,268	4,415	2,622	1,407	966	1,266	635
％	100	1.0	28.9	16.8	27.7	10.0	5.9	3.2	2.2	2.9	1.4

(3) 水産業

本地域の水産業は昭和58年（第7次漁業センサス）によれば経営件数995人で沖縄県(4,492人)の22.1%を占めているが漁獲量は3,838トンで沖縄県(30,536トン)の12.6%にすぎない。生産額は1,596百万円で、沖縄県(16,460百万円)の13.1%である。

また経営件数あたりの漁獲量も生産額も本地域が4.9トン、280万円であるのに対して沖縄県は、それぞれ6.8トン、370万円と沖縄県に比べてかなり低率である。北部圏全体が零細性の経営体である。

また、市町村別では経営件数あたりの漁獲量、生産額が多いのは名護市、少ないのが恩納村、金武町である。本部町は漁業の町として栄えたところであるが、カツオブシ製造業が壊滅したため近年は水産業の不振が続いている。



表4-7 水産業の現況

市町村	経営体数	漁船数(隻)		1隻当り トン数	漁業従事 者(人)	漁獲量 (トン)	生産額 (100万円)	漁獲量 経営体数	生産額 経営体数
			合計(トン数)						
今帰仁村	76	78	77	0.98	141	379	137	4.9	1.8
本部町	128	145	128	0.88	231	497	374	3.9	2.9
名護市	119	159	158	0.99	167	989	657	8.3	5.5
恩納村	149	153	145	0.94	198	597	249	1.3	1.7
宜野座村	46	45	43	0.95	52	230	101	5.0	2.2
金武町	59	53	50	0.94	72	123	78	2.1	1.3
計	577	633	601	0.95	861	2,815	1,596	4.9	2.8
北部圏	995	1,028	971	0.94	799	3,838	2,165	3.9	2.1
沖縄県	4,492	4,317	4,096	0.95	6,630	30,536	16,480	6.8	3.7

## (4) 工業

本地域の事業所数は177事務所(昭和60年)で沖縄県(2,630)の6.3%を占めているにすぎない。本地域では事業所は名護市に集中し、半分の91事務所がある。少ないのは宜野座村の6事務所、恩納村の19事務所であるが、事業所数は昭和50年の177事業所と比べて全く変化はない。一方従業者数は昭和60年で2,075人で昭和50年(2,099人)に比べて変化はない。出荷額については、昭和60年は70,133百万円で、昭和50年に比べて2.12倍となっている。沖縄県全体と比較すると本調査地域は従業員で昭和50年(沖縄県はわずかに増加した)より変化はなく、出荷額は沖縄県(1.61倍)より増加している。

表4-8 市町村別工業の変化

金額(百万円)

市町村	昭和50年			昭和55年			昭和60年			昭和60/50		
	事業所	従業員	出荷額	事業所	従業員	出荷額	事業所	従業員	出荷額	事業所	従業員	出荷額
今帰仁村	26	241	6,150	23	154	6,459	21	125	6,617	0.81	0.52	1.07
本部町	34	293	2,929	28	247	3,473	29	220	4,486	0.85	0.75	1.53
名護市	90	1,402	20,981	93	1,749	34,262	91	1,500	49,433	1.01	1.07	2.36
恩納村	8	33	88	6	45	368	11	65	959	1.37	1.97	10.90
宜野座村	4	32	624	8	44	172	6	25	556	1.50	0.78	0.89
金武町	15	98	753	17	122	1,157	19	140	1,580	1.27	1.43	2.09
計	177	2,099	31,525	175	2,361	45,891	177	2,075	63,631	1.00	1.99	2.02
北部圏	207	2,551	32,952	204	2,753	49,540	218	2,396	70,133	1.05	0.94	2.12
沖縄県	2,630	25,270	359,853	2,546	24,493	589,812	2,807	26,564	580,850	1.07	1.05	1.61

## (5) 商 業

本地域の昭和61年の商店数は2,234店で人口1,000人あたりの商店数は23.2店であり、人口に対する商店数は沖縄県全体(21.6店)に比べて多いといえる。反対に1店あたり従業員(1.7人)、年間販売額3,357万円は沖縄県(従業員数3.6人、年間販売額7,500万円)より少ない。

このように人口あたり商店数が多く、一店あたりの従業員数、年間販売額が少ないのは、県内ではマチャーを中心として流通が形成されていたのが、都市域で大型スーパーが進出して年々小さな小売店(マチャー)は減少してきているのに対して、本調査地域では小単位としたマチャー流通が存在しているものと考えられる。

表4-9 市町村別商業の現状

金額(万円)

市町村	商店数	人口	従業者数	年間販売額	人口1,000人 当り商店数	1店あたり 従業者数	1店当り 年間販売額
今帰仁村	215	9,465	472	411,808	22.7	2.2	1,915
本部町	366	15,116	796	660,974	24.2	2.2	1,805
名護市	1,114	49,038	1,342	5,466,301	22.7	1.2	4,906
恩納村	205	8,268	467	402,978	24.8	2.3	1,965
宜野座村	87	4,414	208	262,300	19.7	2.4	3,014
金武町	247	10,005	470	295,490	24.6	1.9	1,196
計	2,234	96,306	3,755	7,499,851	23.2	1.7	3,357
北部圏	2,567	113,572	4,385	8,327,534	22.6	1.7	3,244
沖縄県	25,008	1,179,097	89,135	187,568,180	21.2	3.6	7,500

## 4-3 土 地 利 用

本調査地域の面積は42,491haで県土全体の18.8%を占める。土地利用の現況は森林が面積の57.4%を占め、その殆どが民有林で内訳は県有897ha(3.7%)、市町村有13,636ha(55.9%)、私有地9,868ha(40.4%)となっている。

国土の森林の占める割合は沖縄県で48%、本島中部地域17%、本島南部26%であり、他の地域に比べて森林の占める割合が高くなっているが、北部地域全域で見ると低くなっている。それに対して、農用地は沖縄県が26.3%(59,407ha)で、最も農用地率の高い南部地域で38.2%(13,287ha)、本地域は14,326ha(20.6%)と農用地率は低い値となっているが北部地域全体(17.4%)よりは高い。

また、市町村別にみると森林が市町村面積に占める割合が大きいのは名護市、恩納村であるが、反対に低いのは今帰仁村、本部町の本部半島である。農用地面積については農用地率が高いのは今帰

仁村で、低いのは金武町、名護市となっている。

従って、本地域は土地利用の面からみると名護市から恩納村に至る国頭脊梁山地と本部半島の八重岳、嘉津宇岳を中心とする山地は森林でおおわれ、本部半島のつけ根の部分は平野になっており、そこに農地が広がっている。その他に農地としては今帰仁村、本部町の西先端(旧上本部)、宜野座村などの斜面台地が農地となっている。

その他は河口の河川沿に農地がわずかに広がり、その周辺に集落が散在する。

表 4—10 森林面積 (昭和60年)

市町村	市町村 面積	森 林 面 積						森 林 率
		総 数	林 野 庁 所 管 国 林	民 有 林				
				総 数				
				総 数	保 有	市町村有	私 有	
今帰仁村	3,937	1,357	—	1,357	1	475	880	34
本部町	5,517	2,197	—	2,197	24	270	1,904	40
名護市	21,089	13,833	—	13,833	871	7,400	5,562	66
恩納村	5,096	3,186	—	3,186	1	2,302	883	63
宜野座村	3,066	1,709	—	1,709	0	1,534	175	56
金武町	3,777	2,119	—	2,119	0	1,655	464	56
計	42,491	24,401	—	24,401	897	13,636	9,868	57.4
北 部	82,246	53,310	7,779	45,531	4,288	24,943	16,300	65
中 部	27,182	4,498	—	4,498	49	1,108	3,338	17
南 部	34,801	9,138	—	9,138	43	5,908	3,192	26
沖 縄 県	255,417	108,464	32,766	75,698	4,546	43,183	27,971	48

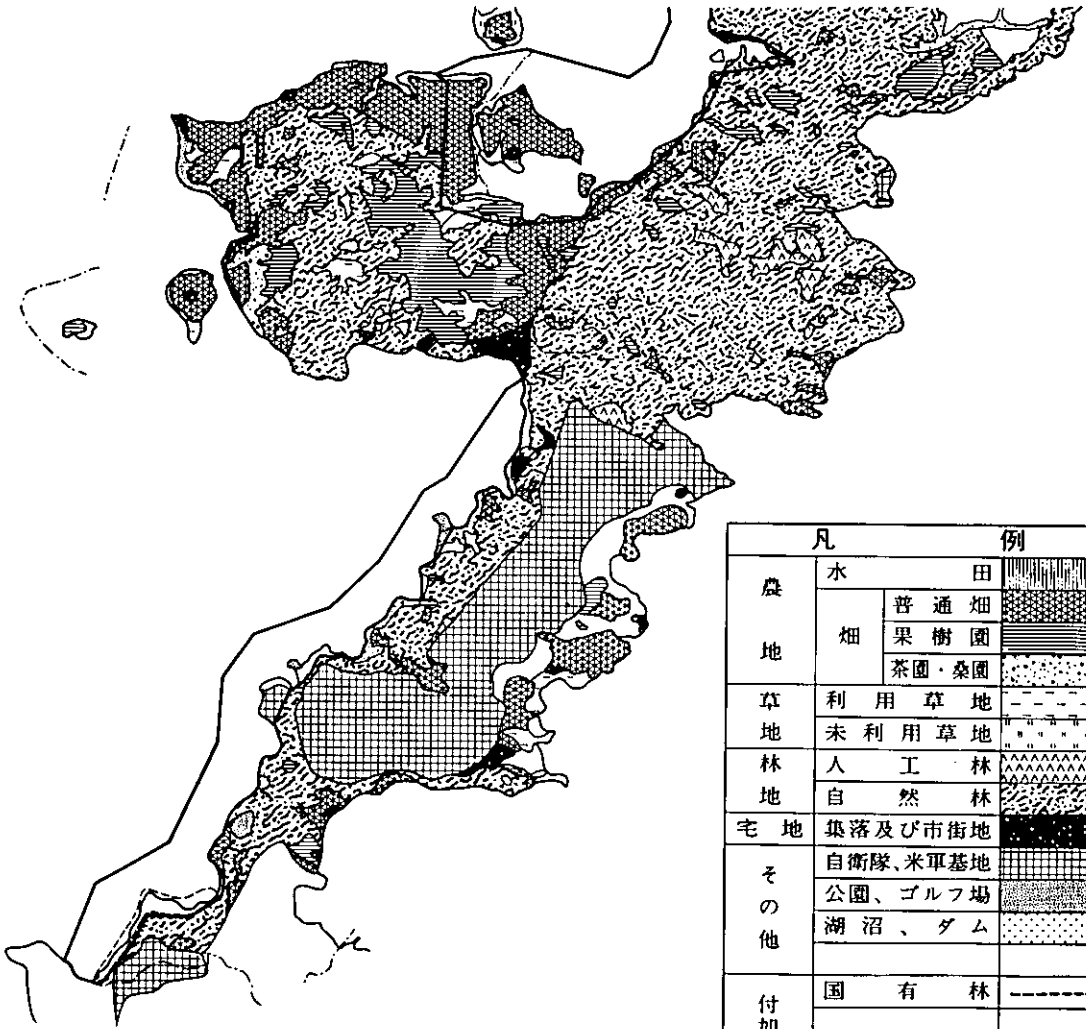
(資料「沖縄の林業」)

表 4—11 現況農用地等面積（昭和60年）

市町村	市町村面積	農用地等						混 牧 林 地	農 施 設 用 地	計	遊 休 農 用 地	合 計	農 用 地 率
		農用地				採 草 放 牧 地	計						
		田	畑	樹園地	計								
今婦仁村	3,937	—	1,177	273	1,450	—	1,450	—	31	1,481	152	1,633	41.5
本部町	5,517	4	948	510	1,462	—	1,462	—	15	1,477	—	1,477	26.8
名護市	21,089	100	2,168	300	2,568	—	2,568	—	90	2,658	665	3,323	15.7
恩納村	5,096	153	687	50	890	14	904	—	38	942	171	1,113	21.8
宜野座村	3,066	—	505	117	622	—	622	—	9	631	103	734	24.0
金武町	3,777	49	296	32	377	20	397	—	32	429	31	460	12.0
計	42,491	306	5,781	1,282	7,369	34	7,403	—	215	7,618	1,122	8,748	20.6
北 部	82,246	433	9,251	1,861	11,545	460	12,005	—	272	12,277	2,050	14,326	17.4
中 部	27,182	68	5,434	125	5,627	41	5,668	—	106	5,774	618	6,392	23.5
南 部	34,801	28	11,933	103	12,064	18	12,082	7	134	12,223	1,064	13,287	38.2
沖縄県	255,417	1,115	44,950	3,155	49,220	4,855	54,075	105	656	54,836	4,571	59,407	26.3

（資料「農業振興地域土地利用要覧」）

図4-2 土地利用現況図



		凡 例	
農地	水田	[Vertical lines]	
	畑	普通畑	[Cross-hatch]
		果樹園 茶園・桑園	[Horizontal lines]
草地	利用草地	[Dashed lines]	
	未利用草地	[Stippled]	
林地	人工林	[Triangular pattern]	
	自然林	[Irregular pattern]	
宅地	集落及び市街地	[Solid black]	
その他	自衛隊、米軍基地	[Grid pattern]	
	公園、ゴルフ場	[Dotted]	
	湖沼、ダム	[Wavy lines]	
付加記号	国有林	[Dashed line]	
	国定公園	特別地域	[Dotted]
		普通地域	[Horizontal line]

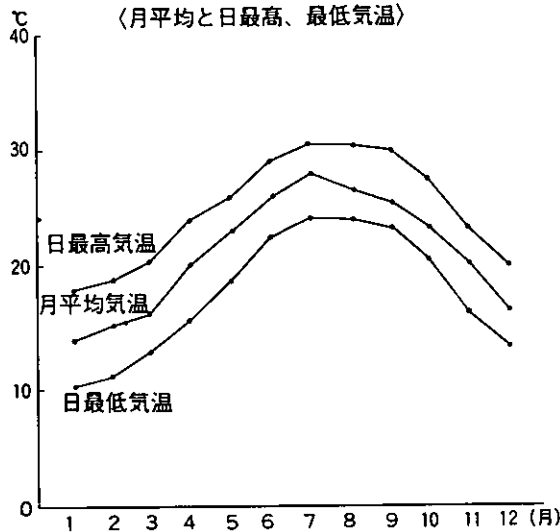
## 第5章 気象及び水質の概要

### 5-1 気 象

沖縄本島は黒潮の流れる太平洋に面し、冬期は比較的温和で、夏期の炎暑は海風によって和らげられ、寒暖の差が小さい亜熱帯海洋性気候で四季が比較的不明瞭である。

調査地域の年平均気温は21.5°C、日最高気温25.0°C、日最低気温は18.3°Cである。また月間降水量の平均は2,378.6mm、月間日照時間の平均値は2,004.2hであり、最寒日は1月、最暖日は7月で年湿度較差は11°C~13°C程度である。

図5-1 気 温



沖縄の四季の特徴は5月~9月中旬までは南の季節風で暖候期、10月~4月まではミーニシ（新北風）と呼ばれる季節風で寒候期となっている。また5、6月は雨期で本土の梅雨期に相当するが、年によっては「からつゆ」になることがあり、夏期にも長期間の干天が続くのがしばしばあり干ばつとなる。この時期は台風が多く災害を受けることも多い。10月、11月は涼風を覚えしのぎやすい時期であるが、台風の来襲もあり、雨量も比較的多い。12、1、2月は最も寒い時期で最低気温は10°C内外である。また、ミーニシが吹き出し雨天日数が多く陰鬱な天気が多いが、3月になると温和な気候となる。

降水量については山地形が多い多野岳、久志岳や嘉津宇岳、八重岳などの山地では年2,000 mには達しない。

本調査地域の年平均雨量は1,800～2,600mm程度である。また、月別の降雨量は図5-3に示すように5月～8月が多く、11月～4月が少ない。

表5-1 気象概況

<気温, 降水量, 日照時間>

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	月平均
月平均気温(°C)	14.8	15.3	16.9	20.4	23.1	25.8	27.7	27.4	26.2	23.5	20.2	16.6	21.5
日最高気温の月平均値(°C)	18.7	18.9	20.5	23.9	26.4	28.6	30.9	30.8	30.0	27.3	23.7	20.4	25.0
日最低気温の月平均値(°C)	11.3	11.7	13.3	16.9	19.9	23.3	24.9	24.5	23.0	20.2	16.9	13.0	18.3
月間降水量の平均値(mm)	120.6	120.6	143.2	160.0	265.6	335.4	237.4	316.2	184.6	233.3	142.3	114.2	2,378.6
月間日照時間の平均値(h)	108.9	111.5	123.6	157.2	160.8	184.5	260.0	239.4	213.7	180.7	136.5	127.3	2,004.2

資料:「名護測候所」

注:統計期間1967～1980

図5-2 本地域の等雨量線

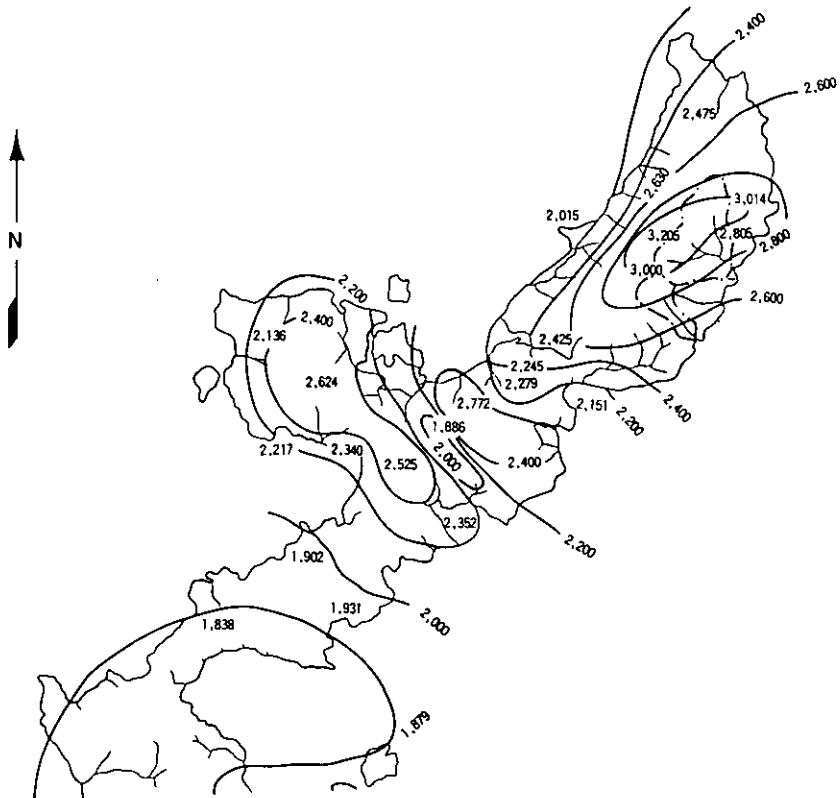
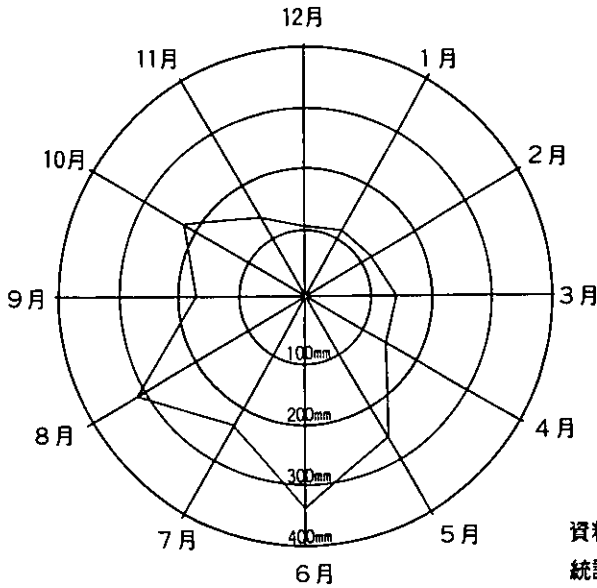


図5-3 月間降雨量



資料「名護測候所」  
統計期間1967～1980

## 5-2 水 質

### (1) 調査地域の環境基準の指定状況

中北部地域の公共用水域で水質汚濁に係る環境基準の指定を受けているのは河川では表5-2に

表5-2 水質汚濁に係る環境基準の水域類型指定状況

#### (1) 河 川

水 域 名	範 囲	水 域 類 型	利 用 目 的	達 成 期 間	環 境 基 準 点	指 定 年 月 日
北部西海岸 流入河川 (満名川)	伊野波川合流点から上流	A	農 業 用 水	□	伊野波川合流点	50. 3. 6
	伊野波川合流点から渡久地橋まで	B	環 境 保 全	□	渡久地橋下	"
漢 那 川	沖縄県企業局取水場跡から上流	A	水 道 用 水	イ	合流地点	51. 3. 18
羽 地 大 川	川上橋下せきより上流	A	水 道 農 業 用 水	イ	名護市取水点	"
我部祖 河川水 系	喜知留川合流点から上流	A	水 道 用 水	イ	石 橋	"
	喜知留川合流点から下流の奈佐田川合流点まで	D	農 業 用 水	□	奈佐田川合流点より上流100m	"
	奈佐田川全域	A	水 道 用 水	□	合流点より100m	"
汀 間 川	河口から三原小学校前堰堤まで	B	環 境 保 全	イ	嘉手苜橋上流200m	"
	三原小学校前堰堤から上流	A	水 道 用 水	イ	三原小中学校前堰堤上流50m	"



示すように、満名川(基準点2地点, 補助測定点1点), 漢那福地川(基準点1地点, 補助測定点1点), 羽地大川(基準点1地点, 補助測定点1点), 我部祖河川水系(基準点3地点, 補助測定点2点), 汀間川(基準点2地点, 補助測定点1点)の5水系7河川で基準点9地点, 補助測定6点である。

これらの環境基準の類型指定は満名川の伊野波川の合流点から上流, 漢那福地川, 羽地大川, 我部祖河川水系の喜知留川合流点から上流及び奈田川, 汀間川の三原小学校から上流まではA指定で満名川の伊野波川の合流点から下流, 汀間川の三原小学校から下流はB指定であり, 我部祖河川の喜知留川合流点から奈佐田川合流点まではD指定である。

この環境基準は, 人の健康保護に関する環境基準と生活環境の保全に関する環境基準があり, 人の健康保護に関する環境基準は, カドミウム, シアン等9項目からなり, 全公共水域の一律に定められ, 直ちに達成, 維持されるように努めるものとされている。生活環境の保全に関する環境基準は表5-3に示すとおり, pH, BOD, COD等7項目について河川, 湖沼, 海域毎に利水目的に応じた水域類型が設けられ, それぞれについて基準値が定められている。

表5-3 生活環境の保全に関する環境基準

(1) 河川(湖沼を除く。)

項目 類型	利用目的 の 適応性	基 準 値					該当水域
		水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	
AA	水道1級 自然環境保全及 びA以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以下	50MPN/ 100ml以下	第1の2の(2) により水域類 型ごとに指定 する水域。
A	水道2級 水産1級 浴 及びB以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MPN/ 100ml以下	
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/l以下	25mg/l以下	5mg/l以上	5,000MPN/ 100ml以下	
C	水産3級 工業用水1級及 び以下の欄に掲 げたもの	6.5以上 8.5以下	5mg/l以下	50mg/l以下	5mg/l以上	—	
D	工業用水2級 農業用水及びE の欄に掲げるも の	6.0以上 8.5以下	8mg/l以下	100mg/l以下	2mg/l以上	—	
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/l以下	ごみ等の浮遊 が認められな いこと。	2mg/l以上	—	
測定方法		規格12.1に定 める方法	規格21に定め る方法	付表6に掲げ る方法	規格32に定め る方法	最確数による 定量法	

(備考) 1. 基準値は, 日間平均値とする。(湖沼, 海域もこれに準ずる)

公共用水域のうち、自然的、社会的条件から判断して、県が条例で、上乘せ排水基準を定めることができ、中北部地域の河川では昭和52年に羽地大川水域、我部祖河川水域に設定されている。

環境水質監視河川の水質は、満名川は現状維持で上流のA類型、下流のB類型に指定されている。渡口橋、伊野波川合流点ともに環境基準は達成されている。

漢那川は、流域に殆ど汚濁源はないが、上流は米軍の野戦演習場となっているため、水質の経年変化では、56年度に一時悪化した但翌年度から回復し環境基準を達成している。

我部祖河川は本流の上流はA類型、中流はB類型、支流の奈佐田川はA類型になっている。水質の経年変化は奈佐田川合流前は達成しているが、その他の地域は達成されていない。

羽地大川は上流は汚濁源がない。しかし、下流から河口域沿岸に集中して養豚場があり、そこらの排水を受けて下流域は水質が悪化している。上流は環境基準を達成している。

汀間川は上流、下流とも水質は良好で環境基準を達成している。流域での公共用水域は金武湾、名護湾海域、羽地内海の3水域がA～Bの水域類型が指定されており、3海域とも水質は環境基準を達成している。

表5-4 生活環境の保全に関する環境基準

(2) 海 域

水域名	範 囲	水域類型	利用目的	達成期間	環 境 基 準 点	指 定 年月日
金 武 湾	海中道路、海中道路・東経127°56'、北緯26°22'・東経127°56'、北緯26°25'、東経128°の各点と金武岬を結ぶ線とその沿岸に囲まれた全域。	A	水産資源 水 浴	イ	北緯26°25'・東経127°58' 北緯26°25'・東経127°53' 北緯26°25'・東経127°50'30"	50. 3. 6
名 護 湾 海 域	武瀬名岬と名護市と本部町の境界を結ぶ線とその沿岸に囲まれた海域。	A	水産資源	ロ	北緯26°35'・東経127°59' 北緯26°34'・東経127°57' 東経127°54'海岸	50. 3. 6
羽地内海	沖繩本島沿岸、直線A <sub>1</sub> 、直線A <sub>2</sub> 、奥武島、屋我地大橋、屋我地島沿岸及び直線Bに囲まれた区域。	A	水 浴 水産資源	イ	北緯26°38'24"・東経128°00'45" 北緯26°39'25"・東経127°59'40"	57. 6. 3
	沖繩本島沿岸、奥武島、奥武島沿岸、直線A <sub>1</sub> 及び直線A <sub>2</sub> に囲まれた区域。	B	水産資源	ロ	北緯26°37'30"・東経128°01'39" 北緯26°38'48"・東経128°00'36"	

- (備考) 1. 水域類型の欄中A、B、C、D及びEは、河川に係るものにあつては、環境庁告示別表2の1の(1)の河川の表の類型、海域に係るものにあつては同告示別表2の2の海域の表の類型を示す。  
 2. 達成期間の分類は、次のとおりとする。  
 イは、直ちに達成  
 ロは、5年を越える期間ですみやかに達成  
 3. 羽地内海の直線  
 「直線A<sub>1</sub>」とは、奥武島南端から東経128度00分55秒と沖繩本島沿岸との交点(点イ)に引いた直線、「直線A<sub>2</sub>」とは、点イから北緯26度38分と沖繩本島沿岸との交点に引いた直線、「直線B」とは、北緯26度40分45秒と沖繩本島沿岸との交点と東経128度00分43秒と屋我地島との交点を結ぶ直線を示す。

图 5-4 环境水质监视调查水域测定地点图

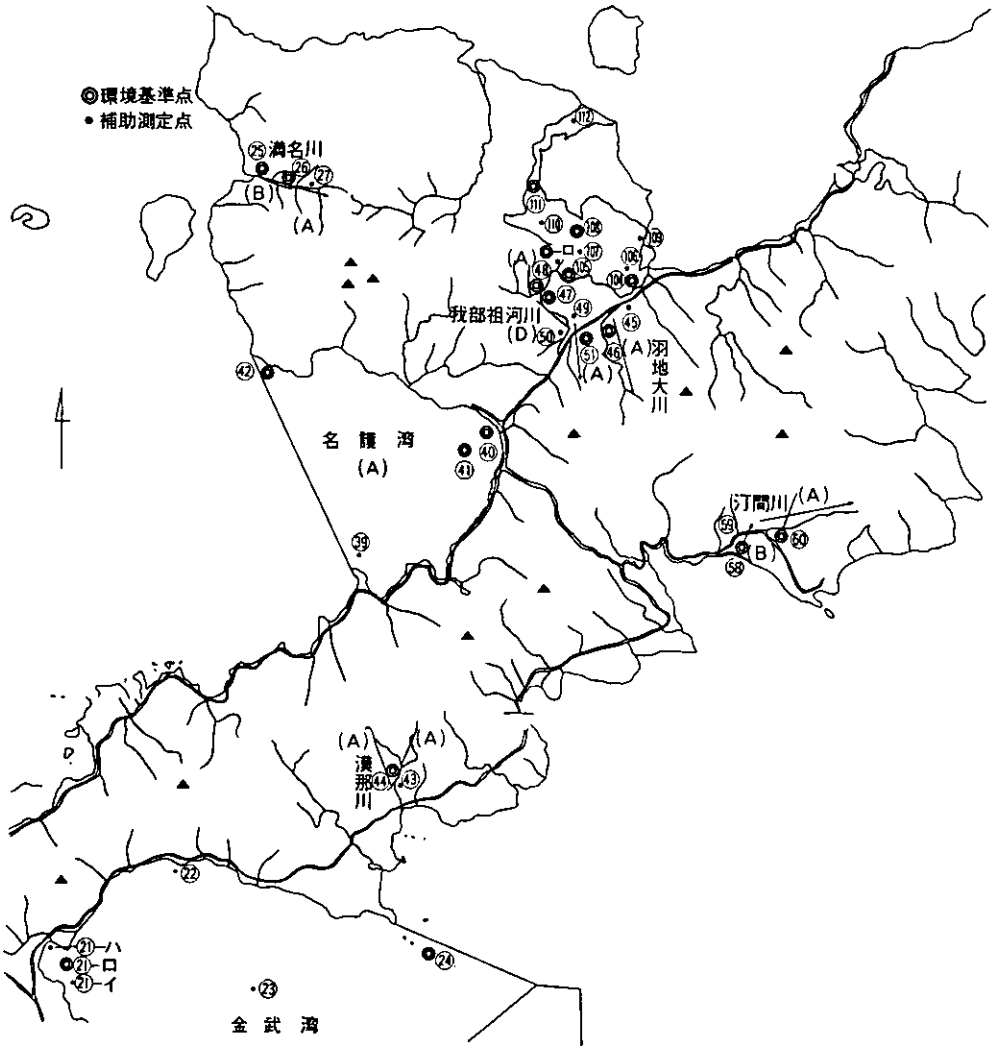


表 5-5 満名川の水質 (年平均値)

①渡口橋 ㊸

項 目	55 年	56	57	58	59	60
DH	7.6~8.2	7.7~8.2	7.9~8.3	7.8~8.5	7.4~8.1	7.7~8.4
BOD	1.6	2.3	1.9	1.7	1.5	1.2
COD						
SS	11	15	34	30	23	17
DO	6.5	7.0	7.1	7.0	6.2	7.0
大腸菌群数	$3.8 \times 10^4$	$4.5 \times 10^4$	$4.4 \times 10^4$	$8.8 \times 10^4$	$7.1 \times 10^4$	$7.3 \times 10^4$

②伊野波川合流点 ㊸

項 目	55 年	56	57	58	59	60
DH	7.4~7.8	7.4~8.2	7.8~8.3	7.7~8.2	7.4~8.1	7.5~8.6
BOD	1.3	1.2	1.2	2.0	1.4	1.3
COD						
SS	9	12	190	66	14	24
DO	7.0	7.8	8.2	8.3	7.8	8.7
大腸菌群数	$4.6 \times 10^4$	$3.8 \times 10^4$	$3.1 \times 10^4$	$4.4 \times 10^4$	$1.0 \times 10^5$	$4.9 \times 10^5$

表 5-6 漢那福地川の水質 (年平均値)

合流点 ㊸

項 目	55 年	56	57	58	59	60
DH	7.3~7.7	7.5~8.3	7.4~7.6	7.6~7.8	7.6~7.8	7.7~8.0
BOD	1.6	2.0	1.0	0.6	1.2	0.7
COD						
SS	12	6	3	5	9	5
DO	9.6	8.6	8.3	9.1	8.0	9.1
大腸菌群数	$4.5 \times 10^2$	$2.8 \times 10^3$	$4.8 \times 10^2$	$1.0 \times 10^4$	$2.5 \times 10^3$	$6.8 \times 10^2$

取水点跡 ㊸

項 目	55 年	56	57	58	59	60
DH	7.6~8.6	7.4~7.6	7.4~8.3	7.3~8.2	7.6~8.0	7.3~8.2
BOD	1.3	2.3	1.1	0.7	1.6	1.0
COD						
SS	7	7	4	5	5	6
DO	9.4	9.1	8.5	8.5	8.4	8.7
大腸菌群数	$1.0 \times 10^3$	$1.4 \times 10^3$	$3.7 \times 10^2$	$6.8 \times 10^3$	$5.0 \times 10^3$	$6.6 \times 10^2$

表 5-7 羽地大川の水質 (年平均値)

河口から 300 m ㊤

項 目	55 年	56	57	58	59	60
PH	7.3~8.0	7.2~7.9	7.3~9.0	7.5~8.0	7.4~8.0	7.5~7.9
BOD	8.4	11	7.6	4.0	2.4	3.9
COD						
SS	8	13	35	13	15	12
DO	5.1	3.0	6.6	5.5	5.8	5.9
大腸菌類	$1.1 \times 10^6$	$2.6 \times 10^6$	$7.6 \times 10^6$	$6.0 \times 10^6$	$2.8 \times 10^5$	$1.3 \times 10^6$

名護市取水点 ㊦

項 目	55 年	56	57	58	59	60
PH	7.4~7.7	7.2~7.8	7.1~7.7	7.5~7.8	7.3~7.6	7.1~7.8
BOD	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7
COD						
SS	1	3	8	2	3	2
DO	8.6	8.1	8.0	8.3	8.1	8.3
大腸菌類	$9.3 \times 10^3$	$3.0 \times 10^3$	$3.3 \times 10^3$	$3.7 \times 10^3$	$1.2 \times 10^4$	$2.2 \times 10^4$

表 5-8 我部祖河川の水質 (年平均値)

奈佐田川合流前 ㊧

項 目	55 年	56	57	58	59	60
PH	7.1~7.8	6.7~7.5	6.9~7.6	7.0~7.7	7.7~7.9	7.2~7.6
BOD	8.6	8.3	17	25	5.6	9.9
COD						
SS	7	9	34	17	19	16
DO	2.5	3.1	3.5	3.0	3.6	3.8
大腸菌類	$1.9 \times 10^5$	$2.6 \times 10^5$	$2.8 \times 10^5$	$3.2 \times 10^5$	$1.7 \times 10^6$	$1.3 \times 10^5$

奈佐田川 ㊨

項 目	55 年	56	57	58	59	60
PH	6.9~7.9	6.7~7.8	6.5~7.4	7.2~8.5	7.1~7.7	6.9~7.4
BOD	0.7	0.9	0.8	1.2	1.7	3.4
COD						
SS	10	4	21	13	7	9
DO	8.1	7.4	7.4	9.2	8.0	7.8
大腸菌類	$2.2 \times 10^4$	$1.4 \times 10^4$	$4.9 \times 10^3$	$1.9 \times 10^4$	$1.9 \times 10^5$	$1.4 \times 10^5$

深川川 ㊟

項目	55年	56	57	58	59	60
PH	7.2~7.7	7.0~7.4	7.0~7.5	6.8~7.6	7.3~7.7	7.3~7.7
BOP	11	14	19	52	14	8.7
COD						
SS	4	8	49	51	15	8
DO	2.1	2.0	1.7	2.5	2.6	3.9
大腸菌類	$1.2 \times 10^6$	$2.3 \times 10^5$	$1.1 \times 10^5$	$2.2 \times 10^6$	$7.8 \times 10^6$	$2.5 \times 10^5$

石橋

項目	55年	56	57	58	59	60
PH	7.2~7.9	6.8~7.7	7.1~9.3	7.3~8.0	7.3~7.8	7.3~8.0
BOP	3.6	5.9	3.2	3.6	2.2	2.5
COD						
SS	11	7	77	100	16	8
DO	4.7	4.0	5.9	7.1	6.3	6.8
大腸菌類	$1.2 \times 10^5$	$3.1 \times 10^5$	$5.9 \times 10^4$	$2.2 \times 10^5$	$5.5 \times 10^5$	$9.8 \times 10^4$

表5-9 汀間川の水質 (年平均値)

嘉手苜橋上流 200 m ㊟

項目	55年	56	57	58	59	60
PH	8.0~8.4	7.4~8.3	7.8~8.1	8.0~8.4	7.7~8.3	7.9~8.4
BOP	1.7	1.0	2.1	1.4	1.0	1.0
COD						
SS	12	12	14	13	8	11
DO	7.8	7.2	7.5	7.0	6.2	6.8
大腸菌類	$1.1 \times 10^3$	$3.6 \times 10^5$	$2.1 \times 10^2$	$1.2 \times 10^4$	$8.7 \times 10^3$	$3.6 \times 10^4$

三原小中学校前上流 ㊟

項目	55年	56	57	58	59	60
PH	7.5~7.7	7.3~7.6	7.6~8.1	7.0~7.7	7.3~7.9	7.5~7.9
BOP	0.7	2.0	1.0	0.6	0.7	0.7
COD						
SS	8	6	3	5	3	3
DO	9.3	9.0	8.0	7.0	7.4	8.5
大腸菌類	$1.0 \times 10^5$	$1.5 \times 10^3$	$4.6 \times 10^2$	$1.3 \times 10^4$	$9.7 \times 10^3$	$1.2 \times 10^4$

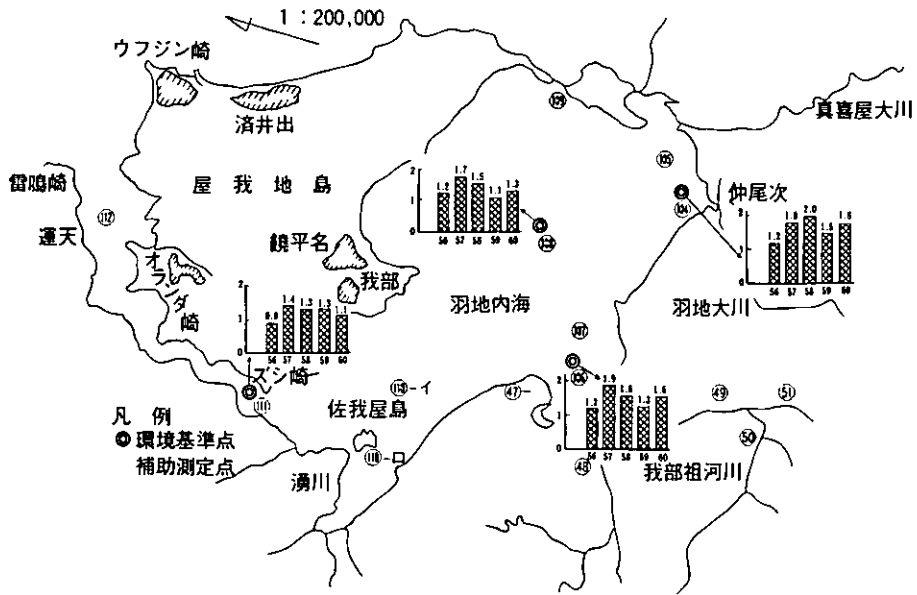


図 5-5 羽地内海のCOD平均値の経年変化

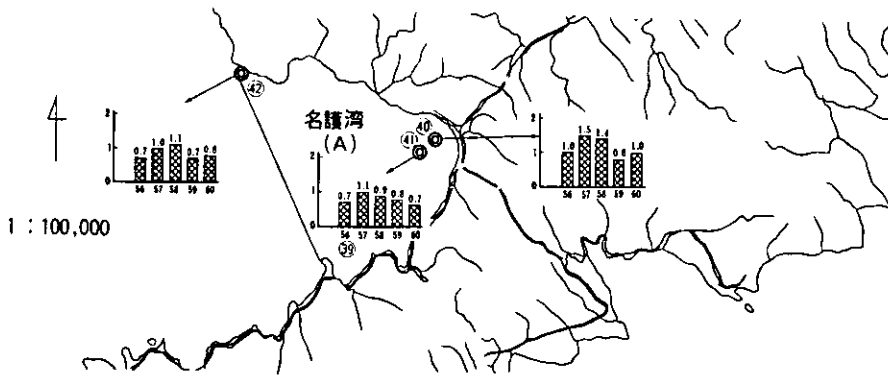


図 5-6 名護湾海域のCOD平均値の経年変化

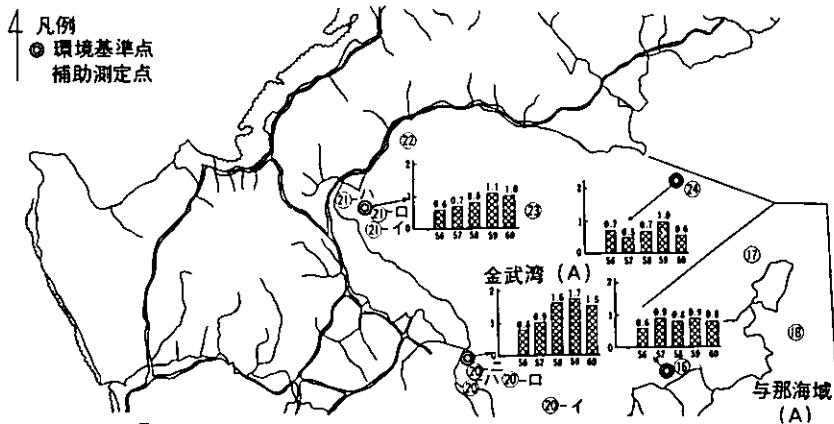


図 5-7 与勝海域、金武湾海域のCOD平均値の経年変化

## 第6章 主要河川の利用状況

中北部地域の主要二級14河川の利水状況は表6-1に示すとおりである。これには羽地大川、漢那川の多目的ダムによるかんがい用水は含まれていないが羽地ダム、漢那ダムが完成すると羽地ダムからは国営羽地大川地区に最大83,830 m<sup>3</sup>/日、県営の漢那福地川沿岸の農地に最大12,000 m<sup>3</sup>/日がかんがい用水として取水される予定である。

### ① 農業用水

主要14河川の利水現況は農業用水が取水堰、固定ポンプ、簡易移動式ポンプなどによって63地点から取水が行われているが、昭和40年代までは河川沿には水田が多く、河川の数ヶ所に設置された取水堰から、共同で引水が行われていたが、近年は水田からサトウキビや野菜、花キに転作されたために農業用水の利水方法が異なってきた。

現在の農業用水の利水は頭首工や河川の水深が深いところから、沿岸に固定(仮小屋)の揚水ポンプ、移動式の揚水ポンプなどを使用して干雨期に各農家単位で取水を行っていることが一般的であるため、取水量は把握しにくい状況である。

### ② 生活用水

生活用水としては市町村が取水している上水道用水と各字単位で水道施設を持っている簡易水道用水がある。全般的に生活用水は上流、中流の河川の水質が良質でないために、水源は上流ないし、支流から取水が行われ、指定延長範囲からの生活用水の取水は行われていない。

上水道用水としては、本部町が満名川上流の湧水と支流笹原水源から5,120 m<sup>3</sup>/日の取水が行われ、また名護市は源河川、羽地大川、我部祖河川、幸地川の本流及び支流から10,600 m<sup>3</sup>/日の取水を行っている。

### ③ 工業用水

工業用水は源河川から北部製糖羽地工場が平均1,440 m<sup>3</sup>/日、大井川からは北部製糖今帰仁工場が平均2,376 m<sup>3</sup>/日が取水され、また、幸地川からオリオンビールが河川敷に堀井戸式によって伏流水を約2,000 m<sup>3</sup>/日程度取水している、その他に西屋部川も同じく河川沿いに堀井戸式によって、給油所の洗浄水として約20 m<sup>3</sup>/日の取水が行われ合計5ヶ所約5,836 m<sup>3</sup>/日の工業用水が二級河川より取水されている。



表6-1 主要2級河川水利現況

河川名	流域面積 km <sup>2</sup>	河川指定 延長 km	水利現況										計 取水 量 (平均) m <sup>3</sup> /日	
			生活用水			農業用水			工業用水			合計 取水 量 (平均) m <sup>3</sup> /日		
			水道		簡易水道		件数	取水 量 (平均) m <sup>3</sup> /日	かんがい面積 ha	取水 量 (平均) m <sup>3</sup> /日	件数			取水 量 (平均) m <sup>3</sup> /日
			件数	取水 量 (平均) m <sup>3</sup> /日	件数	取水 量 (平均) m <sup>3</sup> /日								
源河川			1	1,440	2	85	3	1,525	2	11.7	—	1	1,440	
羽地大川			1	6,000	—	—	1	6,000	5	99.9	—	—	—	
大井川			0	—	0	—	0	—	7	※	—	2	2,376	
我部祖河川			1	440	1	80	2	520	10	※	—	—	—	
屋部川					3	300	3	300	5	※	—	—	—	
西屋部川					3	115	3	115	3	※	—	1	20	
幸地川			4	2,720			4	2,720	1	※	—	1	2,000	
轟川					1	130	1	130	5	※	—	—	—	
汀間川					3	150	3	150	7	※	—	—	—	
満名川			3	5,120	1	280	4	5,400	5	※	—	—	—	
漢那福地川			—	—	—	—	—	—	1	※	—	—	—	
真謝川					4	180	4	180	4	16	—	—	—	
名醫真川					2	110	2	110	3	※	—	—	—	
新川					4	200	4	200	5	28	—	—	—	
計			10	15,720	24	1,630	34	17,350	63			5	5,836	

## 第 7 章 中北部地域における河川開発計画

### 7-1 長期水需計画

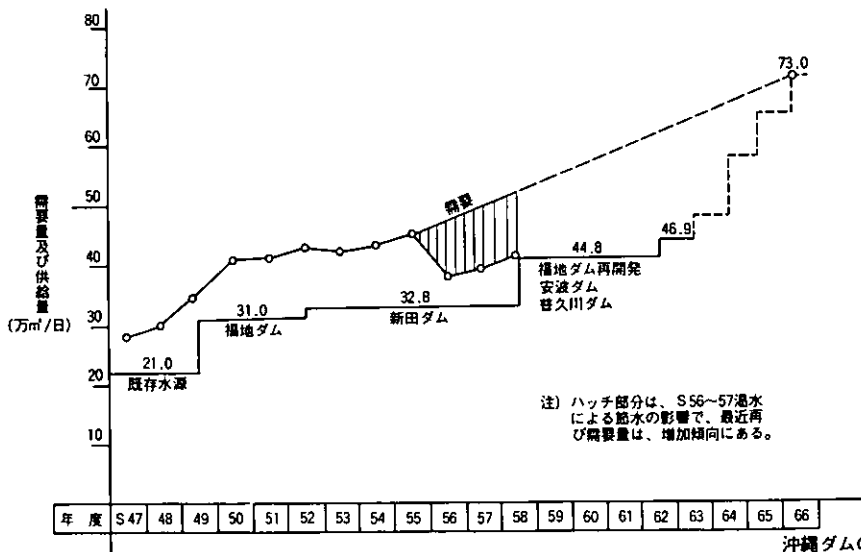
近年の人口の都市への集中や水洗トイレの普及などによって都市生活の高度化や生活様式の向上が進み、それに対応して年々水の需要量が増える状況にある。「沖縄県長期水需給計画調査報告書」(昭和55年度)によると、第二次沖縄振興開発計画の目標年次である昭和66年の都市用水の需要量は、1日当り約73万 $\text{m}^3$ に増大するものと予測している。

表7-1に示すように、現在の都市用水の安定供給量は、河川取水を今後10ヶ年間に安定的に最小限取水できる量と評価した場合に約45万 $\text{m}^3$ となっている。従って昭和66年度に水需要と供給のバランスをはかるためには、さらに約28万 $\text{m}^3$ の水供給施設が必要とされる。このため多目的ダムの建設を中心とした新規の水資源開発を行い水需給バランスをはかるよう計画されている。

表 7-1 昭和66年度水供給計画 (沖縄本島)

供 給 量								合 計	需 要 量
現 況				計 画					
企業局	市 町 村 自己水源	工 場 自己水源	国ダム	計	建設中の ダム等	予備調査中 のダム等	計	万 $\text{m}^3$ /日	万 $\text{m}^3$ /日
万 $\text{m}^3$ /日 15	万 $\text{m}^3$ /日 4	万 $\text{m}^3$ /日 2	万 $\text{m}^3$ /日 24	万 $\text{m}^3$ /日 45	万 $\text{m}^3$ /日 7	万 $\text{m}^3$ /日 21	万 $\text{m}^3$ /日 28	73	73

図 7-1 水需給計画 (沖縄本島)



注) ハッチ部分は、S56~57湯水による節水の影響で、最近再び需要量は、増加傾向にある。

沖縄ダムの事業概要  
 沖縄総合事務局 開発建設部  
 河川課資料

## 7-2 沖縄北部河川総合開発計画

沖縄総合事務局(国)では、第二次沖縄振興開発計画の目標年度である昭和66年度の都市用水の需要量は一日当たり約73万 $\text{m}^3$ に増大するものと予測している。

現在の都市用水の安定供給量は河川取水を10ヵ年で最低限とれる量と評価した時に約45万 $\text{m}^3$ となっている。昭和66年度に水需要と供給のバランスをはかるためには、さらに約28万 $\text{m}^3$ の水供給施設が必要とされる。このため、多目的ダムの建設を中心とした新規の水資源開発を行い、水需要バランスをはかる計画がなされている。

現在、洪水調節機能と水資源開発を兼ね備えた多目的ダムを福地ダム、新川ダム、喜久川ダム、辺野喜ダムの5ダムについて完成させている。特に水の安定供給に大きく寄与する水資源開発は、水が豊富で、しかも、ダム建設に適した地形が確保できる北部山岳地域に主として水源を頼らざるを得ない状況である。

本調査地域である中北部地域は、北部地域(前年調査地域)に次いで水が豊富で、しかもダム建設に適した地形であるため、多目的ダムを中心とする総合開発計画の調査が実施されている。

本地域には、河川総合開発事業で完成したダムはないが、建設中の多目的ダムとして羽地ダムと漢那ダムがあり、これらのダムの緒元は表7-2のとおりである。

図7-2 沖縄本島多目的ダム位置図

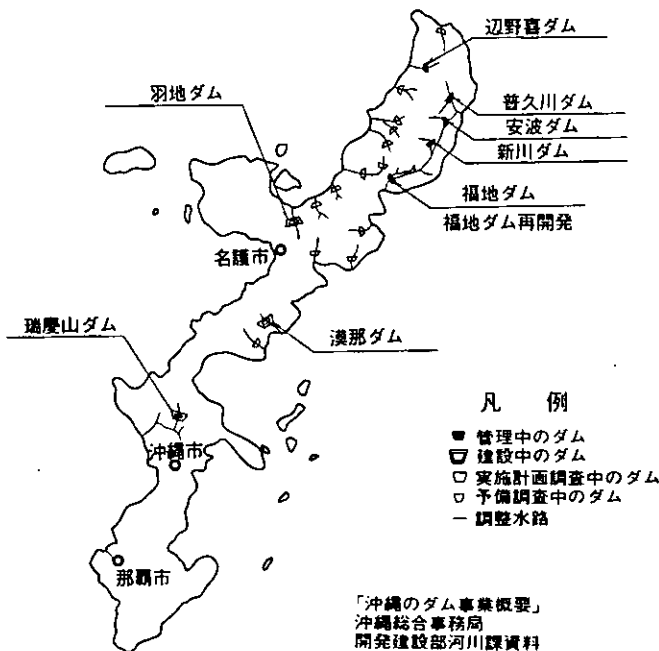


表7-2 多目的ダムの諸元

ダム名		羽地ダム	漢那ダム
河川名		羽地大川	漢那福地川
位置		名護市 字親川, 田井等	国頭郡宜野座村 字漢那
目的		F, N, A, W	F, N, A, W
ダム	型式	R	G
	堤高 (m)	66.5	41.0
	堤頂長 (m)	203.0	185.0
	堤体積 (10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> )	1,000	65
	非越流部標高 (ELm)	73.5	33.0
貯水	集水面積 (km <sup>2</sup> )	10.9	7.6
	湛水面積 (%)	1.15	0.55
	総貯水容量 (10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> )	19,800	8,200
	有効貯水容量 (%)	19,200	7,800
	洪水調節容量 (%)	3,600	1,150
	利水容量 (%)	15,600	6,650
池	サーチャージ水位 (ELm)	68.7	30.0
	常時満水位 (%)	65.0	27.8
	最低水位 (%)	33.0	7.1
洪水調節	計画高水流量 (m <sup>3</sup> /S)	300	200
	洪水調節流量 (%)	240	130
	最大放流量 (%)	80	90
用水供給	かんがい用水 (m <sup>3</sup> /日)	最大 83,800	最大 12,000
	水道用水 (%)	12,000	11,500
	工業用水 (%)	—	—
基本計画決定年月日 ( ): 変更		S 59. 9. 7	S 58. 3. 9
工期 (実調—建設—完成)		51, 56, (65)	53, 57, (63)

F : 洪水調節                      W : 水道用水                      G : 重力式コンクリートダム  
 N : 流水の正常な機能の維持      I : 工業用水                      C : 複合ダム  
 A : かんがい用水                      R : ロックフィルダム          E : アースフィルダム

本調査地域で建設中の羽地ダム、漢那ダムの概要は次のとおりである。

① 羽 地 ダ ム

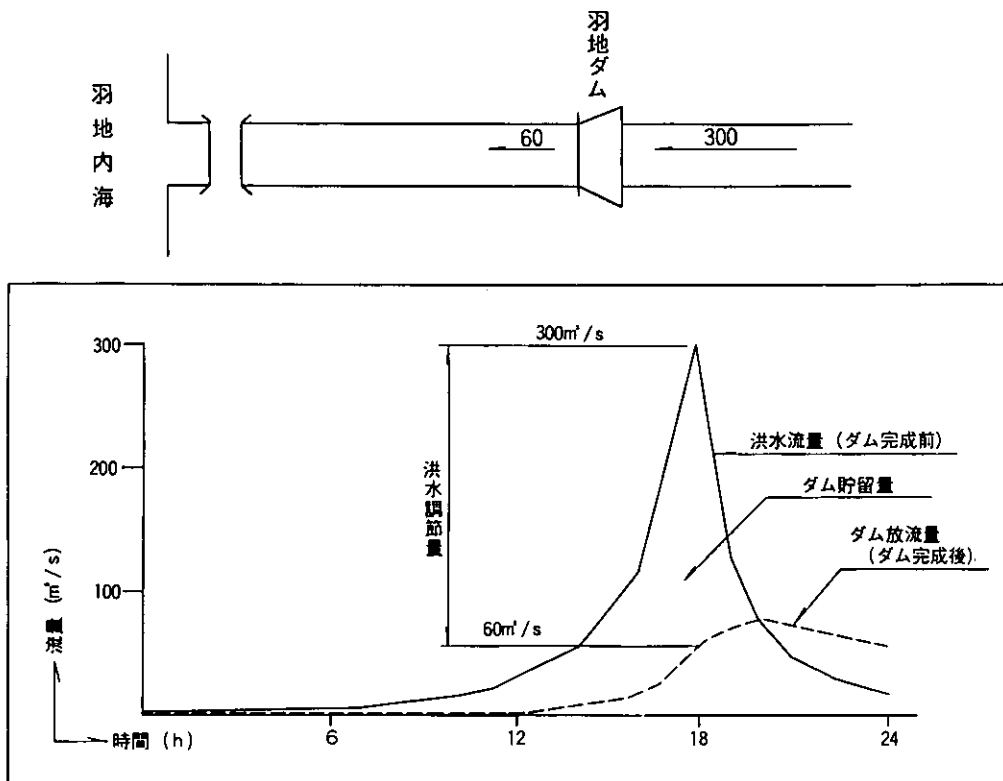
羽地ダムは、羽地大川水系、羽地大川に沖縄本島総合開発事業の一環として、建設されている多目的ダムである。

昭和47年度より予備調査を開始し、昭和51年度より実施計画調査に入り、現在までにダムサイドのボーリング調査、試掘横杭調査、関連事業(道路、排水)等が実施されている。

★洪水調節

羽地ダム地点の計画高水流量毎秒 300  $m^3/s$  のうち、毎秒 240  $m^3/s$  の洪水調節を行い、羽地大川沿川の被害の防除に努める。

図 7-3 計画高水流量配分図 (単位: $m^3/s$ )



★かんがい

国営羽地大川地区かんがい排水事業の農地に対して、かんがい用水の補給を行う。

★水 道

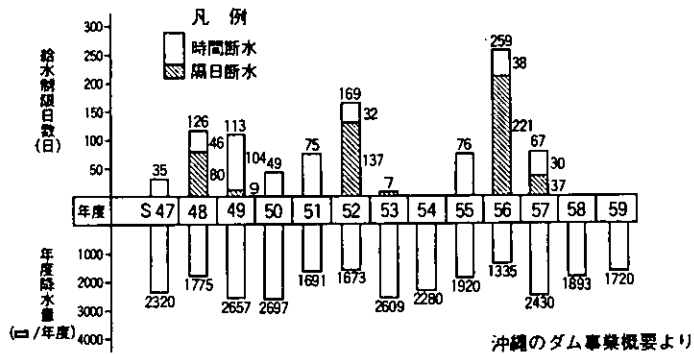
沖縄県に対して、ダム地点において、新たに1日最大 12,000  $m^3$  の水道用水の取水を可能にする。

### 7-3 西系列水源開発事業計画

#### (1) 県内の水需の特徴

沖縄本島では、昭和47年の本土復帰以来これまで給水制限の行われなかった年は昭和54年、昭和58年、昭和59年のわずか3回を数えるのみであった。この原因は水需要に対する供給施設の不備と県内河川の水量の変動が大きいことなどが必要取水ができないことなどが考えられる。県内の河川取水量は河川の流量が多い時には需要量をまかなうことが可能であるが、降雨が少なく渇水になると不足が生じ、給水制限を余儀なくされてしまうことになる。とりわけ昭和56年～57年には延べ326日及ぶ給水制限が行われたのは記憶に新しいところである。

図7-4 年度降水量と給水制限日数



#### (2) 水利用の現況

県内における昭和54年度の総水需要量は年間2.9億 $\text{m}^3$ でその内の50%以上の約1.5億 $\text{m}^3$ が生活用水である。これは全国平均の生活用水の占める率の約3倍という高い値を示している。また昭和50年に比べて都市用水需要量の伸びは約8%で、これは全国の伸び率0.1%と比べて著るしく高くなっている。

また、沖縄本道における水道の普及率は約98%で、全国平均（昭和56年91.9%）よりかなり高い水準にある。さらに昭和58年度の沖縄本島における年平均の1日当り使用量を見ると420千 $\text{m}^3$ /日

表7-3 用途別水需要の推移

(単位：億 $\text{m}^3$ /年)

地域区分	昭和50年					昭和54年					年平均伸び率(%)		
	都市用水			農業用水	合計	都市用水			農業用水	合計	都市用水		
	生活	工業	計			生活	工業	計			生活	工業	計
沖縄	1.1	0.3	1.4	1	2.4	1.5	0.4	1.9	1	2.9	8.1	7.5	7.9
全国	123	183	306	570	876	139	168	307	570	877	3.1	-2.1	0.1

(国土庁編21世紀の水需要)

(最大約 450 千 $\text{m}^3$ /日)となっており、これを1人当りの使用量に換算すると 372  $\ell$ /人・日となり  
 ほぼ全国平均と同じ量となっている。

(3) 水の供給施設

昭和59年度時点での生活用水と工業用水を併せた都市用水の供給施設としては、国管理の福地ダム、新川ダム、安波ダム、普久ダムの他県企業局管理の瑞慶山ダム、天願ダム、金武ダムと6河川の表流水を取水するポンプ場及び地下水場水施設がある。用水を供給する県企業局の水供給施設は図7-8に示すとおりである。

表7-4 沖縄本島の生活用水使用量の推移

項目 \ 年	S47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
最大	288	307	340	399	405	438	428	448	466	417	421	445
年平均	268	278	319	368	374	392	406	417	421	364	392	421

最大とは月最大時の日平均で示す

「企業局水量記録」・「沖縄県の水道」より

図7-5 水供給施設



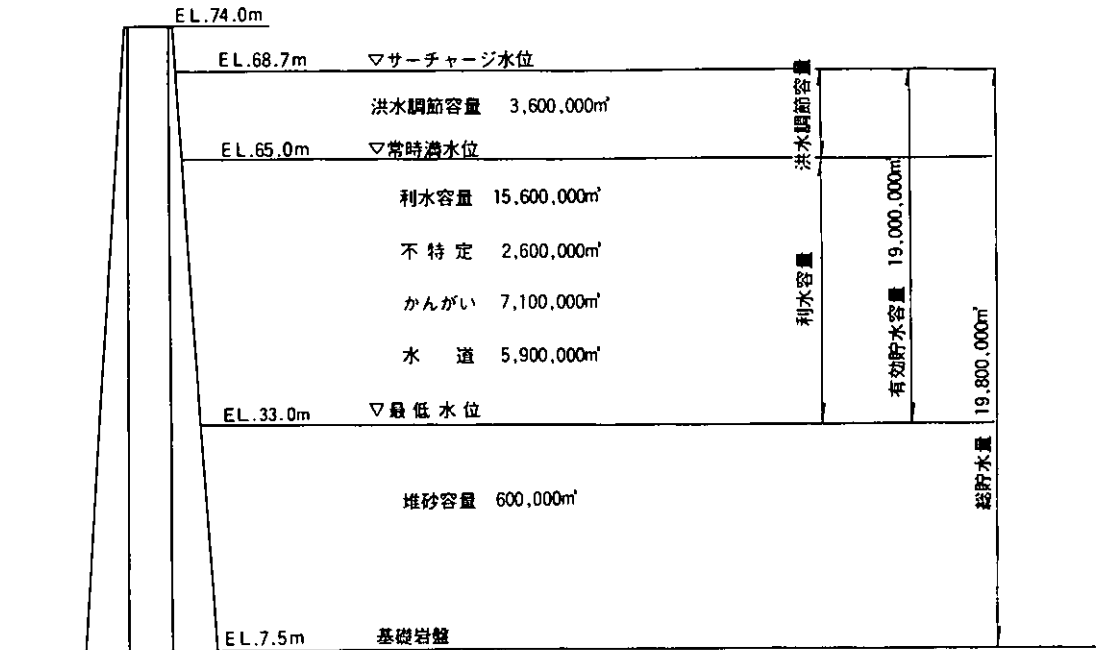
沖縄ダム事業の概要

水供給施設一覽表

水源名称		河川名	流域面積 ( $\text{km}^2$ )	施設能力 ( $\text{m}^3$ /日)
河川表流水	川崎ポンプ場	天願川	20.2	55,300
	比謝ポンプ場	比謝川	32.8	63,900
	大保ポンプ場	大保川	26.5	37,400
	平南ポンプ場	平南川	11.2	38,000
	源河ポンプ場	源河川	15.8	58,000
	長田ポンプ場	長田川	19.4	23,200
	福地	福地川		25,000
	小計		125.7	300,800
ダム	金武ダム	億首川	13.2	67,400
	天願ダム	天願川	2.6	17,400
	瑞慶山ダム	比謝川	4.7	22,100
	小計		20.5	106,900
	福地ダム	福地川	32.0	100,000
	新川ダム	新川川	7.4	18,000
安波ダム	安波川	22.5	27,000	
普久川ダム	普久川	8.9	75,000	
小計		70.8	220,000	
地下水(湧水)	嘉手納井戸群			48,600
合計			217.0	676,300

◎ 施設能力は安定供給可能量ではない。

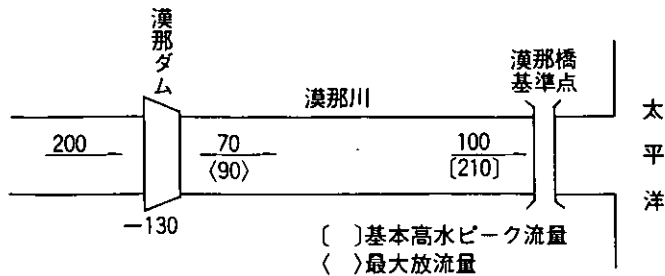
図 7-6 貯水池容量配分図



② 漢那ダム

漢那ダムは漢那福地川の河口より約1kmの地点に建設されている多目的ダムで、昭和48年度より沖繩本島の河川総合開発事業の一環として諸調査を始め、昭和53年度より実施計画調査に着手し、昭和57年度には建設事業となり、現在ダムサイドが建設中である。

図 7-7 計画高水流量配分図 (単位:m<sup>3</sup>/s)



★ 洪水調節

ダム地点の計画高水流量 200 m<sup>3</sup>/sのうち、130 m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行い、漢那福地川下流部の洪水の低減を図る。



★ かんがい用水

県営の漢那福地川沿岸のかんがい排水事業 203haの農地に対し、専用の施設を新設して、最大 0,139  $\text{m}^3/\text{s}$ の取水を可能にする。

★ 水道用水

沖縄県に対し、ダム地点において、新たに一日最大11,500  $\text{m}^3/\text{s}$ の水道用水の取水を可能にする。

図 7-8 漢那ダム洪水調節図

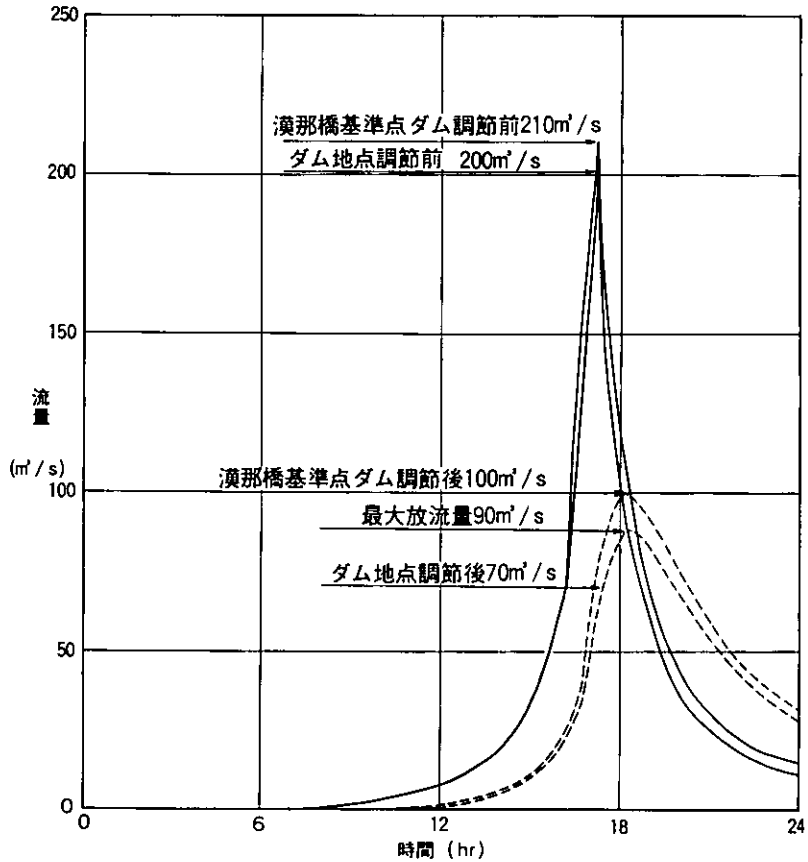
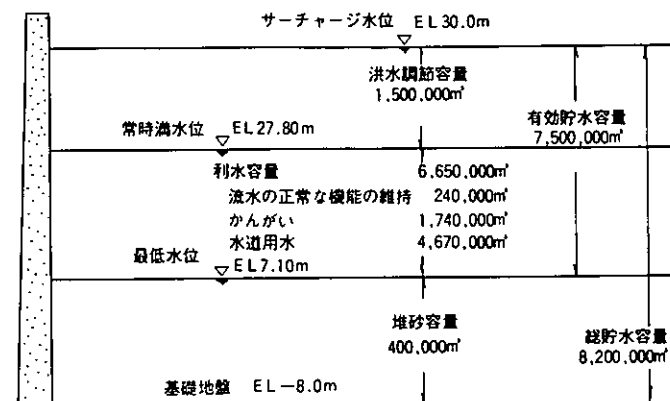


図 7-9 貯水池容量配分図



(4) 西系列水資源開発事業計画

沖縄本島北部の多目的ダムの開発は国直轄事業として建設が進められ、現在までに福地ダム、新川ダム、普久川ダム、安波ダム、辺野喜ダムの5多目的ダムが完成している。昭和66年度までには建設中の羽地ダム、漢那ダムが完成の予定であり、さらにいくつかのダム建設が計画されているが、これらのダムが完成してもなお水源、水量は不足が予測されることから、県(企業局)では、国によるダム開発と並行して新規の水源開発を行う、西系列水源開発事業として進められている。

この事業は、沖縄本島北部西系列の中小13河川から豊水時の余剰水を取水し、再開発される瑞慶山ダムに貯留して、水の安定確保を図るために計画されているもので、昭和55年度から事業が着手されている。この計画の調査地域の概要は図7-10に示すとおりである。

本調査地域の取水河川としては、我部祖河川、満名川、西屋部川、名嘉真川の5カ所に計画がなされ、満名川はすでに取水施設が完成している。

図 7-10 西系列水源開発一覽図

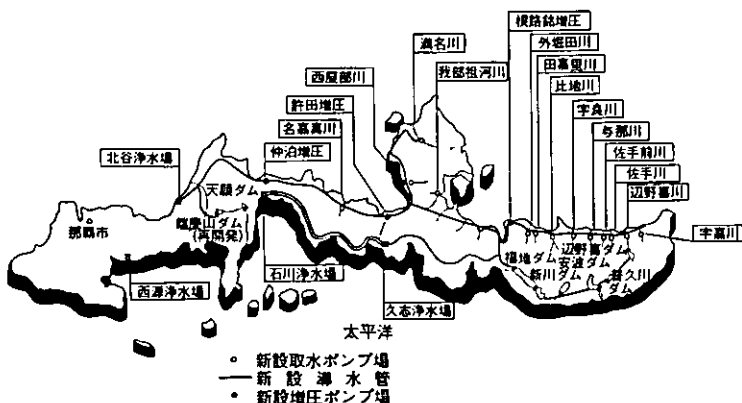
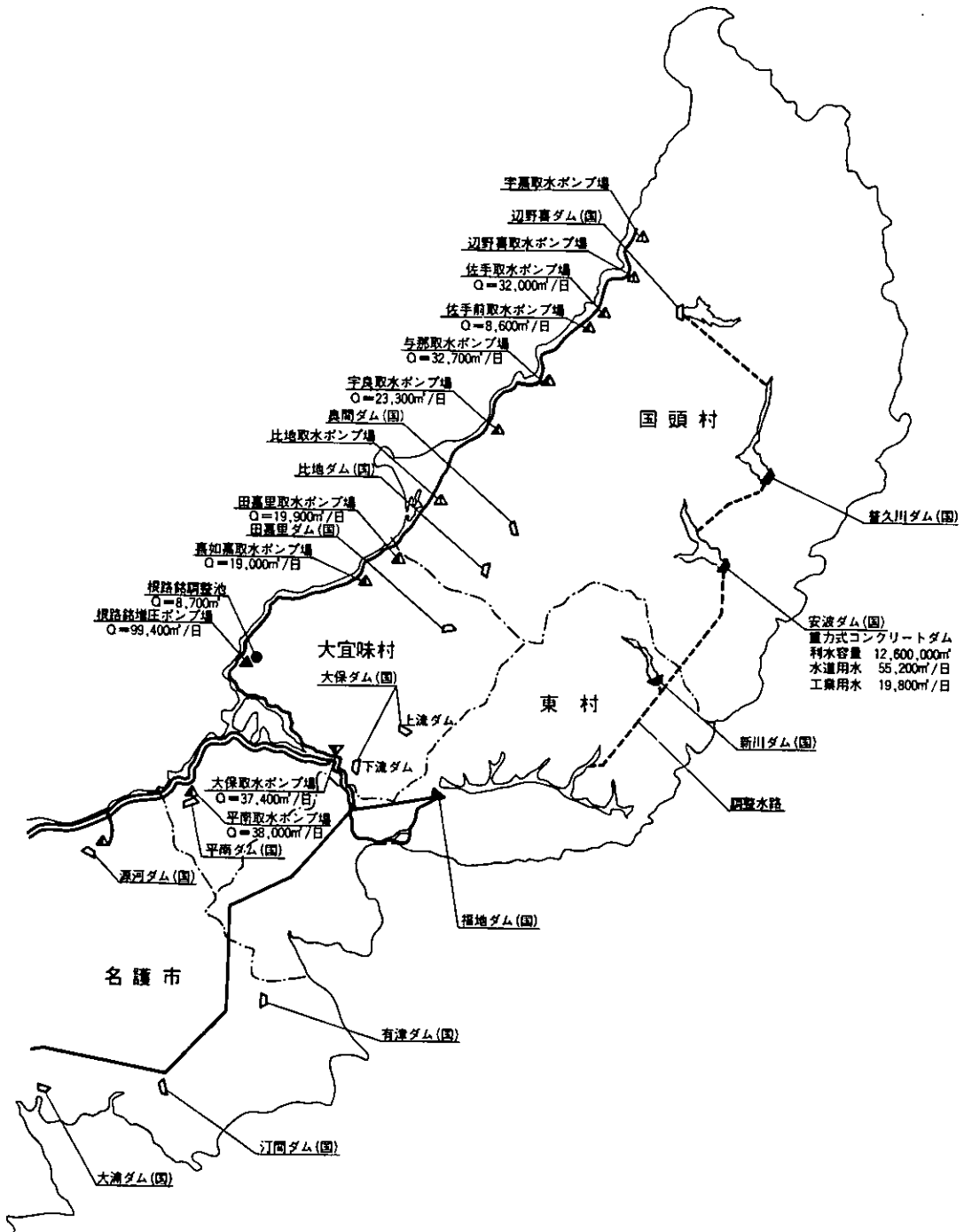


図 7-11 西系列水源開発事業



## 第 8 章 水害危険カ所と洪水概要

### 8-1 水害危険カ所

中北部地域の重要水防区域の河川は全市町村で11水系，12河川，13地域の二級河川が指定されている。二級河川以外の危険と予想される区域としては，世富慶川が指定されており，また，海岸の重要水防区域としては，4地域12海岸が指定されている。

土石流による危険が予想される区域として二級河川の支流，小規模河川など48区域が指定されている。地域別の水害危険カ所を示すと図8-1，図8-2，図8-3のとおりである。これを，市町村別にみると，今帰仁村の重要水防区域は河川1カ所，土石流による危険地域が4カ所である。本部町は重要水防区域の河川2カ所，海岸1カ所，土石流による危険地域19カ所となっている。名護市は重要水防区域の河川が9カ所，海岸5地域，河川で重要水防区域外で危険と予想される河川1カ所，土石流による危険地域が18カ所となっている。

恩納村は重要水防区域の河川で1カ所，海岸が5カ所，土石流による危険地域が7カ所となっており，宜野座村は重要水防区域として海岸の潟原地区が指定されているのみである。金武町は重要水防区域及び土石流による危険が予想される区域の指定はない。

図 8-1 今帰仁村・本部町水害危険力所

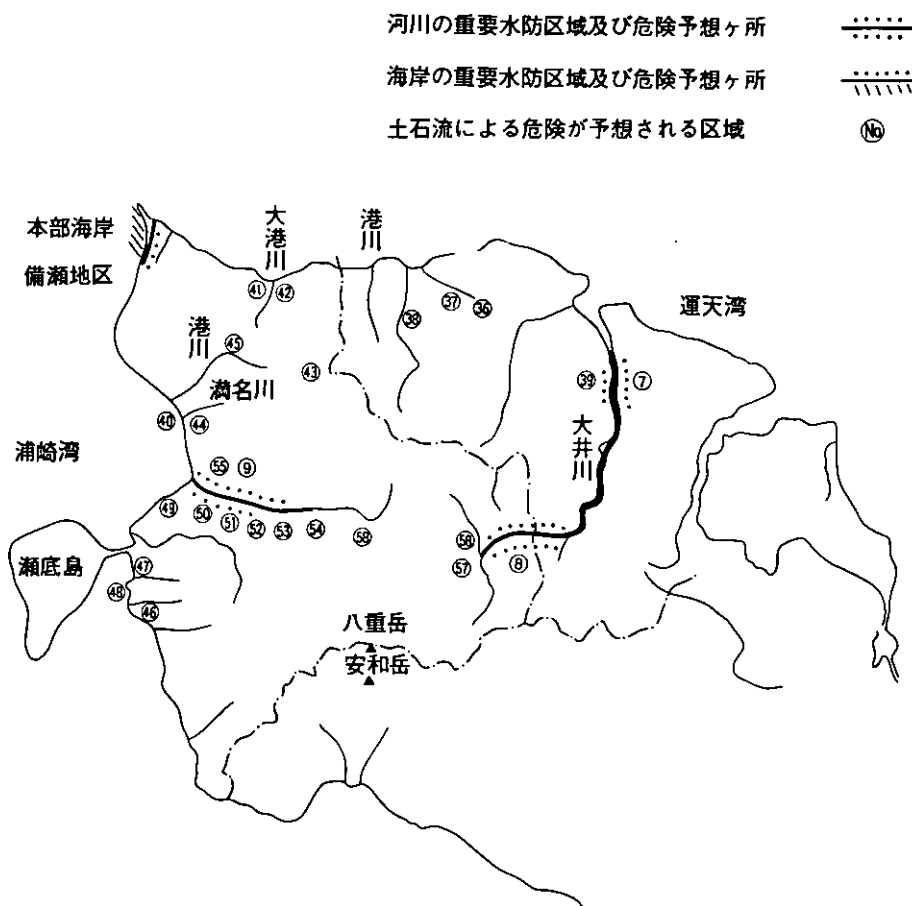


表 8-1 重要水防区域及び危険予想箇所 (河川)

(昭和58年4月1日現在)

所轄土木 事務所名	水防管理 団体名	番号	水系名	河川名	重要水防区域		危険と予想される主な区域		予想 される 危険	予想される被害の程度			
					流路 延長 (km)	区 域	流路 延長 (km)	区 域		家屋 (棟)	耕地 (ha)	人口 (人)	面積 (ha)
北 部	本部町	9	瀧名川	瀧名川	2.6	本部町並里～渡久地	1.5	本部町並里～渡久地	溢水	496	49.4	1,530	87.2
〃	今帰仁村	7	大井川	大井川	4.7	本部町村界～河口	2.2	今帰仁村仲宗根、 具我山	溢水	350	37.9	1,060	77.2
〃	本部町	8	〃	〃	1.5	本部町伊豆味～ 今帰仁村界	1.0	本部町伊豆味	溢水	59	6.5	180	10.6

表 8-2 重要水防区域及び危険予想箇所 (海岸)

(昭和58年4月1日現在)

所轄土木 事務所名	水防管理 団体名	番号	沿岸名	海岸名	重要水防区域		危険と予想される主な区域		予想 される 危険	予想される被害の程度		
					延長 (m)	区 域	延長 (m)	区 域		家屋 (棟)	耕地 (ha)	面積 (ha)
北 部	本部町	3	琉球諸島	本部海岸	1,020	備瀬地区	933	備瀬地区	越波	92	0.4	—

表 8-3 土石流による危険が予想される区域

所轄土木 事務所名	水防管理 団体名	番 号	水系名	河川名	溪流名	位 置			流域 面積 (km <sup>2</sup> )	流 路 延長 (km)	予想される被害の程度		
						都 市	町 村	字			人家所数 (戸)	公 共 施設等	耕地面積 (ha)
北 部	今帰仁村	36	諸志川①	諸志川①		国 頭	今帰仁村	諸 志	0.05	0.15	7		0.4
◇	◇	37	諸志川②	諸志川②		◇	◇	◇	0.65	0.62	10		8.4
◇	◇	38	上原川	上原川		◇	◇	上 原	0.55	0.93	16		
◇	◇	39	大井川	大井川	左支川	◇	◇	前 原	0.19	0.55	5		
◇	本部町	40	浜元川	浜元川	浜元川	◇	本部町	赤 道	0.80	0.52	17		2.4
◇	◇	41	港 川	港 川	左支川	◇	◇	底名原	0.75	0.15	42		5.1
◇	◇	42	片瀧原川	片瀧原川		◇	◇	片瀧原	0.17	0.15	11		3.3
◇	◇	43	港 川	港 川	左支川	◇	◇	東大堂	0.07	0.14	5		
◇	◇	44	浜元川	浜元川	左支川	◇	◇	中 原	0.08	0.05	5		
◇	◇	45	港 川	港 川	左支川	◇	◇	島 原	0.25	0.35	7		
◇	◇	46	崎本部川	崎本部川	崎本部川	◇	◇	崎本部原	0.21	0.31	23		4.0
◇	◇	47	石川原川	石川原川		◇	◇	石川原	0.22	0.14	24		4.8
◇	◇	48	健 堅 川	健 堅 川	健 堅 川	◇	◇	健 堅	0.38	0.20	14		8.4
◇	◇	49	兼 久 川	兼 久 川		◇	◇	兼 久	0.20	0.08	24		4.4
◇	◇	50	瀧名川	瀧名川	左支川	◇	◇	北 原	0.09	0.38	33		2.0
◇	◇	51	◇	◇	◇	◇	◇	東	0.10	0.23	15		2.6
◇	◇	52	◇	尻無川	尻無川	◇	◇	理 地	0.60	0.03	12		1.1
◇	◇	53	◇	チベシ川	チベシ川	◇	◇	千 葉 石	0.12	0.05	7		2.2
◇	◇	54	◇	笹 川	笹 川	◇	◇	福 地	0.04	0.21	5		0.7
◇	◇	55	◇	ウナジャ ラ川	ウナジャ ラ川	◇	◇	泉 河	0.09	0.05	11		2.1
◇	◇	56	大井川	村 川	村 川	◇	◇	下大根作	0.37	0.24	7		8.1
◇	◇	57	◇	大井川	右支川	◇	◇	前 田	0.80	0.62	21		17.6
◇	◇	58	瀧名川	瀧名川	左支川	◇	◇	千 葉 石	1.20	0.95	6		32.6

図8-2 名護市水害危険カ所

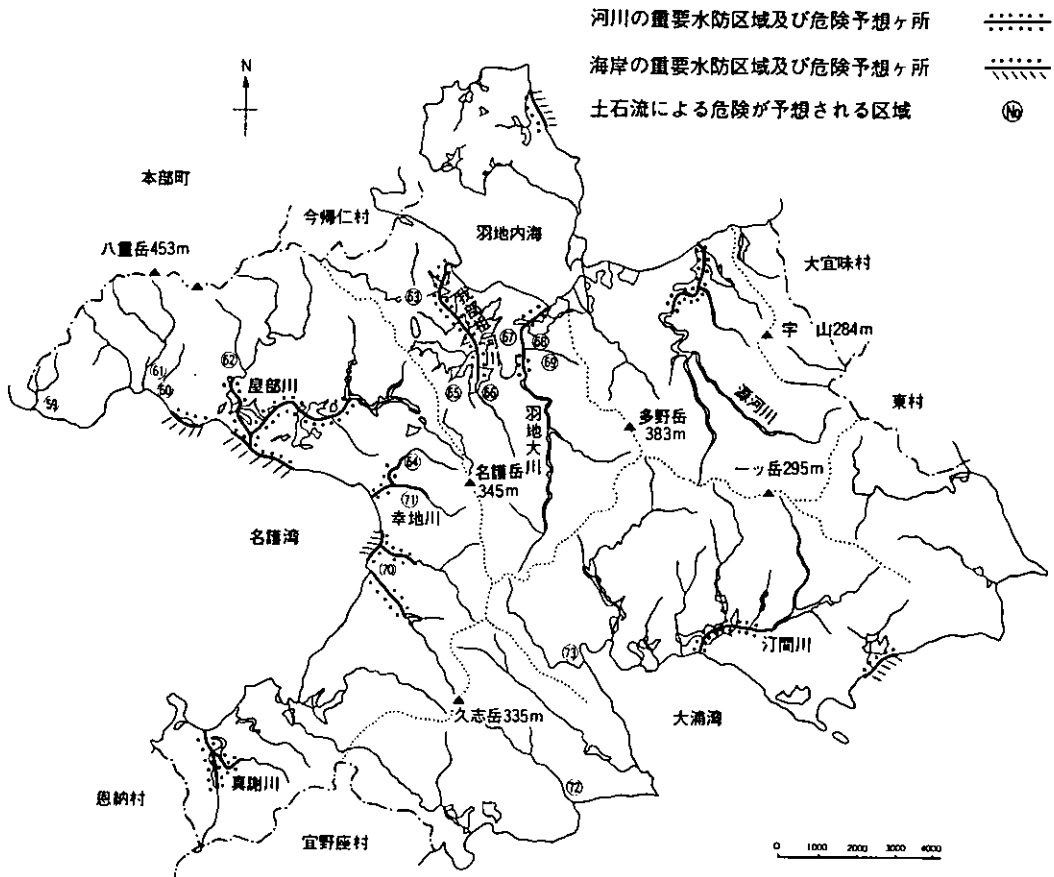


表8-4 重要水防区域及び危険予想箇所(河川)

(昭和58年4月1日現在)

所轄土木 事務所名	水防管理 団体名	番 号	水系名	河川名	重要水防区域		危険と予想される主な区域		予 想 さ れ る 危 険	予想される被害の程度			
					流 路 延 長 (km)	区 域	流 路 延 長 (km)	区 域		家 屋 (棟)	耕 地 (ha)	人 口 (人)	面 積 (ha)
北 部	名 護 市	10	羽地大川	羽地大川	1.8	名護市川上～河口	1.7	名護市川上	溢 水	372	42.7	1,430	63.7
・	・	11	源河川	源河川	1.9	・ 源河～河口	1.1	・ 源河	・	264	28.5	1,010	48.1
・	・	12	真謝川	真謝川	1.8	・ 喜瀬～河口	0.9	・ 喜瀬	・	132	25.2	500	34.6
・	・	13	森 川	森 川	1.0	・ 数久田～河口	0.3	・ 数久田	・	96	0.6	370	10.5
・	・	14	幸地川	幸地川	1.4	・ 名護～河口	0.8	・ 名護	・	360	2.1	1,380	24.0
・	・	15	屋部川	屋部川	5.0	・ 宮里～河口	1.0	・ 宮里	・	613	160.1	2,350	203.3
・	・	16	・	西屋部川	2.0	・ 屋部～ 屋部川合流点	0.7	・ 屋部	・	589	33.7	2,250	74.7
・	・	17	汀間川	汀間川	3.5	汀間川砂防ダム～ 河口	1.7	・ 三原	・	74	38.6	1,285	56.2
・	・	18	我部祖 河	我部祖 川	3.6	名護市伊差川～ 河口	2.5	・ 我部祖河～ 山田	・	348	133.9	1,330	166.4

表8-5 重要水防区域及び危険予想箇所（海岸）

（昭和58年4月1日現在）

所轄土木 事務所名	水防管理 団体名	番号	沿岸名	海岸名	重要水要区域		危険と予想される主な区域		予想 される 危険	予想される被害の程度		
					延長 (m)	区 域	延長 (m)	区 域		家屋 (棟)	耕地 (ha)	面積 (ha)
北 部	名 護 市	4	琉球諸島	名護海岸	7.115	字茂佐、屋部、山入端、 済井出、嘉陽地区	5.430	字茂佐、屋部、山入端、 済井出、嘉陽地区	越 波	1,071	38.6	6.4

表8-6 重要水防区域外で危険と予想される区域（河川）

（昭和58年4月1日現在）

所轄土木 事務所名	水防管理 団体名	番号	沿岸名	海岸名	流 路 延長 (km)	区 域	危険と予想される主な区域		予想 される 危険	予想される被害の程度			
							流 路 延長 (km)	区 域		家屋 (棟)	耕地 (ha)	人口 (人)	面積 (ha)
北 部	名 護 市	4	世高慶川	世高慶川	1.24	河口上流より1.24km ~河口	0.3	名護市世慶田	溢 水	26	0.5	101	2.1

表8-7 土石流による危険が予想される区域

（昭和58年4月1日現在）

所轄土木 事務所名	水防管理 団体名	番号	水系名	河川名	溪流名	位 置			流 域 面積 (km <sup>2</sup> )	道 路 延長 (km)	予想される被害の程度		
						部 市	町 村	字			人家戸数 (戸)	公 共 施設等	耕地面積 (ha)
北 部	名 護 市	59	塩 川	塩 川	塩 川	名 護 市		部 間	1.15	0.51	7		14.2
＊	＊	60	安和前川	安和前川	右支川	＊		安 和	0.18	0.36	8		1.7
＊	＊	61	＊	＊	安和内川	＊		＊	0.70	0.36	23		7.8
＊	＊	62	西屋部川	旭道越川	旭道越川	＊		道 越	1.73	2.22	14		21.4
＊	＊	63	我部祖河	奈佐田川	奈佐田川	＊		古 我 和	0.18	0.07	15		2.3
＊	＊	64	幸地川	幸地川	左支川	＊		大 東	0.32	0.28	5		4.2
＊	＊	65	我部祖河	喜知留川	喜知留川	＊		大 北	1.07	0.41	8		12.1
＊	＊	66	＊	我部祖河	右支川	＊		山 田	0.12	0.55	6		1.3
＊	＊	67	羽地大川	羽地大川	右支川	＊		川 上	1.00	1.25	7		13.7
＊	＊	68	源河川	桃原川	右支川	＊		源 部	0.09	0.57	7		1.0
＊	＊	69	＊	＊	右支川	＊		源 可	0.75	0.67	13		9.5
＊	＊	70	轟 川	轟 川	右支川	＊		敷 久 田	0.12	0.13	9		1.6
＊	＊	71	幸地川	幸地川	左支川	＊		東 江	0.33	0.85	15		4.2
＊	＊	72	辺野古川	辺野古川		＊		辺 野 古	0.04	0.17	5	国 道	0.4
＊	＊	73	スギンダ	スギンダ		＊		スギンダ	0.23	0.42	6		2.6
＊	＊	74	楚久川	楚久川		＊		楚 久	0.30	0.66	10		3.8
＊	＊	75	大浦川	大浦川	右支川	＊		大 川	0.65	0.71	19		8.3
＊	＊	76	＊	＊	左支川	＊		大 浦	0.04	0.11	5		0.2



図 8-3 恩納村・宜野座村・金武町水害危険力所

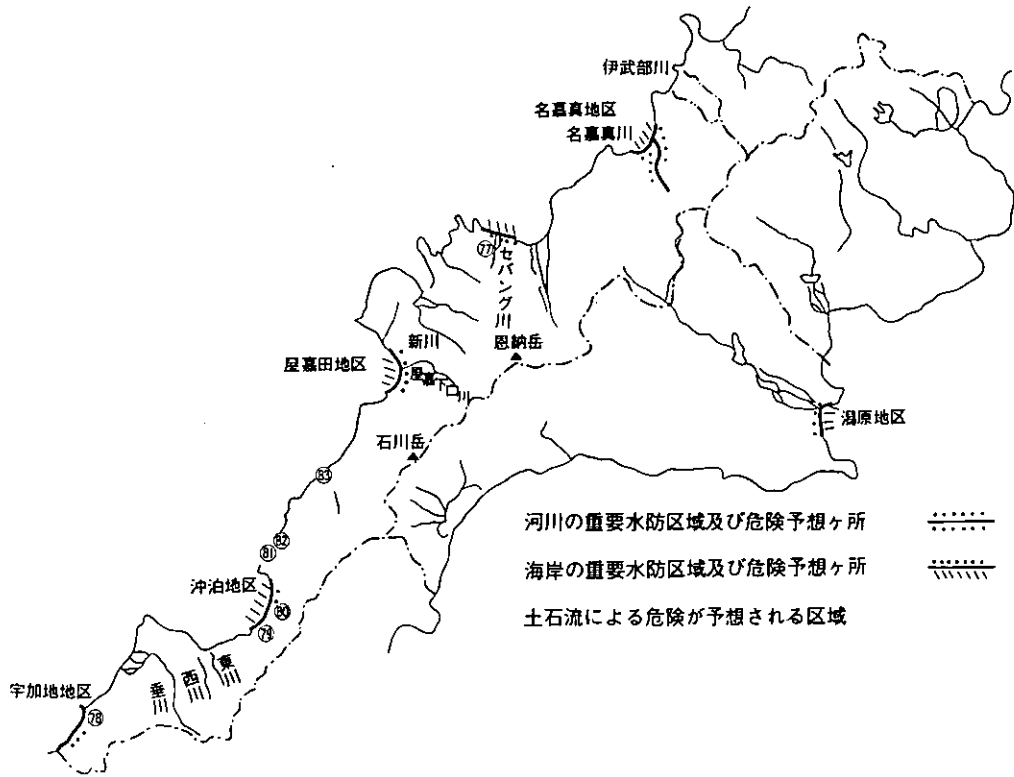


表 8-8 重要水防区域及び危険予想箇所 (河川)

所轄土木 事務所名	水防管理 団体名	番号	水系名	河川名	重要水防区域		危険と予想される主な区域		予想 される 危険	予想される被害の程度			
					流路 延長 (km)	区 域	流路 延長 (km)	区 域		家屋 (棟)	耕地 (ha)	人口 (人)	面積 (ha)
北 部	恩納村	19	名嘉真川	名嘉真川	0.7	恩納村名嘉真~河口	0.7	恩納村名嘉真	溢水	150	15.6	450	21.3

表 8-9 重要水防区域及び危険予想箇所 (海岸)

(昭和58年4月1日現在)

所轄土木 事務所名	水防管理 団体名	番号	沿岸名	海岸名	重要水防区域		危険と予想される主な区域		予想 される 危険	予想される被害の程度		
					流路 延長 (km)	区 域	延長 (m)	区 域		家屋 (棟)	耕地 (ha)	面積 (ha)
北 部	恩納村	5	琉球諸島	恩納海岸	7.256	字加地、仲泊、屋嘉田、瀬良垣、名嘉真地区	3.769	字加地、仲泊、屋嘉田、瀬良垣、名嘉真地区	越波	461	35.1	6.7

表 8-10 重要水防区域外で危険と予想される区域 (海岸)

(昭和58年4月1日現在)

所轄土木 事務所名	水防管理 団体名	番号	沿岸名	海岸名	延長 (m)	区 域	危険と予想される主な区域		予想 される 危険	予想される被害の程度		
							延長 (m)	区 域		家屋 (棟)	耕地 (ha)	面積 (ha)
北部土木 事務所	宜野座村	1	琉球諸島沿岸	宜野座海岸	2,560	湯原地区	1,530	湯原地区	越波	12	3.2	8.1

表 8-11 土石流による危険が予想される区域

(昭和58年4月1日現在)

所轄土木 事業所名	水防管理 団体名	番 号	水系名	河川名	溪流名	位 置			流域面積 (km <sup>2</sup> )	流路延長 (km)	予想される被害の程度		
						郡 市	町 村	字			人家戸 数(戸)	公 共 施設等	耕地面 積(ha)
北 部	恩 納 村	77	セバン ダ 川	セバン ダ 川	左支川	国頭郡	恩納村	瀬良垣	0.10	0.07	12		1.0
"	"	78	与久田 原 川	与久田 原 川		"	"	与久田 原 川	0.21	0.13	7		2.9
"	"	79	仲泊川 ①	仲泊川 ①		"	"	仲 泊	0.07	0.14	15		0.8
"	"	80	仲泊川 ②	仲泊川 ②		"	"	"	0.08	0.21	9	郵便局	1.1
"	"	81	前兼久 川 ①	前兼久 川 ①		"	"	前兼久	0.12	0.69	12	神 社	1.7
"	"	82	前兼久 川 ②	前兼久 川 ②		"	"	前兼久	0.07	0.21	5		0.8
"	"	83	前 川	前 川	左支川	"	"	谷 茶	0.40	0.04	11	神 社	5.6

## 8-2 水 害

昭和50年～昭和59年の10年間における主要な水害（水害統計，建設省河川局）を抜き出したのが表8-12と表8-13である。中北部地域の水害は昭和58年と昭和59年に集中して生じている。

昭和58年8月23日～9月13日の豪雨では羽地大川，大浦川，我部祖河川，汀間川の支流ゲーヤ川，志根垣川，三原福地川で床上ないし床下浸水が生じている。二級河川以外のその他河川では9月24日～9月30日の台風10号でシリ川が溢れ2件の床上浸水があり被害を受けている。

昭和59年8月17日～8月23日の台風10号では，羽地大川，大浦川，我部祖河川，源河川，屋部川，西屋部川，幸地川，轟川で二級河川による床上ないし，床下浸水があり，その他河川では屋我地の済井出川が溢れ，9戸の床下浸水と1戸の床上浸水が生じ，被害を受けている。

また，昭和56年7月17日～7月24日の台風9号の豪雨で名護市久志のソーシ川が溢れ，3戸の床下浸水があった。

表8-12 河川水害調査表 (1) (昭和50~59年) 件数

水系名 (ソーシ川)

災害名 災害年月日	河川名	浸水面積 (ha)			床下浸水	被害家屋棟数					半壊	全壊流失	計
		農地	宅地	計		床上浸水							
						1~49cm	50~99cm	100cm~	小計				
豪雨、落雷 台風9号 S56.7.17~7.24	ソーシ川	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3

水系名 (羽地大川)

災害名 災害年月日	河川名	浸水面積 (ha)			床下浸水	被害家屋棟数					半壊	全壊流失	計
		農地	宅地	計		床上浸水							
						1~49cm	50~99cm	100cm~	小計				
豪雨 S58.8.23~9.13	羽地大川	0	0.1	0.1	3	0	0	0	0	0	0	0	3
台風10号 S59.8.17~8.23	羽地大川	0	0.1	0.1	10	2	0	0	2	0	0	0	12

水系名 (大浦川)

災害名 災害年月日	河川名	浸水面積 (ha)			床下浸水	被害家屋棟数					半壊	全壊流失	計
		農地	宅地	計		床上浸水							
						1~49cm	50~99cm	100cm~	小計				
豪雨 S58.8.23~9.13	大浦川	0	0.1	0.1	1	2	0	0	2	0	0	0	3
台風10号 S59.8.17~8.23	大浦川	0	0.1	0.1	2	0	0	0	0	0	0	0	2

水系名 (我部祖河川)

災害名 災害年月日	河川名	浸水面積 (ha)			床下浸水	被害家屋棟数					半壊	全壊流失	計
		農地	宅地	計		床上浸水							
						1~49cm	50~99cm	100cm~	小計				
豪雨、風浪と落雷 S58.8.23~9.13	我部祖河川	0	0.1	0.1	1	2	0	0	2	0	0	0	3
台風10号 S59.8.17~8.23	我部祖河川	0	0.1	0.1	7	5	0	0	5	0	0	0	22

水系名 (汀間川)

災害名 災害年月日	河川名	浸水面積 (ha)			床下浸水	被害家屋棟数					半壊	全壊流失	計
		農地	宅地	計		床上浸水							
						1~49cm	50~99cm	100cm~	小計				
豪雨 S58.8.23~9.13	ゲーヤ川	0	0.1	0.1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
*	志根垣川	0	0.1	0.1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
*	三原福地川	0	0.1	0.1	2	1	0	0	1	0	0	0	3

水系名 (シリン川)

災害名 災害年月日	河川名	浸水面積 (ha)			床下浸水	被害家屋棟数					半壊	全壊流失	計
		農地	宅地	計		床上浸水							
						1~49cm	50~99cm	100cm~	小計				
台風第10号 S58.9.24~9.30	シリン川	0	0.1	0.1	0	1	0	1	2	0	0	0	2

水系名 (源 河 川)

災 害 名 災害年月日	河 川 名	没 水 面 積 (ha)			被 害 家 屋 棟 数							
		農 地	宅 地	計	床下没水	床 上 没 水				半 壊	全壊流失	計
						1~48cm	50~99cm	100cm~	小 計			
台 風 10 号 S59.8.17~8.23	源 河 川	0	0.1	0.1	4	1	0	0	1	0	0	5
+	+	0	0.1	0.1	7	4	0	0	4	0	0	11

水系名 (屋 部 川)

災 害 名 災害年月日	河 川 名	没 水 面 積 (ha)			被 害 家 屋 棟 数							
		農 地	宅 地	計	床下没水	床 上 没 水				半 壊	全壊流失	計
						1~49cm	50~99cm	100cm~	小 計			
台 風 10 号 S59.8.17~8.23	屋 部 川	0	0.1	0.1	6	3	1	0	4	0	0	10
+	西屋部川	0	0.1	0.1	1	0	0	0	0	0	0	1

水系名 (幸 地 川)

災 害 名 災害年月日	河 川 名	没 水 面 積 (ha)			被 害 家 屋 棟 数							
		農 地	宅 地	計	床下没水	床 上 没 水				半 壊	全壊流失	計
						1~49cm	50~99cm	100cm~	小 計			
台 風 10 号 S59.8.17~8.23	幸 地 川	0	0.1	0.1	3	0	0	0	0	0	0	3

水系名 (轟 川)

災 害 名 災害年月日	河 川 名	没 水 面 積 (ha)			被 害 家 屋 棟 数							
		農 地	宅 地	計	床下没水	床 上 没 水				半 壊	全壊流出	計
						1~49cm	50~99cm	100cm~	小 計			
台 風 10 号 S59.8.17~8.23	轟 川	0	0.1	0.1	1	0	0	0	0	0	0	1

水系名 (濟 井 出 川)

災 害 名 災害年月日	河 川 名	没 水 面 積 (ha)			被 害 家 屋 棟 数							
		農 地	宅 地	計	床下没水	床 上 没 水				半 壊	全壊流失	計
						1~49cm	50~99cm	100cm~	小 計			
台 風 10 号 S59.8.17~8.23	濟 井 出 川	0	0.1	0.1	9	1	0	0	1	0	0	10

表 8-13 河川水害調査表 (2) (昭和50~59年) 被害額

水系名 (ソーシ川)

災害名 災害年月日	河川名	被災数					一般資産等被害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
豪雨、落雷 台風9号 S56.7.17~7.24	ソーシ川	3	0	1	1	0	7,107	0	7,107

水系名 (羽地大川)

災害名 災害年月日	河川名	被災数					一般資産等被害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
豪雨 S58.8.23~9.13	羽地大川	3	0	0	0	0	678	0	678
台風10号 S59.8.17~8.23	羽地大川	10	2	0	0	0	161,180	0	2,847,520

水系名 (大浦川)

災害名 災害年月日	河川名	被災数					一般資産等被害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
豪雨 S58.8.23~9.13	大浦川	1	2	0	0	0	1,477	0	1,477
台風10号 S59.8.17~8.23	大浦川	2	0	0	0	0	19,523	0	344,903

水系名 (我部祖河川)

災害名 災害年月日	河川名	被災数					一般資産等被害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
豪雨、風浪 と落雷 S58.8.17~8.23	我部祖河川	1	2	0	0	0	1,205	0	1,205
台風10号 S58.8.23~9.13	我部祖河川	17	5	0	0	0	452,261	0	7,989,942

水系名 (汀間川)

災害名 災害年月日	河川名	被災数					一般資産等被害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
豪雨 S58.8.23~9.13	ゲーヤ川	1	0	0	0	0	102	0	102
・	志根垣川	1	0	0	0	0	111	0	111
・	三原福地川	2	1	0	0	0	788	0	788

水系名 (シリン川)

災害名 災害年月日	河川名	被災数					一般資産等被害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
台風10号 S58.9.24~9.30	シリン川	0	2	0	0	0	3,683	0	3,683

水系名 (源 河 川)

災 害 名 災害年月日	河 川 名	被 害 数					一 般 資 産 等 被 害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
台風10号 S54.8.17~8.23	源 河 川	4	1	0	0	0	74,207	0	7,989,942
・	・	7	4	0	0	0	226,261		3,997,283

水系名 (屋 部 川)

災 害 名 災害年月日	河 川 名	被 災 数					一 般 資 産 等 被 害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
台風10号 S59.8.17~8.23	屋 部 川	6	4	0	0	0	208,943	0	3,691,318
・	西屋部川	1	0	0	0	0	17,748	0	313,548

水系名 (幸 地 川)

災 害 名 災害年月日	河 川 名	被 災 数					一 般 資 産 等 被 害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
台風10号 S59.8.17~8.23	幸 地 川	3	0	0	0	0	32,656	0	576,928

水系名 (轟 川)

災 害 名 災害年月日	河 川 名	被 災 数					一 般 資 産 等 被 害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
台風10号 S59.8.17~8.23	轟 川	1	0	0	0	0	18,813	0	332,361

水系名 (濟 井 出 川)

災 害 名 災害年月日	河 川 名	被 災 数					一 般 資 産 等 被 害 (千円)		
		床下世帯	床上世帯	事業所	従業者	農漁家	一般資産 営業停止損失	農作物	計
台風10号 S59.8.17~8.23	濟井出川	9	1	0	0	0	101,829	0	1,798,973

## 第9章 治水事業の概要

### 9-1 河川改修事業

本県の地形は、細長い形で中央部を100～500mの山地、または丘陵地帯が縦走し、35～45度の急傾斜をなしている。島は幅が狭いため、流路延長が短く、河川は急流となり、これが平地部に入ると1/200以上の緩勾配を形成している。また、地理的条件から台風の通過コースにあるため、豪雨の頻度が高く、川口の洪水や、土石流による被害を受けている。

特に近年は河川流域の開発が著しいため、流出率の増大や保水力の低下等、河川に係る諸条件が悪化し、浸水被害は増大の傾向にある。

河川改修事業では、中北部地域の中小河川として、幸地川、屋部川、満名川、我部祖河川、源河川、汀間川などの河川改修が計画されているが、進捗率は0～43.4%(昭和59年度)の範囲である。その他に小規模河川、準用河川では有銘川、世富慶川、伊野波川の河川改修事業が実施されている。

図9-1 河川改修事業費の推移

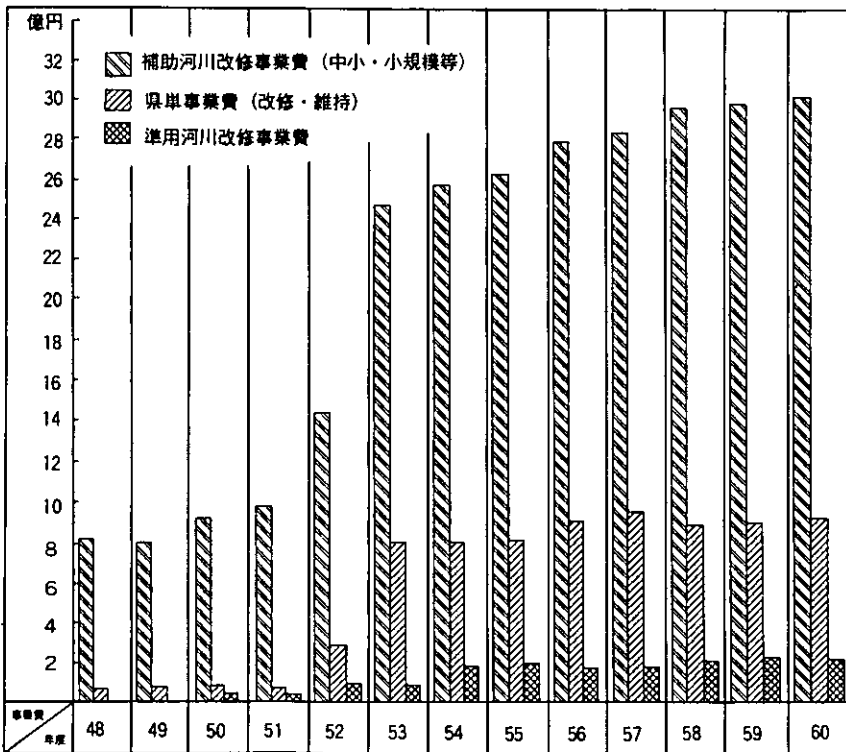


表9-1 河川改修事業計画一覧表

河川名		着工年度	全体計画		計画諸元			59年度までの実績		
			事業量 (m)	事業費 (百万円)	流域面積 (km <sup>2</sup> )	計画 高水流量 (m <sup>3</sup> /5)	河床勾配	事業量 (m)	事業費 (百万円)	推抄率 (%)
中 小 河 川	幸地川	50	1,570	1,539	4.2	90	1/60~1/200	258	528	16.4
	屋部川	49	4,620	1,929	20.09	410	1/300~1/1,800	841	1,084	18.2
	満名川	47	3,800	1,260	12.37	(295) 225	1/200~1/800	1,313	1,185	34.6
	我部祖河川	56	4,380	3,232	13.66	280	1/70~1/1,000	—	109	0
	羽地大川	53	1,800	900	14.79	(390) 170	1/400~1/800	547	584	30.4
	源河川	47	4,185	726	19.96	335	1/300~1/900	755	386	18.0
	汀間川	51	3,923	1,202	12.65	290	1/110~1/1,000	1,703	474	43.4
河小規 川模	有銘川	50	1,520	495	3.33	75	1/120~1/800	1,394	444	91.7
河備 川用	世富慶川	57	1,280	300	3.4	70	1/1,000~1/100	171	91	13.3
	伊野波川	58	1,670	139	1.08	30	1/140~1/300	160	45	23.9

\* ( ) は基本高水ピーク流量

## 9-2 砂防事業

沖縄県の砂防事業は、地形的特性から、土石流危険暖流は、殆ど沖縄本島北部地区に集中しており、本土復帰以来、昭和59年度までに砂防ダム45基、流路工6,961mが完成している。

本県の砂防指定河川は全体で57地域あり、そのうち調査地域内には21河川あり全体の36.8%を占めている。

市町村別には名護市に最も多く15河川が指定され、次に、本部町の5河川、今帰仁村1河川で恩納村、宜野座村、金武町には砂防指定河川はない。



表9-2 砂防指定一覧表

昭和60年3月末現在

番 号	河川及び溪流名	指定面積 (ha)	指定年月日	所 在 地	建設省告示番号
4	幸 地 源 川	2.70	S 47.11.14	名 護 市	第1887号
10	幸 地 川	1.91	S 49. 1. 7	"	第 5 号
12	大 小 堀 川	4.21	"	本 部 町	"
13	満 名 川	5.72	S 50. 1.31	"	第 79 号
14	汀 間 川	10.69	"	名 護 市	"
21	大 井 川	7.32	S 52. 1.27	今 帰 仁 村	第 64 号
25	安 和 志 川	5.45	"	名 護 市	第 14 号
30	後 原 川	2.16	"	"	第 885 号
31	安 和 与 那 川	3.15	"	"	"
32	我 部 祖 河 川	2.74	S 54. 4.24	"	第 913 号
33	幸 喜 川	5.55	"	"	"
41	ナコーガキ川	2.12	"	"	第 82 号
42	瀬 高 川	1.16	"	"	"
43	大 浦 川	8.55	"	"	"
48	我 部 祖 河 川	1.39	"	"	第 55 号
49	喜 知 留 川	1.42	"	"	"
50	世 富 慶 川	2.54	"	"	"
53	浜 元 川	1.25	"	本 部 町	第1860号
54	崎 本 部 川	1.46	"	"	"
56	アバラテ川	2.70	"	名 護 市	第 762 号
57	タナンガ川	1.28	"	本 部 町	"
	計	315.03			

資 料 編

資 料 表

# 資料表目次

## I 降水量資料

I-1 降水量観測所（所属別）総括	1
I-2 降水量観測所位置図	1
I-3 降水量観測所一覧表	2
I-4 降水量観測所月別降水量年表	4

## II 水位流量資料

II-1 水位流量観測所（所属別、地域別）総括表	33
II-2 水位観測所位置図	33
II-3 水位流量観測所一覧表	34
II-4 流量観測所年別流況表	36

## III 地下水位資料

III-1 地下水位観測井戸総括表	57
III-2 地下水位観測井戸位置図	57
III-3 地下水位観測井戸一覧表	58
III-4 地下水位観測記録年表	60

## IV 水質資料

IV-1 水質観測地点（所属別、地域別）総括表	63
IV-2 水質観測所位置図	63
IV-3 水質観測地点一覧表	64
IV-4 水質分析資料	66

## V 取水口・排水口資料

V-1 農業用取水口・排水口資料	
V-1-1(1) 農業用取水口（かんがい面積、規模別、河川別）総括表	82
V-1-1(2) 農業用取水口（取水方法別、河川別）総括表	83
V-1-1-2 農業用取水口一覧表	84
V-1-1-3 排水口（排水方法別、河川別）総括表	99
V-1-1-4 農業用生活用排水口一覧表	100
V-2 水道用取水口資料	
V-2-1-1 水道用取水口（使用事項別、河川別）総括表	129

V-2-2	上水道用・簡易水道用取水口一覧表	130
V-3	工業用取水口資料	
V-3-1	工業用取水口（取水方法別、河川別）総括表	141
V-3-2	工業用取水口一覧表	142
<b>VI</b>	<b>主要井戸資料</b>	
VI-1	主要井戸・湧水（村別、用途別）総括表	145
VI-2	使用目的別井戸一覧表（農業用）	146
VI-3	使用目的別井戸一覧表（水道用）	158
VI-4	使用目的別井戸一覧表（工業用）	166
VI-5	使用目的別井戸一覧表（雑用井戸および拝井泉）	174
VI-6	使用目的別湧水一覧表（農業用）	208
VI-7	使用目的別湧水一覧表（水道用）	220
VI-8	使用目的別湧水一覧表（工業用）	224
VI-9	使用目的別湧水一覧表（雑用湧水および拝井泉）	226
<b>VII</b>	<b>上水道及び簡易水道（専用水道を含む）資料</b>	
VII-1-1	水道用水（事業別）総括表	243
VII-1-2	水道用水（主要項目別）総括表	243
VII-1-3	上水道地区一覧表	244
VII-2	簡易水道地区一覧表	246
VII-3	専用水道地区一覧表	250
<b>VIII</b>	<b>工業用水使用状況資料</b>	
VIII-1	産業中分類別水源別用水量	252
VIII-2	市町村別事業所数・従業者数	253
VIII-3	工業用水使用状況調査一覧表	254
<b>IX</b>	<b>ダム資料</b>	
IX-1	管理中および建設中のダム	259
IX-2	ダム一覧表	260
<b>X</b>	<b>溜池資料</b>	
X-1	溜池総括表（県内農業用溜池）	263
X-2	溜池一覧表	264

XI 下水道資料

XI-1 下水道一覧表..... 266

XII 土地改良区資料

XII-1 土地改良区一覧表..... 268

XIII 資料の出典

# I 降水量資料

## I-1 降水量観測所 (所屬別) 総括表

### 1. 現在

所屬	地域	沖繩県 (総計)	北 部	中北部	中南部	宮 古	八重山	その他 他島
気 象 庁		25	3	3 ※(5)	4	4	7	4
沖縄県土木建築部		8	2	2	4	0	0	0
沖北部ダム事務所		23	18	5	0	0	0	0
沖農林開水発庁部		7	1	2	4	0	0	0
沖企 業 局		10	2	4	4	0	0	0
沖西部開道事務所		5	0	0	5	0	0	0
八重山・宮古総合農業開発事務所		14	0	0	0	14		0
合 計		92	26	(18) 16	21	25		4

※ 2地点の観測所は終了

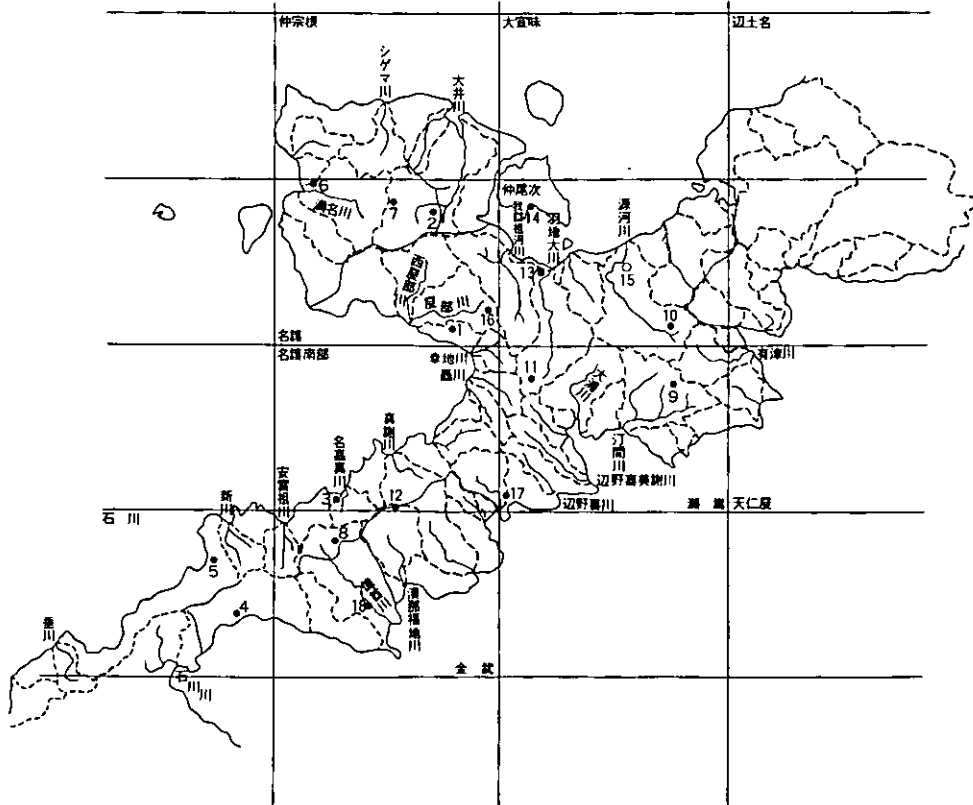
### 2. 復帰前 (S47年) 降水観測所

所屬	地域	沖繩県 (総計)	北 部	中北部	中南部	宮 古	八重山	その他 他島
気 象 台		40	8	7	9	4	6	6
琉球政府		11	2	4	0	0	5	0
合 計		51	10	11	9	4	11	6

### 3. 戦前 (S20年) 降水観測所

所屬	地域	沖繩県 (総計)	北 部	中北部	中南部	宮 古	八重山	その他 他島
気 象 台		25	1	4	13	2	3	2

## I-2 降水量観測所位置図



I-3 降水量観測所一覽表

対照 番号	2.5万分1 地形図名	所 属 名	観測所名	水 系 名	第 一 次 支 派 川 名	該 当 河 川 名	所 在 地	観測器 の 種 類
							市 郡 町 村 字 番 地	
1	名 護	沖繩气象台	名 護	屋部川		屋部川	名護市東区琉球農業試験場名護支場	貯水型
1'	〃	〃	〃				名護市宮里767	転倒マス型
2	〃	〃	眞我山	大井川		大井川	今帰仁村字玉城農業試験場	〃
3	名護南部	〃	名嘉真	名嘉真川		名嘉真川	恩納村字名嘉真名嘉真山	〃
4	金 武	〃	金 武	渡久比那川		渡久比那川	金武村字屋嘉嘉芸小学校	貯水型
5	石 川	沖 繩 県	恩 納	一			恩納村字恩納(小学校)	転倒マス型
6	名 護	〃	本 部	瀧 名 川		瀧 名 川	本部町(本部高校内)	〃
7	〃	〃	伊豆味	大井川		大井川	本部町伊豆味 (元農業試験場パイン園内)	〃
8	金 武	沖繩開発庁 北部ダム事務所	喜瀬武原	億首川		億首川	恩納村字喜瀬武原	〃
9	瀬 高	〃	安部又	汀間川		汀間川	名護市字安部又	〃
10	仲尾次	〃	大湿帯	源河川		源河川	名護市字大湿帯	〃
11	〃	〃	岳 後	羽地川		羽地川	名護市字岳後	〃
12	金 武	〃	漢 那	漢 那 川		漢 那 川	宜野座村字漢那福地原2475-1	〃
13	仲尾次	沖繩開発庁 土地改良課	羽 地	羽地川		羽地川	名護市(羽地支所)	〃
14	〃	〃	屋我地	一			名護市字屋我地	〃
19	仲尾次	琉球气象台	源 河	源河川		源河川	名護市字源河	転倒マス型
20	瀬 高	〃	瀬 嵩	汀間川		汀間川	久志村瀬嵩	〃
21	仲尾次	〃	名護岳	羽地川		羽地川	名護市名護岳山頂	〃
22	〃	〃	宇 橋	源河川		源河川	羽地村	〃
23	〃	〃	多野岳	羽地川		羽地川	羽地村字仲尾地	〃
24	名 護	〃	勝 山	一			屋部村字勝山	〃
25	〃	〃	屋 部	屋部川		屋部川	屋部村字茂佐 北部森林高校	貯水型
26	〃	〃	本 部	瀧 名 川		瀧 名 川	本部町字渡久地 本部中学校	〃
27	〃	〃	瀧 名	〃		〃	本部町字並里	転倒マス型
28	金 武	〃	宜野座	宜野座川		宜野座川	宜野座村字宜野座1 宜野座高校	貯水型
29	〃	〃	〃	〃		〃	宜野座村字惣慶 小 原	転倒マス型
15	仲尾次	沖繩県企業局	源ポンプ 河場	源河川		源河川	名護市字源河 企業局源河ポンプ場	貯水型
16	名 護	〃	名 浄 水 護場	屋部川		屋部川	名護市字大北 企業局名護浄水場	〃
17	瀬 嵩	〃	久 浄 水 志場	久志大川		久志大川	名護市字久志 企業局久志浄水場	〃
18	金 武	〃	金武ダム	億首川		億首川	金武村字並里 企業局金武浄水場	〃

標高 m	緯度 經度	観測時刻		観測開始 年月日	観測資料保存状況		備考
		定時	強雨時		期間	場所	
4.0	26°35' 128°00'	○		S27. 6. 1		気象台	M34~M43. 2 S11. 1~S27. 6 中止 1)
7.1	26°35' 7" 127°58' 4"	○		S41. 8. 18	32	*	1)
86	26°39' 7" 127°58' 4"	○		S37. 7. 31	14	*	1)
75	26°30' 6" 127°55' 0"	○		S41. 6. 9	15	*	S48一時中止 1)
8	26°26' 0" 127°51' 6"	○		S44. 1.	12	*	1)
4	26°29' 1" 127°50' 9"	○		S32. 5. 1	29	沖縄県土木部河川課	4)
56	26°39' 6" 127°53' 9"	○		S54. 3. 30	7	*	琉政から S49. 4 移官 4)
100	26°39' 0" 127°57' 0"	○		S54. 3. 27	13	*	4)
55	26°29' 1" 127°54' 8"	○		S45. 12. 31	14	沖縄開発庁北部ダム事務所	琉政から S48. 5 2)
170	26°34' 3" 128° 5' 7"	○		S45. 2. 31	14	*	2)
95	26°35' 6" 128° 5' 6"	○		S45. 12. 31	14	*	2)
100	26°34' 6" 128° 0' 11"	○		S45. 12. 31	14	*	2)
60	26°29' 8" 127°56' 7"	○		S52. 2. 1	8	*	2)
10	26°37' 3" 128°01' 5"	○		S52. 6.		沖縄開発庁森林水産部土地改良課	
15	26°39' 3" 128°01' 2"	○		S52. 6.		*	A L R-103型水位雨量計 3)
8	26°37' 5" 128° 0' 36"	○		S40 S42 ~ S48. 3	8	琉球気象庁	S48終了 7)
—	26°32' 7" 128° 0' 32"	○		S42. 1~ S45. 12	3	*	S45終了
36	26°34' 9" 128° 0' 09"	○		S42. 1~ S45. 1	3	*	S45終了 7)
—	26° 3' 5" 128° 0' 4"	○		S42~ S46. 1	4	*	S46終了 8)
—	26°35' 9" 128° 0' 28"	○		S39. 10~ S48. 3	8	*	S48終了 7)
—	26°37' 0" 127°56' 3"	○		S42. 11~ S45. 7	3	*	S45終了
—	26°36' 127°57'	○		S26. 9~ S46. 11	20	*	S46終了 8)
—	26°39' 127°54'	○		M44~ S46	2	*	S46終了 8)
9	26°39' 1" 127°55' 3"	○		S43~ S45. 5	2	*	S45. 5 終了 7)
—	26°29' 0" 127°59'	○		S32. 7. 1 S42. 1. 26	9	*	S42終了 8)
—	26°29' 127°57' 8"	○		S42. 1. 26 S46. 1. 1	3	*	S46終了
5	26°37' 5" 128° 3' 9"	○		S47. 6	10	沖縄県企業局	6)
40	26°36' 3" 128°	○		S51. 1	8	*	6)
5	26°31' 2" 128° 1' 8"	○		S53. 3	12	*	6)
10	26°27' 7" 127°56' 0"	○		S47. 1	12	*	6)

1) 気象月報 2) 沖縄北部水位流量・雨量年表 3) 河川開発調査水文観測報告書 4) 水文観測業務報告書  
5) 北部ダム統合管理事務所資料 6) 沖縄県企業局資料 7) 水調査報告書 8) 沖縄群島の気候表



I-4 降水量観測所月別降水量年表

村 照 番 号	1 (S30-S40) 1' (S41~)		所 属 名 冲縄气象台				水 系		原 部 川		該 当 河 川 名		原 部 川			
	観 測 所 名	名 称	1/2.5万地形図名		名 称		所 在 地		名護市東区琉球農業試験場名護支場							
年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数	
															≥0.5mm	≥1.0mm
1955(30)	118.0	178.0	93.0	170.0	363.0	401.0	524.0	334.0	103.0	199.0	91.0	34.0	2,608.0			
1956(31)	273.0	218.3	62.3	240.1	223.8	272.3	92.0	376.1	558.2	98.6	115.5	136.6	2,662.8			
1957(32)	49.0	149.9	149.5	95.9	250.6	675.0	62.8	186.7	616.1	43.4	123.3	59.0	2,461.2			
1958(33)	85.4	234.7	156.4	84.8	324.3	118.9	189.0	71.3	82.8	80.8	58.0	175.8	1,662.2			
1959(34)	114.9	216.4	90.8	501.2	97.9	295.6	179.9	317.6	104.1	879.0	487.3	107.6	3,392.3			
1960(35)	116.1	45.6	244.0	164.6	291.8	243.2	170.2	503.4	47.8	35.3	110.4	152.2	2,124.6			
1961(36)	57.0	127.7	143.4	138.6	304.5	134.4	372.0	237.1	249.1	243.3	98.0	153.0	2,258.1			
1962(37)	127.2	86.1	327.0	168.9	296.2	260.3	300.9	201.5	117.7	144.0	426.5	112.0	2,568.3			
1963(38)	60.4	22.1	55.7	50.1	37.3	172.4	57.6	307.9	142.4	66.1	86.6	158.2	1,216.8			
1964(39)	187.1	85.5	116.1	45.0	313.0	511.8	291.3	108.5	54.1	147.5	108.3	154.4	2,122.6			
1965(40)	115.1	191.1	98.6	146.4	385.4	405.2	45.0	386.8	152.4	98.5	141.6	99.8	2,305.7			
1966(41)	255.9	118.1	175.7	277.7	648.5	266.9	135.1	334.3	356.5	28.1	227.5	333.5	3,157.8			
1967(42)	96.4	79.3	48.1	120.3	284.3	(4.85.2)	(93.0)	181.2	59.9	231.0	113.6	112.4	1,904.7			
1968(43)	74.0	117.5	199.0	88.0	110.5	277.0	134.0	308.0	72.9	39.5	62.5	93.0	1,575.9			
1969(44)	180.5	136.0	205.0	80.0	583.5	851.5	123.5	322.5	141.5	833.5	113.0	38.5	3,603.0			
1970(45)	167.5	60.5	231.5	127.5	327.5	249.5	365.5	398.0	209.5	125.0	102.0	239.0	2,603.0			
1971(46)	107.0	23.5	78.5	78.5	52.5	100.0	39.0	391.5	153.5	195.0	362.5	195.5	1,777.0			
1972(47)	161.0	245.5	83.5	91.0	318.5	412.0	624.5	326.0	47.0	27.0	109.0	150.0	2,595.0	231.0%	155日	136日
1973(48)	160.0	174.5	86.0	220.5	290.5	297.5	382.0	237.0	158.5	169.0	60.5	54.0	2,290.5	180.5%	163日	144日
1974(49)	79.5	159.5	99.0	172.0	290.5	335.0	208.0	508.5	188.0	384.5	55.0	104.5	2,584.0	161.0%	163日	137日
1975(50)	173.5	119.0	162.0	192.0	266.0	553.0	388.5	284.0	135.5	293.5	101.0	113.5	2,781.5	142.0%	203日	183日
1976(51)	28.5	108.5	88.5	96.0	264.5	341.5	264.0	170.5	351.0	224.0	158.0	76.0	2,171.0	206.5%	150日	135日
1977(52)	180.5	79.5	78.5	61.0	104.5	228.5	168.0	65.0	228.5	32.5	191.5	186.0	1,604.0	94.0%	153日	134日
1978(53)	98.5	127.0	275.5	281.5	418.0	336.0	308.0	821.5	342.0	289.0	48.0	136.0	3,490.5	171.5%	203日	181日
1979(54)	105.5	153.5	215.0	204.5	235.0	223.0	61.5	298.0	238.0	256.5	216.5	50.5	2,257.5	106.5%	182日	163日
1980(55)	142.5	104.5	155.0	427.5	162.0	8.0	164.0	124.0	258.5	167.0	298.5	49.5	2,061.0	125.5%	169日	148日
1981(56)	66.5	125.0	181.0	104.5	211.0	77.5	164.0	107.0	83.5	159.5	124.5	67.0	1,471.0	128.5%	156日	137日
1982(57)	104	134.0	99.0	120.0	228.0	219.0	72.0	217.0	280.0	192.0	245.0	210.0	2,120.0	211.5%	165日	142日
1983(58)	135.0	217.0	282.5	202.0	279.5	288.0	136.5	254.0	244.0	51.0	15.0	90.0	2,275.0	161.0%	166日	151日
1984(59)	165.0	70.5	191.5	290.5	103.5	149.0	192.5	466.5	133.5	126.5	139.5	76.5	2,105.0	234.5%	180日	159日
総 計	3,784.5	3,907.3	4,471.6	5,040.6	8,066.1	9,188.2	6,308.3	2,845.4	5,909.5	5,859.6	4,589.6	3,718.0	69,810.0			

既往最多年降水量

3,603.0mm(昭和 44 年)

◇ 最小年 ◇

1,216.8mm(昭和 38 年)

◇ 最多月 ◇

879.0mm(昭和 34 年 10 月)

◇ 最小月 ◇

8 mm(昭和 55 年 6 月)

◇ 最多日 ◇

mm(昭和 年 日)

最多3時間 ◇

mm(昭和 年 年 日 時~ 日 時)

最多1時間 ◇

mm(昭和 年 日 時)

村 照 番 号	2		所 属 名	神 栖 気 象 台				水 系	大 井 川				観 测 河 川 名	大 井 川		
観 测 所 名	兵 我 山		1/2.5万地形図名	名 護				所 在 地	今 權 仁 村 字 玉 成 農 業 試 験 場							
年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.5mm ≥1.0mm	
1962(37)	150.7	163.7	377.8	207.5	399.5	340.7	286.8	234.1	187.2	129.3	388.3	115.1	2,980.7			
1963(38)	73.2	29.8	84.5	53.1	47.3	152.9	160.1	300.2	147.4	83.6	112.5	181.1	1,425.7			
1964(39)	185.5	145.9	102.0	96.0	295.9	521.9	6.4	105.1	121.1	70.4	58.6	(欠)	—			
1965(40)	(欠)	159.0	23.8	177.9	421.4	422.0	87.6	385.2	146.4	86.4	190.9	99.2	—			
1966(41)	236.4	152.1	225.9	304.6	697.3	298.3	166.4	288.4	272.4	27.7	240.8	365.2	3,275.5			
1967(42)	59.9	99.2	(欠)	159.5	265.3	479.4	55.9	137.6	39.1	215.4	96.4	142.9	—			
1968(43)	94.5	224.9	195.9	96.6	124.5	321.7	107.6	(316.9)	105.6	24.4	67.0	100.7	1,780.3			
1969(44)																
1970(45)																
1971(46)		欠	測													
1972(47)																
1973(48)																
1974(49)											33	(70)				
1975(50)	(欠)	160	186	214	(欠)	413	181	144	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	—	103.0%	155日	155日
1976(51)	26	112	103	119	258	309	218	88	369	179	116	71	1,968	190.0%	143日	143日
1977(52)	(177)	78	94	93	99	253	69	69	203	37	166	193	1,531	125.0%	132日	132日
1978(53)	131	(76)	261	209	282	401	286	670	327	408	32	118	3,201	171.0%	203日	181日
1979(54)	122	179	253	228	266	248	97	205	124	138	207	42	2,109	80.0%	182日	163日
1980(55)	195	152	167	393	204	230	93	251	182	120	296	32	2,315	109.0%	169日	148日
1981(56)	78.0	118.0	277.0	139.0	251.0	63.0	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	—	51.0%	156日	137日
1982(57)					観	測	終	了								
1983(58)																
1984(59)																
1985(60)																
1986(61)																
總 計	1,529.2	1,849.6	2,350.9	2,490.2	3,611.2	4,453.9	1,814.8	3,194.5	2,224.2	1,519.2	2,004.5	1,530.2	20,586.20			
年 数	12	14	13	14	13	14	13	13	12	12	13	12				
平 均	127.4	132.1	180.8	177.9	277.8	318.1	139.6	245.7	185.35	126.6	154.2	127.5				

既往最多年降水量

3,275.5mm(昭和 41 年)

◇ 最小年 ◇

1,425.7mm(昭和 38 年)

◇ 最多月 ◇

697.3mm(昭和 41 年 5 月)

◇ 最小月 ◇

24.4mm(昭和 43 年 10 月)

◇ 最多日 ◇

mm(昭和 年 日)

最多 3 時間 ◇

mm(昭和 年 日 時~ 日 時)

最多 1 時間 ◇

mm(昭和 年 日 時)





村 照 番 号	5		所 属 名		冲 绳 県		水 系		新 川		該 当 河 川 名					
観 測 所 名	恩 納		1/2.5万地形図名		石 川		所 在 地		恩納村字恩納(小学校)							
年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最多日量 (月日)	雨 天 日 数 ≥0.5mm	≥1.0mm
1957(32)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	199.7	501.7	70.4	(389.3)	(72.1)	15.6	56.8	48.9	—			
1958(33)	41.2	210.8	103.8	60.3	254.3	87.4	192.6	85.0	49.2	81.4	34.2	154.7	1,354.9			
1959(34)	128.9	203.6	110.0	364.3	77.3	207.3	294.2	232.0	60.7	674.6	362.8	67.6	2,803.3			
1960(35)	72.1	(46)	186.3	185	244.7	196.0	135.1	226.1	93.2	37.3	107.8	107.2	1,595.6			
1961(36)	29.5	112.2	111.9	104.3	191.5	105.5	260.9	144.9	200.3	214.4	76.7	100.5	1,652.6			
1962(37)	74.4	(14.0)	184.6	136.4	161.5	189.4	(24.2)	(50.1)	40.2	52.2	266.3	91.9	1,285.2			
1963(38)	20.2	19.6	25.5	28.7	12.3	60.6	121.5	256.3	105.3	63.9	53.5	149.8	917.2			
1964(39)	152.4	57.6	53.3	26.1	202.9	348.2	254.1	76.8	97.4	131.5	35.3	124.6	1,560.2			
1965(40)	(欠)	69.0	(64.2)	85.8	248.1	387.3	23.3	225.8	156.9	90.3	124.2	88.6	—			
1966(41)	156.8	116.1	66.4	377.4	606.7	226.7	153.3	394.0	464.4	46.3	191.5	170.4	2,970.0			
1967(42)	(欠)	62	31	104	292	427	61	99	12	189	42	81	—			
1968(43)	49	95	182	78	142	258	68	322	49	0	63	61	1,367.0			
1969(44)	123	130	225	65	600	806	142	400	236	636	99	13	3,475.0			
1970(45)	121	(欠)	(欠)	(欠)	278	251	234	313	80	0	0	148	—			
1971(46)	78	24	30	51	50	73	95	182	149	111	271	194	1,308.0			
1972(47)	125	275	40	104	282	308	474	81	53	0	112	133	1,987.0			
1973(48)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(313)	(16)	(122)	56	(32)	(欠)	—			
1974(49)	(欠)	(欠)	(欠)	147	302	298	250	302	132	350	33	95	—			
1975(50)	149	94	176	216	362	475	(188)	370	93	196	28	67	2,414.0	121.0%	129日	129日
1976(51)	10	77	54	84	157	230	243	62	(256)	(173)	(68)	(38)	1,456.0	196.0%	165日	165日
1977(52)	(226)	(40)	(40)	(33)	(102)	226	137	(171)	(157)	120	216	126	1,594.0	116.0%	114日	114日
1978(53)	92	85	228	(226)	(514)	(299)	258	(703)	394	214	13	102	3,125.0	207.0%	153日	153日
1979(54)	88	195	174	201	183	195	175	(238)	(118)	(171)	230	33	2,001.0	110.0%	134日	134日
1980(55)	(106)	73	113	405	181	—	38	91	137	(170)	238	15	1,567.0	88.0%	122日	122日
1981(56)	29	64	210	138	146	54	189	61	37	84	66	(67)	1,145.0	86.0%	96日	96日
1982(57)	61	96	56	80	147	178	91	176	226	175	164	275.5	1,725.5	191.0%	114日	114日
1983(58)	94.0	175.0	385.0	185.0	266.0	186.0	90.0	292.0	227.0	12.0	5.0	41.5	1,958.5	163.0%	119日	119日
1984(59)	114.0	23.0	107.0	220.0	90.0	146.0	69.5	225.5	121.5	80.0	102.0	78.0	1,376.5	100.0%	147日	132日
1985(60)	50.5	261.0	112.5	111.0	168.5	223.5	85.5	380.0	115.5	32.0	45.5	169.5	1,753.0	140.0%	155日	124日
總 計	2,191.0	2,617.9	3,069.5	3,816.3	6,461.5	6,943.6	4,730.6	6,564.8	4,054.7	4,176.5	3,136.6	2,841.7	50,604.7			
平 均																

既往最多年降水量

3,475.0mm(昭和 44 年)

◇ 最小年 ◇

917.2mm(昭和 38 年)

◇ 最多月 ◇

806.0mm(昭和 44 年 6 月)

◇ 最小月 ◇

5.0mm(昭和 58 年 11 月)

◇ 最多日 ◇

mm(昭和 年 日)

最多3時間 ◇

mm(昭和 年 日 時~ 日 時)

最多1時間 ◇

mm(昭和 年 日 時)

対照番号	6	所属名	沖縄県					水系	濁名川				該当河川名	濁名川		
観測所名	本部高校	1/2.5万地形図名	名					所在地	本部町(本部高校内)							

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			≥0.5mm	≥1.0mm
1979(54)	(欠)	(欠)	(欠)	202.5	185	261.5	131	169.5	126.5	158	155	31.5	—	93.5%	114日	98日
1980(55)	(123)	(595)	121.5	310.5	230.5	66	475	107.0	168.0	117.5	210.5	39.0	1,600.5	96.0%	154日	140日
1981(56)	52.0	80.0	179.5	120.5	183.0	101.0	104.5	55.0	25.0	110.0	103.5	57.0	1,171.0	78.5%	140日	121日
1982(57)	61.0	78.0	70.5	72.0	200.5	182.5	52.0	164.5	222.5	154.5	137.0	155.0	1,550.0	300.0%	146日	131日
1983(58)	143.5	179.5	379.0	171.5	262.0	252.0	81.5	224.0	149.0	41.5	7.5	72.0	1,963.0	95.5%	162日	138日
1984(59)	121.0	38.0	155.0	190.0	116.5	155.5	212.0	336.5	81.0	82.5	145.5	73.5	1,707.0	132.0%	166日	138日
1985(60)	89.5	231.0	123.0	231.5	217.5	225.0	107.0	328.5	76.5	27.0	57.0	148.5	1,862.0	135.0%	147日	129日
1986(61)																
総計	590.0	1,201.5	1,028.5	1,298.5	1,395.0	1,243.5	1,163.0	1,385.0	848.5	691.0	816.0	576.5				
年数	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7				
平均	98.3	200.9	171.4	185.5	199.3	177.6	166.1	197.9	121.2	98.7	116.6	82.4				

既往最多年降水量 1,963.0mm(昭和 58 年)  
 ◇ 最小年 ◇ 1,171.0mm(昭和 55 年)  
 ◇ 最多月 ◇ 379.0mm(昭和 58 年 3 月)  
 ◇ 最小月 ◇ 7.5mm(昭和 58 年 11 月)  
 ◇ 最多日 ◇ mm(昭和 年 日)  
 最多3時間 ◇ mm(昭和 年 日 時～ 日 時)  
 最多1時間 ◇ mm(昭和 年 日 時)

村 照 番 号	7		所 属 名		冲 縄 県		水 系		大 井 川		該 当 河 川 名		大 井 川			
観 測 所 名	伊 豆 味		1/2.5万地形図名		名 護		所 在 地		本部町伊豆味元農業試験場バイン園内							
年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.5mm ≥1.0mm	
1967(42)	(欠)	105	71	163	307	(454)	79	163	30	320	126	151	—			
1968(43)	90	199	237	101	116	357	94	363	131	18	63	96	1,865			
1969(44)	187	172	291	92	518	980	110	349	90	1,146	105	43	4,083			
1970(45)	186	77	281	(欠)	(欠)	214	334	351	179	148	127	343	—			
1971(46)	144	38	96	151	63	162	77	299	137	219	418	239	2,043			
1972(47)	153	256	64	150	385	457	760	205	76	13	207	258	2,984			
1973(48)	197	221	105	(欠)	379	(283)	(45)	250	285	(150)	91	70	—			
1974(49)	(欠)	(欠)	(欠)	203	348	344	195	616	230	361	80	159	—			
1975(50)	212	200	222	218	292	(547)	(502)	261	201	214	127	190	3,186	130.0%	146日	146日
1976(51)	42	129	149	116	293	353	248	148	(437)	205	158	102	2,375	305.0%	138日	138日
1977(52)	240	118	72	(96)	(107)	(300)	111	158	(202)	(36)	196	214	1,850	131.0%	138日	138日
1978(53)	161	131	288	234	(230)	455	336	872	273	402	52	115	2,336	174.0%	163日	163日
1979(54)	(122)	(192)	(248)	(欠)	(欠)	(欠)							—	84.0%		
1980(55)														96.0%		
1981(56)														78.5%		
1982(57)														200.0%		
1983(58)																
1984(59)																
1985(60)																
1986(61)																
総 計	1,734.0	1,838.0	2,124.0	1,524.0	3,038.0	4,906.0	2,891.0	4,035.0	2,271.0	3,232.0	1,750.0	1,980.0				
年 数	11	12	12	10	11	12	12	12	12	12	12	12				
平 均	157.6	153.2	177.0	152.4	276.2	408.8	240.9	336.3	189.25	269.3	145.8	165.0				

既往最多年降水量 4,083.0mm(昭和 44 年)  
 ◇ 最小年 ◇ 1,850.0mm(昭和 52 年)  
 ◇ 最多月 ◇ 1,146.0mm(昭和 44 年 10 月)  
 ◇ 最小月 ◇ 13.0mm(昭和 47 年 月)  
 ◇ 最多日 ◇ mm(昭和 年 日)  
 最多3時間 ◇ mm(昭和 年 日 時~ 日 時)  
 最多1時間 ◇ mm(昭和 年 日 時)

对照番号	8			所 属 名				冲縄開発庁 北部ダム事務所				水 系		徳 首 川		飯 田 河 川 名		徳 首 川	
観測所名	喜瀬武原			1/2.5万地形図名				金 武				所 在 地		恩納村字喜瀬武原					
年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最多日量 (月日)	雨 天 日 数				
															≥0.5mm	≥1.0mm			
1970(45)																			
1971(46)	6	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	41	181	169	173	360	226	—						
1972(47)	151	222	47	(112)	(312)	384	592	325	14	5	137	155	2,456						
1973(48)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	434	98	219	(欠)	(欠)	(欠)	—						
1974(49)	92	117	97	(166)	(262)	117	268	413	119	243	34	112	2,040						
1975(50)	138	102	194	221	(278)	514	104	336	48	282	(28)	(65)	2,310	185.0%	148日	148日			
1976(51)	17	100	(55)	(117)	174	207	249	74	354	203	32	38	1,620	246.0%	100日	100日			
1977(52)	187	52	57	31	137	(169)	(137)	141	259	(44)	130	179	1,523	94.0%	108日	108日			
1978(53)	122	94	272	(202)	(403)	(268)	(342)	(685)	(305)	(275)	11	(160)	3,139	167.0%	155日	155日			
1979(54)	(163)	(193)	(192)	(215)	(230)	(191)	(93)	(238)	(147)	(173)	(223)	(44)	2,103	108.0%	161日	160日			
1980(55)	145.5	111	141	441.5	265.5	6.5	75.5	154.5	206	167.5	321.5	(275)	2,312	111.0%	158日	131日			
1981(56)	45.0	110.0	262.0	216.5	232.0	69.0	138.0	68.5	57.0	164.0	105.0	74.0	1,541.0	131.0%	138日	118日			
1982(57)	82.5	155.5	139.0	130.5	234.0	238.0	62.0	238.0	263.5	196.0	284.0	219.5	2,242.0		151日	128日			
1983(58)	118.5	223.0	453.5	273.5	298.5	249.0	210.0	302.0	232.5	18.0	8.0	59.5	2,446.0	167.0%	175日	151日			
1984(59)	145.5	49.5	162.5	290.0	158.0	161.5	167.5	357.0	119.0	52.0	138.5	67.5	1,868.5	83.0%	168日	147日			
1985(60)																			
1986(61)																			
總 計	1,414.0	1,529.0	2,072.0	2,416.0	2,984.0	2,574.0	2,913.0	3,611.0	2,512.0	1,995.5	1,812.0	1,674.5							
年 数	13	12	12	12	12	12	14	14	14	13	13	13							
平 均	108.8	127.4	172.7	201.3	248.7	214.5	208.1	257.9	179.4	153.5	139.4	128.8							

既往最多年降水量      3,139mm(昭和 53 年)  
 ◇ 最小年 ◇             1,523mm(昭和 52 年)  
 ◇ 最多月 ◇              685mm(昭和 53 年 8 月)  
 ◇ 最小月 ◇              5mm(昭和 47 年 10 月)  
 ◇ 最多日 ◇              mm(昭和      年            日)  
 最多3時間 ◇             mm(昭和      年            日    時～      日    時)  
 最多1時間 ◇             mm(昭和      年            日    時)



対照番号	9	所属名	神編開発庁 北部ダム事務所	水系	汀間川	該当河川名	汀間川
観測所名	安部又	1/2.5万地形図名	源 高	所 在 地	名護市字安部又		

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月日)	雨 天 日 数	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			≥0.5mm	≥1.0mm
1970(45)																
1971(46)	77	32	62	121	101	133	欠	143	165	175	(443)	321	1,773			
1972(47)	163	277	58	106	521	404	707	101	113	29	147	168	2,794			
1973(48)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	382	407	613	236	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	—			
1974(49)	84	149	(101.5)	(19.9)	(320)	(432)	173	659	314	457	(70)	(153)	3,111.5			
1975(50)	226	141	(213)	201	338	528	264	228	(119)	(443)	(66)	108	2,875	173.0%	191日	191日
1976(51)	28	105	(92)	(164)	(276)	(461)	(348)	(77)	(395)	(337)	139	81	2,603	230.0%	142日	142日
1977(52)	244	74	93	66	(141)	(458)	(152)	(97)	(329)	(126)	(241)	(198)	2,219	116.0%	135日	135日
1978(53)	(118)	(727)	(389)	(293)	(413)	270.5	575	(694.5)	(343.5)	318	(38.5)	(240.5)	3,820.5	176.0%	189日	180日
1979(54)	150	166	235.5	286	365.5	189.5	53.5	261.5	228	232	334.5	90	2,592	113.5%	181日	154日
1980(55)	189	148	143	498	261.5	111.5	94.0	153	298.5	151.5	316.5	43.0	2,407.5	147.0%	190日	164日
1981(56)	57.0	124.5	218.5	185.0	320.0	75.5	160.5	92.5	125.0	184.5	114.5	99.0	1,756.5	147.0%	164日	139日
1982(57)	89.0	161.5	167.5	158.5	290.0	230.0	101.5	204.5	255.0	185.5	217.5	269.0	2,349.5		180日	149日
1983(58)	142.5	207.0	465.0	199.5	270.0	279.0	147.0	319.5	247.0	24.0	27.0	107.0	2,434.5	184.0%	200日	160日
1984(59)	201.5	95.5	195.5	383.5	205.0	158.5	177.5	455.0	146.5	157.0	160.0	90.5	2,426.0	261.0%	196日	166日
1985(60)																
1986(61)																
観																
測																
所																
名																
総 計	1,769.0	2,407.5	2,433.5	2,860.5	4,204.0	4,137.5	3,566.0	3,721.5	3,078.5	2,819.5	2,314.5	1,968.0				
年 数	13	13	13	13	14	14	13	14	13	13	13	13				
平 均	136.1	185.2	187.2	220.0	300.3	295.5	274.3	265.8	236.8	216.9	178.04	151.4				

既往最多年降水量

3,820.5mm(昭和 53 年)

◇ 最小年 ◇

1,756.5mm(昭和 56 年)

◇ 最多月 ◇

694.5mm(昭和 53 年 8 月)

◇ 最少月 ◇

28.0mm(昭和 51 年 1 月)

◇ 最多日 ◇

mm(昭和 年 日)

最多3時間 ◇

mm(昭和 年 日 時~ 日 時)

最多1時間 ◇

mm(昭和 年 日 時)



対照番号	11	所 属 名	沖繩開発庁 北部ダム事務所		水 系	羽 地 川		該 当 河 川 名	羽 地 川	
観測所名	岳	後	1/2.5万地形図名	仲 尾 次	所 在 地	名護市字岳後				

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.5mm	≥1.0mm
1970(45)																
1971(46)	113	43	87	97	159	143	52	383	178	317	434	283	2,289.0			
1972(47)	192	289	75	128	396	387	698	276	(56)	(欠)	159	158	—			
1973(48)	(欠)	(欠)	(欠)	245	297	326	502	248	234	220	79	70	—			
1974(49)	99	(181)	106	209	320	(376)	171	534	314	285	68	164	2,927.0			
1975(50)	227	167	207	250	314	590	288	(251)	(119)	373	69	129	2,983.0	138.0%	200日	200日
1976(51)	38	102	99	155	(247)	(360)	309	88	530	282	158	92	2,460.0	336.0%	151日	151日
1977(52)	201	67	81	(69)	161	308	172	89	272	45	221	189	1,875.0	115.0%	152日	152日
1978(53)	117	138	308	314	479	269	450	871	388	(275)	(48)	195	3,852.0	139.0%	197日	197日
1979(54)	151	179	225	239	299	210	115	242	276	267	252	63	2,518.0	116.0%	172日	172日
1980(55)	203	135	159	442	270	21	120	135	245	129	313	57	2,229.0	128.0%	164日	164日
1981(56)	60.0	130.0	223.0	134.0	275.0	77.0	209.0	97.0	87.0	202.0	147.0	75.0	1,716.0	162.0%	143日	141日
1982(57)	125.0	146.0	147.0	152.0	260.5	243.5	80.0	231.5	256.5	189.5	285.0	233.0	2,349.5		170日	150日
1983(58)	175.5	197.5	418.5	185.0	285.5	275.0	156.0	305.5	255.0	43.0	14.0	82.0	2,392.5	196.5%	181日	163日
1984(59)	199.5	76.5	166.5	319.0	83.5	50.5	172.0	452.5	186.0	128.5	126.5	97.0	2,058.0	248.5%	207日	172日
1985(60)																
1986(61)																
総計	1,901.0	1,851.0	2,302.0	2,938.0	3,846.5	3,636.0	3,494.0	4,203.5	3,396.5	2,756.0	2,373.5	1,887				
年数	13	13	13	14	14	14	14	14	14	13	14	14				
平均	146.2	142.4	177.1	209.9	274.8	259.7	249.6	300.3	242.6	212.0	169.5	134.8				

既往最多年降水量 3,852.0mm(昭和 53 年)  
 〆 最小年 〆 1,716.0mm(昭和 56 年)  
 〆 最多月 〆 871.0mm(昭和 53 年 8 月)  
 〆 最小月 〆 14.0mm(昭和 58 年 11 月)  
 〆 最多日 〆 mm(昭和 年 日)  
 最多 3 時間 〆 mm(昭和 年 日 時～ 日 時)  
 最多 1 時間 〆 mm(昭和 年 日 時)

対照番号	12	所属名	沖繩開発庁 北部ダム事務所	水系	漢那川	該当河川名	漢那川
観測所名	漢那	1/2.5万地形図名	金武	所在地	宜野座村字漢那福地原2475-1		

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数	
															≥0.5mm	≥1.0mm
1977(52)	(欠)	10.0	45.0	33.0	125.0	159.0	139.0	138.0	217.5	29.5	142.5	170.0	—		100日	91日
1978(53)	101.0	85.0	260.5	263.5	479.0	254.5	347.0	640.5	317.0	269.5	16.0	171.5	3,205.0	168.0%	187日	157日
1979(54)	144.5	193.5	196.5	214.0	210.0	190.5	89.0	241.0	152.0	159.0	184.0	46.0	2,020.0	74.5%	160日	143日
1980(55)	119.0	(115.0)	121.5	365.0	224.5	11.0	79.0	159.5	177.0	122.0	257.0	20.0	1,770.5	96.5%	161日	137日
1981(56)	28.5	88.0	221.5	190.5	203.0	54.0	103.0	62.0	41.0	114.5	77.0	62.5	1,245.5	88.5%	137日	114日
1982(57)	68.0	129.5	131.0	84.5	216.0	212.0	56.5	181.0	272.0	190.0	283.5	175.0	1,993.0	89.0%	147日	125日
1983(58)	87.5	174.5	392.5	246.0	255.0	234.0	185.5	262.5	195.0	42.5	11.0	46.0	2,132.0	170.0%	164日	147日
1984(59)	132.5	48.0	141.5	269.5	142.0	138.5	198.0	372.5	136.5	47.0	132.0	51.5	1,809.5	187.5%	174日	151日
総計	681.0	843.5	1,510.0	1,666.0	1,854.5	1,253.5	1,197.0	2,067.0	1,508.0	974.0	1,103.0	742.5				
年数	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8				
平均	97.3	105.4	188.8	208.3	231.8	156.7	149.6	257.1	188.5	121.8	137.9	92.8				

既往最多年降水量

3,205.0mm(昭和 53 年)

◇ 最小年 ◇

1,770.5mm(昭和 55 年)

◇ 最多月 ◇

640.5mm(昭和 53 年 8 月)

◇ 最小月 ◇

11.0mm(昭和 55 年 6 月)

◇ 最多日 ◇

mm(昭和 年 日)

最多3時間 ◇

mm(昭和 年 日 時~ 日 時)

最多1時間 ◇

mm(昭和 年 日 時)

対照番号	13	所 属 名	沖繩開発庁 土地改良課	水 系	羽 地 川	該 出 河 川 名	羽 地 川
観測所名	羽 地	1/2.5万地形図名	仲 尾 次	所 在 地	名護市(羽地支所)		

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最多日量 (月日)	雨 天 日 数	
															≥0.1mm	≥1.0mm
総 計																
年 数																
平 均																

既往最多年降水量 mm(昭和 年)  
 ♪ 最小年 ♪ mm(昭和 年)  
 ♪ 最多月 ♪ mm(昭和 年 月)  
 ♪ 最小月 ♪ mm(昭和 年 月)  
 ♪ 最多日 ♪ mm(昭和 年 日)  
 最多3時間 ♪ mm(昭和 年 日 時~ 日 時)  
 最多1時間 ♪ mm(昭和 年 日 時)





対照番号	16		所属名	沖繩県企業局				水系	垣部川			該当河川名	垣部川
観測所名	名護浄水場		1/2.5万地形図名	名 護				所在地	名護市				

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数	
															≧0.5mm	≧1.0mm
1975(50)	22.5	108.3	60.3	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	210.5	54.4	91.3	—			
1976(51)	156.2	67.3	71.1	105.2	135.8	292.9	257.2	167.7	445.1	213.7	150.4	66.2	2,128.8			
1977(52)	111.9	126.0	265.5	63.7	106.4	245.2	157.1	60.8	318.2	37.7	195.2	198.7	1,886.4			
1978(53)	138.1	122.5	199.5	272.9	345.2	303.7	299.4	719.8	252.4	362.4	40.1	139.8	3,195.8			
1979(54)	154.0	120.2	144.2	205.9	214.7	201.8	84.0	190.5	256.1	241.1	196.8	50.0	2,059.3			
1980(55)	73.0	140.6	174.7	416.8	187.4	3.7	115.9	134.3	175.7	98.1	306.3	45.9	1,872.4			
1981(56)	102.1	142.2	92.6	115.3	248.8	75.3	191.9	103.9	83.4	159.4	139.0	68.5	1,522.4			
1982(57)	175.0	200.1	324.3	111.3	227.3	220.4	89.2	238.3	259.9	169.4	244.3	207.5	2,467.0			
1983(58)	149.9	62.8	179.9	189.3	226.5	269.2	122.5	276.6	233.6	59.9	17.0	97.6	1,884.8			
1984(59)	121.8	367.1	147.5	263.4	105.7	140.4	188.0	453.3	164.8	105.3	172.0	96.5	2,325.8			
総計	1,204.5	1,457.1	1,659.6	1,743.8	1,797.8	1,752.6	1,505.2	2,892.4	2,189.2	1,657.5	1,515.5	1,062.0				
年数	10	10	10	9	9	9	9	9	9	10	10	10				
平均	120.5	145.7	166.0	193.8	199.8	194.7	167.2	321.4	243.2	165.8	151.6	106.2				

既往最多年降水量 3,195.8mm(昭和 53 年)

◇ 最小年 ◇ 1,522.4mm(昭和 56 年)

◇ 最多月 ◇ 719.8mm(昭和 53 年 8 月)

◇ 最小月 ◇ 3.7mm(昭和 55 年 6 月)

◇ 最多日 ◇ mm(昭和 年 日)

最多3時間 ◇ mm(昭和 年 日 時~ 日 時)

最多1時間 ◇ mm(昭和 年 日 時)







村 照 番 号	19	所 属 名	琉球気象庁	水 系	源 河 川	該 当 河 川 名	源 河 川
観 測 所 名	源 河	1/5万地形図名	仲 尾 次	所 在 地	羽地村		

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数	
															≥0.5mm	≥1.0mm
1967(42)	84	84	40	134	351	517	36	176	61	189	62	92	1,826	6月4日 147		
1968(43)	88	110	256	103	154	253	89	349	43	5	62	65	1,576	6月20日 74		
1969(44)	178	139	217	74	629	893	119	318	106	707	97	16	3,493	10月7日 276		
1970(45)																
1971(46)	89	29	80	139	82	107	30	281	179	131	319	242	1,708	11月14日 241		
1972(47)																
1973(48)				48年3月終了												
総 計																
年 数																
平 均																

- 既往最多年降水量 mm(昭和 年)
- ◇ 最多年 ◇ mm(昭和 年)
- ◇ 最多月 ◇ mm(昭和 年 月)
- ◇ 最小月 ◇ mm(昭和 年 月)
- ◇ 最多日 ◇ mm(昭和 年 日)
- 最多3時間 ◇ mm(昭和 年 日 時~ 日 時)
- 最多1時間 ◇ mm(昭和 年 日 時)

对照番号	20	所属名	琉球气象庁	水系	汀間川	該当河川名	汀間川
観測所名	瀬高	1/5万地形図名	瀬高	所在地	久志村瀬高		

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	網天日数		
															≥0.5mm	≥1.0mm	
		資料	取	集	不	能											
総計																	
年数																	
平均																	

既往最多年降水量 mm(昭和 年)  
 ◇ 最小年 ◇ mm(昭和 年)  
 ◇ 最多月 ◇ mm(昭和 年 月)  
 ◇ 最小月 ◇ mm(昭和 年 月)  
 ◇ 最多日 ◇ mm(昭和 年 日)  
 最多3時間 ◇ mm(昭和 年 日 時~ 日 時)  
 最多1時間 ◇ mm(昭和 年 日 時)



対照番号	22	所 属 名	琉球気象庁			水 系	源 河 川	観当河川名	源 河 川
観測所名	字 橋	1/5万地形図名	仲 尾 次			所 在 地	名護市宇瀬河		

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最多日量 (月日)	雨天日数	
	≥0.5mm	≥1.0mm														
1967(42)																
1968(43)																
1969(44)																
1970(45)																
1971(46)	112	49	88	145	132	148	118	341	204	197	434	335	2,303	11月14日 303		
1972(47)																
1973(48)																
総計																
年数																
平均																

- 既往最多年降水量 mm(昭和 年)
- 〆 最小年 〆 mm(昭和 年)
- 〆 最多月 〆 mm(昭和 年 月)
- 〆 最小月 〆 mm(昭和 年 月)
- 〆 最多日 〆 mm(昭和 年 日)
- 最多3時間 〆 mm(昭和 年 日 時~ 日 時)
- 最多1時間 〆 mm(昭和 年 日 時)

村 照 番 号	23			所 属 名	琉球気象庁				水 系	羽 地 川				該 当 河 川 名	羽 地 川		
観 測 所 名	多 野 岳			1/5万地形図名	名 機				所 在 地	羽地村字仲尾次							
年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数		
															≥0.5mm	≥1.0mm	
1964 (39)																	
1965 (40)																	
1966 (41)																	
1967 (42)	(6)	104	45	142	277	469	27	156	85	164	82	144	1,701	6月4日 131			
1968 (43)	91	100	185	80	99	40	欠	216	24	36	60	75					
1969 (44)	190	157	207	56	605	665	64	224	77	607	74	8	2,934	5月13日 180			
1970 (45)																	
1971 (46)																	
1972 (47)																	
1973 (48)			48年3月終了														
総 計																	
年 数																	
平 均																	

既往最多年降水量 mm(昭和 年)  
 ◇ 最小年 ◇ mm(昭和 年)  
 ◇ 最多月 ◇ mm(昭和 年 月)  
 ◇ 最小月 ◇ mm(昭和 年 月)  
 ◇ 最多日 ◇ mm(昭和 年 日)  
 最多3時間 ◇ mm(昭和 年 日 時~ 日 時)  
 最多1時間 ◇ mm(昭和 年 日 時)

对照番号	24	所属名	琉球気象庁	水系	屋部川	該当河川名	西屋部川
観測所名	静山	1/5万地形図名		所在地	屋部村字静山		

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数		
															≥0.5mm	≥1.0mm	
				資料	収	集	不	能									
總計																	
年数																	
平均																	

既往最多年降水量              mm(昭和        年)  
 ◇ 最小年 ◇                     mm(昭和        年)  
 ◇ 最多月 ◇                     mm(昭和        年    月)  
 ◇ 最小月 ◇                     mm(昭和        年    月)  
 ◇ 最多日 ◇                     mm(昭和        年              日)  
 最多3時間 ◇                    mm(昭和        年    日    時~    日    時)  
 最多1時間 ◇                    mm(昭和        年    日    時)



封 照 番 号	25		所 属 名		琉球気象庁	水 系		屋 部 川	該 当 河 川 名		屋 部 川				
観 測 所 名	屋 部		1/5万地形図名		名	所 在 地		屋部村字茂佐北部森林高校							
年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.5mm ≥1.0mm
1951(26)									257.1	486.4	86.9	欠			
1952(27)	欠	欠	欠	欠	155.8	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠			
1953(28)	欠	112.8	185.0	169.4	欠	132.9	143.0	39.0	283.1	130.4	176.3	117.5			
1954(29)	182.1	81.5	133.7	252.1	107.3	371.5	236.3	470.0	203.0	51.7	143.0	87.9	2,320.1	209.3	
1955(30)	115.5	142.9	78.4	135.1	365.1	408.1	483.7	281.1	60.0	122.2	78.0	27.4	2,297.5	282.0	
1956(31)	170.7	140.9	107.5	232.0	258.6	214.4	55.4	345.6	503.3	108.9	111.0	74.1	2,322.4	135.0	
1957(32)	34.4	141.9	130.7	94.9	196.2	264.7	44.6	131.2	475.1	15.8	115.5	63.6	2,004.6	166.9	
1958(33)	102.1	190.3	168.4	66.9	250.6	113.2	299.6	欠	79.3	100.9	32.1	176.8		384.3	
1959(34)	98.7	210.9	63.2	426.9	64.8	253.3	339.0	256.6	86.1	726.3	295.6	68.0	2,900.4	93.2	
1960(35)	149.3	47.7	201.9	175.1	267.1	229.3	107.5	360.6	72.2	35.0	145.1	150.3	1,941.1	200.7	
1961(36)	46.3	140.2	120.3	165.9	312.5	124.1	340.2	200.0	290.3	254.7	98.6	147.7	2,240.8	186.0	
1962(37)	101.4	70.6	322.5	164.1	312.5	227.2	221.0	182.3	132.9	138.0	356.3	97.3	2,326.1	122.9	
1963(38)	455	16.5	53.9	37.1	112.9	112.5	72.3	338.1	104.2	67.4	77.9				
1964(39)															
1965(40)															
1966(41)															
1967(42)															
1968(43)															
1969(44)															
1970(45)															
1971(46)															
総 計															
年 数															
平 均															

既往最多年降水量

mm(昭和 年)

◇ 最小年 ◇

mm(昭和 年)

◇ 最多月 ◇

mm(昭和 年 月)

◇ 最小月 ◇

mm(昭和 年 月)

◇ 最多日 ◇

mm(昭和 年 日)

最多3時間 ◇

mm(昭和 年 日 時~ 日 時)

最多1時間 ◇

mm(昭和 年 日 時)

対照番号	26	所 属 名	琉球気象庁	水 系	溝 名 川	該当河川名	酒 名 川
観測所名	本 部	1/5万地形図名	名 護	所 在 地	本部町渡久地本部中学校		

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最多日量 (月日)	雨 天 日 数	
															≥0.5mm	≥1.0mm
1958(33)							260.6	84.9	42.5	151.3	51.9	149.8				
1959(34)	114.9	234.9	81.1	480.8	104.8	380.0	249.2	243.8	133.9	738.9	336.0	72.7	3,170.8	421.6		
1960(35)	90.8	41.5	欠	154.1	358.9	180.1	166.1	332.2	97.8	60.1	114.6	119.7		92.1		
1961(36)	57.0	146.2	118.9	243.0	332.0	127.3	326.0	177.1	159.4	151.9	101.4	173.9	2,115.3	138.3		
1962(37)	123.1	119.3	295.3	202.1	363.7	293.7	239.4	229.9	120.0	99.9	408.6	102.0	2,597.0	226.0		
1963(38)																
1964(39)																
1965(40)																
1966(41)																
1967(42)																
1968(43)																
1969(44)																
1970(45)																
総 計																
年 数																
平 均																

既往最多年降水量 mm(昭和 年)  
 ◇ 最小年 ◇ mm(昭和 年)  
 ◇ 最多月 ◇ mm(昭和 年 月)  
 ◇ 最小月 ◇ mm(昭和 年 月)  
 ◇ 最多日 ◇ mm(昭和 年 日)  
 最多3時間 ◇ mm(昭和 年 日 時~ 日 時)  
 最多1時間 ◇ mm(昭和 年 日 時)



村 照 番 号	28		所 属 名	琉球気象庁			水 系	宜 野 座 川		该 当 河 川 名	宜 野 座 川		
観 測 所 名	宜 野 座		1/5万地形図名	金 武				所 在 地	宜野座村字宜野座宜野座高校				

年	月												全 年	最 多 日 量 (月日)	雨 天 日 数	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			≥0.5mm	≥1.0mm
1958(33)							263.0	88.2	47.0	41.4	欠	176.7				
1959(34)	91.0	198.1	90.1	422.3	78.1	216.5	179.0	382.2	43.0	710.4	265.2	76.1	2,752.0	233.1		
1960(35)	95.3	39.0	184.5	185.0	204.2	218.9	81.3	348.8	68.3	37.7	63.5	121.4	1,647.9	127.3		
1961(36)	21.7	124.8	141.4	112.2	325.5	117.2	278.9	160.1	237.4	222.0	88.2	111.8	1,941.2	174.5		
1962(37)	71.2	94.3	254.2	186.7	200.0	267.8	207.1	162.8	202.2	88.5	402.9	112.0	2,249.7	201.4		
1963(38)																
1964(39)																
1965(40)																
1966(41)																
1967(42)																
總 計																
年 数																
平 均																

- 既往最多年降水量                      mm(昭和          年)
- ◇ 最小年   ◇                      mm(昭和          年)
- ◇ 最多月   ◇                      mm(昭和          年          月)
- ◇ 最小月   ◇                      mm(昭和          年          月)
- ◇ 最多日   ◇                      mm(昭和          年                  日)
- 最多3時間   ◇                      mm(昭和          年          日          時~          日          時)
- 最多1時間   ◇                      mm(昭和          年          日          時)

村照番号	29	所属名	琉球気象庁	水系	宜野座川	該当河川名	宜野座川
観測所名	宜野座	1/5万地形図名	金武	所在地	宜野座村字惣慶小原		

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数		
															≥0.5mm	≥1.0mm	
				資料	収	集	不	能									

既往最多年降水量                      mm(昭和      年)  
 ◇ 最小年 ◇                            mm(昭和      年)  
 ◇ 最多月 ◇                             mm(昭和      年    月)  
 ◇ 最小月 ◇                             mm(昭和      年    月)  
 ◇ 最多日 ◇                              mm(昭和      年              日)  
 最多3時間 ◇                             mm(昭和      年    日    時~    日    時)  
 最多1時間 ◇                             mm(昭和      年    日    時)

## Ⅱ 水位流量資料

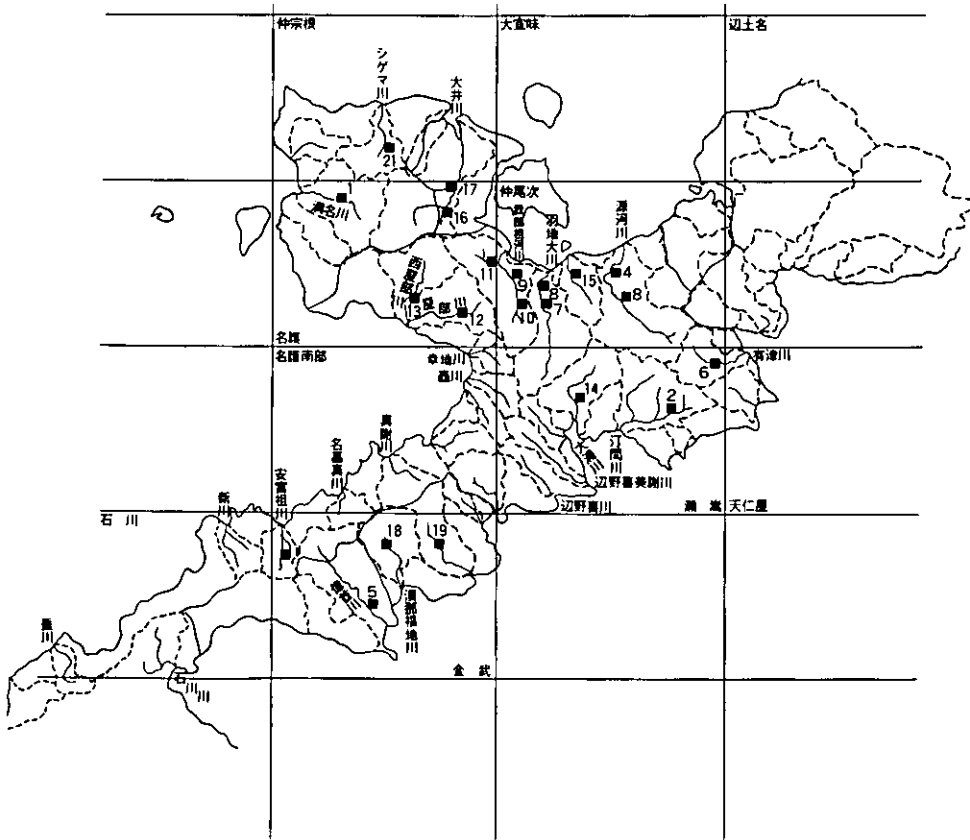
### Ⅱ-1 水位・流量観測所総括表

地域	沖縄県 (総計)	北 部	中北部	中南部	宮 古	八重山	そ の 他 島
沖縄県 開発庁 北部ダム事務所	15	11	4	0	0	0	0
沖縄県 開発庁 森林開水産部	39	8	15	5	9	0	2
沖縄県 土木建築部 河川課	11	1	2	8	0	0	0
沖縄県 企業局	0	0	0	0	0	0	0
八重山・宮古 総合農業開発事務所	12	0	0	0	4	8	0
そ の 他	5	0	0	1	0	4	0
合 計	82	20	21	14	13	12	2

#### 復帰前

地域	沖縄県	北 部	中北部	中南部	宮 古	八重山	そ の 他 島
琉球政府	9	2	3	0	0	4	0

### Ⅱ-2 水位・流量観測所位置図



II-3 水位・流量観測所一覧表

対照 番号	2.5万分1 地形図名	所 属 名	観 測 所 名	水 系 名	第 一 次 支 派 川 名	該 当 河 川 名	所 在 地		観 測 測 器 の 種 類
							市 都 町 村	字 番 地	
1	名 護	沖 縄 道 庁 土木 土木 課	瀧 名 川	瀧 名 川		瀧 名 川	本部町字並里	RMO-205 -5型 フロート式	
2	瀬 嵩	〃	汀 間 川	汀 間 川		汀 間 川	名護市字三原	F1L-460 B型 小笠原	
3	仲 尾 次	沖 縄 開 発 庁 北部ダム事務所	羽 地 川 (下)	羽 地 川		羽 地 川	名護市羽地川上橋より1.0km上流	水研62型 フロート式	
4	〃	〃	源 河 川 (下)	源 河 川		源 河 川	名護市源河ガジュマル原	〃	
5	金 武	〃	億 首 川	億 首 川		億 首 川	金武町金武ダム50m下流	〃	
6	天 仁 屋	〃	有 津 川	有 津 川		有 津 川	有津集落より3km上流	〃	
7	仲 尾 次	沖 縄 開 発 庁 土木 土木 課	羽 地 川 (上)	羽 地 川		羽 地 川	名護市字川上南東山地	F1L-460 B型 フロート式	
8	〃	〃	源 河 川 (上)	源 河 川		源 河 川	名護市字源河湯水場400m上流	〃	
9	〃	〃	我 部 祖 河 川 (上)	我 部 祖 河 川		我 部 祖 河 川	名護市字伊差川	〃	
10	〃	〃	我 部 祖 河 川 (下)	〃		〃	名護市字古我地	〃	
11	名 護	〃	奈 佐 田 川	〃		奈 佐 田 川	名護市字飯慶名	〃	
12	〃	〃	屋 部 川 (東)	屋 部 川		屋 部 川	名護市字福地南方橋脇	〃	
13	〃	〃	屋 部 川 (西)	〃		〃	名護市大西白銀橋脇	〃	
14	瀬 嵩	〃	大 浦 川	大 浦 川		大 浦 川	名護市字大川栄店脇	〃	
15	仲 尾 次	〃	真 喜 屋 川	真 喜 屋 川		真 喜 屋 川	名護市字真喜屋	〃	
16	名 護	〃	大 井 川 (上)	大 井 川		大 井 川	今帰仁村字呉我山	〃	
17	仲 宗 根	〃	大 井 川 (下)	大 井 川		〃	今帰仁村字マツチャク	〃	
18	金 武	〃	漢 那 川	漢 那 川		漢 那 川	宜野座村字福地川	〃	
19	〃	〃	宜 野 座 村	宜 野 座 川		宜 野 座 川	宜野座村字宜野座高校北西200m	〃	
20	〃	〃	安 富 祖 川	安 富 祖 川		安 富 祖 川	恩納村字安富祖東方200m	〃	
21	仲 宗 根	〃	繁 間 川	繁 間 川		繁 間 川	今帰仁村誌志泉又近く	〃	

観測区分及び時刻				河口又は合流点よりの距離 km	流 域 面 積 km <sup>2</sup>	水位標の 標 高 m	観測開始 年 月 日	観測資料保存状況		備 考
水 位 測定時	実流量観測の範囲							期 間 年	場 所	
	低水時	全水位	高水時							
○				2.37	6.50	9	S47. 1	8	沖縄県土木部河川課	3)
○				3.27	2.90	10	S50. 4	11	+	3)
○				5.82	9.58	113	S48. 5. 1	9	沖縄開発庁 北部ダム事務所	2)
○				5.10	8.34	20	S46. 5. 21	10	+	2)
○				2.02	11.26	5	S48. 5. 1	5	+	2)
○				3.77	4.42	30	S52. 6. 1	6	+	2)
○				4.82	11.13	2.7	S46. 5. 10	8	沖縄開発庁土地改良課	1)
○				7.35	8.34	41	S48. 5. 4	11	+	1)
○				3.50	2.44	18	S48. 5. 12	7	+	1)
○				2.22	7.45	6	S48. 5. 12	11	+	1)
○				1.40	4.32	4	S48. 5. 3	11	+	1)
○				3.27	6.92	5	S48. 6. 6	7	+	1)
○				1.62	7.36	5	S48. 7. 1	11	+	1)
○				1.62	5.61	5	S48. 7. 1	11	沖縄開発庁農林水産部 土地改良課	1)
○				0.97	4.60	3	S48. 5. 12	11	+	1)
○				8.57	2.49	45	S48. 5. 15	7	+	1)
○				2.97	15.87	15	S48. 5. 12	7	+	1)
○				2.60	5.67	8	S48. 5. 24	10	+	1)
○				10.12	5.30	43	S48. 5. 10	7	+	1)
○				1.06	2.49	2	S54. 4. 20	11	+	1)
○				2.57	2.44	67	S49. 4. 12	3	+	1)

- 1) 河川開発調査水文観測報告書    2) 沖縄北部水位雨量年表    3) 水文観測業務報告書  
4) 北部ダム統合管理事務所資料    5) 沖縄県企業局資料



II-4 流量観測所年別流況表

対照番号	1	所 属 名	沖繩県土木部河川課	水 位	溝 名 川	該当河川名 及び流域面積	6.50km <sup>2</sup>										
観測所名	溝 名 川	1/2.5万地形図名	名 称	所 在 地	本部町字並里												
年 (西暦年)	流 量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年総量 ×10 <sup>4</sup> m <sup>3</sup>	比 流 量 (m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流出高 mm	
	最 大	量 水	平 水	低 水	濁 水	最 小	年平均		最 大	量 水	平 水	低 水	濁 水	最 小	年平均		
昭和47年(1972)																	
48年(1973)																	
49年(1974)																	
50年(1975)	(199)	143 0.50	40 0.20	38 0.16	21 0.00	21 0.00	(39) 0.47	16.78		7.69	3.08	2.46	0.00	0.00	7.23		
51年(1976)	60.88	0.26	0.12	0.03	0.01	0.00	0.25	9.13	936.62	4.00	1.85	0.46	0.15	0.00	3.85		
52年(1977)	8.77	0.24	0.16	0.10	0.00	0.00	0.21	7.67	134.92	3.69	2.46	1.54	0.00	0.00	3.23		
53年(1978)	48.16	0.68	0.49	0.30	0.16	0.12	0.58	21.17	740.92	10.46	7.54	4.62	2.46	1.85	8.92		
54年(1979)	21.02	0.41	0.35	0.29	0.08	0.07	0.42	14.28	323.38	6.31	5.38	4.46	2.77	1.08	6.46		
55年(1980)	19.10	0.37	0.27	0.20	0.15	0.14	0.35	12.64	293.85	5.69	4.15	3.08	2.31	2.15	5.38		
56年(1981)	7.42	0.24	0.14	0.08	0.04	0.03	0.19	6.94	114.15	3.69	2.15	1.23	0.62	0.46	2.92		
57年(1982)	42.93	0.39	0.28	0.22	0.12	0.06	0.39	12.91	660.46	6.00	4.31	3.38	1.85	0.92	6.00		
58年(1983)																	
59年(1984)																	
60年(1985)																	
既往合計	208.28	3.09	2.01	1.38	0.66	0.42	2.86	101.52		641.53	30.92	21.23	10.16	6.46	43.99		
調査年数	7	8	8	8	8	8	8	8		8	8	8	8	8	8		
既往平均	(51年) 60.88	0.39	0.25	0.17	0.08	0.00	(56年) 0.19	12.69		80.19	3.87	2.65	1.27	0.81	5.50		

対照番号	2	所属名	沖繩県土木部河川課	水系	汀間川	該当河川名 及び流域面積	2.90km <sup>2</sup>									
観測所名	汀間川	1/2.5万地形図名	瀬嵩	所在地	名護市字三阪											
年 (西暦年)	流量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年総量 ×10 <sup>4</sup> m <sup>3</sup>	比流量 (m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流出高 mm
	最大	量水	平水	低水	濁水	最小	年平均		最大	量水	平水	低水	濁水	最小	年平均	
昭和50年(1975)	277	30 1.06	28 0.05	26 0.05	23 0.05	23 0.05	0.06		9,551.72	36.55	1.72	1.72	1.72	1.72	2.07	
・ 51年(1976)	59.23	0.09	0.03	0.02	—	0.00	0.09		2,042.41	3.10	1.03	0.69	—	0.00	3.10	
・ 52年(1977)	39.18	0.09	0.08	0.06	0.03	0.01			1,351.03	3.10	2.76	2.07	1.03	0.34		
・ 53年(1978)	48.10	0.37	0.24	0.17	0.13	0.12	0.40		1,658.62	2.76	8.28	5.86	4.48	4.14	13.79	
・ 54年(1979)	36.33	0.19	0.14	0.11	0.06	0.05	0.22		1,252.76	6.55	4.83	3.79	2.07	1.72	7.59	
・ 55年(1980)	44.88	0.26	0.17	0.13	0.09	0.08	0.22		1,547.59	8.97	5.86	4.48	3.10	2.75	7.59	
・ 56年(1981)	13.65	0.14	0.11	0.06	0.04	0.02	0.14		470.69	4.83	3.79	2.07	1.38	0.69	4.83	
・ 57年(1982)	23.15	0.11	0.07	0.05	0.04	0.03	0.15		798.28	3.79	2.41	1.72	1.38	1.03	5.17	
・ 58年(1983)	24.56	0.17	0.11	0.08	0.05	0.04	0.20		846.90	5.86	3.79	2.76	1.72	1.38	6.90	
・ 59年(1984)	31.43	0.08	0.02	0.00	0.00	0.00	0.09		1,083.79	2.76	0.69	0.00	0.00	0.00	3.10	
・ 60年(1985)	6.63	—	—	—	0.00	0.00	0.07		228.62	—	—	—	0.00	0.00	2.41	
既往合計	604.14	2.56	1.02	1.27	0.94	0.4	1.64		20,832.41	78.27	35.16	25.16	16.88	13.77		
調査年数	11	10	10	10	10	11	10		11	10	10	10	10	11		
既往平均	(50) 277	0.26	0.10	0.13	0.09	0.00	0.16		1,893.86	78.27	3.52	2.52	1.69	1.25		

対照番号	3	所属名	沖縄開発庁 北部ダム事務所	水系	羽地川	該当河川名 及び流域面積	9.58km <sup>2</sup>
観測所名	羽地川(下)	1/2.5万地形図名	仲尾次	所在地	名護市羽地川上橋より1.0km上流		

年 (西暦年)	流量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年総量 ×10 <sup>6</sup> m <sup>3</sup>	比流量 (m <sup>3</sup> /sec/100km)							流出高 cm
	最大	量	水	平	水	低	水		濁	水	最	小	年	平均		
昭和48年(1973)																
49年(1974)																
50年(1975)	11.52	0.45	0.19	0.12	0.08	0.02	0.44		116.95	4.57	1.93	1.25	0.84	0.21	4.59	
51年(1976)																
52年(1977)	20.30	0.40	0.17	0.10	0.06	0.04	0.33		211.90	4.18	1.77	1.04	0.63	0.42	3.44	
53年(1978)	50.37	1.03	0.64	0.38	0.12	0.09	1.05		525.78	10.75	6.68	3.97	1.25	0.94	10.96	
54年(1979)	34.38	0.58	0.30	0.15	0.09	0.07	0.48		358.87	6.05	3.13	1.57	0.94	0.73	5.01	
55年(1980)	37.33	0.75	0.21	0.10	0.03	0.01	0.51		389.67	7.83	2.20	1.04	0.31	0.10	5.32	
56年(1981)	12.60	0.19	0.12	0.10	0.08	0.07	0.22	6.9	131.52	1.98	1.25	1.04	0.84	0.73	2.30	
57年(1982)	18.44	0.62	0.14	0.09	0.06	0.03	0.52	16.3	192.48	6.47	1.46	0.94	0.63	0.31	5.43	
58年(1983)	47.46	0.81	0.31	0.15	0.04	0.05	0.62		495.41	8.46	3.24	1.57	0.42	0.52	6.47	
59年(1984)	(281)	(34)	(26)	—	(20)	(27)	(32)									
60年(1985)																
既往合計	232.4	4.83	2.08	1.19	0.56	0.38	4.17		2,422.58	50.29	21.66	12.42	5.86	3.96	43.52	
調査年数	8	8	8	8	8	8	8		8	8	8	8	8	8	8	
既往平均	(S53) 50.37	0.60	0.26	0.15	0.07	(S55) 0.01	0.52		302.82	6.29	2.71	1.56	0.73	0.50	5.44	



対照番号	5	所属名	神縄開発庁 北部ダム事務所	水系	徳首川	該当河川名 及び流域面積	11.26km <sup>2</sup>
観測所名	徳首川	1/2.5万地形図名	金武	所在地	金武町金武ダム50m下流		

年 (西暦年)	流量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年総量 ×10 <sup>6</sup> m <sup>3</sup>	比流量 (m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流出高 cm
	最大	量水	平水	低水	濁水	最小	年平均		最大	量水	平水	低水	濁水	最小	年平均	
昭和48年(1973)																
・ 49年(1974)																
・ 50年(1975)	52.08	0.41	0.08	0.03	0.00	0.00	0.26	9.50	462.52	3.64	0.71	0.27	0.00	0.00	2.31	
・ 51年(1976)		中	止													
・ 52年(1977)																
・ 53年(1978)	54.96	0.41	0.02	0.01	0.00	0.00	0.76	27.74	488.10	3.64	0.18	0.09	0.00	0.00	6.75	
・ 54年(1979)	53.22	0.10	0.02	0.00	0.00	0.00	0.39	14.24	472.65	0.89	0.18	0.00	0.00	0.00	3.46	
・ 55年(1980)	52.08	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	0.51	18.67	462.52	0.18	0.09	0.00	0.00	0.00	4.53	
・ 56年(1981)	0	0	0	0	0	0	0.05	1.82	0	0	0	0	0	0	0.44	
・ 57年(1982)	観測終了															
・ 58年(1983)																
・ 59年(1984)																
・ 60年(1985)																
既往合計	212.34	0.94	0.13	0.04	0.00	0.00	1.97	71.97	1,885.79	8.35	1.16	0.39	0.00	0.00	17.49	
調査年数	4	4	4	2	0	0	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
既往平均	(S 53) 54.96	0.24	0.03	0.02	0.00	0.00	0.39	14.40	377.16	1.67	0.23	0.08	0.00	0.00	3.50	

対照番号	6	所属名	沖縄開発庁 北部ダム事務所		水系	有津川	該当河川名 及び流域面積	4.42km <sup>2</sup>								
観測所名	有津川	1/2.5万地形図名	天仁型		所在地	有津集落より3km上流										
年 (西暦年)	流量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年総量 ×10 <sup>6</sup> m <sup>3</sup>	比流量 (m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流出高 cm
	最大	昼水	平水	低水	濁水	最小	年平均		最大	昼水	平水	低水	濁水	最小	年平均	
昭和52年(1977)																
・ 53年(1978)																
・ 54年(1979)	28.16	0.12	0.07	0.04	0.03	0.01	0.20	7.30	637.10	2.71	1.58	0.90	0.68	0.23	4.52	
・ 55年(1980)	46.87	0.13	0.07	0.05	0.03	0.02	0.17	6.22	1,060.41	2.94	1.58	1.13	0.68	0.45	3.85	
・ 56年(1981)	34.16	0.09	0.05	0.04	0.01	0.01	0.11	3.84	772.85	2.04	1.13	0.90	0.23	0.23	2.49	
・ 57年(1982)	28.74	0.12	0.07	0.05	0.02	0.02	0.16	5.84	650.23	2.71	1.58	1.13	0.45	0.45	3.62	
・ 58年(1983)	60.30	0.19	0.11	0.06	—	0.03	0.21	7.29	1,364.25	4.30	2.49	1.36	—	0.68	4.75	
・ 59年(1984)	(163)	(30)	(27)	(25)	(23)	(22)	(29)									
・ 60年(1985)																
既往合計	198.23	0.65	0.37	0.24	0.09	0.09	0.85	30.49	4,484.84	14.7	8.36	5.42	2.04	2.04	19.23	
調査年数	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	
既往平均	(S 58) 60.30	0.13	0.07	0.05	0.02	(S 54) 0.01	0.17	6.10	896.97	2.94	1.67	1.08	0.51	0.41	3.85	

対照番号	7	所属名	沖縄開発庁森林水産部 土地改良課					水系	羽地川	該当河川名 及び流域面積	11.13km <sup>2</sup>										
観測所名	羽地川(上)	1/2.5万地形図名	仲尾次					所在地	名護市字川上東南山地												
年 (西暦年)	流量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年総量 ×10 <sup>6</sup> m <sup>3</sup>	比流量 (m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流出高 cm					
	最大	最大	平水	低水	低水	最小	年平均		最大	最大	平水	低水	低水	最小	年平均						
昭和48年(1973)																					
・49年(1974)																					
・50年(1975)	173 133.46	19 0.24	16 0.12	14 0.04	(-) —	(12) 0.00	(18) 0.23														
・51年(1976)	0.45	0.30	0.09	0.04	(-)	0.01	0.14														
・52年(1977)	3.07	0.14	0.13	0.11	0.09	0.09	0.12														
・53年(1978)	94.97	0.78	0.47	0.33	0.25	0.18	0.77														
・54年(1979)	34.62	0.46	0.26	0.18	0.08	0.06	0.30														
・55年(1980)	73.89	0.27	0.13	0.06	0.01	0.00	0.33														
・56年(1981)	6.38	0.07	0.04	0.01	0.00	0.03															
・57年(1982)																					
・58年(1983)	47.46	0.81	0.31	0.15	0.04	0.05	0.62														
・59年(1984)																					
・60年(1985)																					
既往合計	394.3	3.07	1.55	0.92	0.47	0.42	2.51														
調査年数	8	8	8	8	6	8	7														
既往平均	(S 50) 133.46	0.38	0.19	0.12	0.08	0.00	0.36														

村 照 番 号	8	所 属 名	冲縄開発庁 森林水産部 土地改良課	水 系	源 河 川	該当河川名 及び流域面積	8.34km <sup>2</sup>
観 測 所 名	源 河 川(上)	1/2.5万地形図名	仲 尾 次	所 在 地	名護市字源河抽水場400m 上流		

年 (西暦年)	流 量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年 總 量 ×10 <sup>4</sup> m <sup>3</sup>	比 流 量 (m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流 出 高 mm
	最 大	最 水	平 水	低 水	渴 水	最 小	年 平 均		最 大	最 水	平 水	低 水	渴 水	最 小	年 平 均	
昭和48年(1973)																
• 49年(1974)																
• 50年(1975)	99.75	0.35	0.23	0.21	0.20	0.19	0.25		1,196.04	4.20	2.76	2.52	2.40	2.28	3.00	
• 51年(1976)	(欠)	0.11	(-)	(-)	(-)	0.00	(-)		(欠)	1.32	(-)	(-)	(-)	0.00	(-)	
• 52年(1977)	19.60	0.40	0.27	0.20	0.12	0.05			235.01	4.80	3.24	2.40	1.44	0.60		
• 53年(1978)	38.56	0.97	0.64	0.44	0.33	0.21			462.35	11.63	7.67	5.28	3.96	2.52		
• 54年(1979)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(-)		(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(-)	
• 55年(1980)	26.84	0.76	0.60	0.44	0.29	0.22			321.82	9.11	7.20	5.28	3.48	2.64		
• 56年(1981)	7.50	0.47	0.39	0.34	0.28	0.11			89.93	5.64	4.68	4.08	3.36	1.32		
• 57年(1982)	9.97	0.56	0.46	0.39	0.30	0.15			119.54	6.71	5.52	4.68	3.60	1.80		
• 58年(1983)	32.90	0.85	0.62	0.54	0.38	0.35			394.48	10.19	7.43	6.47	4.56	4.20		
• 59年(1984)	18.12	0.43	0.23	0.12	0.08	0.07			217.27	5.16	2.76	1.44	0.96	0.84		
• 60年(1985)	6.31	0.23	0.15	0.11	0.06	0.00			75.66	2.76	1.80	1.32	7.19	0.00		
既 往 合 計	259.6	5.13	3.59	2.79	2.04	1.35			3,112.1	61.52	43.06	33.47	30.95	16.2		
調 査 年 数	9	10	9	9	9	10			9	10	9	9	9	10		
既 往 平 均	(S 50) 99.75	0.51	0.40	0.31	0.23	0.00			345.79	6.15	4.78	3.72	3.44	1.62		





対照番号	10	所属名	沖縄開発庁森林水産部 土地改良課	水系	我部祖河川	該当河川名 及び流域面積	7.45km <sup>2</sup>									
観測所名	我部祖河川(下)	1/2.5万地形図名	仲尾次	所在地	名護市宇古我地											
年 (西暦年)	流量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年総量 ×10 <sup>6</sup> m <sup>3</sup>	比流量 (m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流出高 cm
	最大	最小	平均	低水	濁水	最小	年平均		最大	最小	平均	低水	濁水	最小	年平均	
昭和48年(1973)																
49年(1974)																
50年(1975)	22.46	0.39	0.24	0.11	(—)	0.03	0.50	17.05	301.48	5.23	3.22	1.48	(—)	0.40	6.71	
51年(1976)	23.76	0.13	0.10	0.08	0.04	0.03	0.19	6.92	318.93	1.74	1.34	1.07	0.54	0.40	2.55	
52年(1977)	11.58	0.15	0.11	0.09	0.07	0.06	0.18	6.57	155.44	2.01	1.48	1.21	0.94	0.81	2.42	
53年(1978)	72.34	1.04	0.50	0.24	0.10	0.08	1.10	4.01	971.01	13.96	6.71	3.22	1.34	1.07	14.77	
54年(1979)	36.48	0.31	0.21	0.16	0.10	0.06	0.40	14.60	489.66	4.16	2.82	2.15	1.34	0.81	5.37	
55年(1980)	32.94	0.31	0.21	0.14	0.08	0.06	0.41	15.00	442.15	4.16	2.82	1.88	1.07	0.81	5.50	
56年(1981)	18.63	0.29	0.19	0.15	0.06	0.00	0.30	10.77	250.07	3.89	2.55	2.01	0.81	0.00	4.03	
57年(1982)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)			(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)		
58年(1983)	50.89	0.41	0.27	0.19	0.09	0.04	0.59		683.09	5.50	3.62	2.55	1.21	0.54	7.92	
59年(1984)	98.50	0.33	0.23	0.15	0.10	0.09	0.50		1,322.15	4.43	3.09	2.01	1.34	1.21	6.71	
60年(1985)	5.80	—	—	—	—	0.06	0.62		77.85	—	—	—	—	0.81	8.32	
既往合計	373.38	3.36	2.06	1.31	0.64	0.51	4.79		5,011.83	45.08	27.65	17.58	8.59	6.86	64.3	
調査年数	10	9	9	9	8	10	10		10	9	9	9	8	10	10	
既往平均	(S 59) 98.50	0.37	0.23	0.15	0.08	0.00	0.48		501.183	5.01	3.07	1.95	1.07	0.69	6.43	















対照番号	17	所属名	沖縄開発庁森林水産部 土地改良課		水系	大井川	該当河川名 及び流域面積	15.87km <sup>2</sup>								
観測所名	大井川(下)	1/2.5万地形図名	仲宗根		所在地	今帰仁村字マツチャク										
年 (西暦年)	流量 $m^3/sec$ (水位 $cm$ )							年総量 $\times 10^4 m^3$	比流量 $m^3/sec/100km^2$							流出高 $mm$
	最大	量水	平水	低水	濁水	最小	年平均		最大	量水	平水	低水	濁水	最小	年平均	
昭和48年(1973)																
・49年(1974)																
・50年(1975)	104.58	0.61	0.25	0.00	(—)	0.00	0.51	17.60	658.96	3.84	1.58	0.00	(—)	(0.00)	3.21	
・51年(1976)	(—)	0.32	0.00	(—)	(—)	0.00	0.30	10.20	(—)	2.02	0.00	(—)	(—)	0.00	1.89	
・52年(1977)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	(欠)	
・53年(1978)	54.42	0.49	0.24	0.14	0.05	0.03	0.47	15.28	342.91	3.09	1.51	0.88	0.32	0.19	2.96	
・54年(1979)	11.45	0.42	0.20	0.06	0.04	0.03	0.31	11.32	72.15	2.65	1.26	0.38	0.25	0.19	1.95	
・55年(1980)	4.49	0.20	0.06	0.00	0.00	0.00	0.14	5.10	28.29	1.26	0.38	0.00	0.00	0.00	0.88	
・56年(1981)	4.79	0.23	0.11	0.03	0.02	0.09	0.29	2.81	30.18	1.45	0.69	0.19	0.13	0.57	1.83	
・57年(1982)																
・58年(1983)																
・59年(1984)																
・60年(1985)																
既往合計	179.73	2.27	0.86	0.23	0.11	0.15	2.02	62.31	1,132.51	14.31	5.42	1.45	0.7	0.95	12.72	
調査年数	5	6	6	5	4	6	6	6	5	6	6	5	4	4	6	
既往平均	(S50) 104.58	0.38	0.14	0.05	0.03	0.00	0.34	10.39	226.50	2.39	0.90	0.29	0.18	0.24	2.12	

村 照 番 号	18	所 属 名	神 户 国 立 农 林 水 产 部 土 地 改 良 课	水 采	漢 那 川	該 当 河 川 名 及 以 流 域 面 積	5.67km <sup>2</sup>										
観 測 所 名	漢 那 川	1/2.5万地形図名	金 武	所 在 地	宜野座村字福地川												
年 (西曆年)	流 量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年 総 量 ×10 <sup>4</sup> m <sup>3</sup>	比 流 量 (m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流 出 高 mm	
	最 大	昼 水	平 水	低 水	退 水	最 小	年 平 均		最 大	昼 水	平 水	低 水	退 水	最 小	年 平 均		
昭和48年(1973)																	
• 49年(1974)																	
• 50年(1975)	56.57	0.40	0.34	0.24	0.07	0.05	0.23	8.40	997.71	7.05	6.00	4.23	1.23	0.88	4.06		
• 51年(1976)	56.19	0.29	0.26	0.20	0.15	0.13	0.10	3.64	991.01	5.11	4.59	3.53	2.65	2.29	1.76		
• 52年(1977)	42.85	0.23	0.18	0.14	0.11	0.08	0.12	4.33	755.73	4.06	3.17	2.47	1.94	1.41	2.12		
• 53年(1978)	73.26	0.43	0.26	0.18	0.07	0.06	0.50	18.25	1,292.06	7.58	4.59	3.17	1.23	1.06	8.82		
• 54年(1979)	78.74	0.24	0.19	0.14	0.10	0.07	0.30	10.95	1,388.71	4.23	3.35	2.47	1.76	1.23	5.29		
• 55年(1980)	61.28	0.20	0.11	0.04	0.01	0.01	0.17	6.22	1,080.78	3.53	1.94	0.71	0.18	0.18	3.00		
• 56年(1981)	6.99	0.17	0.13	0.08	0.03	0.00	0.16	5.57	123.28	3.00	2.29	1.41	0.53	0.00	2.82		
• 57年(1982)	48.38	0.13	0.09	(-)	(-)	0.05	0.19	5.05	853.26	2.29	1.59	(-)	(-)	0.88	3.35		
• 58年(1983)	41.62	0.31	0.23	0.18	(-)	0.12	0.34	11.56	734.04	5.64	4.06	3.17	(-)	2.12	6.00		
• 59年(1984)	(329)	(14)	(13)	(12)	(7)	(7)	(14)										
• 60年(1985)																	
既 往 合 計	465.88	2.41	1.79	1.2	0.54	0.57	2.11	73.97	8,216.58	42.49	31.58	21.16	9.52	10.05	37.22		
調 査 年 数	9	9	9	8	7	9	9	9	9	9	9	8	7	9	9		
既 往 平 均	(S 54) 78.74	0.27	0.20	0.15	0.08	(S 56) 0.00	0.23	8.22	912.95	4.72	3.51	2.65	0.74	0.90	4.14		

対照番号	19	所属名	沖縄開発庁農林水産部 土地改良課	水系	宜野座川	該当河川名 及び流域面積	5.30km <sup>2</sup>
観測所名	宜野座川	1/2.5万地形図名	金武	所在地	宜野座村字宜野座高校北西200m		

年 (西暦年)	流量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年総量 ×10 <sup>4</sup> m <sup>3</sup>	比流量 (m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流出高 mm	
	最大	量水	水平	水	低水	濁水	最小		年平均	最大	量水	水平	水	低水	濁水		最小
昭和48年(1973)																	
・49年(1974)																	
・50年(1975)	29.01	0.22	0.11	0.06	(-)	0.02	0.32	10.40	547.36	4.15	2.08	1.13	(-)	0.38	6.04		
・51年(1976)	108.73	0.01	0.01	0.00	(-)	0.00	0.15	4.52	2,051.51	0.19	0.19	0.00	(-)	0.00	2.83		
・52年(1977)	26.08	0.09	0.05	0.04	0.02	0.01	0.11	4.00	492.08	1.70	0.94	0.75	0.38	0.19	2.08		
・53年(1978)	79.16	0.56	0.35	0.24	0.11	0.09	0.62	22.63	1,493.58	10.57	6.60	4.53	2.08	1.70	11.70		
・54年(1979)	51.33	0.29	0.21	0.16	0.12	0.08	0.34	12.27	968.49	5.47	3.96	3.02	2.26	1.51	6.42		
・55年(1980)	52.86	0.19	0.10	0.07	0.05	0.01	0.20	7.32	997.36	3.58	1.89	1.32	0.94	0.19	3.77		
・56年(1981)	5.18	0.12	0.09	0.06	0.04	0.00	0.12	4.38	97.74	2.26	1.70	1.13	0.75	0.00	2.26		
・57年(1982)																	
・58年(1983)																	
・59年(1984)																	
・60年(1985)																	
既往合計	352.35	1.48	0.92	0.63	0.34	0.21	1.86	65.52	6,648.12	27.92	17.36	11.88	6.41	3.97	35.1		
調査年数	7	7	7	7	5	7	7	7	7	7	7	7	5	7	7		
既往平均	(S 51) 108.73	0.21	0.13	0.09	0.07	0.00	0.27	9.36	949.73	3.99	2.48	1.70	1.28	0.57	5.01		

対照番号	20	所属名	沖縄開発庁農林水産部 土地改良課	水系	安富祖川	該当河川名 及び流域面積	2.49km <sup>2</sup>									
観測所名	安富祖川	1/2.5万地形図名	金武	所在地	恩納村字安富祖東方200m											
年 (西暦年)	流量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年総量 ×10 <sup>4</sup> m <sup>3</sup>	比流量(m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流出高 mm
	最大	水量	平水	低水	濁水	最小	年平均		最大	水量	平水	低水	濁水	最小	年平均	
昭和54年(1979)	21.88	0.15	0.08	0.06	0.04	0.02	1.55	38.91	878.71	6.02	3.21	2.41	1.61	0.80	62.25	
・ 55年(1980)	19.60	0.09	0.05	0.04	0.01	0.00	0.11	3.80	787.15	3.61	2.01	1.61	0.40	0.00	4.42	
・ 56年(1981)	9.83	0.11	0.06	0.02	0.00	0.14	0.11	3.06	394.78	4.42	2.41	0.80	0.00	5.62	4.42	
・ 57年(1982)								観測終了								
・ 58年(1983)																
・ 59年(1984)																
・ 60年(1985)																
既往合計	51.31	0.35	0.19	0.12	0.05	0.16	1.77	45.77	2,060.64	14.05	7.63	4.82	2.01	6.42	71.09	
調査年数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
既往平均	(S 54) 21.88	0.12	0.06	0.04	0.02	(S 55) 0.00	0.59	15.26	686.88	4.68	2.54	1.61	0.67	2.14	23.70	

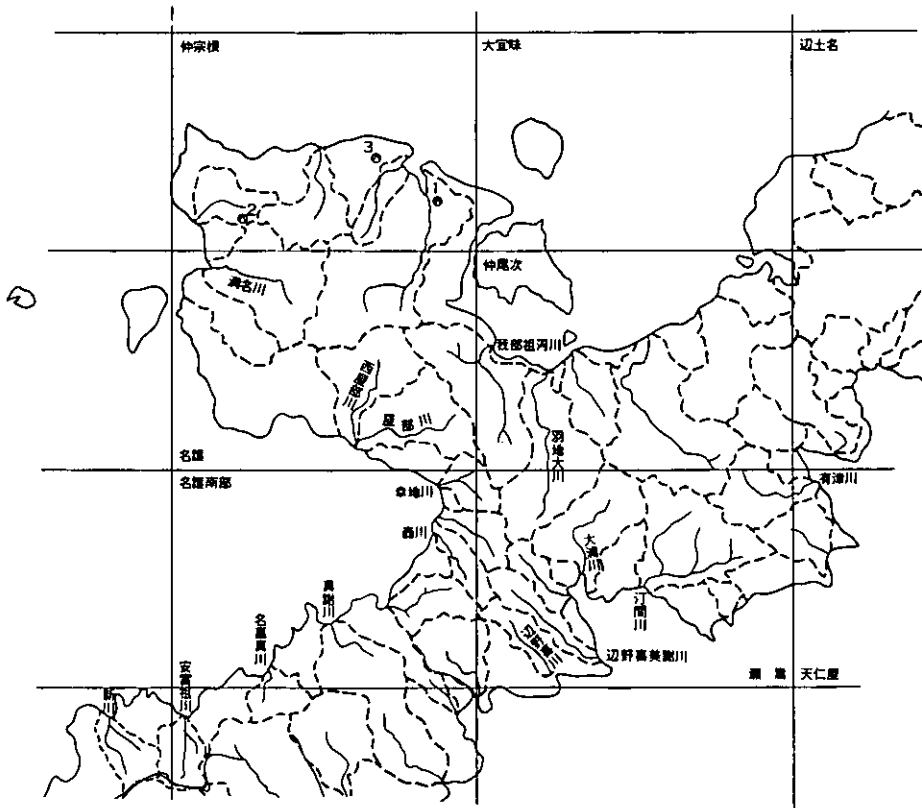
対照番号	21	所属名	沖縄開発庁森林水産部 土地改良課				水系	繁間川	該当河川名 及び流域面積	2.44km <sup>2</sup>							
観測所名	繁間川	1/2.5万地形図名		仲宗根		所在地	今帰仁村諸志泉又近く										
年 (西暦年)	流量 m <sup>3</sup> /sec (水位 cm)							年総量 ×10 <sup>4</sup> m <sup>3</sup>	比流量 (m <sup>3</sup> /sec/100km <sup>2</sup> )							流出高 mm	
	最大	水量	平水	低水	濁水	最小	年平均		最大	水量	平水	低水	濁水	最小	年平均		
昭和49年(1974)																	
* 50年(1975)	42.08	0.18	0.03	0.00	(-)	0.00	0.13	4.11	1,724.59	7.38	1.23	0.00	(-)	0.00	5.33		
* 51年(1976)	17.46	0.04	0.02	0.01	(-)	0.00	0.05	1.62	715.57	1.64	0.82	0.41	(-)	0.00	2.05		
* 52年(1977)	4.02	0.03	0.01	0.01	0.00	0.00	0.03	1.04	164.75	1.23	0.41	0.41	0.00	0.00	1.23		
* 53年(1978)	14.42	0.15	0.08	0.04	0.03	0.01	0.15	5.48	590.98	6.15	3.28	1.64	1.23	0.41	6.15		
* 54年(1979)	8.32	0.07	0.03	0.02	0.01	0.01	0.07	2.56	340.98	2.87	1.23	0.82	0.41	0.41	2.87		
* 55年(1980)	6.37	0.04	0.02	0.01	0.00	0.06	0.05	1.83	261.07	1.64	0.82	0.41	0.00	2.46	2.05		
* 56年(1981)	2.04	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.73	83.61	0.82	0.41	0.00	0.00	0.00	0.82		
* 57年(1982)	9.41	0.03	0.02	0.01	0.00	0.00	0.05	1.83	385.66	1.23	0.82	0.41	0.00	0.00	2.05		
* 58年(1983)	11.08	0.15	0.09	0.05	0.01	0.01	0.13	4.75	454.10	6.15	3.69	2.05	0.41	0.41	5.33		
* 59年(1984)	19.72	0.06	0.03	0.01	0.01	0.00	0.07	2.56	808.200	2.46	1.23	0.41	0.41	0.00	2.87		
* 60年(1985)	27.10	0.03	0.02	0.01	0.00	0.00	0.05	1.83	1,110.66	1.23	0.82	0.41	0.00	0.00	2.05		
既往合計	162.02	0.8	0.36	0.17	0.06	0.09	0.8	28.34	6,556.56	32.8	14.76	6.97	2.46	3.69	32.8		
調査年数	11	11	11	11	9	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11		
既往平均	(S 51) 42.08	0.07	0.03	0.02	0.01	0.00	0.07	2.58	596.05	2.98	1.34	0.63	0.22	0.34	2.98		

### Ⅲ 地下水位資料

#### Ⅲ-1 地下水位観測井戸総括表

所 属 別	地 域 別	沖 縄 本 島	宮 古	八 重 山	そ の 他 島	合 計	今 回 調 査 地 域
沖 縄 開 発 庁 開 発 建 設 部 河 川 課		9	0	0	0	9	3
沖 縄 農 林 水 産 庁 農 林 開 水 産 部		16	0	0	0	16	0
八 重 山 宮 古 総 合 農 業 事 務 所		0	33	0	0	33	0
そ の 他		—	—	—	—	—	—
合 計		25	33	0	0	58	3

#### Ⅲ-2 地下水位観測井戸位置図





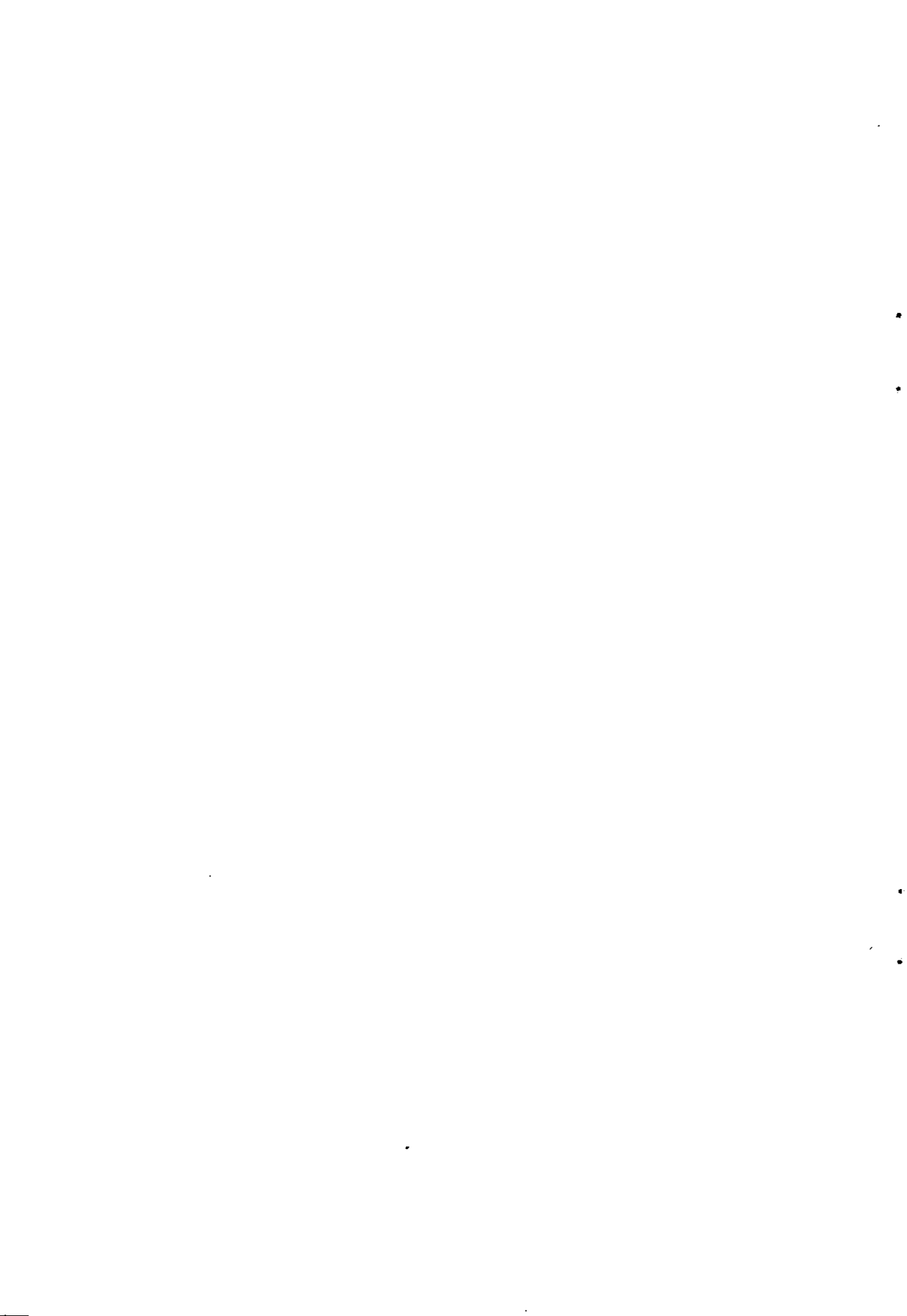




Ⅲ-4 地下水位観測記録年表

对照番号	年		昭49	50	51	52	53
	観測井戸名	月					
1		1		—		3.82	2.68
		2		—		3.59	2.63
		3		—	3.78	3.46	2.96
本部 町 謝 花		4		—	3.44	3.23	4.08
		5		—	3.18	3.02	5.48
		6		—	3.53	2.83	6.65
		7		—	4.31	2.74	7.21
		8		10.03	4.71	2.71	8.53
		9		10.48	4.80	2.88	10.00
		10			4.88	2.97	10.37
		11		6.83	4.71	2.79	10.24
		12		6.38	4.35	2.69	8.85
		年平均		8.43	4.36	3.06	6.64
2		1		—	1.02	1.09	1.00
		2		—	1.04	1.08	1.01
		3		—	1.05	1.04	1.06
今 幡 仁 村 仲 宗 根		4		—	1.07	1.03	1.06
		5		—	1.06	1.01	1.11
		6		—	1.13	1.06	1.16
		7		—	1.16	1.03	1.14
		8		1.27	1.09	1.00	1.31
		9		1.20	1.12	1.00	1.36
		10		1.17	1.11	0.95	1.32
		11		1.12	1.11	0.97	1.24
		12		1.09	1.03	0.96	1.17
		年平均		1.17	1.03	1.02	1.16
3		1				—	2.72
		2				—	2.74
		3				—	3.08
今 幡 仁 村 崎 山		4				—	3.40
		5				—	4.22
		6					4.75
		7				2.66	4.15
		8				2.93	5.43
		9				2.65	5.58
		10				2.66	5.35
		11				2.56	4.20
		12				2.37	3.29
		年平均				2.60	4.08

54	55	56	57	58	59	60
7.62	5.14	4.57	2.35	5.33	5.11	4.42
6.46	4.94	3.98	2.19	6.01	4.54	4.24
5.83	4.80	3.67	2.06	6.94	3.97	4.54
6.26	5.34	3.70	1.95	7.62	4.00	5.53
7.18	7.42	3.57	1.89	7.92	4.26	5.97
7.67	7.40	4.10	3.28	8.27	4.17	6.59
7.63	6.61	4.04	4.09	8.45	4.16	6.86
6.67	5.80	3.58	3.90	8.18	4.65	6.71
6.16	5.09	3.21	3.89	7.88	6.77	6.83
5.89	4.59	2.94	4.24	7.52	5.97	6.14
6.41	4.83	2.71	4.25	6.78	5.45	5.36
5.87	5.20	2.53	4.63	5.91	4.91	4.88
6.64	5.61	3.55	3.23	7.23	4.83	5.67
1.10	1.09	1.10	1.05	1.13	1.12	1.06
1.14	1.08	1.08	1.03	1.17	1.07	1.08
1.14	1.11	1.13	1.08	1.25	1.01	1.09
1.15	1.16	1.10	1.08	1.26	欠	1.10
1.16	1.21	1.10	1.10	1.27	1.13	1.16
1.20	1.18	1.08	1.21	1.31	1.09	1.18
1.19	1.10	1.07	1.10	1.27	1.12	1.14
1.17	1.10	1.06	1.07	1.22	1.10	1.19
1.12	1.11	1.05	1.09	1.24	1.13	1.20
1.12	1.11	1.03	1.08	1.16	1.11	1.14
1.13	1.16	1.02	1.10	1.14	1.10	1.08
1.09	1.13	1.03	1.13	1.12	1.09	1.07
1.25	1.13	1.07	1.09	1.21	1.10	1.12
2.85	2.89	2.86	2.31	3.62	2.53	2.63
2.83	3.11	2.66	2.24	3.56	2.59	2.73
3.25	3.22	2.88	2.25	4.47	2.57	3.20
3.96	3.61	3.08	2.38	4.60	3.38	3.65
4.29	4.86	3.05	2.58	4.80	3.34	3.39
4.29	3.90	3.46	3.80	4.83	3.21	4.38
4.04	3.09	3.02	3.62	4.64	3.07	3.89
3.12	2.66	2.74	3.17	3.72	3.25	3.73
3.76	2.75	2.53	2.87	3.39	3.83	3.69
3.03	2.85	2.44	3.05	3.61	3.11	2.96
3.78	3.40	2.48	2.96	3.17	2.73	2.56
3.37	3.43	2.48	3.52	2.68	2.73	2.51
3.55	3.31	2.81	2.90	3.93	3.03	3.28



## Ⅳ 水 質 資 料

### Ⅳ-1 水質観測地点総括表

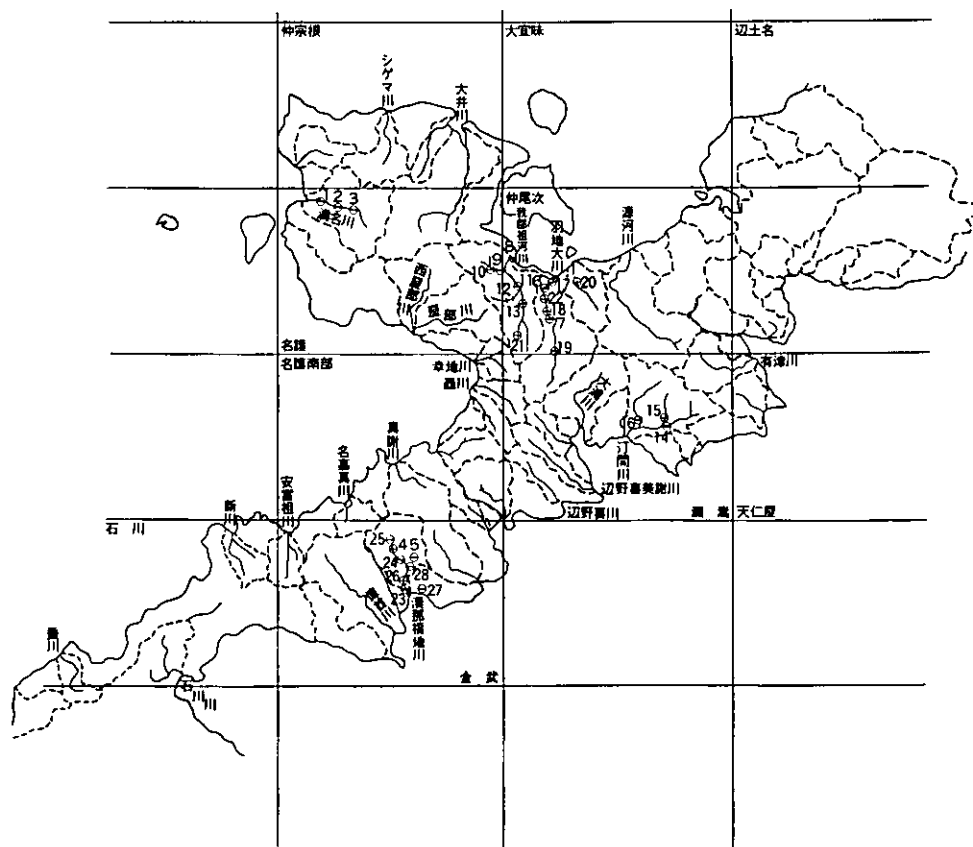
河 川

所属名	地域別	沖繩本島	宮古	八重山	その他島	合計	今回調査地域
沖繩県環境保健部		19 河川 72 測点	0 0	0 0	0 0	19 河川 72 測点	5 河川 16 測点
沖繩開発庁北部ダム管理事務所		5 河川 29 測点	0 0	0 0	0 0	5 河川 29 測点	0 0
沖繩開発庁北部ダム事務所		2 河川 12 測点					2 河川 12 測点

海 域

所属別	地域別	沖繩本島	宮古	八重山	その他島	合計	今回調査地域
沖繩県環境保健部		7 海域 58 測点	2 海域 9 測点	2 海域 9 測点	0 海域 0 測点	11 海域 76 測点	3 海域 18 測点

### Ⅳ-2 水質観測所位置図



Ⅳ-3 水質調査地点一覧表

対照番号	2.5万分1地形図名	調査地点名	水系名	該当河川名	所在地	河口又は合流点よりの距離	観測関係	採水所名
1	名護	渡久地橋	瀧名川	瀧名川	本部町字渡久地渡久地橋下	0.2 km	年12回	沖縄県環境保健部
2	〃	伊野波川合流点	〃	〃	〃 字伊野波伊野波川合流点	1.1	年6回	〃
3	〃	山川酒屋前	〃	〃	〃 字前山川酒屋前	2.1	〃	〃
4	金武	合流点	漢那川	漢那川	宜野座村字漢那合流点	1.4	年6回	沖縄県環境保健部
5	〃	取水点跡	〃	〃	〃 取水点跡	1.8	〃	〃
6	仲尾次	河口	羽地川	羽地川	名護市字仲尾次河口から300m	0.3	年12回	沖縄県環境保健部
7	〃	名護取水点	〃	〃	〃 字川上名護取水点	2.2	年6回	〃
8	仲尾次	石橋	我部祖河川	我部祖河川	名護市字我部祖河	1.2	年12回	沖縄県環境保健部
9	〃	奈佐田川合流前	〃	奈佐田川	〃 字振慶名		〃	〃
10	名護	奈佐田川	〃	〃	〃 字伊差川奈佐田川		〃	〃
11	仲尾次	深田川合流点	〃	深田川	〃 字伊差川深田川合流点		年6回	〃
12	〃	深田川	〃	〃	〃 字山田深田川		〃	〃
13	〃	真我橋	〃	我部祖河川	〃 字我部祖河真我橋	1.4	年12回	〃
14	瀬嵩	嘉手苧橋	汀間川	汀間川	名護市字汀間嘉手苧橋上流100m		年6回	沖縄県環境保健部
15	〃	三原中学校前	〃	〃	名護市三原三原中学校前堰堤上流50m橋		〃	〃
16	〃	志根垣川	〃	志根垣川	名護市字汀間志根垣志根垣川		〃	〃
17	仲尾次	羽地大川基1	羽地大川	羽地大川	名護市		年5回	沖縄開発庁北部ダム事務所
18	〃	〃 基2	〃	〃	〃		〃	〃
19	〃	〃 基3	〃	〃	〃		〃	〃
20	〃	〃 基4	真喜屋大川	真喜屋大川	〃		〃	〃
21	〃	〃 基5	我部祖河川	ナハチユタ川	〃		〃	〃
22	〃	〃 基6	羽地大川	羽地大川			〃	〃
23	金武	漢那川基1	漢那川	漢那川	宜野座村字漢那		年5回	沖縄開発庁北部ダム事務所
24	〃	〃 基2	〃	〃	〃		〃	〃
25	〃	〃 基3	〃	〃	〃		〃	〃
26	〃	〃 基4	〃	〃	〃		〃	〃
27	〃	〃 基5	漢那中港川	漢那中港川	〃		〃	〃
28	〃	〃 基6	漢那川	漢那川	〃		〃	〃

分析所名	分析 項目数	分析資料保存状況		備 考
		期間年	保管場所	
沖縄県公害衛生研究所 （前）沖縄県環境科学検査センター	17	13	沖縄県環境保健部	
〃	8	13	〃	1)
〃	8	13	〃	1)
沖縄県公害衛生研究所 （前）沖縄県環境科学検査センター	17	12	沖縄県環境保健部	1)
〃	17	11	〃	1)
沖縄県公害衛生研究所 （前）沖縄県環境科学検査センター	17	12	沖縄県環境保健部	1)
〃	17	12	〃	1)
沖縄県公害衛生研究所 （前）沖縄県環境科学検査センター	17	10	沖縄県環境保健部	1)
〃	17	10	〃	1)
〃	8	10	〃	1)
〃	17	12	〃	1)
〃	17	10	〃	1)
〃	8	10	〃	1)
沖縄県公害衛生研究所 （前）沖縄県環境科学検査センター	17	11	沖縄県環境保健部	1)
〃	17	9	〃	1)
〃	17	9	〃	1)
（前）沖縄県環境科学検査センター 沖縄県環境保全研究所	16	5	沖縄開発庁北部ダム事務所	2)
〃	16	5	〃	2)
〃	16	5	〃	2)
〃	25	5	〃	2)
〃	16	5	〃	2)
〃	16	5	〃	2)
（前）沖縄県環境科学検査センター 沖縄県環境保全研究所	16	5	沖縄開発庁北部ダム事務所	2)
〃	16	5	〃	2)
〃	16	5	〃	2)
〃	6	5	〃	2)
〃	16	5	〃	2)
〃	16	5	〃	2)

1) 公共用水域の水質測定結果表 2) 北部ダム資料事務所水質測定

#### V-4 水質分析資料

対照 番号	2.5万分1 地形図名	所 属 名	調 査 地 点 名	水 系 名	該 当 河 川 名	所 在 地	環境基準 類 型
1	名 護	沖 縄 総 県 環 境 保 健 部	渡 久 地 橋	瀧 名 川	瀧 名 川	本部町字渡久地渡久地橋下	B
2	+	+	伊野波川合流点	+	+	本部町字伊野波伊野波川合流点	A
3	+	+	山川酒屋前	+	+	本部町字前山川酒屋前	(A)
4	金 武	沖 縄 総 県 環 境 保 健 部	合 流 点	漢 那 川	漢 那 川	宜野座村字漢那合流点	A
5	+	+	企業局取水点跡	+	+	宜野座村字漢那取水点跡	(A)
6	仲尾次	沖 縄 総 県 環 境 保 健 部	河 口 か ら 上 流 300m	羽 地 大 川	羽 地 大 川	名護市字仲尾次河口から300m	—
7	+	+	名護取水点	+	+	名護市字川上名護取水点	A
8	仲尾次	沖 縄 総 県 環 境 保 健 部	石 橋	我 部 祖 河 川	我 部 祖 河 川	名護市字我部祖河	A
9	+	+	奈佐田川合流点か ら上流100m	+	奈 佐 田 川	+	D
10	名 護	+	深 田 川 合 流 点	+	我 部 祖 河 川	+	D
11	仲尾次	+	奈佐田川合流点か ら天川上流100m	+	+	+	A
12	+	+	深田川合流点から 支川上流100m	+	+	+	A
13	+	+	具 我 橋	+	+	+	A
14	瀬 嵩	沖 縄 総 県 環 境 保 健 部	嘉手苜橋から上流 200m	汀 間 川	汀 間 川	名護市字汀間嘉手苜橋上流100m	B
15	+	+	三原中学校前堰堤 上流50mの橋	+	+	名護市三原三原中学校前堰堤上流	A
16	+	+	志 根 垣 川	+	志 根 垣 川	名護市字汀間志根垣志根垣川	—

SSppm							大腸菌群數 (MPN/100ml)						
54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年
30	11	15	34	30	23	17	$3.8 \times 10^3$	$3.8 \times 10^4$	$4.5 \times 10^4$	$4.4 \times 10^4$	$8.8 \times 10^4$	$7.1 \times 10^5$	$7.3 \times 10^4$
29	9	12	190	68	14	24	$1.1 \times 10^5$	$4.6 \times 10^4$	$3.8 \times 10^4$	$3.1 \times 10^4$	$4.4 \times 10^4$	$1.0 \times 10^5$	$4.9 \times 10^5$
10	2	9	11	7	7	2	$3.0 \times 10^3$	$4.5 \times 10^3$	$4.0 \times 10^3$	$3.6 \times 10^3$	$1.8 \times 10^3$	$7.6 \times 10^3$	$2.0 \times 10^3$
8	12	6	3	5	9	5	$7.5 \times 10^3$	$4.5 \times 10^3$	$2.8 \times 10^3$	$4.8 \times 10^3$	$1.0 \times 10^4$	$2.5 \times 10^3$	$6.8 \times 10^3$
7	7	7	4	5	5	6	$4.7 \times 10^3$	$1.0 \times 10^3$	$1.4 \times 10^3$	$3.7 \times 10^3$	$6.8 \times 10^3$	$5.0 \times 10^3$	$6.6 \times 10^3$
14	8	13	35	13	15	12	$4.1 \times 10^7$	$1.1 \times 10^8$	$2.6 \times 10^8$	$7.6 \times 10^8$	$6.0 \times 10^8$	$2.8 \times 10^8$	$1.3 \times 10^8$
3	1	3	8	2	3	2	$7.9 \times 10^3$	$9.3 \times 10^3$	$3.0 \times 10^3$	$3.3 \times 10^3$	$3.7 \times 10^3$	$1.2 \times 10^4$	$2.2 \times 10^4$
11	11	7	77	100	16	8	$2.0 \times 10^3$	$1.2 \times 10^3$	$3.1 \times 10^3$	$5.9 \times 10^3$	$2.2 \times 10^3$	$5.5 \times 10^3$	$9.8 \times 10^3$
13	7	9	34	17	19	16	$1.6 \times 10^6$	$1.9 \times 10^6$	$2.6 \times 10^6$	$2.8 \times 10^6$	$3.2 \times 10^6$	$1.7 \times 10^6$	$1.3 \times 10^6$
10	4	8	49	51	15	8	$3.0 \times 10^6$	$1.2 \times 10^6$	$2.3 \times 10^6$	$1.1 \times 10^6$	$2.2 \times 10^6$	$7.8 \times 10^6$	$2.5 \times 10^6$
21	10	4	21	13	7	9	$6.5 \times 10^4$	$2.2 \times 10^4$	$1.4 \times 10^4$	$4.9 \times 10^4$	$1.9 \times 10^4$	$1.9 \times 10^4$	$1.4 \times 10^4$
16	21	13	168	84	30	38	$9.8 \times 10^7$	$1.7 \times 10^7$	$3.5 \times 10^6$	$4.9 \times 10^6$	$4.0 \times 10^6$	$2.7 \times 10^6$	$1.7 \times 10^6$
18	9	15	23	17	13	18	$1.6 \times 10^8$	$6.3 \times 10^4$	$4.1 \times 10^8$	$1.4 \times 10^8$	$1.7 \times 10^8$	$2.0 \times 10^8$	$8.4 \times 10^8$
8	12	12	14	13	8	11	$1.2 \times 10^3$	$1.1 \times 10^3$	$3.6 \times 10^3$	$2.1 \times 10^3$	$1.2 \times 10^4$	$8.7 \times 10^3$	$3.6 \times 10^4$
3	8	6	3	5	3	3	$2.3 \times 10^3$	$1.0 \times 10^3$	$1.5 \times 10^3$	$4.6 \times 10^3$	$1.3 \times 10^4$	$9.7 \times 10^3$	$1.2 \times 10^4$
7	3	7	6	9	3	3	$2.5 \times 10^4$	$1.7 \times 10^4$	$5.8 \times 10^3$	$1.1 \times 10^3$	$1.3 \times 10^4$	$2.9 \times 10^4$	$1.7 \times 10^4$



対照 番号	2.5万分1 地形図名	所 属 名	調 査 地 点 名	水 系 名	該 河 川 名	所 在 地	環境基準 類 型
1	名 護	沖 縄 県 環 境 保 健 部	渡 久 地 橋	瀧 名 川	瀧 名 川	本部町字渡久地渡久地橋下	B
2	・	・	伊野波川合流点	・	・	本部町字伊野波伊野波川合流点	A
3	・	・	山川酒屋前	・	・	本部町字前川山川酒屋前	(A)
4	金 武	沖 縄 県 環 境 保 健 部	合 流 点	漢 那 川	漢 那 川	宜野座村字漢那合流点	A
5	・	・	企業局取水点跡	・	・	宜野座村字漢那取水点跡	(A)
6	仲尾次	沖 縄 県 環 境 保 健 部	河口から上流 300m	羽地大川	羽地大川	名護市字仲尾次河口から300m	—
7	・		名護取水点	・	・	名護市字川上名護取水点	A
8	仲尾次	沖 縄 県 環 境 保 健 部	石 橋	我部祖河川	我部祖河川	名護市字我部祖河	A
9	・	・	奈佐田川合流点か ら上流100m	・	奈佐田川	・	D
10	名 護	・	深田川合流点	・	我部祖河川	・	D
11	仲尾次	・	奈佐田川合流点か ら支川上流100m	・	・	・	A
12	・	・	深田川合流点か ら支川上流100m	・	・	・	A
13	・	・	呉 我 橋	・	・	・	A
14	瀬 嵩	沖 縄 県 環 境 保 健 部	嘉手苜橋から上流 200m	汀 間 川	汀 間 川	名護市字汀間嘉手苜橋上流100m	B
15	・	・	三原中学校前堰堤 上流50mの橋	・	・	名護市三原三原中学校前堰堤上流	A
16	・	・	志 根 垣 川	・	志 根 垣 川	名護市字汀間志根垣志根垣川	—

P H							D O ppm						
54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年
7.4~8.7	7.6~8.2	7.7~8.2	7.9~8.3	7.8~8.5	7.4~8.1	7.7~8.4	7.5	6.5	7.0	7.1	7.0	6.2	7.0
7.4~8.2	7.4~7.8	7.4~8.2	7.8~8.3	7.7~8.2	7.4~8.1	7.5~8.6	7.2	7.0	7.8	8.2	8.3	7.8	8.7
7.2~8.1	7.4~7.8	7.2~7.8	8.1~8.5	8.1~8.4	8.0~8.4	7.5~8.7	8.5	8.2	7.0	8.9	9.0	8.6	9.6
7.5~8.2	7.7~7.9	7.3~7.7	7.5~8.3	7.4~7.6	7.6~7.8	7.7~8.0	9.0	9.6	8.6	8.3	9.1	8.0	9.1
7.5~8.2	7.6~8.6	7.4~7.6	7.4~8.3	7.3~8.2	7.6~8.0	7.3~8.2	8.9	9.4	9.1	8.5	8.5	8.4	8.7
7.1~8.0	7.3~8.0	7.2~7.9	7.3~9.0	7.5~8.0	7.4~8.0	7.5~7.9	5.5	5.1	3.0	6.6	5.5	5.8	5.9
7.2~7.7	7.4~7.7	7.2~7.8	7.1~7.7	7.5~7.8	7.3~7.6	7.1~7.8	8.6	8.6	8.1	8.0	8.3	8.1	8.2
7.1~8.0	7.2~7.9	6.8~7.7	7.1~9.3	7.3~8.0	7.3~7.8	7.3~8.0	6.6	4.7	4.0	5.9	7.1	6.3	6.8
6.6~7.7	7.1~7.8	6.7~7.5	6.9~7.6	7.0~7.7	7.1~7.9	7.2~7.6	3.5	2.5	3.1	3.5	3.0	3.6	3.8
7.1~7.5	7.2~7.7	7.0~7.4	7.0~7.5	6.8~7.6	7.3~7.7	7.3~7.7	2.9	2.1	2.0	1.7	2.5	2.6	3.9
7.0~7.6	6.9~7.9	6.7~7.8	6.5~7.4	7.2~8.5	7.1~7.7	6.9~7.4	8.3	8.1	7.4	7.4	9.2	8.0	7.8
7.0~7.8	7.3~8.5	7.0~7.4	7.2~9.5	7.3~8.4	7.2~7.8	7.4~8.0	1.6	0.7	0.5	1.9	2.5	2.4	2.8
7.4~8.0	7.3~8.2	7.4~8.2	7.2~8.1	4.6~8.3	7.2~7.8	7.2~8.4	6.3	4.4	4.9	4.7	4.4	4.5	4.3
8.2~8.4	8.0~8.4	7.4~8.3	7.8~8.1	8.0~8.4	7.7~8.3	7.9~8.4	9.9	7.8	7.2	7.5	7.0	6.2	6.8
7.2~7.9	7.5~7.7	7.3~7.6	7.6~8.1	7.0~7.7	7.3~7.9	7.5~7.9	9.0	9.3	9.0	8.0	7.0	7.4	8.5
7.2~8.0	7.6~7.9	7.0~8.0	7.5~7.9	7.1~7.7	7.3~7.8	7.4~7.9	9.1	8.0	7.4	7.9	8.0	7.4	8.6

对照 番号	2.5万分1 地形図名	所 属 名	調 査 地 点 名	水 系 名	該 当 河 川 名	所 在 地	環 境 基 準 類 型
1	名 護	沖 縄 県 環 境 保 健 部	渡 久 地 橋	瀧 名 川	瀧 名 川	本部町字渡久地渡久地橋下	B
2	◦	◦	伊野波川合流点	◦	◦	本部町字伊野波伊野波川合流点	A
3	◦	◦	山川酒屋前	◦	◦	本部町字前川山川酒屋前	(A)
4	金 武	沖 縄 県 環 境 保 健 部	合 流 点	漢 那 川	漢 那 川	宜野座村字漢那合流点	A
5	◦	◦	企業局取水点跡	◦	◦	宜野座村字漢那取水点跡	(A)
6	仲 尾 次	沖 縄 県 環 境 保 健 部	河 口 から 上 流 300m	羽 地 大 川	羽 地 大 川	名護市字仲尾次河口から300m	-
7	◦	◦	名 護 取 水 点	◦	◦	名護市字川上名護取水点	A
8	仲 尾 次	沖 縄 県 環 境 保 健 部	石 橋	我 部 祖 河 川	我 部 祖 河 川	名護市字我部祖河	A
9	◦	◦	奈佐田川合流点から 上流100m	◦	奈 佐 田 川	◦	D
10	名 護	◦	深 田 川 合 流 点	◦	我 部 祖 河 川	◦	D
11	仲 尾 次	◦	奈佐田川合流点から 支川上流100m	◦	◦	◦	A
12	◦	◦	深田川合流点から 支川上流100m	◦	◦	◦	A
13	◦	◦	具 我 橋	◦	◦	◦	A
14	瀬 嵩	沖 縄 県 環 境 保 健 部	嘉手苅橋から上流 200m	汀 間 川	汀 間 川	名護市字汀間嘉手苅橋上流100m	B
15	◦	◦	三原中学校前堰堤 上流50mの橋	◦	◦	名護市字三原三原中学校前堰堤上流	A
16	◦	◦	志 根 垣 川	◦	志 根 垣 川	名護市字汀間志根垣川	-

PCB (最大値) ppm													
54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年
N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	<0.0005							
N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	<0.0005							
N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	<0.0005							
N・D													
N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	<0.0005							
N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	<0.0005							
N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	<0.0005							
N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	<0.0005							
N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	<0.0005							
N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	N・D	<0.0005							

対照 番号	2.5万分1 地形図名	所 属 名	調 査 地 点 名	水 系 名	該 河 川 名	当 河 川 名	所 在 地	環境基準 類 型
1	名 護	沖 縄 県 環境 保 健 部	渡 久 地 橋	瀧 名 川	瀧 名 川	瀧 名 川	本部田字渡久地渡久地橋下	
2	*	*	伊野波川合流点	*	*	*	本部町字伊野波伊野波川合流点	
3	*	*	山川酒屋前	*	*	*	本部町字前山川田酒屋前	
4	金 武	沖 縄 県 環境 保 健 部	合 流 点	漢 那 川	漢 那 川	漢 那 川	宜野座村字漢那合流点	
5	*	*	企業局取水点跡	*	*	*	宜野座村字漢那取水点跡	
6	仲 尾 次	沖 縄 県 環境 保 健 部	河 口 从 上 流 300m	羽 地 大 川	羽 地 大 川	羽 地 大 川	名護市字仲尾次河口から300m	
7	*	*	名 護 取 水 点	*	*	*	名護市字川上名護取水点	
8	仲 尾 次	沖 縄 県 環境 保 健 部	石 橋	我 部 祖 河 川	我 部 祖 河 川	我 部 祖 河 川	名護市字我部祖河	
9	*	*	奈佐田川合流点から 上流100m	*	*	奈 佐 田 川	*	
10	名 護	*	深 田 合 流 点	*	*	我 部 祖 河 川	*	
11	仲 尾 次	*	奈佐田川合流点から 支川上流100m	*	*	*	*	
12	*	*	深佐川合流点から 支川上流100m	*	*	*	*	
13	*	*	具 我 橋	*	*	*	*	
14	瀬 嵩	沖 縄 県 環境 保 健 部	嘉手苜橋から上流 200m	汀 間 川	汀 間 川	汀 間 川	名護市字汀間嘉手苜橋上流100m	
15	*	*	三原中学校前堰堤 上流50mの橋	*	*	*	名護市三原三原中学校前堰堤上流50m 橋	
16	*	*	志 根 垣 川	*	*	志 根 垣 川	名護市字汀間志根垣川	



对照 番号	2.5万分1 地形図名	所 属 名	調 査 地 点 名	水 系 名	該 河 川 名	当 所 在 地	環境基準 類 型
1	名 護	沖 縄 福 保 健 県 部	渡 久 地 橋	瀧 名 川	瀧 名 川	本部町字渡久地橋下	
2	☆	☆	伊 野 波 川 合 流 点	☆	☆	本部町字伊野波伊野波川合流点	
3	☆	☆	山 川 酒 屋 前	☆	☆	本部町字前山川酒屋前	
4	金 武	沖 縄 福 保 健 県 部	合 流 点	漢 那 川	漢 那 川	宜野座村字漢那合流点	
5	☆	☆	企 業 局 取 水 点 跡	☆	☆	宜野座村字漢那取水点跡	
6	仲 尾 次	沖 縄 福 保 健 県 部	河 口 から 上 流 300m	羽 地 大 川	羽 地 大 川	名護市字仲尾次河口から300m	
7	☆	☆	名 護 取 水 点	☆	☆	名護市字川上名護取水点	
8	仲 尾 次	沖 縄 福 保 健 県 部	石 橋	我 部 祖 河 川	我 部 祖 河 川	名護市字我部祖河	
9	☆	☆	奈 佐 田 川 合 流 点 から 上流100m	☆	奈 佐 田 川	☆	
10	名 護	☆	深 田 川 合 流 点	☆	☆	☆	
11	仲 尾 次	☆	奈 佐 田 川 合 流 点 から 支川上流100m	☆	☆	☆	
12	☆	☆	深 田 川 合 流 点 から 支川上流100m	☆	☆	☆	
13	☆	☆	具 我 橋	☆	☆	☆	
14	瀬 嵩	沖 縄 福 保 健 県 部	嘉 手 苜 橋 から 上 流 200m	汀 間 川	汀 間 川	名護市字汀間嘉手苜橋上流100m	
15	☆	☆	三 原 中 学 校 前 堰 堤 上流50m の 橋	☆	☆	名護市三原三原中学校前堰堤上流50m 橋	
16	☆	☆	志 根 垣 川	☆	☆	名護市字汀間志根垣川	





対照 番号	2.5万分1 地形図名	所 属 名	調 査 地 点 名	水 系 名	該 当 河 川 名	所 在 地	環境基準 類 型
1	名 護	沖 縄 県 環 境 保 健 部	渡 久 地 橋	濁 名 川	濁 名 川	本部町字渡久地渡久地橋下	
2	＊	＊	伊野波川合流点	＊	＊	本部町字伊野波伊野波川合流点	
3	＊	＊	山川酒屋前	＊	＊	本部町字前川山川酒屋前	
4	金 武	沖 縄 県 環 境 保 健 部	合 流 点	漢 那 川	漢 那 川	宜野座村字漢那合流点	
5	＊	＊	企業局取水点跡	＊	＊	宜野座村字漢那取水点跡	
6	仲尾次	沖 縄 県 環 境 保 健 部	河 口 から 上 流 30.0m	羽 地 大 川	羽 地 大 川	名護市字仲尾次河口から300m	
7	＊	＊	名護取水点	＊	＊	名護市字川上名護取水点	
8	仲尾次	沖 縄 県 環 境 保 健 部	石 橋	我 部 祖 河 川	我 部 祖 河 川	名護市字我部祖河	
9	＊	＊	奈佐田川合流点から 上流100m	＊	奈 佐 田 川	＊	
10	名 護	＊	深田川合流点	＊	我 部 祖 河 川	＊	
11	仲尾次	＊	奈佐田川合流点から 支川上流100m	＊	＊	＊	
12	＊	＊	深田川合流点から 支川上流100m	＊	＊	＊	
13	＊	＊	鼻 我 橋	＊	＊	＊	
14	瀬 嵩	沖 縄 県 環 境 保 健 部	嘉手苜橋から上流 200m	汀 間 川	汀 間 川	名護市字汀間嘉苜橋上流100m	
15	＊	＊	三原中学校前堰堤 上流50mの橋	＊	＊	名護市三原三原中学校前堰堤上流	
16	＊	＊	志 根 垣 川	＊	志 根 垣 川	名護市字汀間志根垣川	



対照 番号	2.5万分1 地形図名	所 属 名	調 査 地 点 名	水 系 名	該 当 河 川 名	所 在 地	環境基準 類 型
1	名 護	沖 縄 県 環 境 保 健 部	渡 久 地 橋	瀧 名 川	瀧 名 川	本部町字渡久地渡久地橋下	
2	*	*	伊野波川合流点	*	*	本部町字伊野波川合流点	
3	*	*	山川酒屋前	*	*	本部町字前川山川酒屋前	
4	金 武	沖 縄 県 環 境 保 健 部	合 流 点	漢 那 川	漢 那 川	宜野座村字漢那合流点	
5	*	*	企業局取水点跡	*	*	宜野座村字漢那取水点跡	
6	仲尾次	沖 縄 県 環 境 保 健 部	河口から上流 300m	羽地大川	羽地大川	名護市字仲尾次河口から300m	
7	*	*	名護取水点	*	*	名護市字川上名護取水点	
8	仲尾次	沖 縄 県 環 境 保 健 部	石 橋	我部祖河川	我部祖河川	名護市字我部祖河	
9	*	*	奈佐田川合流点 から上流100m	*	奈佐田川	*	
10	名 護	*	深田川合流点	*	我部祖河川	*	
11	仲尾次	*	奈佐田川合流点から 支川上流100m	*	*	*	
12	*	*	深田川合流点から 支川上流100m	*	*	*	
13	*	*	呉 我 橋	*	*	*	
14	瀬 崎	沖 縄 県 環 境 保 健 部	喜手苺橋から上流 200m	汀 間 川	汀 間 川	名護市字汀間喜苺橋上流100m	
15	*	*	三原中学校前堰堤 上流50mの橋	*	*	名護市三原三原中学校前堰	
16	*	*	志 根 垣 川	*	志 根 垣 川	名護市字汀間志根垣川	



対照 番号	2.5万分1 地形図名	所 属 名	調 査 地 点 名	水 系 名	該 当 河 川 名	所 在 地	環境基準 類 型
1	名 護	沖 縄 県 環境 保健 部	渡 久 地 橋	瀧 名 川	瀧 名 川	本部町字渡久地渡久地橋下	
2	◇	◇	伊野波川合流点	◇	◇	本部町字伊野波伊野波川合流点	
3	◇	◇	山川酒屋前	◇	◇	本部町前川山川酒屋前	
4	金 武	沖 縄 県 環境 保健 部	合 流 点	漢 那 川	漢 那 川	宜野座村字漢那合流点	
5	◇	◇	企業局取水点跡	◇	◇	宜野座村字漢那取水点跡	
6	仲 尾 次	沖 縄 県 環境 保健 部	河 口 から 上流 300m	羽 地 大 川	羽 地 大 川	名護市字仲尾次河口から300m	
7	◇	◇	名 護 取 水 点	◇	◇	名護市字川上名護取水点	
8	仲 尾 次	沖 縄 県 環境 保健 部	石 橋	我 部 祖 河 川	我 部 祖 河 川	名護市字我部祖河	
9	◇	◇	奈佐田川合流点から 上流100m	◇	奈佐田川	◇	
10	名 護	◇	深 田 川 合 流 点	◇	我 部 祖 河 川	◇	
11	仲 尾 次	◇	奈佐田川合流点から 支川上流100m	◇	◇	◇	
12	◇	◇	深田川合流点から 支川上流100m	◇	◇	◇	
13	◇	◇	長 我 橋	◇	◇	◇	
14	瀬 嵩	沖 縄 県 環境 保健 部	嘉手苅橋から上流 200m	汀 間 川	汀 間 川	名護市字汀間嘉手苅橋上流100m	
15	◇	◇	三原中学校前堰堤 上流50mの橋	◇	◇	名護市三原三原中学校前堰堤上流50m 橋	
16	◇	◇	志 根 垣 川	◇	志 根 垣 川	名護市字汀間志根垣川	

B O D													
54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年
1.7	1.6	2.3	1.9	1.7	1.5	1.2							
1.4	1.3	1.2	1.2	2.0	1.4	1.3							
0.6	0.5	0.7	0.5	0.8	0.7	0.9							
1.6	1.6	2.0	1.0	0.6	1.2	0.7							
1.4	1.3	2.3	1.1	0.7	1.6	1.0							
21	8.4	11	7.6	4.0	2.4	3.9							
0.9	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7							
3.1	3.6	5.9	3.2	3.6	2.2	2.5							
16	8.6	8.3	17	25	5.6	9.9							
12	11	14	19	52	14	8.7							
1.0	0.7	0.9	0.8	1.2	1.7	3.4							
82	83	29	59	100	2.9	20							
3.9	3.2	4.1	5.0	4.2	3.8	6.0							
0.7	1.7	1.0	2.1	1.4	1.0	1.0							
0.8	0.7	2.0	1.0	0.6	0.7	0.7							
1.8	2.4	4.2	2.0	0.8	0.5	1.2							

# V 取水口・排水口資料

## V-1 農業用取水口・排水口資料

### V-1-1 (1) 農業用取水口(かんがい面積規模別、水系別)総括表

水系別	かんがい面積						計
	0~19.9ha	20.0~39.9ha	40.0~59.9ha	60.0~79.8ha	80.0~99.9ha	100ha以上	
主要河川	源 河 川	2					2
	羽 地 大 川	4	1				5
	大 井 川	7					7
	我 部 祖 河 川	10					10
	屋 部 川	8					8
	幸 地 川	1					1
	轟 川	0					
	汀 間 川	7					7
	澁 名 川	4	1				5
	濃 邦 福 地 川	1					1
	新 川	3	2				5
	名 嘉 真 川	2	1				3
	真 識 川	4					4
計	53	5	0			58	
その他河川	垂 川		1				1
	安 富 祖 川	4					4
	許 田 福 地 川	8					8
	真 喜 屋 大 川	1					1
	真 喜 屋 瀨 川	1					1
	オ ー 川	1					1
	オ ー ト 川	1					1
	辺 野 古 川	1					1
	安 部 川	1					1
	大 浦 川			2			2
	天 仁 屋 川	1					1
	我 部 港 川	1					1
	ジ ニ ン サ 川	4					4
	兼 次 用 水 路	7					7
	シ ゲ マ 川	1					1
	本 部 港 川	1					1
	大 小 堀 川	1					1
	鍋 川					1	1
	宜 野 座 川					1	1
	慶 武 原 川			1			1
前 田 川	1					1	
渡 久 比 邦 川	5					5	
英 徳 川	4					4	
徳 首 川	12		1			13	
計	56	1	4		1	63	

V-1-1 (2) 農業用取水口(取水方法別・河川別) 総括表

水系別	取水堰によるかんがい		自然取水によるかんがい		ポンプによるかんがい		樋門・樋管によるかんがい		その他(砂防・ダム・埋渠)		計	
	ヶ所	面積(ha)	ヶ所	面積(ha)	ヶ所	面積(ha)	ヶ所	面積(ha)	ヶ所	面積(ha)	ヶ所	面積(ha)
主要河川	源河川				2						2	
	羽地大川	3			2						5	
	大井川				7						7	
	我部祖河川				10						10	
	屋部川				8						8	
	寺地川										1	
	轟川			1								
	汀間川					5					7	
	鴻名川	1		2		4					5	
	漢邦福地川										1	
	新川			1		3					5	28.0
	名嘉真川	1		2		1					3	16.0
	真謝川			1		1					4	
計	5				43					58		
その他河川	垂川			10		1	22.5				1	22.5
	安富祖川					2					4	
	許田福地川	2		2		4					8	28.4
	真喜屋大川			2							1	
	真喜屋濁川			1							1	
	オ一川			1		1					1	
	オ一ト川					1					1	
	辺野古川	1									1	
	安部川					1	12.9				1	12.9
	大浦川	2	44.4	3							2	44.4
	天仁屋川					1					1	
	我部井港川	1									1	
	ジュンサ川					4	6.7				4	
	兼次用水路					7					7	
	シゲマ川					1					1	
	本部港川	1									1	
	大小堀川					1					1	
	鱒川					1	87.0				1	87.0
	宜野座川					1	99.2				1	99.2
慶武原川					1	49.3				1	49.3	
前田川					1					1		
渡久比那川	3				2					5		
美徳川	1				3					4		
億首川	1				11					12		
計	12		6		44					62		



V-1-2 農業用水口一覧表

2級河川

対照番号	2.5万分の 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	管理 団体面積	かんがい面積
Gn-1	仲尾次	源河川		源河川	農業用水	名護市 (取水は個人)	ha 5.8	ha
Gn-2	*	*		*	*	*	5.9	
Ha-1	仲尾次	羽地大川		羽地大川	農業用水	不明		
Ha-2	*	*		*	かんがい	*	19.3	
Ha-3	*	*		*	水田かんがい	*		
Ha-4	*	*		*	*	*		
Ha-5	*	*		*	*	*	80.6	
Oi-1	仲宗根	大井川		大井川	農業用水	個人	—	
Oi-1	*	*		*	*	*	24.2	24.2
Oi-3	*	*		大井川支流	*	*	—	
Oi-4	*	*		*	*	*	—	
Oi-5	*	*		*	*	*	—	
Oi-6	*	*		*	*	*	—	
Oi-7	*	*		大井川	農業用水	個人	—	
GF-1	仲尾次	我部祖河川		我部祖河川	農業用水	個人		
GF-2	*	*		*	*	セキ(沖縄県) ポンプ(個人)		
GF-3	*	*		*	*	個人		
GF-4	*	*		*	*	*		
GF-5	*	*		*	*	*		
GF-6	*	*		*	*	*		
GF-7	*	*		*	*	*		
GF-8	*	*		深田川	農業用水	*		
GF-9	名護	*		*	田地かんがい	内原土地 改良区		6.0
GF-10	*	*		奈佐田川	農業用水	個人		4.6
Ya-1	名護	屋部川		屋部川	農業用水	個人		
Xa-2	*	*		*	*	*		

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

取水口 $m^3/Sec$			取水設備		取水 期間	備 考
最大	常時	水利権水量	施設の種類の	規模		
	(47年頃) 1763 $m^3$ /日		取水セキ 移動ポンプ	14.5×2.0	7月~3	名護市 ③
	(47年頃) 1754 $m^3$ /日		*	14.5×0.9	*	*
	17 $m^3$ /日		取水セキ	移動ポンプ 16.4×2.0	年1回	名護市
			取水セキ 水口	14.0×0.9	6月~3月	*
	(47年頃) 2748 $m^3$ /日		堀井戸式 ポンプ場		*	*
	(47年頃) 95 $m^3$ /日		落差工	29.4×1.5	*	*
			落差用水 土路 取水口	自然流下 32.0×1.2 0.73×0.5	*	*
	11.292 $m^3$ /日					
			移動式ポンプ		年間	今帰仁村
			*		*	*
			簡易土ノウセキ止め 移動式ポンプ		*	*
			*		*	*
			コンクリート落差土 移動式ポンプ		*	*
			移動式ポンプ		*	*
			移動式ポンプ		*	*
			移動式ポンプ		年間	名護市
			コンクリートセキ 移動式ポンプ	7.0×0.6m	*	*
			堀井戸式ポンプ小屋	$\phi = 1.2m$	*	*
			移動式ポンプ		*	*
			*		*	*
			コンクリートセキ 移動式ポンプ	5.9×0.7	*	*
			*	5.5×0.6	*	*
			土ノウセキ ポンプ小屋	3.0×0.6	*	*
			内原ダムポンプ場		*	*
			コンクリートセキ 移動式ポンプ	0.9×0.8	*	*
			移動式ポンプ		年間	名護市
			*		*	*

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	管 理 団体面積	かんがい面積
Ya-3	名 護	屋部川	寄合川	屋部川	農業用水	沖繩県 農業試験場	ha	ha
Ya-4	+	+	為又川	+	畑地かんがい	為又 土地改良区		
Ya-5	+	+	新波川	+	+	土地改良区		
Ya-6	+	+		西屋部川	農業用水	個 人		
Ya-7	+	+		+	+	+		
Ya-8	+	+		+	+	+		
Ko-1	名 護	幸地川		幸地川	畑地かんがい	不 明		
Ma-1	名 護	瀧名川	伊野波川	瀧名川	農業用水	個 人		
Ma-2	+	+		+	+	+		
Ma-3	+	+		+	+	+		
Ma-4	+	+	笹 川	+	水田かんがい	並里地区		
Ma-5	+	+	チベン川	+	農業用水	個 人		
Ka-1	金 武	漢那福地川	支 流	漢那福地川	水 かんがい 田	不 明		
Ar-1	石 川	新 川		新 川	農業用水	不 明		
Ar-2	+	+		+	+	+		
Ar-3	+	+		+	水かんがい 田用水	+		
Ar-4	+	+		+	畑地かんがい 田用水	土 地 改 良 合 組		} 28.0
Ar-5	+	+		当袋川	+	+		
Na-1	名護南部	名嘉真川	支 流	名嘉真川	水かんがい 田用水	名嘉真区		
Na-2	+	+		+	畑かんがい 田用水	恩納村		
Na-3	+	+	支 流	+	養 殖	個 人		
Mj-1	南護南部	真謝川		真謝川	水かんがい 田用水	土地改良区		} 28.8 } 16.0
Mj-2	+	+		+	+	+		
Mj-3	+	+		+	+	+		
Mj-4	+	真謝川		謝福地川	水かんがい 田用水	+		

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

取水量 $m^3/sec$		取水設備	取水	備考
最大	常時			
		施設の種類	規模	
		寄合ため池 ボンプ小屋	フィルダム 有効貯水量 2,434 $m^3$	年間 名護市 ③
		為又ため池 ボンプ小屋	フィルダム 有効貯水量 614 $m^3$	＊ ＊ ③
		ボンプ小屋	フィルダム 有効貯水量 1,384 $m^3$	＊ ＊ ③
		ボンプ小屋		＊ ＊
		コンクリート堰 固定ボンプ	4.2×0.8 m	＊ ④
		移動式ボンプ		＊
		コンクリート堰 自然流下	1.5×6.2m 開路式	現在使用 されていない。 名護市
		移動式ボンプ		年間 本部町
		落差工 移動式ボンプ	10.5×1.8m	＊ ＊ ④
		＊	10.7×2.4m	＊ ＊
		取水式 水路式	自然流下 3.0×1.4m	＊ ④
		移動式ボンプ		＊
		コンクリート堰 自然流下	塩ビ 0.20m	宜野座村 ④
		頭首工	3.3×1.0m	現在使用されていない。 恩納村 ④
		移動式ボンプ	3.5×1.5m	＊ ＊ ④
		頭首工	3.4×1.0m	年間 ＊ ＊ ④
		恩納ダム 取水口	ボンプ	＊ ＊ ③
		当袋川 取水口	＊	＊ ＊ ④
		自然流下式		恩納村 ④
		コンクリート堰 自然流下	6.1×1.3m ゴム=0.1m×3本	＊ ＊ ④
		ボンプ小屋 固定ボンプ	堀井戸式 1.2×0.8m	現在取水されていない。 ＊ ④
		第1頭首工	12.0×3.0m	通手 名護市 ③
		第2頭首工	15.0×9.0m	＊ ＊ ③
		第3頭首工		＊ ＊ ③
		第4頭首工		＊ ＊ ③

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	管理 団体面積	かんがい面積
Ti-1	瀬 嵩	汀 間 川	志根垣川	汀 間 川	畑 かんがい用水	不 明		
Ti-2	*	*		*	畑 かんがい用水	*		
Ti-3	*	*		*	農 業 用 水	個 人		
Ti-4	*	*		*	水 田 かんがい用水	北 部 土 木 事 務 所		
Ti-5	*	*		*	*	*		
Ti-6	*	*	志根垣川	*	畑 地 かんがい用水	土 改 良 地 区	} 8.6 —	} 8.6 —
Ti-7	*	*	*	*	*	*		

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

取水量 $m^3/sec$			取水設備		取水 期間	備 考
最大	常時	水利権水量	施設の種類	規模		
			水 ポンプ 門 場	1.05×1.05m	不明	名護市 ④
			ポンプ小屋		*	* ④
			移動式ポンプ		*	* ④
			コンクリート堰口下 取自然流	15.2×1.2m (七キ) 0.4×0.3(取水口)	*	* ④
			*	12.0×1.2m (七キ) 0.3×0.3(取水口)	*	* ④
			ポンプ小屋		*	* ③
			コンクリート堰 ポ	4.2×1.5m	*	* ③

恩納村 その他河川

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	管理 団体面積	かんがい面積
ta-1	石川	垂川		垂川	畑かんがい用地	恩納村	22.5 ha	22.5 ha
af-1	金武	安富祖川		安富祖川	畑かんがい	恩納村		
af-2	*	*		*	*	*		
af-3	*	*		*	*	*		
af-4	*	*	クガチャ川	*	*	*		

名護市 その他河川

ke-1	名護南部	許田福地川		許田福地川	農業用水	個人		
ke-2	*	*		*	*	*		
ke-3	*	*		*	畑かんがい用地	許田区		
ke-4	*	*		*	*	*		
ke-5	*	*		*	*	許田土地区 改良区	19.1	15.5
ke-6	*	*	支流	*	*	長浜原区 土地改良区	12.9	12.9
ke-7	*	*	*	*	農業用水	個人		
ke-8	*	*	*	*	*	*		
mk-1	仲尾次	真喜屋瀬川		真喜屋大川	水かんがい田	真喜屋区		
md-1	仲尾次	オート川	水かんがい田	稲真喜屋区				
ou-1	瀬嵩	オート川		オート川	農業用水	個人		
at-1	瀬嵩	オート川		オート川	農業用水	個人		
he-1	瀬嵩	辺野古川		辺野古川	かんがい用水	豊原区		
ab-1	瀬嵩	安部川		安部川	畑かんがい用地	安部区 土地改良区	12.9	12.9
ta-1	天仁屋	天仁屋川	支流	天仁屋川	畑かんがい用地	天仁屋区 土地改良区		

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

取水量 $m^3/sec$			取水設備		取水期間	備考
最大	常時	水利権水量	施設の種類	規模		
			コンクリート堰ポンプ	6.0m × 0.3m	年間	③
			頭首工	6.0m × 0.8m	年間	工事中 ④
			頭首工	4.0 × 2.1m	*	* ④
			*	4.0m × 2.1m	*	* ④
			クガチャダムポンプ	25.8m × 8.2m 貯水量74,000m <sup>3</sup>	*	③

			移動式ポンプ		不明	
			*		*	
			頭首工	6.0m × 1.5m		現在使用されていない。 ④
			*	6.0m × 0.9m		* ④
			頭首工		通年	③
			コンクリート堰ポンプ		*	③
			簡易コンクリート下 自然流	ゴム管 φ=50mm	*	④
			*	塩ビ φ=80mm	*	④
			コンクリート堰式 自然流	小 路 0.5 × 0.4	通年	④
			真喜屋ため池 自然流	有効貯水量 614m <sup>3</sup> 塩ビ 0.182本	通年	④
			移動式ポンプ	ゴム管 φ=50mm	通年	
			移動式ポンプ	塩ビ φ=80mm	通年	
			コンクリート堰	13.0 × 0.8m		現在使用していない。 ④
0.015	0.012		安部ため池 うずまきポンプ	φ=80mm	通年	③
			コンクリート堰 うずまきポンプ		*	③



対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名前	管理 団体面積	かんがい面積
ou-1	瀬 嵩	大 浦 川		大 浦 川	農 業 用 水	個 人	ha	ha
ou-2	*	*		*	*	土地改良区	44.4	41.8
ou-3	*	*	支流	大浦川支流	水 田 かんがい用水	*		

今帰仁村 その他河川

mi-1	名 護	我 部 井 港 川		我 部 井 港 川	農 業 用 水	個 人		
si-1	仲 宗 根	ジニンサ川		ジニサン川	畑 地 かんがい用水	平 土 地 改 良 区 敷 区		
si-2	*	*	支流	*	農 業 用 水	個 人		
si-3	*	*		*	*	*		
si-4	*	*		*	*	*		
ka-1	仲 宗 根	兼次用水路		兼次用水路	農 業 用 水	個 人		
ka-2	*	*		*	*	*		
ka-3	*	*		*	*	*		
ka-4	*	*		*	*	*		
ka-5	*	*		*	*	*		
ka-6	*	*		*	*	*		
ka-7	*	*		*	*	*		
sg-1	仲 宗 根	シゲマ川		シゲマ川	繁 殖 用 水	個 人		

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

取水量 m <sup>3</sup> /sec		取水設備		取水期間	備考
最大	常時	水利権水量	施設の種類		
			移動式ポンプ	通年	
			頭首工1号・2号	ポンプ場	③
			コンクリートセキ開水路自然流下	(セキ)7.0×0.8m 開水路0.3×0.3m	④

			取水堰	塩ビ φ=0.15	通年	④
	0.080		コンクリート堰ポンプ		通年	③
			移動式ポンプ		＊	
			＊		＊	
			＊		＊	
			移動式ポンプ		不明	
			＊		＊	
			簡易土ノウン堰ポンプ		＊	
			簡易土ノウン堰ポンプ		＊	
			＊		＊	
			＊		＊	
			＊		＊	
			掘井戸式ポンプ	φ=1.1m		

本部町 その他河川

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名前	管理 団体面積	かんがい面積
me-1	仲 宗 根	本部港川		本部港川	畑 かんがい用水	不 明	ha	ha
te-1	仲 宗 根	大小堀川		大小堀川	畑 かんがい用水	辺 名 地 土 地 組 合		

宜野座村 その他河川

na-1		鍋 川 川		鍋 川 川	か ん が い 水 用	北 部 農 村 土 木 事 務 所	100	87
gi-1		宜野座川		宜野座川	か ん が い 水 用	宜 野 座 区 土 地 改 良 区	110	99.2
ki-1		慶武原川		慶武原川	か ん が い 水 用	松 田 区 土 地 改 良 区		49.3

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

取水 量			取水 設 備		取水 期 間	備 考
最大	常時	$\text{m}^3/\text{sec}$ 水利権水量	施設の種類	規 模		
			コンクリート堰下 自然流下	堰 $\phi=0.20\text{m}$ $6\text{m} \times 2\text{m}$	年間	③
			ため池 ファイルダム	ポンプ	年間	③

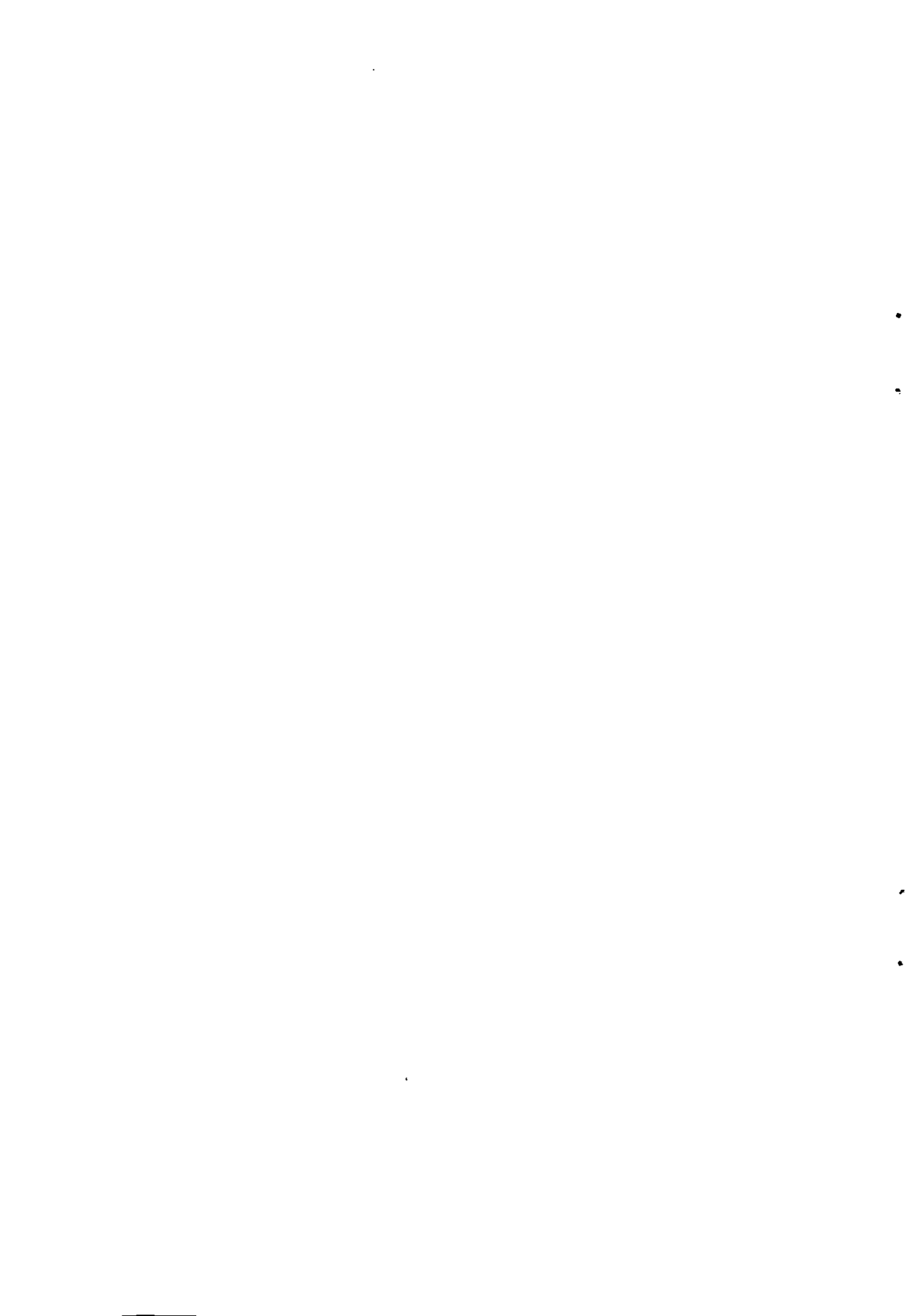
0.109	0.088		鍋川ダム うずまきポンプ	333,000 $\text{m}^3$ 揚水量0.073 $\text{m}^3/\text{s}$	通年	建設中	③
	0.081		宜野座ダム うずまきポンプ	$\phi=60\text{mm}$			③
	0.0312		湯原ダム うずまきポンプ	重力式 コンクリートダム		簡易水道兼用	③

金武町 その他河川

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	管 理 団体面積	かんがい面積
me-1	石 川	前 田 川		前 田 川	畑かんがい用水	屋 嘉 区	ha	ha
Th-1	石 川	渡久比那川		渡久比那川	水かんがい田用水	屋 嘉 区		
Th-2	＊	＊		＊	＊	＊		
Th-3	＊	＊		＊	＊	＊		
Th-4	＊	＊		＊	＊	＊		
Th-5	＊	＊		＊	＊	＊		
bt-1	金 武	美 徳 川		美 徳 川	水かんがい田用水	伊 苙 区		
bt-2	＊	＊		＊	＊	＊		
bt-3	＊	＊		＊	＊	＊		
bt-4	＊	＊		＊	＊	＊		
ok-1	金 武	徳 首 川	アラ川	徳 首 川	水かんがい田用水	並 里 区		
ok-2	＊	＊	長浜川	＊	農 業 用 水	個 人		
ok-3	＊	＊	＊	＊	＊	＊		
ok-4	＊	＊	＊	＊	＊	＊		
ok-5	＊	＊	＊	＊	＊	＊		
ok-6	＊	＊	＊	＊	＊	＊		
ok-7	＊	＊	＊	＊	＊	＊		
ok-8	＊	＊	＊	＊	＊	＊		
ok-9	＊	＊	＊	＊	＊	＊		
ok-10	＊	＊	＊	＊	＊	＊		
ok-11	＊	＊	イヌイ川	＊	＊	＊		
ok-12	＊	＊	＊	＊	＊	＊		
ok-13	＊	＊	＊	＊	＊	＊		

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

取水量 $m^3/sec$		取水設備	取水期間	備考					
最大	常時				水利権水量	施設の種類	規模		
					コンクリート ポンプ	4.5m × 0.7m			③
					頭首工	3.4m × 0.8m	年間	使用されていない。	④
					頭首工 自然流下	3.4m × 0.8m 塩ビφ=0.20m	*		④
					*	3.5m × 1.0m 塩ビφ=0.20m	*		④
					頭首工 ポンプ	3.0m × 1.0m	*	使用されていない。	④
					ポンプ	3.0m × 1.0m ゴム管φ=80mm	*		④
					ポ ン プ 場 式	φ=0.5m	年間		③
					頭首工 ポンプ	9.4m × 2.4m	*		③
					*	9.0m × 1.2m	*	使用されていない。	④
					頭首工 開水路	自然流下(堰) 9.4m × 1.2m 開水路 0.3 × 0.3m			③
					自 然 流 下 路	0.4m × 0.4m			④
					固 定 ポ ン プ 式	φ=1.2m			
					移 動 ポ ン プ 型		年間		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		
					*		*		



V-1-3 排水口(排水方法別、水系別)総括表

排水方法別 水系別	自然排水		ポンプによる排水		樋門・樋管による排水		合 計		
	ヶ所	全流域面積 km <sup>2</sup>	計画排水量 m <sup>3</sup> /s	ヶ所	全流域面積 km <sup>2</sup>	計画排水量 m <sup>3</sup> /s	ヶ所	全流域面積 km <sup>2</sup>	計画排水量 m <sup>3</sup> /s
源 河 川	60	19.96					60	19.96	
羽 地 大 川	12	14.79					12	14.79	
大 井 川	35	22.90					35	22.90	
我部根河川	20	13.66					20	13.66	
屋 部 川	59				5		64	28.60	
幸 地 川	26	4.2					26	4.20	
轟 川	22	3.63					22	3.63	
汀 間 川	30				3		33	12.65	
瀧 名 川	38				1		39	12.37	
漢那福地川	13	9.00					13	9.00	
新 川	6	3.90					6	3.90	
名 葛 真 川	19	3.27					19	3.27	
真 謝 川	12	5.34					12	5.34	
計	352				9		361		



V-1-4 排水口一覧表

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名前	受益農地 面積 ha
Gn-1	仲尾次	源河川		源河川	排水口(本-1)	名護市	
Gn-2	*	*		*	* (本-2)	*	
Gn-3	*	*		*	* (本-3)	*	
Gn-4	*	*		*	* (本-4)	*	
Gn-5	*	*		*	* (本-5)	*	
Gn-6	*	*		*	* (本-6)	*	
Gn-7	*	*		*	* (本-7)	*	
Gn-8	*	*		*	* (本-8)	*	
Gn-9	*	*		*	* (本-9)	*	
Gn-10	*	*		*	* (本-10)	*	
Gn-11	*	*		*	* (本-11)	*	
Gn-12	*	*		*	* (本-12)	*	
Gn-13	*	*		*	* (本-13)	*	
Gn-14	*	*		*	* (本-14)	*	
Gn-15	*	*		*	* (本-15)	*	
Gn-16	*	*		*	* (本-16)	*	
Gn-17	*	*		*	* (本-17)	*	
Gn-18	*	*		*	* (本-18)	*	
Gn-19	*	*		*	* (本-19)	*	
Gn-20	*	*		*	* (本-20)	*	
Gn-21	*	*		*	* (本-21)	*	
Gn-22	*	*		*	* (本-22)	*	
Gn-23	*	*		*	* (本-23)	*	
Gn-24	*	*		*	* (本-24)	*	
Gn-25	*	*		*	* (本-25)	*	
Gn-26	*	*		*	* (本-26)	*	
Gn-27	*	*		*	* (本-27)	*	
Gn-28	*	*		*	* (本-28)	*	
Gn-29	*	*		*	* (本-29)	*	
Gn-30	*	*		*	* (本-30)	*	
Gn-31	*	*		*	* (本-31)	*	
Gn-32	*	*		*	* (本-32)	*	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備考
		施設の種類	規模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	ビューム管	φ=0.40		年間	
		+	φ=0.20		+	
		+	φ=0.30		+	
		+	φ=0.20		+	
		コンクリート	B×H 3.15×1.3		+	
		ビューム管	φ=0.20		+	
		+	φ=0.35		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=1.20		+	
		+	φ=0.70		+	
		+	φ=0.60		+	
		+	φ=0.60		+	
		+	φ=0.90		+	
		+	φ=0.70		+	
		コンクリート	H B 0.75×0.65		+	
		+	H B 0.60×0.50		+	
		ビューム管	φ=0.56		+	
		+	φ=0.50		+	
		+	φ=0.50			
		+	φ=0.50			
		コンクリート	1.0×1.3			
		ビューム管	φ=0.60			

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積
Gn-33	仲尾次	源河川		源河川	排水口(本-33)	名護市	ha
Gn-34	*	*		*	* (本-34)	北部林業所	
Gn-35	*	*		*	* (本-35)	*	
Gn-36	*	*		*	* (本-36)	*	
Gn-37	*	*		*	* (本-37)	*	
Gn-38	*	*		*	* (本-38)	*	
Gn-39	*	*		*	* (本-39)	*	
Gn-40	*	*		*	* (本-40)	*	
Gn-41	*	*		*	* (本-41)	*	
Gn-42	*	*		*	* (本-42)	*	
Gn-43	*	*		*	* (本-43)	*	
Gn-44	*	*		*	* (本-44)	*	
Gn-45	*	*		*	* (本-45)	*	
Gn-46	*	*		*	* (本-46)	*	
Gn-47	*	*		*	* (本-47)	*	
Gn-48	*	*		*	* (本-48)	*	
Gn-49	*	*		*	* (本-49)	*	
Gn-50	*	*		*	* (本-50)	*	
Gn-51	*	*		*	* (本-51)	*	
Gn-52	*	*		*	* (本-52)	*	
Gn-53	*	*		*	* (本-53)	*	
Gn-54	*	*		*	* (本-54)	*	
Gn-55	*	*		*	* (本-55)	*	
Gn-56	*	*		*	* (本-56)	*	
Gn-57	*	*		*	* (本-57)	*	
Gn-58	*	*		*	* (本-58)	*	
Gn-59	*	*		*	* (本-59)	*	
Gn-60	*	*		*	* (本-60)	*	

支配面積	計画排水量	排	水 設 備	当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備 考
		施設の種類の	規 模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	ヒューム管	φ=0.60		年間	
		石積アーチ コンクリート	B×H 1.0×1.2		*	
		*	1.0×1.7		*	
		ヒューム管	φ=0.30		*	
		*	φ=0.45		*	
		コンクリート	B×H 0.70×0.90		*	
		コンクリート 排水溝	0.3×0.37		*	
		U コンクリート 型	0.3×0.3		*	
		U コンクリート 型	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		ヒューム管	φ20.60		*	
		U 排水溝 型	0.3×0.3		*	
		ヒューム管	φ20.60		*	
		ヒューム管	φ=0.90		*	
		*	φ=0.60		*	
		U 排水溝 型	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	

对照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積
Ha-1	仲尾次	羽地川		羽地川	排水口(本-1)	不明	ha
Ha-2	*	*		*	* (本-2)	*	
Ha-3	*	*		*	* (本-3)	*	
Ha-4	*	*		*	* (本-4)	*	
Ha-5	*	*		*	* (本-5)	*	
Ha-6	*	*		*	* (本-6)	*	
Ha-7	*	*		*	* (本-7)	*	
Ha-8	*	*		*	* (本-8)	*	
Ha-9	*	*		*	* (本-9)	*	
Ha-10	*	*		*	* (本-10)	*	
Ha-11	*	*		*	* (本-11)	*	
Ha-12	*	*		*	* (本-12)	*	
Oi-1	仲宗根	大井川		大井川	* (本-1)	不明	
Oi-2	*	*		*	* (本-2)	*	
Oi-3	*	*		*	* (本-3)	*	
Oi-4	*	*		*	* (本-4)	*	
Oi-5	*	*		*	* (本-5)	*	
Oi-6	*	*		*	* (本-6)	*	
Oi-7	*	*		*	* (本-7)	*	
Oi-8	*	*		*	* (本-8)	*	
Oi-9	*	*		*	* (本-9)	*	
Oi-10	*	*		*	* (本-10)	*	
Oi-11	*	*		*	* (本-11)	*	
Oi-12	*	*		*	* (本-12)	*	
Oi-13	*	*		*	* (本-13)	*	
Oi-14	*	*		*	* (本-14)	*	
Oi-15	*	*		*	* (本-15)	*	
Oi-16	*	*		*	* (本-16)	*	
Oi-17	*	*		*	* (本-17)	*	
Oi-18	*	*		*	* (本-18)	*	
Oi-19	*	*		*	* (本-19)	*	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備 考
		施設の種別	規 模			
ha	mf/sec	コンクリート ビューム管	φ=0.75		年 間	
		コンクリート	B×H 1.3×1.2		*	
		*	B×H 1.3×1.2		*	
		ビューム管	φ=0.30		*	
		コンクリート	B×H 1.8×2.5		*	
		*	B×H 0.6×0.3		*	
		*	B×H 0.45×0.43		*	
		*	B×H 0.45×0.45		*	
		*	B×H 0.45×0.45		*	
		*	B×H 0.45×0.45		*	
		ビューム管	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.25		年 間	
		排水 設備 路 溝	40×40		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.50		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=1.0		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.40		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.40		*	
		*	φ=1.0		*	
		*	φ=0.60		*	

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当 河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積
Oi-20	仲宗根	大井川		大井川	排水口(本-20)	不明	ha
Oi-21	◇	◇		◇	◇(本-21)	◇	
Oi-22	◇	◇		◇	◇(本-22)	◇	
Oi-23	名 護	◇		◇	◇(本-23)	◇	
Oi-24	◇	◇		◇	◇(本-24)	◇	
Oi-25	◇	◇		◇	◇(本-25)	◇	
Oi-26	◇	◇		◇	◇(本-26)	◇	
Oi-27	◇	◇		◇	◇(本-27)	◇	
Oi-28	◇	◇		◇	◇(本-28)	◇	
Oi-29	◇	◇		◇	◇(本-29)	◇	
Oi-30	◇	◇		◇	◇(本-30)	◇	
Oi-31	◇	◇		◇	◇(本-31)	◇	
Oi-32	◇	◇		◇	◇(本-32)	◇	
Oi-33	◇	◇		◇	◇(本-33)	◇	
Oi-34	◇	◇		◇	◇(本-34)	◇	
Oi-35	◇	◇		◇	◇(本-35)	◇	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備考
		施設の種類	規模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	コンクリート ビューム管	φ=0.40		年間	
		*	φ=0.40		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=20.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.40		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.40		*	
		*	φ=0.60		*	
		コンクリート	B×H 1.6×0.93		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.40		*	
		*	φ=0.40		*	



対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積
Gf-1	仲尾次	我部祖河川		我部祖河川	排水口(本-1)	—	ha
Gf-2	*	*		*	* (本-2)	—	
Gf-3	*	*		*	* (本-3)	—	
Gf-4	*	*		*	* (本-4)	—	
Gf-5	*	*		*	* (本-5)	—	
Gf-6	*	*		*	* (本-6)	—	
Gf-7	*	*		*	* (本-7)	—	
Gf-8	*	*		*	* (本-8)	—	
Gf-9	*	*		*	* (本-9)	—	
Gf-10	*	*		*	* (本-10)	—	
Gf-11	*	*		*	* (本-11)	—	
Gf-12	*	*		*	* (本-12)	—	
Gf-13	*	*		*	* (本-13)	—	
Gf-14	*	*		*	* (本-14)	—	
Gf-15	*	*		*	* (本-15)	—	
Gf-16	*	*		*	* (本-16)	—	
Gf-17	*	*		*	* (本-17)	—	
Gf-18	*	*		*	* (本-18)	—	
Gf-19	*	*		*	* (本-19)	—	
Gf-20	*	*		*	* (本-20)	—	
Gf-21	*	*		*	* (本-21)	—	
Gf-22	*	*		*	* (本-22)	—	
Gf-23	*	*		*	* (本-23)	—	
Gf-24	*	*		*	* (本-24)	—	
Gf-25	*	*		*	* (本-25)	—	
Ya-1	名 護	原部川		原部川	排水口(本-1)	不 明	
Ya-2	*	*		*	* (本-2)	*	
Ya-3	*	*		*	* (本-3)	*	
Ya-4	*	*		*	* (本-4)	*	
Ya-5	*	*		*	* (本-5)	*	
Ya-6	*	*		*	* (本-6)	*	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備 考
		施設の種類の	規 模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	コンクリート	B × H 0.45×0.45		年 間	
		*	B × H 0.43×0.45		*	
		*	B × H 0.48×0.45		*	
		*	B × H		*	
		*	B × H 0.48×0.40		*	
		*	B × H 0.40×0.40		*	
		ボックス カルバート	B × H 1.50×1.50		*	
		ヒューム管	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		コンクリート	B × H 7.70×2.30		*	
		*	B × H 1.25×1.25		*	
		*	B × H 1.20×1.50		*	
		ヒューム管	φ=0.85		*	
		コンクリート	B × H 1.10×1.30		*	
		*	1.20×1.10		*	
		*	1.10×1.30		*	
		ヒューム管	φ=1.2		*	
		*	φ=12		*	
		*	φ=0.3		*	
		*	φ=0.45		*	
		*	φ=0.45		*	
		*	φ=0.60		*	
		水 門	1m × 1m		*	
		*	1m × 1m		*	
		ヒューム管	φ=0.8		*	
		ヒューム管	φ=0.50		年 間	
		*	φ=0.25		*	
		*	φ=0.25		*	
		*	φ=0.25		*	
		*	φ=0.25		*	
		*	φ=0.40		*	

对照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積 ha
Ya-7	名 護	屋部川		屋部川	排水口(本-7)	不 明	
Ya-8	*	*		*	* (本-8)	*	
Ya-9	*	*		*	* (本-9)	*	
Ya-10	*	*		*	* (本-10)	*	
Ya-11	*	*		*	* (本-11)	*	
Ya-12	*	*		*	* (本-12)	*	
Ya-13	*	*		*	* (本-13)	*	
Ya-14	*	*		*	* (本-14)	*	
Ya-15	*	*		*	* (本-15)	*	
Ya-16	*	*		*	* (本-16)	*	
Ya-17	*	*		*	* (本-17)	*	
Ya-18	*	*		*	* (本-18)	*	
Ya-19	*	*		*	* (本-19)	*	
Ya-20	*	*		*	* (本-20)	*	
Ya-21	*	*		*	* (本-21)	*	
Ya-22	*	*		*	* (本-22)	*	
Ya-23	*	*		*	* (本-23)	*	
Ya-24	*	*		*	* (本-24)	*	
Ya-25	*	*		*	* (本-25)	*	
Ya-26	*	*		*	* (本-26)	*	
Ya-27	*	*		*	* (本-27)	*	
Ya-28	*	*		*	* (本-28)	*	
Ya-29	*	*		*	* (本-29)	*	
Ya-30	*	*		*	* (本-30)	*	
Ya-31	*	*		*	* (本-31)	*	
Ya-32	*	*		*	* (本-32)	*	
Ya-33	*	*		*	* (本-33)	*	
Ya-34	*	*		*	* (本-34)	*	
Ya-35	*	*		*	* (本-35)	*	
Ya-36	*	*		*	* (本-36)	*	
Ya-37	*	*		*	* (本-37)	*	
Ya-38	*	*		*	* (本-38)	*	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備考
		施設の種類	規模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	ヒューム管	φ=0.25		年間	
		現場打 コンクリート 側溝	B×H 0.40×1.95		*	
		鉄管	φ=0.30		*	
		ヒューム管	φ=0.60		*	
		*	φ=0.90		*	
		*	φ=0.60		*	
		水門 コンクリート	水門 2.30×1.85		*	
		ヒューム管	φ=0.50		*	
		水門 コンクリート	B×H 1.70×1.90		*	
		コンクリート	1.0×1.1		*	
		*	B×H 1.00×1.10		*	
		*	*		*	
		*	*		*	
		*	*		*	
		*	*		*	
		*	*		*	
		ヒューム管	φ=0.20		*	
		コンクリート	B×H 1.00×1.10		*	
		水門 コンクリート	水門 B×H 2.60×1.50		*	
		コンクリート	B×H 1.00×1.10		*	
		水門 コンクリート	水門 B×H 2.30×2.20		*	
		塩ビ管	φ=20		*	
		水門 コンクリート	水門 B×H 2.30×2.20		*	
		ヒューム管	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=1.00		*	
		コンクリート	B×H 1.00×1.20		*	
		ヒューム管	φ=1.00		*	
		*	φ=1.0		*	
		*	φ=1.0		*	

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積
Ya-39	名 護	屋部川		屋部川	排水口(本-39)	不 明	ha
Ya-40	◇	◇		◇	◇ (本-40)	◇	
Ya-41	◇	◇		◇	◇ (本-41)	◇	
Ya-42	◇	◇		◇	◇ (本-42)	◇	
Ya-43	◇	◇		◇	◇ (本-43)	◇	
Ya-44	◇	◇		◇	◇ (本-44)	◇	
Ya-45	◇	◇		◇	◇ (本-45)	◇	
Ya-46	◇	◇		◇	◇ (本-46)	◇	
Ya-47	◇	◇		◇	◇ (本-47)	◇	
Ya-48	◇	◇		西屋部川	◇ (本-1)	◇	
Ya-49	◇	◇		◇	◇ (本-2)	◇	
Ya-50	◇	◇		◇	◇ (本-3)	◇	
Ya-51	◇	◇		◇	◇ (本-4)	◇	
Ya-52	◇	◇		◇	◇ (本-5)	◇	
Ya-53	◇	◇		◇	◇ (本-6)	◇	
Ya-54	◇	◇		◇	◇ (本-7)	◇	
Ya-55	◇	◇		◇	◇ (本-8)	◇	
Ya-56	◇	◇		◇	◇ (本-9)	◇	
Ya-57	◇	◇		◇	◇ (本-10)	◇	
Ya-58	◇	◇		◇	◇ (本-11)	◇	
Ya-59	◇	◇		◇	◇ (本-12)	◇	
Ya-60	◇	◇		◇	◇ (本-13)	◇	
Ya-61	◇	◇		◇	◇ (本-14)	◇	
Ya-62	◇	◇		◇	◇ (本-15)	◇	
Ya-63	◇	◇		◇	◇ (本-16)	◇	
Ya-64	◇	◇		◇	◇ (本-17)	◇	
Ko-1	名護南部	幸地川		幸地川	排水口(本-1)	名 護 市	
Ko-2	◇	◇		◇	◇ (本-2)	◇	
Ko-3	◇	◇		◇	◇ (本-3)	◇	
Ko-4	◇	◇		◇	◇ (本-4)	◇	
Ko-5	◇	◇		◇	◇ (本-5)	◇	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備 考
		施設の種類	規 模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	ヒューム管	φ=0.40		年間	
		*	φ=0.90		*	
		*	φ=0.90		*	
		コンクリート	B × H 1.20×1.00		*	
		ヒューム管	φ=0.25		*	
		コンクリート	B × H 1.20×1.00		*	
		ヒューム管	φ=0.25		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		コンクリート 側溝	0.30×0.30		*	
		*	0.30×0.30		*	
		*	0.40×0.30		*	
		*	0.30×0.30		*	
		*	B × H 0.35×1.10		*	
		ヒューム管	φ=0.30		*	
		コンクリート 側溝	B × H 0.35×1.10		*	
		塩ビ管	φ=0.20		*	
		コンクリート 側溝	0.50×0.50		*	
		*	0.30×0.30		*	
		鉄 管	φ=0.30		*	
		ヒューム管	φ=0.40		*	
		*	φ=1.00		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.40		*	
		*	φ=0.40		*	
					*	
		コンクリート ヒューム管	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.70		*	
		*	φ=0.40		*	

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積 ha
Ko-6	名護南部	幸地川		幸地川	排水口(本-6)	名護市	
Ko-7	◇	◇		◇	◇ (本-7)	◇	
Ko-8	◇	◇		◇	◇ (本-8)	◇	
Ko-9	◇	◇		◇	◇ (本-9)	◇	
Ko-10	◇	◇		◇	◇ (本-10)	◇	
Ko-11	◇	◇		◇	◇ (本-11)	◇	
Ko-12	◇	◇		◇	◇ (本-12)	◇	
Ko-13	◇	◇		◇	◇ (本-13)	◇	
Ko-14	◇	◇		◇	◇ (本-14)	◇	
Ko-15	◇	◇		◇	◇ (本-15)	◇	
Ko-16	◇	◇		◇	◇ (本-16)	◇	
Ko-17	名護	◇		◇	◇ (本-17)	◇	
Ko-18	名護南部	◇		◇	◇ (本-18)	◇	
Ko-19	名護	◇		◇	◇ (本-19)	◇	
Ko-20	◇	◇		◇	◇ (本-20)	◇	
Ko-21	◇	◇		◇	◇ (本-21)	◇	
Ko-22	◇	◇		◇	◇ (本-22)	◇	
Ko-23	◇	◇		◇	◇ (本-23)	◇	
Ko-24	◇	◇		◇	◇ (本-24)	◇	
Ko-25	◇	◇		◇	◇ (支-1)	◇	
Ko-26	◇	◇		◇	◇ (支-2)	◇	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備 考
		施設の種類	規 模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	コンクリート ビューム管	φ=0.40		年 間	
		*	φ=0.40		*	
		*	φ=0.70		*	
		*	φ=0.70		*	
		*	φ=0.70		*	
		*	φ=0.70		*	
		*	φ=0.70		*	
		コンクリート	φ=1.30×1.30		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	0.3×0.3		*	
		*	B × H 5.20×1.27		*	
		塩 ビ 管	φ=0.15		*	
		*	φ=0.20		*	
		*	φ=0.20		*	
		コンクリート	B × H 4.30×1.10		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.30		*	
		*	φ=0.30		*	
		*	φ=0.30		*	
		コンクリート	B × H 0.60×0.45		*	
		塩 ビ 管	φ=0.12		*	
		*	φ=0.12		*	



対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積 ha
To-1	名護南部	轟川		轟川	排水口(本-1)	不明	
To-2	*	*		*	* (本-2)	*	
To-3	*	*		*	* (本-3)	*	
To-4	*	*		*	* (本-4)	*	
To-5	*	*		*	* (本-5)	*	
To-6	*	*		*	* (本-6)	*	
To-7	*	*		*	* (本-7)	*	
To-8	*	*		*	* (本-8)	*	
To-9	*	*		*	* (本-9)	*	
To-10	*	*		*	* (本-10)	*	
To-11	*	*		*	* (本-11)	*	
To-12	*	*		*	* (本-12)	*	
To-13	*	*		*	* (本-13)	*	
To-14	*	*		*	* (本-14)	*	
To-15	*	*		*	* (本-15)	*	
To-16	*	*		*	* (本-16)	*	
To-17	*	*		*	* (本-17)	*	
To-18	*	*		*	* (本-18)	*	
To-19	*	*		*	* (本-19)	*	
To-20	*	*		*	* (本-20)	*	
To-21	*	*		*	* (本-21)	*	
To-22	*	*		*	* (本-22)	*	
Ma-1	名護	濁名川		濁名川	排水口(本-1)	不明	
Ma-2	*	*		*	* (本-2)	*	
Ma-3	*	*		*	* (本-3)	*	
Ma-4	*	*		*	* (本-4)	*	
Ma-5	*	*		*	* (本-5)	*	
Ma-6	*	*		*	* (本-6)	*	
Ma-7	*	*		*	* (本-7)	*	
Ma-8	*	*		*	* (本-8)	*	
Ma-9	*	*		*	* (本-9)	*	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備 考
		施設の種類の 排水路	規 模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	コンクリート 排水路	B × H 0.45×0.45		年間	
		〃	0.45×0.45		〃	
		ヒューム管	φ=1.0		〃	
		〃	φ=0.5		〃	
		コンクリート 排水路	0.30×0.45		〃	
		〃	0.30×0.45		〃	
		〃	0.40×0.40		〃	
		〃	0.30×0.45		〃	
		ヒューム管	φ=0.40		〃	
		コンクリート ヒューム管	φ=0.50		〃	
		〃	φ=0.60		〃	
		コンクリート 排水路	0.30×0.30		〃	
		〃	0.45×0.40		〃	
		ヒューム管	φ=1.0		〃	
		コンクリート 排水路	0.54×0.54		〃	
		塩ビ管	φ=0.16		〃	
		コンクリート 排水路	0.63×0.40		〃	
		〃	0.8×1.3		〃	
		〃	0.40×0.60		〃	
		コンクリート ヒューム管	φ=0.50		〃	
		〃	φ=0.50		〃	
		コンクリート 排水路	0.40×0.45		〃	
		コンクリート ヒューム管	φ=0.60		年間	
		〃	φ=0.20		〃	
		〃	φ=1.00		〃	
		塩ビ管	φ=0.15		〃	
		コンクリート	B × H 0.77×0.70		〃	
		コンクリート ヒューム管	φ=0.60		〃	
		〃	φ=0.30		〃	
		〃	φ=0.30		〃	
		〃	φ=0.95		〃	

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積
Ma-10	名 護	瀧名川		瀧名川	排水口(本-10)	不 明	ha
Ma-11	◇	◇		◇	◇ (本-11)	◇	
Ma-12	◇	◇		◇	◇ (本-12)	◇	
Ma-13	◇	◇		◇	◇ (本-13)	◇	
Ma-14	◇	◇		◇	◇ (本-14)	◇	
Ma-15	◇	◇		◇	◇ (本-15)	◇	
Ma-16	◇	◇		◇	◇ (本-16)	◇	
Ma-17	◇	◇		◇	◇ (本-17)	◇	
Ma-18	◇	◇		◇	◇ (本-18)	◇	
Ma-19	◇	◇		◇	◇ (本-19)	◇	
Ma-20	◇	◇		◇	◇ (本-20)	◇	
Ma-21	◇	◇		◇	◇ (本-21)	◇	
Ma-22	◇	◇		◇	◇ (本-22)	◇	
Ma-23	◇	◇		◇	◇ (本-23)	◇	
Ma-24	◇	◇		◇	◇ (本-24)	◇	
Ma-25	◇	◇		◇	◇ (本-25)	◇	
Ma-26	◇	◇		◇	◇ (本-26)	◇	
Ma-27	◇	◇		◇	◇ (本-27)	◇	
Ma-28	◇	◇		◇	◇ (本-28)	◇	
Ma-29	◇	◇		◇	◇ (本-29)	◇	
Ma-30	◇	◇		◇	◇ (本-30)	◇	
Ma-31	◇	◇		◇	◇ (本-31)	◇	
Ma-32	◇	◇		◇	◇ (本-32)	◇	
Ma-33	◇	◇		◇	◇ (本-33)	◇	
Ma-34	◇	◇		◇	◇ (本-34)	◇	
Ma-35	◇	◇		◇	◇ (本-35)	◇	
Ma-36	◇	◇		◇	◇ (本-36)	◇	
Ma-37	◇	◇		◇	◇ (本-37)	◇	
Ma-38	◇	◇		◇	◇ (本-38)	◇	
Ma-39	◇	◇		◇	◇ (本-39)	◇	
Ka-1	金 武	瀧那福地川		瀧那福地川	排水口(本-1)	不 明	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備考
		施設の種別	規模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	コンクリート ビューム管	φ=0.95		年間	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.30		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.30		*	
		コンクリート	B × H 1.60×1.60		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.60		*	
		コンクリート	B × H 1.60×1.60		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.40		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		コンクリート	B × H 0.95×1.05		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		水門 コンクリート	B × H 1.00×1.80		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.60		*	
		*	φ=1.20		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.40		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.80		*	
		*	φ=0.50		*	
		*	φ=0.60		*	
		コンクリート	B × H 1.20×1.50		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		コンクリート	B × H 0.66×1.70		年間	

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名前	受益農地 面積
Ka-2	金 武	漢那福地川		漢那福地川	排水口(本-2)	不 明	ha
Ka-3	◇	◇		◇	◇ (本-3)	◇	
Ka-4	◇	◇		◇	◇ (本-4)	◇	
Ka-5	◇	◇		◇	◇ (本-5)	◇	
Ka-6	◇	◇		◇	◇ (本-6)	◇	
Ka-7	◇	◇		◇	◇ (本-7)	◇	
Ka-8	◇	◇		◇	◇ (本-8)	◇	
Ka-9	◇	◇		◇	◇ (本-9)	◇	
Ka-10	◇	◇		◇	◇ (本-10)	◇	
Ka-11	◇	◇		◇	◇ (本-11)	◇	
Ka-12	◇	◇		◇	◇ (本-12)	◇	
Ka-13	◇	◇		◇	◇ (本-13)	◇	
Ar-1	石 川	新 川 川		新 川	排水口(本-1)	国	
Ar-2	◇	◇		◇	◇ (本-2)	恩 納 村	
Ar-3	◇	◇		◇	◇ (本-3)	◇	
Ar-4	◇	◇		◇	◇ (本-4)	◇	
Ar-5	◇	◇		◇	◇ (本-5)	◇	
Ar-6	◇	◇		◇	◇ (本-6)	◇	
Na-1	名 護 南 部	新 川 川		名 護 真 川	排水口(本-1)	不 明	
Na-2	◇	◇		◇	◇ (本-2)	◇	
Na-3	◇	◇		◇	◇ (本-3)	◇	
Na-4	◇	◇		◇	◇ (本-4)	◇	
Na-5	◇	◇		◇	◇ (本-5)	◇	
Na-6	◇	◇		◇	◇ (本-6)	◇	
Na-7	◇	◇		◇	◇ (本-7)	◇	
Na-8	◇	◇		◇	◇ (本-8)	◇	
Na-9	◇	◇		◇	◇ (本-9)	◇	
Na-10	◇	◇		◇	◇ (本-10)	◇	
Na-11	◇	◇		◇	◇ (本-11)	◇	
Na-12	◇	◇		◇	◇ (本-12)	◇	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備 考
		施設の種類	規 模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	コンクリート ビューム管	φ=0.60		年 間	
		＊	φ=0.60		＊	
		＊	φ=0.60		＊	
		＊	φ=0.60		＊	
		＊	φ=0.60		＊	
		＊	φ=0.60		＊	
		コンクリート	0.45×0.45		＊	
		コンクリート ビューム管	φ=0.60		＊	
		＊	φ=0.60		＊	
		＊	φ=0.50		＊	
		＊	φ=0.60		＊	
		＊	φ=0.60		＊	
		＊	φ=0.60		＊	
		コンクリート ビューム管	φ=0.50		年 間	
		＊	φ=0.50		＊	
		＊	φ=0.50		＊	
		＊	φ=0.35		＊	
		＊	＊		＊	
		コンクリート 排水路	B × H 1.30×1.00		＊	
		＊				
		ビューム管	φ=0.45		年 間	
		U字蓋付 側溝	0.30×0.35		＊	
		コンクリート ビューム管	φ=0.60		＊	
		＊	φ=0.80		＊	
		＊	φ=0.60		＊	
		＊	φ=0.80		＊	
		＊	φ=20.60		＊	
		＊	φ=0.80		＊	
		コンクリート ビューム管	φ=0.80		＊	
		＊	φ=0.80		＊	
		＊	φ=0.80		＊	
		コンクリート 側溝	0.35×0.53		＊	

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積
Na-13	名護南部	名嘉真川		名嘉真川	排水口(本-13)	不明	ha
Na-14	◇	◇		◇	◇(本-14)	◇	
Na-15	◇	◇		◇	◇(本-15)	◇	
Na-16	◇	◇		◇	◇(本-16)	◇	
Na-17	◇	◇		◇	◇(本-17)	◇	
Na-18	◇	◇		◇	◇(本-18)	◇	
Na-19	◇	◇		◇	◇(本-19)	◇	
Mj-1	名護南部	真謝川		真謝川	排水口(本-1)	不明	
Mj-2	◇	◇		◇	◇(本-2)	◇	
Mj-3	◇	◇		◇	◇(本-3)	◇	
Mj-4	◇	◇		◇	◇(本-4)	◇	
Mj-5	◇	◇		◇	◇(本-5)	◇	
Mj-6	◇	◇		◇	◇(本-6)	◇	
Mj-7	◇	◇		◇	◇(本-7)	◇	
Mj-8	◇	◇		◇	◇(本-8)	◇	
Mj-9	◇	◇		◇	◇(本-9)	◇	
Mj-10	◇	◇		◇	◇(本-10)	◇	
Mj-11	◇	◇		◇	◇(本-11)		
Mj-12	◇	◇		◇	◇(本-12)		
ti-1	瀬 崧	汀間川		汀間川	排水口(本-1)	沖縄県	
ti-2	◇	◇		◇	◇(本-2)	◇	
ti-3	◇	◇		◇	◇(本-3)	◇	
ti-4	◇	◇		◇	◇(本-4)	名護市	
ti-5	◇	◇		◇	◇(本-5)	◇	
ti-6	◇	◇		◇	◇(本-6)	沖縄県	
ti-7	◇	◇		◇	◇(本-7)	◇	
ti-8	◇	◇		◇	◇(本-8)	名護市	
ti-9	◇	◇		◇	◇(本-9)	◇	
ti-10	◇	◇		◇	◇(本-10)	◇	
ti-11	◇	◇		◇	◇(本-11)	沖縄県	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備 考
		施設の種類	規 模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	コンクリート ビューム管	φ=0.60		年 間	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=20.80		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.40		*	
		*	φ=0.40		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.60		年 間	
		コンクリート	B × H 0.30×0.25		*	
		*	B × H 0.35×0.35		*	
		ビューム管	φ=0.40		*	
		コンクリート 側溝	40×40		*	
		コンクリート	0.3×0.3		*	
		コンクリート 側溝	30×30		*	
		コンクリート ビューム管	φ=20.5		*	
		*	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.60		*	
		*	φ=0.60		*	
		コンクリート	B × H 0.50×0.50		年 間	
		ビューム管	φ=0.6		*	
		*	φ=0.7		*	
		コンクリート	φ=0.78		*	
		*	0.45×0.45		*	
		ボックス カルバート	B × H 2.37×1.80		*	
		ビューム管	φ=0.7		*	
		コンクリート	B × H 3.50×1.80		*	
		*	B × H 0.45×0.45		*	
		*	0.45×0.45		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.70		*	

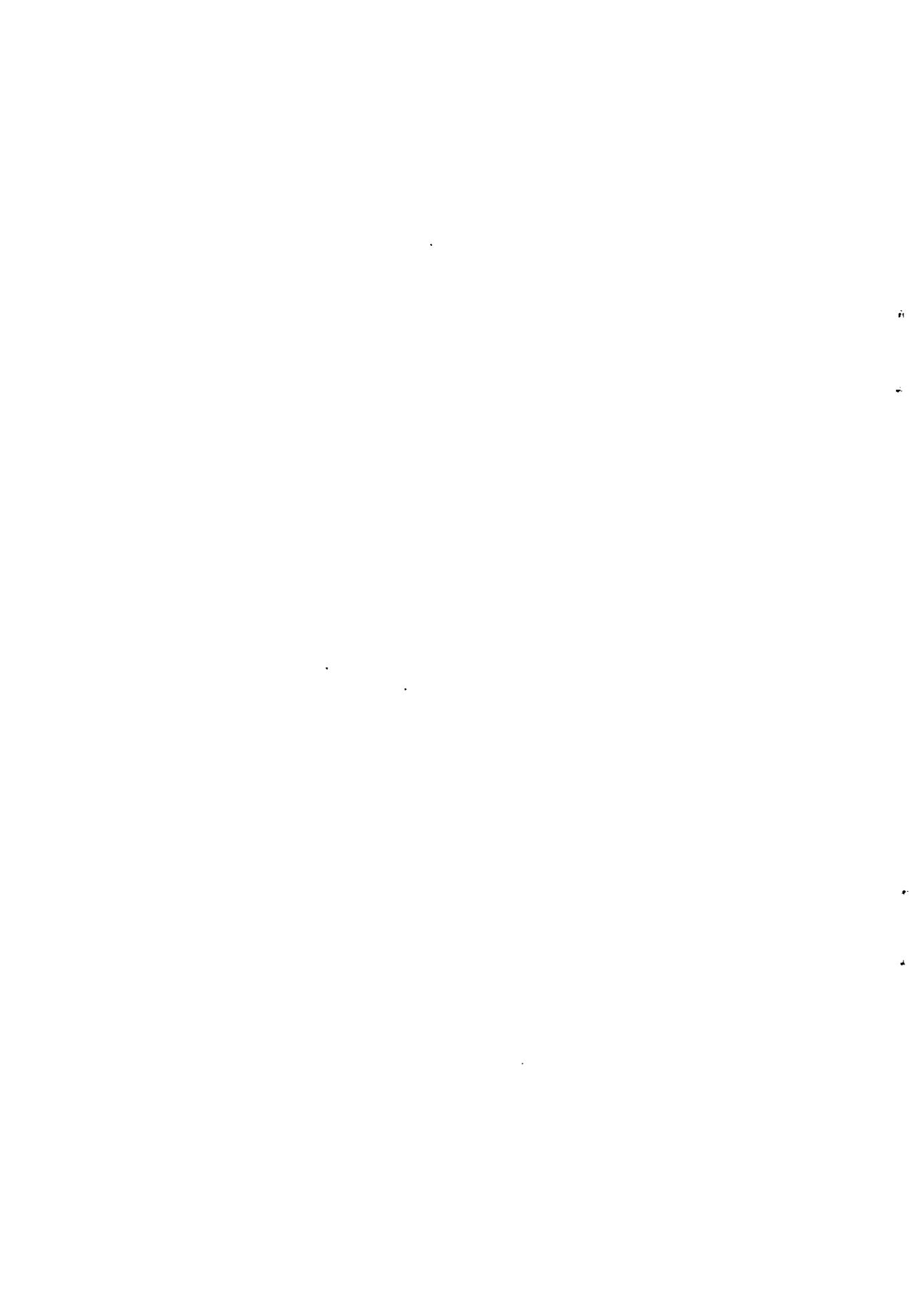


対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益農地 面積
ti -12	瀬 嵩	汀間川		汀間川	排水口(本-12)	沖 縄 県	ha
ti -13	*	*		*	* (本-13)	*	
ti -14	*	*		*	* (本-14)	*	
ti -14	*	*		*	* (本-15)	*	
ti -16	*	*		*	* (本-16)	*	
ti -17	*	*		*	* (本-17)	*	
ti -18	*	*		*	* (本-18)	*	
ti -19	*	*		*	* (本-19)	名 護 市	
ti -20	*	*		*	* (本-20)	*	
ti -21	*	*		*	* (本-21)	*	
ti -22	*	*		*	* (本-22)	*	
ti -23	*	*		*	* (本-23)	*	
ti -24	*	*		*	* (本-24)	*	
ti -25	*	*		*	* (本-25)	*	
ti -26	*	*		*	* (本-26)	*	
ti -27	*	*		*	* (本-27)	*	
ti -28	*	*		*	* (本-28)	*	
ti -29	*	*		*	* (本-29)	*	
ti -30	*	*		*	* (本-30)	*	
ti -31	*	*		*	* (本-31)	*	
ti -32	*	*		*	* (本-32)	*	
ti -33	*	*		*	* (本-33)	*	
ou -1	瀬 嵩	大浦川		大浦川	排水口(本-1)	名 護 市	
ou -2	*	*		*	* (本-2)	*	
ou -3	*	*		*	* (本-3)	*	
ou -4	*	*		*	* (本-4)	*	
ou -5	*	*		*	* (本-5)	*	
ou -6	*	*		*	* (本-6)	*	
ou -7	*	*		*	* (本-7)	*	
ou -8	*	*		*	* (本-8)	*	
ou -9	*	*		*	* (本-9)	*	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備 考
		施設の種類の	規 模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	水 間 コンクリート	B × H 1.50×1.80		年 間	
		コンクリート	B × H 1.15×1.30		*	
		水 門 式 コンクリート	B × H 1.70×1.00		*	
		*	B × H 1.70×0.70		*	
		ビューム管	φ=0.70		*	
		*	φ=0.70		*	
		*	φ=0.70		*	
		*	φ=1.00		*	
		コンクリート	B × H 0.70×1.70		*	
		水 門 式 コンクリート	B × H 1.80×1.90		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.70		*	
		*	φ=0.70		*	
		ビューム管	φ=0.70		*	
		*	φ=0.70		*	
		*	φ=0.70		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.70		*	
		コンクリート	0.55×0.43		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.50		*	
		ビューム管	φ=0.50		*	
		コンクリート	0.45×0.45		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.25		*	
		コンクリート	0.48×0.70		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.45		年 間	
		*	φ=0.45		*	
		*	φ=0.80		*	
		*	φ=0.45		*	
		*	φ=0.60		*	
		ボック ス ガ ル パ ー ト	B × H 1.50×1.70		*	
		コンクリート ビューム管	φ=0.60		*	
		*	φ=0.80		*	
		*	φ=0.50		*	

对照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	受益地 面積
ou-10	瀬 嵩	大浦川		大浦川	排水口(本-10)	名 護 市	ha
ou-11	*	*		*	* (本-11)	*	
ou-12	*	*		*	* (本-12)	*	

支配面積	計画排水量	排水設備		当排水口が 受ける用水の 番号・名称	排水期間	備 考
		施設の種類	規 模			
ha	m <sup>3</sup> /sec	コンクリート ビューム管	φ=0.80		年 間	
		*	φ=0.60		*	
		コンクリート	B × H 1.80 × 1.25		*	



V-2 水道用取水口資料

V-2-1 水道用取水口(使用事項別・水系別)総括表

使用事項別 水系別		上水道		簡易水道		計	
		ヶ所	取水量 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日	ヶ所	取水量 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日	ヶ所	取水量 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日
主要 二級 河川	源河川	1	1,440	2	85	3	1,525
	羽地大川	1	6,000			1	6,000
	大井川					0	0
	我部祖河川	1	440	1	80	2	520
	屋部川			6	415	6	415
	幸地川	4	2,720			4	2,720
	轟川			1	130	1	130
	汀間川			3	150	3	150
	澗名川	3	5,120	1	280	4	5,400
	漢那福地川						
	新川			4	200	4	200
	名嘉真川			2	110	2	110
	真謝川			4	180	4	180
	合計	10	15,720	24	1,630	34	17,350
そ の 他 河 川	許田・福地川			1	85	1	85
	世嘉慶川			2	95	2	95
	安和前川			1	47	1	47
	後原川			1	15	1	15
	オ一川			1		1	
	辺野古川			1	330	1	330
	大浦川			4	40	4	40
	辺野古英謝川	1	2,638			1	2,638
	杉田川	1	—	3		1	不明
	瀬嵩川			3	不明	3	*
	嘉福川			1	*	1	*
	天仁屋川			2	90	2	90
	有津川			1	45	1	45
	美留川			2	65	2	65
垂川			1		1		
西川			1	180	1	180	
東川			1		1		
谷茶前川			2	65	2	65	
屋嘉川			3	150	3	150	
ワッタ川			1	60	1	60	
セパンダ川			2	80	2	80	
熱田川			1	40	1	40	
ラプチ川			1	110	1	110	
大小堀川			1	110	1	110	
屋嘉前田川			1	320	1	320	
美徳川			1	350	1	350	
徳首川	1	6,900	1	不明	2	6,900	
宜野座川			1		1		
松田鍋川			2	1,700	2	1,700	
慶武原川			1	200	1	200	
計	5	9,538	41	4,177	44	13,715	

V-2-2 上水道用・簡易水道用取水口一覧表

2級河川

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当 河川名	取水地点	事業者名 (工場名)	給水区域 (工場所在地)
Gn-1	仲尾次	源河川	桃原川	源河川	企業局取水堰	沖繩県	
Gn-2	*	*	*	*	桃原石川南方0.9km	源河区	源河区
Gn-3	*	*	*	*	桃原石川南方1.0km	*	*
Ha-1	仲尾次	羽地川		羽地川	字川上駒巻506番地先	名護市水道課	名護市
Ya-1	名護	屋部川	喜名田川	屋部川	為又集落地方2.5km	為又区	為又区
Ya-2	*	*	*	*	*	*	*
Ya-3	*	*	*	*	*	*	*
Ya-4	*	*	古我地川	西屋部川	中山集落北東約5km	中山区	中山区
Ya-5	*	*		*	育英学園 北方	旭川区	旭川区
Ya-6	*	*	与那川	*	阿楚原	阿楚原区	阿楚原区
Gf-1	仲尾次	我部祖河川		田股川	山田南方約4km	山田区	山田区
Gf-2	*	*		ナ チュマク川	山田南方約4.2km	*	*
Gf-3	*	*		喜知留川	大北南方約1.5km	名護市水道課	名護市
KO-1	瀬嵩	幸地川		幸地川上流	名護大東区南方約1.5km	名護市水道課	名護市
KO-2	*	*		*	*	*	*
KO-3	*	*	幸地川支流	*	*	*	*
KO-4	*	*	*	*	名護市大北	*	*
To-1	名護南部	轟川		轟川	数久田地方約2.0km	数久田区	数久田区
Ma-1	名護	滴名川		滴名川	本部町並里前川	企業局滴名 取水場	—
Ma-2	*	*		滴名川	本部町	本部町上水道	本部町
Ma-3	*	*	滴名川 支流	*	本部町並里笹原	*	*
Ma-4	*	*	*	*	本部町並里谷久保	伊豆味区	伊豆味区
Ar-1	石川	新川		新川	恩納ダム上流アラヌシージ	恩納区	恩納区
Ar-2	*	*		*	恩納ダム上流ヤママータ	米軍	米 恩納通信所
Ar-3	*	*		*	恩納ダム上流アラサマーター	恩納区	恩納区

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

主費使用事項	水利権者	取水量 $m^3/sec$			取水設備		備考
		最大	常時	水利権水量	施設の種別	規模	
	沖縄県企業局			0.01667 1.44000	コンクリート 堰	ポンプ 1.45×0.60m	名護市 ②
簡易水道水源	源河区		85 $m^3$ /日		コンクリート 堰 自然流下		＊ ④
＊	＊				＊		＊ ④
水道水源	名護市		600 $m^3$ /日		落差工	ポンプ 17.2×0.70m	名護市 ①
簡易水道水源	為又区				コンクリート 堰 自然流下	2.00×5.00m	名護市 ④
＊	＊	400 $m^3$ /日	300 $m^3$ /日		＊	0.68×0.62m	＊ ④
＊	＊				＊	1.00×4.50m	＊ ④
＊	中山区	80 $m^3$	60 $m^3$ /日		コンクリート ポンプ		＊ ④
＊	旭川区	50	40 $m^3$ /日		コンクリート 堰 自然流下		＊ ④
＊	阿楚原区	30	15 $m^3$ /日		コンクリート 堰 自然流下		＊ ④
簡易水道水源	山田区		80 $m^3$ /日		コンクリート 堰 自然流下	0.7×4.0 塩ビ0.15管	名護市 ④
＊	＊				＊	0.6×4.5m 塩ビ0.15管	＊ ④
名護市 上水道水源	名護市		440 $m^3$ /日		コンクリート堰	ポンプ	＊ ③
名護市 上水道水源	名護市				コンクリート 堰 自然流下	1.1×3.5m 塩ビ0.16m	名護市 ③
＊	＊		220 $m^3$ /日		＊	1.2×4.0m 塩ビ0.16m	＊ ③
＊	＊				＊	1.0×3.5m 塩ビ0.16m	＊ ③
＊	＊		2,500 $m^3$ /日		溜年ダ 池ム	ポンプ	＊ ③
簡易水道水源	数久田区	190 $m^3$ /日	130 $m^3$ /日		コンクリート 堰 自然流下	3.0×7.0m 塩ビ0.15m	名護市 ④
—	沖縄県企業局				落差工	ポンプ 1.0×10.0m	本部町 ③
上水道水源	本部町		4,320 $m^3$ /日		湧配水池	ポンプ 1,200 $m^3$	＊ ④
＊	＊		800 $m^3$ /日		＊	ポンプ	＊ ④
簡易水道水源	伊豆味区	375 $m^3$ /日	280 $m^3$ /日		＊	＊	＊ ④
簡易水道水源	恩納区	Ar-1 250 $m^3$ /日	Ar-3計 Ar-4 200 $m^3$ /日		コンクリート 取水堰	自然流水	恩納村 ④
専用水道	米軍				＊	＊	＊ ④
簡易水道水源	恩納区				＊	＊	＊ ④



2級河川 水道用取水口一覧表

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当 河川名	取水地点	事業者名 (工場名)	給水区域 (工場) 所在地
Ar-4	石 川	新 川		新 川	恩納ダム上流クンプガー	恩 納 区	恩 納 区
Ar-5	*	*		*	* クンプザーゴ	*	*
Na-1	名護南部	名護真川	名護真川 上流	名護真川	名護真川上流約1.0km	名 護 真 区	名 護 真 区
Na-2	*	*	*	*	*	*	*
Mj-1	名護南部	真謝福地川		真謝福地川	真謝川上流約3km	幸 喜 区	幸 喜 区
Mj-2	*	*		*	*	*	*
Mj-3	*	*	幸地川	*	喜瀬集落南方約2.7km	*	*
Mj-4	*	*	山田川	*	喜瀬集落南方約2.5km	喜 瀬 区	喜 瀬 区
Ti-1	瀬 嶺	江 間 川	福 地 川 ニヶエダム	江 間 川	三原集落北方約3km	三 原 区	三 原 区
Ti-2	*	*	福 地 川 ドンドンダム	*	三原集落北方約2.3km	三 原 福 地 区	三 原 福 地 区
Ti-3	*	*			志根垣地方約1.5km	安 部 区	安 部 区

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

主費使用事項	水利権者	取水量 $m^3/sec$			取水設備		備 考
		最大	常時	水利権水量	施設の種類	規模	
簡易水道水源	恩 納 区				コンクリート 取水セキ	自然流下	現在使用していない④ 恩納村
＊	＊				＊	＊	恩納村 ④
簡易水道水源	名 嘉 真 区	130 $m^3/日$	110 $m^3/日$		土 取 水 壩	自然流下 4.5 $\times$ 0.6m	恩納村 ④
＊	＊				コンクリート 取水 壩	自然流下 4.0 $\times$ 0.8m	＊ ④
簡易水道水源	幸 喜 区	80 $m^3/日$	60 $m^3/日$		コンクリート 壩 自然流下	8.0 $\times$ 1.5m	名護市 ④
＊	＊				＊	7.0 $\times$ 1.2m	＊ ④
＊	喜 瀬 区	60 $m^3/日$	40 $m^3/日$		コンクリート 取水 ポンプ 圧送	自然流下	＊ ④
＊	＊	110 $m^3/日$	80 $m^3/日$		コンクリート 取水 壩	自然流下 塩ビ0.152本	＊ ④
簡易水道水源	三 原 区	130 $m^3/日$	110 $m^3/日$		コンクリート 壩 自然流下	塩ビ0.15m 5.5 $\times$ 0.8m	名護市 ④
＊	三原福地区				＊	塩ビ0.15m 5.3 $\times$ 1.2m	＊ ④
＊	安 部 区	60 $m^3/日$	40 $m^3/日$		＊	塩ビ0.15m 4.5 $\times$ 0.5m	＊ ④

名護市 その他の河川

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当 河川名	取水地点	事業者名 (工場名)	給水区域 (工場 所在地)
ke-1	名護南部	許田福地川		許田福地川	許田集落東方約2.5km上流	許田区	許田区
ya-1	瀬嵩	世高慶川		世高慶川	世高慶集落東南2.5km上流	世高慶区	世高慶区
ya-2	*	*		*	世高集落東南2.7km上流	*	*
aha-1	名護	安和前川		安和前川	勝山集落後方0.5km上流	勝山区	勝山区
ki-1	仲尾次	後原川		後原川	源河小字後原	源河後原区	源河後原区
oo-1	瀬嵩	オ一川	中道川	オ一川	字久志 久志浄水場後方	久志区	久志区
hec-1	*	辺野古川		辺野古川	辺野古集落北方約1.5km	辺野古区	辺野古区
he-1	瀬嵩	辺野古 英樹川		辺野古 英樹川	字辺野古	名護市水道課	辺野古 原
su-1	瀬嵩	杉田川	山川	杉田川	二見集落北西約1.5km	沖縄県企業局	二見
sa-1	瀬嵩	瀬嵩川		瀬嵩川	字瀬嵩集落北方約1.8km	瀬嵩区	瀬嵩区
sa-2	*	*		*	*	*	*
sa-3	*	*		*	*	*	*
ka-1	瀬嵩	嘉陽川	ナマウガ キ川	嘉陽川	字嘉陽集落北方1.2km上流	嘉陽区	嘉陽区
tn-1	天仁屋	天仁屋川	ノソコ川	天仁屋川	天仁屋集落北方1.1km上流	天仁屋区	天仁屋区
tn-2	瀬嵩	天仁屋川	カースプ イ川	*	底仁屋集落後方0.5km	底仁屋区	底仁屋区
ar-1	瀬嵩	有津川	ナコウマ タ川	有津川	有津集落西方4.0km	有津区	有津区
ou-1	瀬嵩	大浦川	轟川	大浦川	大浦橋股原	大浦区	大浦区
ou-2	*	*	ハイシ 川	*	大川集落西方1.2km	大浦文川	大浦文川
ou-3	*	*	*	*	* * 1.8km	*	*
ou-4	*	*	支流	*	大浦区	大浦区	大浦区

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

主費使用事項	水利権者	取水量 $\text{m}^3/\text{sec}$			取水設備		備考
		最大	常時	水利権水量	施設の種別	規模	
簡易水道水源	許田区	90 $\text{m}^3/\text{日}$	85 $\text{m}^3/\text{日}$		コンクリート取水堰	自然流下	④
簡易水道水源	世高慶区	100 $\text{m}^3/\text{日}$	95 $\text{m}^3/\text{日}$		コンクリート取水堰	自然流下 塩ビ $\phi=0.16\text{m}$	④
*	*				*	塩ビ $\phi=0.16\text{m}$	④
簡易水道水源	勝山区	55 $\text{m}^3/\text{日}$	47 $\text{m}^3/\text{日}$		コンクリート取水堰	自然流下 塩ビ $\phi=2.015\text{m}$	湧水 ④
*	源後原河区	20 $\text{m}^3/\text{日}$	15 $\text{m}^3/\text{日}$		井戸式ポンプ	ゴム管0.12m	湧水 ④
簡易水道水源	久志区	580 $\text{m}^3/\text{日}$	330 $\text{m}^3/\text{日}$		自然流下 塩ビ0.15m		現在は企業局の浄水場より取水 ④
*	辺野古区				コンクリート取水堰 自然流下	11.5 $\times$ 3.0m 塩ビ $\phi=0.20\text{m}$	現在は名護市上水場より給水 ④
上水道水源	米軍	—	2,638 $\text{m}^3/\text{日}$		辺野古ポンプ		
上水道水源	沖縄県	—	—		企業局取水堰	ポンプ	③
簡易水道水源	瀬嵩区	—	—		コンクリート堰 自然流下	3.0 $\times$ 1.2m 塩ビ $\phi=0.12\text{m}$	④
*	*	—	—		*	1.5 $\times$ 3.0m 塩ビ0.12m	④
*	*	—	—		*	0.6 $\times$ 0.6m 塩ビ0.12m	④
簡易水道水源	嘉陽区	—	—		コンクリート取水堰 自然流下	3.7 $\times$ 0.9m	④
簡易水道水源	天仁屋区	70 $\text{m}^3/\text{日}$	60 $\text{m}^3/\text{日}$		コンクリート取水堰 自然流下	4.5 $\times$ 1.6m 塩ビ0.15m	④
*	底仁屋区	40 $\text{m}^3/\text{日}$	30 $\text{m}^3/\text{日}$		コンクリート取水ポンプ	5.0 $\times$ 1.5	④
簡易水道水源	有津区	50 $\text{m}^3/\text{日}$	45 $\text{m}^3/\text{日}$		コンクリート取水堰 自然流下	0.66m $\times$ 14.0m	④
簡易水道水源	大浦区				コンクリート取水堰 自然流下	塩ビ0.15m 5.5 $\times$ 1.5m	④
*	大浦丈川	45 $\text{m}^3/\text{日}$	40 $\text{m}^3/\text{日}$		*	4.0 $\times$ 1.2m	④
*	*				*	塩ビ0.15m 4.3 $\times$ 1.5m	④
*	大浦区				*		④

恩納村 その他の河川

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当 河川名	取水地点	事業者名 (工場名)	給水区域 (工場) 所在地
bd-1	石川	美留川		美留川	塩屋集落南方0.7km	塩屋区	塩屋区
bd-2	*	*		*	塩屋集落南方1.2km	*	*
ta-1	沖縄市北部	乗川		乗川	山田集落南方約2.5km	山田区	山田区
ni-1	石川	西川		西川	山田集落東南約1.2km	*	*
hi-1	*	東川		東川	山田集落東南約1.7km	*	*
ma-1	石川	前川		前川	谷茶集落南方約1.0km	谷茶区	谷茶区
ma-2	*	*	シリン川	*	谷茶集落南方約0.5km	*	*
Ya-1	石川	屋嘉川	屋嘉下口川	屋嘉川	南恩納集落東方約1.0km	南恩納区	南恩納区
Ya-2	*	*	内の浦川	*	南恩納集落東南約0.9km	*	*
Ya-3	*	*	志嘉座川	*	志嘉座川	*	*
Wa-1	石川	ワツタ川		ワツタ川	大田集落東方約1km	大田区	大田区
se-1	金武	セバング川		セバング川	瀬良垣集落南方約0.3km	瀬良垣区	瀬良垣区
se-2	*	*	波座川	*	瀬良垣集落南方約0.5km	*	*
at-1	名護南部	熱田川		熱田川	熱田川集落後方約0.4km	熱田区	熱田区
af-1	金武	安富祖川		安富祖川	安富祖川集落南方1.8km	安富祖区	安富祖区
af-2	*	*	支流	*	* * 1.3km	*	安富祖区

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

主費使用事項	水利権者	取水量 $m^3/sec$			取水設備		備考
		最大	常時	水利権水量	施設の種類	規模	
簡易水道水源	塩屋区	90 $m^3$ /日	65 $m^3$ /日		コンクリート 堰 自然流下		④
*	*				*		④
簡易水道水源	山田区				コンクリート 堰 3.5m×3.0	自然流下 塩ピ0.18	④
*	*	250 $m^3$ /日	180 $m^3$ /日		コンクリート 堰	塩ピ0.18 3.0×1.4m	④
*	*				*	自然流下	④
簡易水道水源	谷茶区	100 $m^3$ /日	65 $m^3$ /日		コンクリート 堰	自然流下	④
*	*				*	*	④
簡易水道水源	南恩納区				コンクリート 堰 自然流下		④
*	*	180 $m^3$ /日	150 $m^3$ /日		*		④
*	*				*		④
簡易水道水源	大田区	80 $m^3$ /日	60 $m^3$ /日		コンクリート 堰 自然流下		④
簡易水道水源	瀬良垣区	100 $m^3$ /日	80 $m^3$ /日		コンクリート 堰 自然流下	塩ピ0.15m	④
*	*				*	*	④
簡易水道水源	藤田区	50 $m^3$ /日	40 $m^3$ /日		コンクリート 堰 自然流下		④
簡易水道水源	安富祖区	110 $m^3$ /日	85 $m^3$ /日		コンクリート 堰 自然流下	塩ピ0.18m	④
*	*				*	*	④

本部町 その他の河川

村照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当 河川名	取水地点	事業者名 (工事名)	給水区域 (工場) 所在地
ra-1		ラブチ川		ラブチ川	塩川集落北方0.9km	塩川区	塩川区
te-1		大小堀川	大小堀川 上流湧水	大小堀川	字大嘉陽晩原	大嘉陽	大嘉陽

金武町 その他の河川

me-1	石川	前田川		前田川	字屋嘉屋嘉ダム	金武町	屋嘉区
be-1	金武	英徳川		英徳川	伊芸集落後方自動車道付近	伊芸区	伊芸区
ok-1	金武	徳首川		徳首川	字金武徳首ダム	沖縄県企業局	企業局
ok-2	〃	〃	長浜川	〃	喜瀬武原集落後方1.1km	喜瀬武原区	喜瀬武原区

宜野座村 その他の河川

ge-1	金武	宜野座川		宜野座川	宜野座村字福山約2km	宜野座村	宜野座村
na-1	名護南部	松田鍋川川		松田鍋川川	字松田集落北方約1.5km	〃	〃
na-2	〃	〃		〃	字松田集落北方約1.8km	〃	〃
ki-1	〃	慶武原川		慶武原川	字松田カタバル	〃	〃

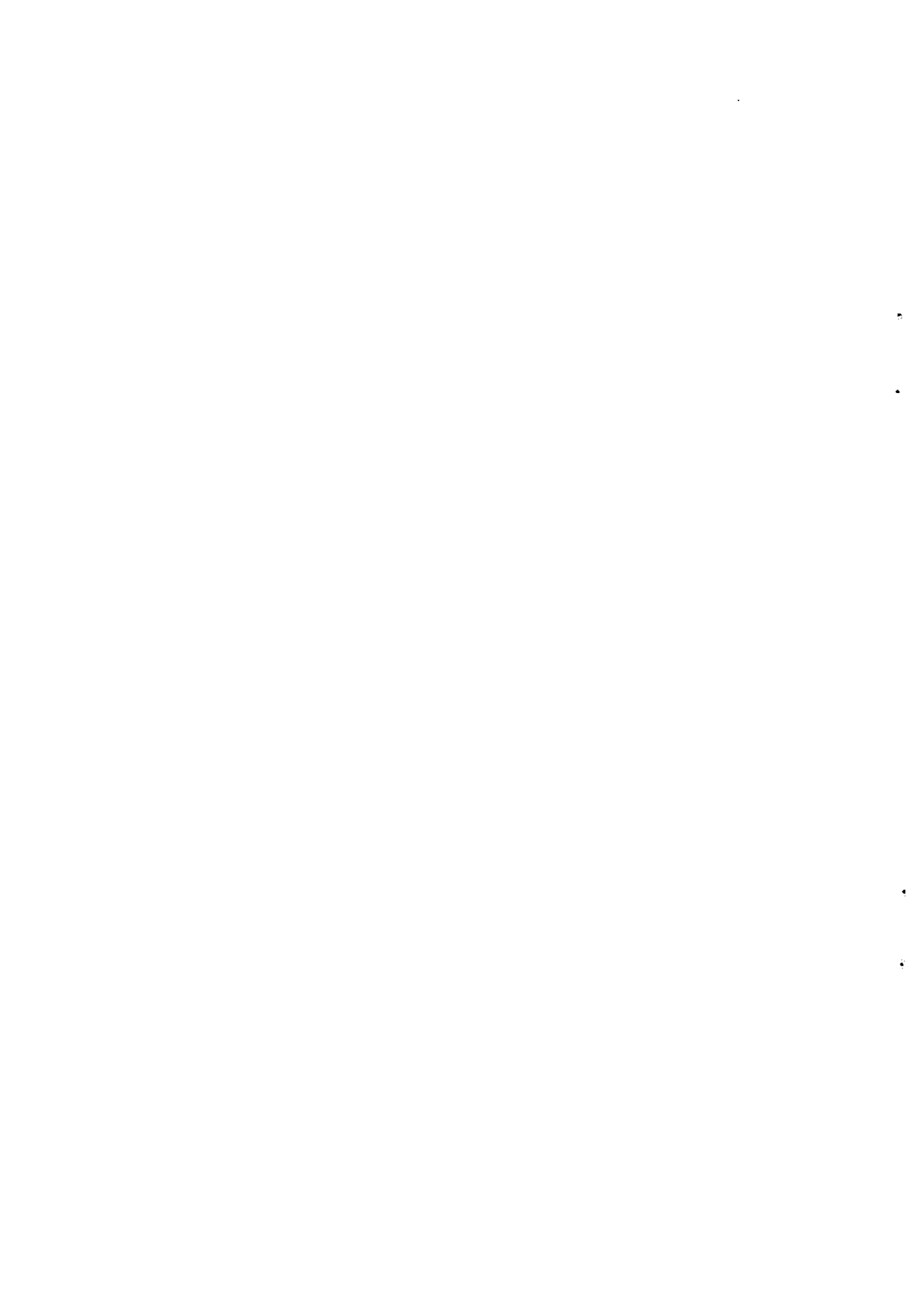
①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

主費使用事項	水利権者	取水量 m <sup>3</sup> /sec			取水設備		備考
		最大	常時	水利権水量	施設の種類	規模	
簡易水道水源	塩川区	130m <sup>3</sup> /日	110m <sup>3</sup> /日		コンクリート堰取水 自然流下		④
簡易水道水源	大嘉陽区	120m <sup>3</sup> /日	100m <sup>3</sup> /日		コンクリート堰 自然流下		湧水 ④

簡易水道水源	屋嘉区	400m <sup>3</sup> /日	320m <sup>3</sup> /日		重力式コンクリート堰取水口	ポンプ	③
簡易水道水源	伊芸区	500m <sup>3</sup> /日	350m <sup>3</sup> /日		コンクリート堰 倒水取水	ポンプ 9.0×2.4m	④
上水道水源	沖縄県	8,000 m <sup>3</sup> /日	6,900 m <sup>3</sup> /日		金属ゲージ 堰取水口	第1,第2 ポンプ	③
簡易水道	喜瀬武原区	—	—		コンクリート堰 取水	自然流下	旧簡易水道水源 ④

簡易水道水源	宜野座村				宜野座 ダム取水口	ポンプ	④
*	*	兼1,600 m <sup>3</sup> /日	1,700 m <sup>3</sup> /日		コンクリート堰 取水ポンプ	13.5m×1.5m 鉄管0.17m	④
*	*				コンクリート堰 取水ポンプ	12.0×1.5m 鉄管0.17m	④
*	*	400m <sup>3</sup> /日	200m <sup>3</sup> /日		湯原ダム 取水口	鉄管0.20m	③





V-3 工業用取水口資料

V-3-1 工業用取水口(取水方法別 河川別)総括表

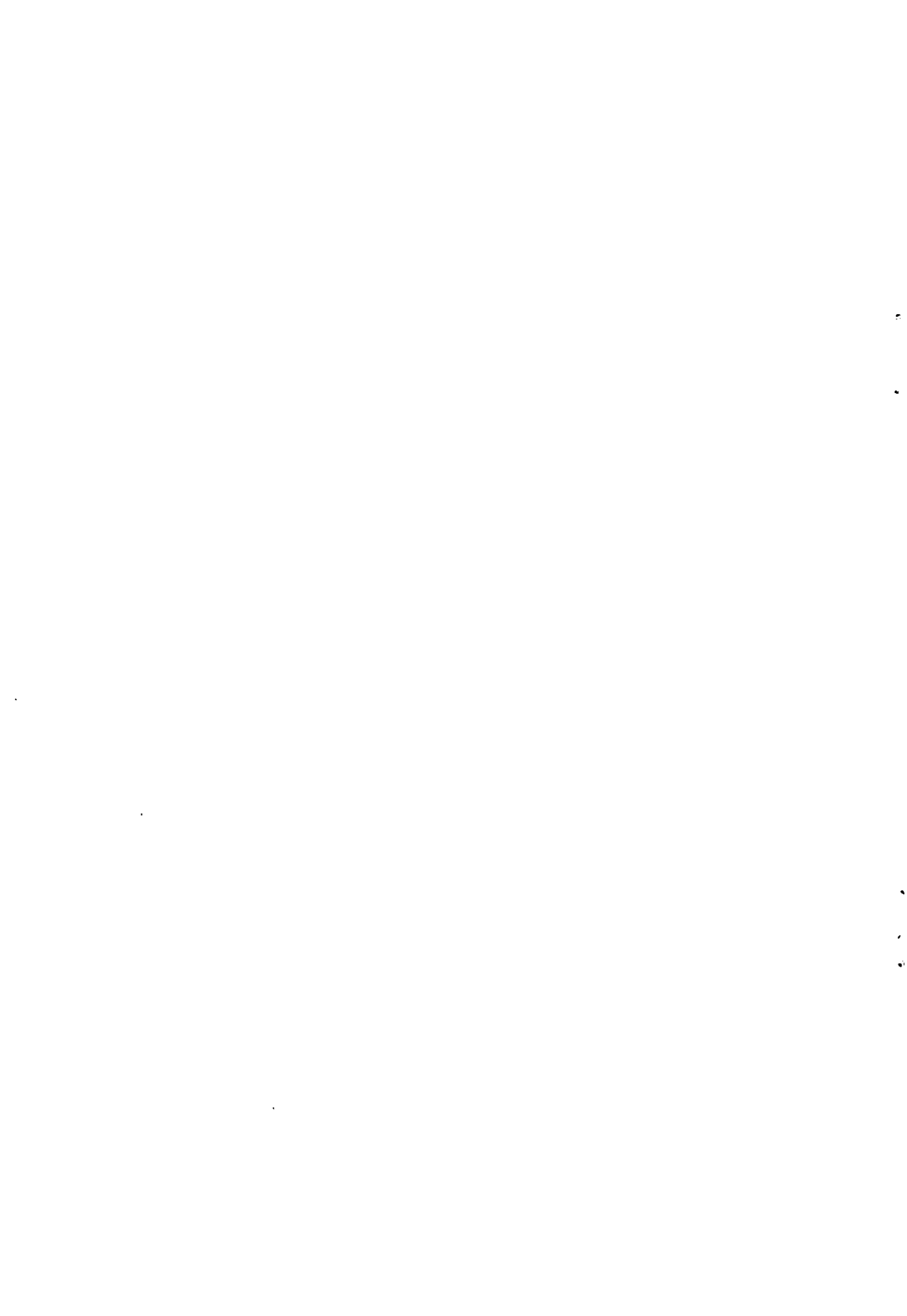
河川別	取水方法		堰による取水		ポンプによる取水		自然取水		計	
	ヶ所	取水量 $m^3$ /日	ヶ所	取水量 $m^3$ /日	ヶ所	取水量 $m^3$ /日	ヶ所	取水量 $m^3$ /日	ヶ所	取水量 $m^3$ /日
主要河川	源河川			1	1,440				1	1,440
	大井川			2	2,376				2	2,376
	幸地川			1	2,000				1	2,000
	西塚部川			1	20				1	20
	計			5	5,836				5	5,836
その他河川	安和・与那川			1	800				1	800
	辺野古川			1	15				1	15
	計			2	815				2	815

V-3-2 工業用取水口一覧表

対照番号	2.5万分1 地形図名	水系名	第1次 支派川名	該当 河川名	取水地点	事業者名 (工場名)	給水区域 (工場 所在地)
Ge-1	仲尾次	源河川		源河川	名護市字源河慶良間408番地	北部製糖K.K (羽地工場)	北部製糖K.K (羽地工場)
oi-1	仲宗根	大井川		大井川	今帰仁村字仲宗根	北部製糖	北部製糖
oi-2	名護	〃		〃	本部町字伊豆味163	沖縄合同 パインK.K	沖縄合同 パインK.K
Ko-1	名護南部	幸地川		幸地川	名護市字名護	オリオンビール	オリオンビール
Yo-1	名護	屋部西川		屋部西川	名護市字屋部	屋部給油所	屋部給油所
Yo-1	名護	安和 与那和川		安和 与那和川	名護市字安和	琉球セメント	琉球セメント
-							
he-1	瀬嵩	辺野古川		辺野古川	名護市字辺野古	辺野古採石所	辺野古採石所

①許可水利権 ②法定水利権 ③届出慣行水利権 ④慣行水利権

主費使用事項	水利権者	取水量 $\text{m}^3/\text{sec}$			取水設備		備考
		最大	常時	水利権水量	施設の種別	規模	
工業用水	北部製糖 K.K		1,440 $\text{m}^3/\text{日}$	0.01667 $\text{m}^3/\text{s}$ 1,440 $\text{m}^3/\text{日}$	橋本 水 管 プ		②
工業用水	北部製糖 K.K		2,376	0.033 2,376	コンクリート 取 水 シ ン プ		②
雑用水			150		質 保 易 シ ン プ	$\phi=0.15\text{m}$	④
工業用水	北部製糖 K.K		2,000		堀 井 戸 式 プ	$\phi 200\text{mm}$	伏流水 ③
洗浄水			20		堀 井 戸 式 プ	$\phi=2.3\text{m}$	伏流水 ①
工業用水			800		堀 井 戸 式 プ	$\phi=3.5\text{m}$	伏流水 ③
洗浄水			約 15		コンクリート 堀 井 戸 式 プ		



## Ⅵ 主要井戸資料

### Ⅵ-1 主要井戸(市町村別・用途別)総括表

	農業用井戸		水道用井戸		工業用井戸		その他用井戸		計	
	本数	揚水量 $\text{m}^3/\text{日}$	本数	揚水量 $\text{m}^3/\text{日}$	本数	揚水量 $\text{m}^3/\text{日}$	本数	揚水量 $\text{m}^3/\text{S}$	本数	揚水量 $\text{m}^3/\text{S}$
今帰仁村	17		2		1		24		44	
本部町	0		6		0		38		44	
名護市	24		5	1,469	6		283		318	
恩納村	42		0		2		57		101	
宜野座村	1		0		0		26		27	
金武町	1		5		0		5		11	
計	85		18		9		433		545	

### 主要湧水(市町村別・用途別)総括表

	農業用湧水		水道用湧水		工業用湧水		その他用湧水		計	
	本数	揚水量 $\text{m}^3/\text{日}$	本数	揚水量 $\text{m}^3/\text{日}$	本数	揚水量 $\text{m}^3/\text{日}$	本数	揚水量 $\text{m}^3/\text{S}$	本数	揚水量 $\text{m}^3/\text{S}$
今帰仁村	12		0		2		10		24	
本部町	5		3		0		5		13	
名護市	16						50		66	
恩納村	2		1				4		7	
宜野座村	9		0		0		5		14	
金武町	2		1		0				3	
計	46		5		2		74		127	

VI-2 使用目的別井戸一覧表 (農業用)

恩納村

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
On-1	残波岬	真栄田3353	長浜真階宅	農業用水	戦前	1.7 <sup>m</sup>	0.70 <sup>m</sup>
On-2	*	* 3325	鏡波 宗伸	*	*	1.8	0.90
On-3	*	* 3322	鏡波 棟達	*	S55年	2.75	0.52
On-4	石川	* 3319		*	*	2.50	0.50
On-5	*	* 1467	吉田 兼師	*	T10年	3.50	0.92
On-6	*	* 3712-1	比嘉徳正	*	不明		
On-7	*	山田2	大城 武雄	*	S45年	32.0	0.15
On-8	*	山田2433	比嘉 宗吉	*	S51年	25.0	0.099
On-9	*	仲泊1448	古波蔵	*	不明		
On-10	*	仲泊1352-1	大城 勝弘	*	*		
On-11	*	仲泊2428-1	松田 豊太	*	*		
On-12	*	南恩納6612	仲松 彌仁	*	*	1.50	0.80
On-13	*	南恩納6317	山内 盛安	*	S30年代	2.44	0.78
On-14	*	南恩納6334	山内 盛文	*	明治	2.15	0.80
On-15	*	南恩納6070		*	不明	1.43	1.16
On-16	*	南恩納6070		*	*	1.57	1.10
On-17	*	南恩納6020	名城 仁一	*	*	1.61	0.88
On-18	*	南恩納6239	長嶺 安章	*	大正		
On-19	*	恩納2370	上間 正男	*	戦前	2.40	1.36
On-20	*	恩納2410	大城 保夫	採井泉 農業用水	明治	2.40	0.8×0.6
On-21	*	恩納		*	不明	7.5	1.4×0.92
On-22	*	恩納		*	不明	6.5	1.4×0.92
On-23	*	恩納397	花城 清治	*	S52年	2.25	0.88
On-24	*	恩納		*	不明	5.9	1.2
On-25	*	恩納91	銘苧 記盛	*	S50年	2.2	0.88
On-26	*	字瀬良垣203	津波古守次	*	S45年	2.4	0.65
On-27	名護南部	瀬良垣162	高江洲 登	*	S50年	4.40	0.88
On-28	金武	字安富祖146	富山 忠三	*	S25年	2.10	0.80
On-29	*	字安富祖1376-1	萩堂 盛次	*	S58年	4.50	0.85
On-30	*	字安富祖90	幸地 克典	*	明治	2.35	0.90
On-31	*	字安富祖106	富山 幸宏	*	戦前	2.63	0.85
On-32	*	字安富祖137	金城 弘	農業用水	S50年	2.00	0.95

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレナの位置	備 考
1.10 m	m	mf/d	20.5 °C 62.1 .19	m	
1.20			20.5 62.1 .19		
2.25		35	20.5 62.1 .19		年間使用
2.30			20.5 62.1 .19		
3.50		35			9月～6月 100日
		25			年間40日
		90			
		40			ポンプ吸上 ボーリング井戸
		100			
		40			ポンプ吸上げ ボーリング井戸
		500			
1.30					
1.39					
1.40		20			
0.47					
0.45					
0.61			20.5 62.1 .19		
		200	20.5 62.1 .19		
0.70		55	20.5 62.1 .19		年間使用
1.20		35	20.5 62.1 .19		
0.50					9月～6月 100日
0.60					年間40日
1.70		35			
1.75					ポンプ吸上 ボーリング井戸
1.50		40			
1.50		50			ボーリング井戸 ポンプ吸上げ
2.10		180			
1.65		300			
3.20		580			
1.60		40			
1.53		350			
1.45		580			



恩納村

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
On-33	金 武	安富祖183	富山 政勝	農業用水	S58年	2.15 <sup>m</sup>	0.85 <sup>m</sup>
On-34	*	喜瀬武原459	外間 政篤	*	戦 前		
On-35	名護 南部	安富祖1893-2	泉川 園芸	*	S48年	5.05	0.95
On-36	*	名嘉真 4	仲村 好栄	*	S10年	2.50	0.90
On-37	*	名嘉真21-2	漢那 清正	*	S55年	2.40	0.85
On-38	*	名嘉真262	仲嶺 直武	*	S20年	2.15	0.70
On-39	*	名嘉真263	漢那 清春	*	戦 前	1.90	0.80
On-40	*	名嘉真70	東 康徳	*	戦 前	2.0	0.77
On-41	*	名嘉真253	仲嶺 哲夫	*	S20年	2.2	0.85
On-42	*	名嘉真214	仲嶺 真栄	*	S53年	2.45	0.85
On-43	*	名嘉真2720-39	仲嶺 真雄	*	S52年	2.35	0.84

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレートの位置	備考
1.60 m	m	25 m <sup>3</sup> /d	℃	m	
		40			
3.57		800			
1.60		18			9月~11月、3月~8月 60日
1.65		35			
1.45		25			
1.15		25			
1.75		144			7月~9月
1.50		35			
1.55		45			
1.60		70			

名護市

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
Na-1	名護南部	喜瀬100	新城 鉄夫	農業用水	不明	2.9 <sup>m</sup>	0.88 <sup>m</sup>
Na-2	〃	〃 70	比嘉 盛正	〃	〃	2.3	0.80
Na-3	名護	宮里323-2	知念 文平	〃	戦前	2.9	0.85
Na-4	〃	宮里 〃	岸本	〃	〃	3.20	0.80
Na-5	仲尾次	伊差川	—	〃	不明	測定不可	0.90
Na-6	〃	ヌルガー中尾	中尾区	農業用水 律井泉	〃	4.04	0.96

名護市 (旧屋部村)

Na-7	名護	屋部越間原119	比嘉 弘美	農業用水	S58年	2.40 <sup>m</sup>	0.85 <sup>m</sup>
Na-8	〃	〃	比嘉 久夫	〃	S59年	2.62	0.88
Na-9	〃	屋部535	久高	〃	不明	2.81	0.94
Na-10	〃	屋部越間原117	岸本 意男	〃	S58年	2.75	0.95
Na-11	〃	屋部越間原112	岸本 秀武	〃	S59年	2.5	0.9
Na-12	〃	屋部前川原353	大城 勝章	〃	S59年	3.5	0.9
Na-13	〃	〃	岸本 憲三	〃	S58年	3.1	0.9
Na-14	〃	屋部加真良226	儀部 信行	〃	S58年	2.7	0.9
Na-15	〃	屋部兼久原279	儀部 真秀	〃	S58年	2.9	0.9
Na-16	〃	屋部600	久高 栄助	〃	不明	3.01	0.91
Na-17	〃	安波	大城 祥久	〃	S30年代	3.3	0.9
Na-18	〃	〃	宮城 慶吉	〃	不明	3.1	0.9

名護市 (旧屋我地村)

Na-20	仲尾次	字済井戸	—	農業用水	不明	2.87 <sup>m</sup>	0.97 <sup>m</sup>
Na-21	瀬 嵩	名護市久志26		〃	〃	2.85	0.60
Na-22	〃	辺野古26	金城	〃	〃	3.60	0.80
Na-23	〃	辺野古28	島 袋	〃	戦前	3.90	0.80
Na-24	〃	嘉 陽62	具 志 堅	〃	S30年代	1.92	1.05

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレーナの位置	備 考
	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
2.30					
1.90					水中ポンプ
1.95					ポンプ吸み上げ
1.70					
測定不可					ポンプ吸み上げ
3.36					

1.20		3			12月～4月 30日
1.35		3			12月～4月 30日
1.61					
1.24		3			
1.3		1			9月・12月・3月・6月・25日
2.5		2			5月～6月 10月25日
2.6		2			10月・2月・3月・5月・6月 30日
1.4		3			年間90日
2.1		3			年間90日
2.26					
2.4		15			年間90日
2.1		580			年間90日

1.82					
2.15					
2.50					
2.80					
0.72					

今 帰 仁

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Nk-1	大 宜 味	ムラガー運天	渡 久 山	農業用水	不 明	2.6 <sup>m</sup>	1.2×2.15 <sup>m</sup>
Nk-2	◇	運天12		◇	◇	5.5	0.80
Nk-3	仲 宗 根	渡久山	—	◇	◇	3.9	0.98
Nk-4	◇	◇ 1050	—	◇	◇	3.87	0.89
Nk-5	◇	◇ 1056	—	◇	◇	3.41	1.04
Nk-6	◇	字渡喜仁702	那 新 安 達	◇	—	測定不可	—
Nk-7	◇	ツサマガー字渡喜仁	—	◇	◇	4.0	5.0×5.0
Nk-8	◇	渡 喜 仁		◇	◇	16.54	0.28
Nk-9	◇	◇ 36	石 川 清 之	◇	S 30年	16.0	—
Nk-10	◇	上運天1418	宮 城 孫 夫	◇	不 明	5.25	1.0
Nk-11	◇	字越地249	平 良 尊 俊	◇	S 55年	測定不可	0.85
Nk-12	◇	字崎山907	諸 喜 田 哲 男	◇	S 45年	3.5	—
Nk-13	◇	◇ 261	上 間 隆 安	◇	S 55年	—	—
Nk-14	◇	字仲尾次		◇	不 明	7.85	0.95
Nk-15	◇	字諸志1180	島 嶺 志 保	◇	S 60年	6.5	1.2
Nk-16	◇	字 兼 次		◇	不 明	6.8	1.5
Nk-17	◇	字 兼 次	兼 次 区	◇	農業用水 押井泉	4.8	0.85

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレーナの位置	備 考
m	m	㎥/d	℃	m	
1.1					
3.3					
1.94					
3.00					
3.01					
測定不可		860			ポンプ設置
3.5					
13.36					
11.0		260			ポンプ設置
2.58					
測定不可		330			ポンプ設置
1.5		1,440			*
—		570			ポンプ設置 ボーリング井戸
6.75					
5.2		500			
5.1					
2.7					

宜野座村

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又 は管理者	用途	作井年月	深度	井径
Gi-1	金 武	漢那56	九秀 園芸	農業用水	不 明	2.48 m	0.85 m

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレーナの位置	備 考
1.35 m	m	10 m <sup>3</sup> /d	℃	m	



金 武 町

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Ki-1	金 武	金武町並里	沖 縄 県	農業用地 地下水試験井		45 m	200 m



Ⅵ-3 使用目的別井戸一覧表（水道用）

名 護 市

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Na-1	名 護	水原1号	名 護 市	水道水源	S42年 10月	24 <sup>m</sup>	300 <sup>mm</sup>
Na-2	*	水源2号 名護市字座原	*		S42年 10月	56.6	300
Na-3	*	水源3号 名護市字座原	*	*	S42年	50.0	300
Na-4	*	水源4号 名護市宮里名座喜	*	*	S45年 4月	40.9	300
Na-5	*	水源5号 名護市熱田原	*		S46年 7月	37.3	300
Na-6	*	1日、水源 名護市熱田原	*			39.0	150
Na-7	仲 尾 次	水道第1水源 名護市濟井出	名 護 市	簡易水道 水 源	不 明	27	250
Na-7	*	水道第2水源 名護市濟井出	*	*	*	23	250
Na-9	*	水道第3水源 名護市濟井出	*	*	*	31	250
Na-10	*	水道第5水源 名護市濟井出	*	*	*	28	250

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレートの位置	備 考
m	2.05 m	310 m <sup>3</sup> /d	22.4 °C	3.0~24.0 m	
	14.16	360	22.8	7.0~56.6	
	16.46	120	22.7	6.0~50.0	
	16.52	140		6.0~40.9	
			21.7	6.6~37.3	使用していない
			23.0		
			22.9		
			23.4		
			23.0		
			23.4		











金 武 町

对照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Ki-1	金 武	字金武(1号水源)	金武町水道課	簡易水道		57.0 <sup>m</sup>	200 <sup>m</sup>
Ki-2	〃	〃(2号〃)	〃	〃		36.2	150
Ki-3	〃	〃(3号〃)	〃	〃		70.0	150
Ki-4	〃	〃(4号〃)	〃	〃		58.0	200
Ki-5	〃	〃(5号〃)	〃	〃		70.0	250
Ki-6	〃	〃(6号〃)	〃	〃		70.0	250
Ki-7	〃	字並里(7号〃)	〃			60.0	250
Ki-8	〃	〃(8号〃)	〃			70.0	250

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレーナの位置	備 考
m	m	691 m <sup>3</sup> /d	℃	m	
		633			
		230			
		230			
		460			
		238			
		345			
		345			





名護市

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
Na-1	名護南部	許田278	中央食品 加工K.K	工業用水	不明	— m	m
Na-2	名護	名護660	名護製氷	※	※	6.0	
Na-3	※	名護	オリオン ビール	※	※	—	—
Na-4	※	※	丸山冷凍	※	※	5.5	
Na-5	※	伊差川190	名護自動車 K.K	※	※	6.0	0.84
Na-6	※	屋部	屋部給油所	※	※	—	1.8

自然水位 観測 (年月日)	揚水水位 観測 (年月日)	揚水量 観測 (年月日)	水温 観測 (年月日)	ストレートの位置	備 考
— m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
1.5					我部祖河川支流伏流水 ポンプ施設
1.5					ポンプ施設 幸地川伏流水
2.3					ポンプ施設
2.5					我部祖河支流伏流水
					西屋部川伏流水







今 帰 仁

村照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Nk-1	仲 宗 根	ソーリガー字仲宗根	北 部 製 糖	工業用水	不 明	- m	- m

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレートの位置	備 考
m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	

VI-5 使用目的別井戸一覧表（雑用井戸および拝井泉）

恩納村

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
On-1	残波岬	真栄田3330	新城宅	雑用水	戦前	3.3 <sup>m</sup>	0.90 <sup>m</sup>
On-2	*	* 3334	鏡波マカト宅	*	*	2.0	0.85
On-3	*	* 3340	国吉真福宅	*	不明	1.8	0.80
On-4	石川	* 1494	伊湯登吉宅	*	戦前	4.0	0.95
On-5	*	*		*	不明	4.0	0.95
On-6	*	* 1480	吉田兼育	*	*	3.2	0.92
On-7	*	* 1494	宮平安徳	*	*	3.5	0.95
On-8	*	* 1486	宮平安喜	*	*	3.5	0.87
On-9	*	仲泊72	山内宅	*	*	3.8	0.86
On-10	*	* 6	山内宅	*	戦前	3.45	0.83
On-11	*	* 60		*	S20年代	2.70	0.85
On-12	*	* 63	松田寿保宅	*	戦前	3.40	0.85
On-13	*	* 57	大城宅	*	*	3.25	0.95
On-14	*	* 86	山内宅	*	S30年代	2.95	0.60
On-15	*	* 53	大城宅	*	戦前	3.25	0.95
On-16	*	* 35	大城勝二	*	*	2.75	1.05
On-17	*	* 27	当山宅	*	戦前	2.5	0.80
On-18	*	ウプガー仲泊	仲泊区	拝井泉	不明	—	1.30
On-19	*	仲泊22		雑用水	戦前	2.9	1.0
On-20	*	* 21		*	*	2.75	1.15
On-21	*	* 18	宮城煩栄	*	*	2.90	0.85
On-22	*	* 15		*	*	3.25	0.85
On-23	*	* 10	新屋敷宅	*	*	2.78	0.85
On-24	*	前兼久		*	不明	3.20	0.76
On-25	*	前兼久15		*	不明	3.05	0.85
On-26	*	前兼久8	町田チヨ宅	*	S30年代	2.37	0.90
On-27	*	前兼久58	浜元宅	*	*	2.70	0.80
On-28	*	前兼久59	登川宅	*	戦前	2.62	0.88
On-29	*	* 76	富登	*	*	1.97	0.88
On-30	*	* 77	苜里宅	*	*	2.1	0.85
On-31	*	* 85		*	*	1.9	0.85
On-32	*	前兼区	松田宅	*	不明	1.35	0.85

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレートの位置	備 考
2.6 m	m	m/d	20.5 °C 62.1.19		
1.4			20.0 62.1.19		
1.2			20.3 62.1.19		
1.0			21.0 62.1.19		
1.0			20.5 62.1.19		
2.8			20.5 62.1.19		
2.5			20.5 62.1.19		
2.5					
2.98			20.5 62.1.20		
2.85			20.5 62.1.20		
2.2			20.1 62.1.20		
2.65					
2.55					
2.35			20.5 62.1.20		
2.55			20.1 62.1.20		
1.95			20.0 62.1.20		
1.8			20.5 62.1.20		
—					水が枯れる
2.3					
2.05			20.0 62.1.20		
2.2					
2.55					
2.28			19.5 62.1.20		
1.66					
2.20					
1.45					
1.43					
1.45					
1.30					
1.10					
1.10					
0.85					

恩納村

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
On-33	石川	前兼久	松田氏	雑用水	20年代	1.75	0.85
On-34	◇	前兼久84	山城義盛	◇	◇	1.80	0.80
On-35	◇	前兼久83	登川氏	◇	◇	1.83	0.80
On-36	◇	前兼久73	金城勝吉	◇	不明	2.20	0.68
On-37	◇	富着595	金城仁徳	◇	戦前	4.90	0.83
On-38	◇	富着222	富着善次郎	◇	◇	3.39	0.75
On-39	◇	富着	富着区	拝井泉	不明	4.62	0.91
On-40	◇	ウドンガー谷茶	谷茶区	◇	◇	1.25	1.75
On-41	◇	南恩納	南恩納区	雑用水 ムラガー	◇	1.10	0.80
On-42	◇	南恩納6312	長嶺安俊	雑用水	S30年代	2.70	0.88
On-43	名護南部	瀬良垣	崎山氏	◇	不明	4.03	0.90
On-44	◇	◇	具志堅氏	◇	不明	4.58	0.89
On-45	金城	安高祖148	名嘉真ゴゼイ	◇	◇	1.92	1.10
On-46	◇	◇ 150		◇	◇	3.22	0.85
On-47	◇	◇ 205	亀川氏宅		S56年	3.10	1.4
On-48	◇	◇ 205	◇		S52年	3.10	1.3
On-49	◇	安高祖	当山宅	雑用水	不明	2.18	0.71
On-50	◇	◇		◇	◇	1.88	1.92
On-51	◇	◇ 142	当山宅	◇	◇	1.74	0.76
On-52	◇	◇ 146		◇	◇	2.20	0.78
On-53	◇	◇ 162	津波古宅	◇	◇	2.10	0.85
On-54	◇	◇ 38	漢那次郎	◇	◇	1.90	1.03
On-55	◇	◇ 42		◇	◇	1.87	1.13
On-56	◇	◇		◇	◇	4.30	1.48
On-57	名護南部	名嘉真	仲嶺サヨ	◇	◇	2.37	1.18

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレーナの位置	備 考
0.90 <sup>n</sup>	m	m <sup>3</sup> /d	21.5 <sup>m</sup>	m	
0.80			21.3		
0.96			21.5		
1.22			20.1		
2.94			20.0		
0.87			21.5		
1.77					
1.10					
0.90					
1.45					
1.41					
1.78					
1.32					
1.77					
2.55					
2.50					
1.65					
1.46					
1.42					
1.65					
1.45					
1.50					
1.47					
1.85					
0.84					

名護市

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年度	深度	井径
Na-1	名護南部	喜瀬31	宮城 ウシ	雑用水	不明	1.65	0.84
Na-2	*	* 122	—	*	*	2.20	0.92×0.95
Na-3	*	喜瀬120	—	*	*	1.98	0.84
Na-4	*	幸喜88	—	*	戦前	3.37	1.0
Na-5	*	* 85	花城 清仁	*	*	3.09	0.95
Na-6	*	*	—	*	*	3.70	0.71
Na-7	*	* 35	大 城	*	*	3.85	0.85
Na-8	*	* 15	小 浜	*	*	3.42	0.80
Na-9	*	* 55	安里 文雄	*	*	3.80	0.76
Na-10	*	* 91	宮 城	*	*	3.59	0.84
Na-11	*	* 90	—	*	*	3.10	0.81
Na-12	*	* 76	新城 シズ	*	*	3.06	1.1
Na-13	*	*	—	*	*	3.74	0.83
Na-14	*	* 15	小 浜	*	*	3.25	0.80
Na-15	*	*	—	*	不明	3.80	0.79
Na-16	*	許田335	許 田	*	*	2.49	0.75
Na-17	*	* 354	真 栄 城	*	S17年	2.70	0.91
Na-18	*	* 357	長 谷 川	*	戦前	2.97	0.75
Na-19	*	* 359	—	*	*	2.32	0.82
Na-20	*	名護206	嶺井 政栄	*	*	3.20	0.80
Na-21	*	* 205-1	大城 勝秀	*	不明	測定不可	—
Na-22	*	* 207	嘉手苺タマ	*	戦前	3.45	0.90
Na-23	*	* 207	屋部 ハル	*	不明	測定不可	—
Na-24	*	* 207	平良カマド	*	*	*	—
Na-25	*	* 207	比嘉 真栄	*	*	*	—
Na-26	*	* 193-2	大嶺 実敏	*	*	*	—
Na-27	*	* 161	比嘉 利史	*	*	3.61	0.83
Na-28	*	* 163	新垣 喜正	*	*	3.78	0.83
Na-29	*	* 41	岸木新一	*	S30年代	3.50	0.90
Na-30	*	* 47	岸本 宏武	*	不明	3.66	0.87
Na-31	*	* 49	比嘉 ハル	*	*	3.30	0.82
Na-32	*	* 63	大兼久カメ	*	戦前	測定不可	

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレーナの位置	備 考
m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
1.34					
2.05					
1.86					
2.13					
2.19					
3.01					
3.30					
3.05					
2.90					
2.96					
3.03					
2.84					
2.94					
2.85					
2.95					
1.55					
1.55					
1.79					
1.62					
1.50					
測定不可					固定式ポンプ設置
1.55					
測定不可					固定式ポンプ設置
*					*
*					旧式組み上げポンプ
*					固定式ポンプ設置
2.11					
2.08					
2.90					
2.96					
2.69					
測定不可					固定ポンプ吸み上げ



名護市

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
Na-33	名護	名護56	諸見里朝徳	雑用水	S52年	測定不可	0.90
Na-34	〃	〃 65	伊藤 義夫	〃	戦前	〃	0.90
Na-35	〃	〃 71-1	比嘉 秀次	〃	〃	〃	0.85
Na-36	〃	〃 69	岸本 健次	〃	S30年代	3.33	0.88
Na-37	〃	〃 151	当山 秀子	〃	戦前	3.4	0.87
Na-38	〃	〃 239	岸本広太郎	〃	〃	3.5	0.87
Na-39	〃	〃 261	比嘉 洋子	〃	S20年代	3.1	0.90
Na-40	〃	〃 240	岸本 誠功	〃	〃	測定不可	
Na-41	〃	〃	区所有	拝井泉	不明	2.9	0.76
Na-42	〃	〃 262	山城 松一	雑用水	戦前	測定不可	
Na-43	〃	〃 270	比嘉 孝行	〃	〃	3.32	0.82
Na-44	〃	〃 284	具志堅興喜	〃	〃	3.1	0.80
Na-45	〃	〃 82	屋部幸保	〃	S30年代	3.25	0.88
Na-46	〃	〃 97	岸本 満	〃	戦前	3.75	0.94
Na-47	〃	〃 640	比嘉 哲郎	〃	不明	5.0	0.80
Na-48	〃	〃 320		拝井泉	〃	3.32	0.90
Na-49	〃	〃	朝日生命 ビル	雑用水	不明	測定不可	—
Na-50	〃	〃 379	厚 賢 館	〃	〃	3.6	0.90
Na-51	〃	〃 670	上 原	〃	戦前	3.3	0.90
Na-52	〃	〃 692	岸 本	〃	〃	6.9	0.80
Na-53	〃	〃 722	宮 城	〃	〃	4.5	0.90
Na-54	〃	〃 721	山 端	〃	〃	4.6	0.87
Na-55	〃	〃 430	比 嘉	〃	S20年代	測定不可	
Na-56	〃	〃 554	比嘉光子	〃	戦前	〃	
Na-57	〃	〃 450	宮城 マツ	〃	S20年代	4.8	0.80
Na-58	〃	〃 5894-3	又吉 義昭	〃	不明	測定不可	—
Na-59	〃	〃 506	宮城 門春	〃	S30年代	4.05	0.80
Na-60	〃	〃 507	新里 ツル	〃	S59年	測定不可	
Na-61	〃	〃 501	宮里 ハル	〃	S30年代	測定不可	0.83
Na-62	〃	〃 502	中村 忠一	〃	〃	3.57	1.10
Na-63	〃	〃 526	大兼久康夫	〃	戦前	測定不可	0.85
Na-64	〃	〃 1475-3	宮城幸徳郎	〃	S20年代	2.6	0.93

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレータの位置	備 考
m	m	m/d	℃	m	
測定不可					埋め込み式ポンプ
*					*
*					*
2.58					
2.3					
3.0					
2.3					
測定不可					埋め込み式ポンプ
2.6					
測定不可					埋め込み式ポンプ
2.62					
2.7					
2.57					
2.75					
3.20					
2.20					
測定不可					埋め込み式ポンプ
2.5					
2.4					
3.2					
3.1					
3.1					
測定不可					埋め込み式ポンプ
*					*
4.0					
測定不可					固定式ポンプ組み上げ式
2.85					
					固定式ポンプ組み上げ式
*					*
2.87					
測定不可					固定式ポンプ組み上げ式
1.9					

名 護 市

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又は 管理者	用 途	作非年月	深 度	井 径
Na-65	名 護	名護1473-2	王城 民雄	雑用水	S30年度	測定不可 <sup>m</sup>	0.95 <sup>m</sup>
Na-66	◇	◇ 499	山人 端	◇	◇	◇	0.94
Na-67	◇	◇ 524	岸本 吉雄	◇	戦 前	◇	0.80
Na-68	◇	◇ 517	宮平 政平	◇	◇	2.72	0.82
Na-69	◇	◇ 498	大城 幸夫	◇	◇	3.85	0.80
Na-70	◇	◇ 514	大城 那雄	◇	◇	3.57	1.02
Na-71	◇	◇ 520	津波 良雄	◇	◇	2.88	0.75
Na-72	◇	◇ 495	岸本 東真	◇	◇	3.68	0.83
Na-73	◇	◇ 494	宮城 保仁	◇	◇	3.58	0.85
Na-74	◇	◇ 1229	比嘉 良夫	◇	不 明	測定不可	0.75
Na-75	◇	◇ 1247	山城 ツル	◇	戦 前	2.73	0.90
Na-76	◇	◇ 1241	比嘉 真栄	◇	◇	2.36	0.62
Na-77	◇	◇ 1357	伊 波	◇	不 明	4.02	1.0
Na-78	◇	◇ 1027	平良美枝子	◇	◇	2.9	0.94
Na-79	◇	◇ 1237	翁長 繁	◇	◇	2.73	0.90
Na-80	◇	宮里180	慶山 恵助	◇	◇	3.1	0.95
Na-81	◇	宮里152	比嘉 邦安	◇	戦 前	2.10	0.81
Na-82	◇	◇ 151	比嘉 カメ	◇	不 明	測定不可	—
Na-83	◇	◇ 256	仲茶間美津子	◇	◇	◇	—
Na-84	◇	◇ 224-4	喜友名朝行	◇	◇	◇	—
Na-85	◇	◇ 196	比嘉 ウト	◇	S20年代	2.99	0.84
Na-86	◇	◇ 122	比嘉 清徳	◇	戦 前	測定不可	—
Na-87	◇	◇ 119	小渡 平和	◇	S30年代	◇	0.84
Na-88	◇	◇ 119	豊里 友勝	◇	戦 前	◇	1.2
Na-89	◇	◇ 120	西平 林守	◇	◇	2.87	0.81
Na-90	◇	◇ 305	兼次 米三	◇	S30年代	3.4	0.87
Na-91	◇	◇ 350	比嘉 常喜	◇	戦 前	2.35	0.95
Na-92	◇	◇ 359	王 城	◇	S30年代	1.65	0.86
Na-93	◇	◇ 368	神山 祥男	◇	S37年	2.45	0.90
Na-94	◇	◇	名 城	◇	戦 前	2.52	0.92
Na-95	◇	◇	比 嘉	◇	◇	3.19	0.96
Na-96	◇	◇ 310	比嘉 マツ	◇	◇	測定不可	—

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレータの位置	備 考
m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
測定不可					埋め込み式ポンプ
*					旧式手押しポンプ
*					*
2.57					
2.50					
2.62					
2.24					
2.73					
2.88					
測定不可					旧式手押しポンプ
1.99					
1.89					
2.97					
2.0					
1.99					
2.5					
1.42					
測定不可					使用されていない
*					旧式手押しポンプ
*					*
1.98					
測定不可					埋め込み式ポンプ
*					
*					埋め込み式ポンプ
1.87					
1.30					
1.35					
1.45					
1.70					
2.12					
2.37					
測定不可					埋め込み式ポンプ

名護市

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
Na-97	名 護	宮護108	岸 本	雑用水	戦 前	測定不可	0.97
Na-98	◇	◇ 44	仲村 宏郎	◇	不 明	2.0	0.95
Na-99	◇	◇ 69	比嘉 康	◇	S30年代	3.52	0.87
Na-100	◇	◇ 68	比嘉 永信	◇	戦 前	3.29	0.82
Na-101	◇	◇ 53	玉城 禄助	雑用水	◇	3.10	0.83
Na-102	◇	◇ 26	渡嘉敷広栄	◇	◇	2.22	0.83
Na-103	◇	◇ 27	平 松	◇	S20年代	3.05	0.81
Na-104	◇	◇ 27	比嘉 マツ	◇	戦 前	3.20	0.81
Na-105	◇	◇ 41	神山カマド	◇	◇	3.08	1.0
Na-106	◇	◇		◇	◇	3.0	0.9
Na-107	◇	◇ 40	大城 平昭	◇	◇	3.28	0.95
Na-108	◇	◇ 55	具志堅用明	◇	◇	3.43	1.05
Na-109	◇	◇ 80	米須 壽	◇	◇	2.98	1.03
Na-110	◇	◇ 104	岸本 イネ	◇	◇	2.61	0.85
Na-111	◇	◇ 103	利根 一夫	◇	◇	2.95	0.96
Na-112	◇	◇ 102	屋我 宗親	◇	◇	4.25	0.90
Na-113	◇	◇ 82	座覇 政安	◇	戦 前	3.07	0.80
Na-114	◇	◇ 82	宮里 等	◇	S30年代	3.23	0.84
Na-115	◇	◇ 346	仲村 宏秀	◇	戦 前	測定不可	—
Na-116	◇	◇ 345	真喜志康建	◇	◇	2.37	0.80
Na-117	◇	◇ 344	山人端カマド	◇	◇	2.54	0.97
Na-118	◇	◇ 100	比嘉 永仁	◇	◇	2.36	0.86
Na-119	◇	◇ 101	比嘉 源保	◇	◇	2.57	0.89
Na-120	◇	◇ 84	比嘉 カメ	◇	◇	2.20	1.0
Na-121	◇	◇ 83	比嘉 マツ	◇	◇	2.75	0.97
Na-122	◇	◇ 389	福山 康吉	◇	◇	2.26	0.85
Na-123	◇	◇ 61	金城 勝彦	◇	◇	2.0	0.90
Na-124	◇	◇ 62	比嘉カマド	◇	S20年度	2.6	0.94
Na-125	◇	◇ 63		◇	不 明	3.1	0.94
Na-126	◇	◇ 64	比嘉 盛昌	◇	S30年代	3.1	0.77
Na-127	◇	◇ 58	仲村 ウシ	◇	戦 前	3.1	0.74
Na-128	◇	◇ 57	比嘉 ツル	◇	不 明	3.2	0.96

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレータの位置	備 考
m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
測定不可					
1.9					
2.15					
1.92					
1.70					
1.96					
1.81					
1.78					
1.77					
1.8					
1.95					
2.13					
2.08					
1.5					
2.25					
2.73					
1.77					
2.06					
測定不可					埋め込み式ポンプ
1.32					
1.24					
1.41					
1.47					
1.55					
1.62					
1.26					
1.70					水が漏れる
1.9					
1.9					
2.0					
2.8					
1.8					

名 護 市

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	深 度	作井年月	深 度	井 径
Na-129	名 護	宮里32	比嘉 良雄	雑用水	戦 前	2.86	0.93
Na-130	◇	◇ 30	村山 友孝	◇	不 明	測定不可	—
Na-131	◇	◇ 19	金 武	◇	戦 前	◇	0.90
Na-132	◇	◇ 58	仲村 ウシ	◇	明 治	3.1	0.74
Na-133	◇	◇ 59	折山 五郎	◇	戦 前	3.14	0.94
Na-134	◇	◇ 404	神 山	◇	◇	4.00	0.85
Na-135	◇	◇ 410	山入端秀二	◇	S 50年	4.10	0.82
Na-136	◇	◇ 35	渡 口	◇	戦 前	4.1	1.2
Na-137	◇	◇ 15	大城 兼安	◇	◇	3.2	0.80
Na-138	◇	◇ 16	仲村 宏	◇	◇	3.7	0.9
Na-139	◇	◇ 34	比嘉 元秀	◇	◇		0.90
Na-140	◇	名護4831 3	日本石油 大北給油所	洗浄水	不 明	4.2	1.18
Na-141	◇	◇ 4917	東江 幸弘	雑用水	S 40年	測定不可	0.84
Na-142	◇	◇ 3793-1	友 寄	◇	S 35年	11.0	0.9
Na-143	仲 尾 次	伊差川494	比嘉 康夫	◇	不 明	1.55	0.83
Na-144	◇	我部祖河144	宮城マズル	◇	戦 前	7.35	1.06
Na-145	◇	親川 6	松 田	◇	◇	2.45	0.93
Na-146	◇	呉我51	山里 康雄	◇	不 明	2.65	0.95
Na-147	◇	中尾	宮 里	◇	◇	2.93	0.84
Na-148	◇	ムラガー中尾	中 尾 区	拌井泉	◇	3.90	2.80
Na-149	◇	仲尾次450	照屋 幸三	雑用水	戦 前	2.04	0.77
Na-150	◇	縮嶺75	島袋 良子	◇	不 明	2.10	0.80
Na-151	◇	◇ 90	金 城	◇	戦 前	2.32	0.88
Na-152	◇	◇		◇	不 明	2.76	0.85
Na-153	◇	◇ 97		◇	戦 前	2.12	1.03
Na-154	◇	◇ 74		◇	◇	1.72	1.4
Na-155	◇	縮嶺	島 田	◇	不 明	1.98	1.08
Na-156	◇	◇	名 護	◇	◇	2.10	0.85
Na-157	◇	坂慶名364	金 城	◇	S 37年	3.97	0.90
Na-158	◇	源河	—	拌井泉		1.8	1.5×2.2
Na-159	◇	仲尾次					

自然水位 観測 (年月日)	揚水水位 観測 (年月日)	揚水量 観測 (年月日)	水温 観測 (年月日)	ストレナーナの位置	備 考
m	m	㎥/d	℃	m	
1.82					
測定不可					旧式吸み上げポンプ
*					*
1.8					
1.82					
1.77					
1.98					
2.0					
1.8					
2.2					
測定不可					井戸を固定
3.2					
測定不可					井戸を固定
8.0					
1.15					
1.55					
1.65					
1.74					
1.40					
1.35					
1.15					
1.08					
1.36					
1.56					
1.56					
1.3					
1.03					
1.25					
2.07					
1.3					



名 護 市 (旧屋部村)

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Na-161	名 護	字字茂佐	長田 明雄	雑用水	戦 前	5.12 <sup>m</sup>	0.95 <sup>m</sup>
Na-162	◇	◇ 263	岸本盛久	◇	◇	4.75	0.94
Na-163	◇	◇ 305	岸本 公永	◇	◇	4.04	0.87
Na-164	◇	◇ 355	大城 良勝	◇	S30年代	4.03	0.95
Na-165	◇	シーガーシーガー字字茂佐300	宮 城	◇	◇	4.18	1.03
Na-166	◇	字字茂佐369	岸本 幸憲	◇	戦 前	4.17	0.84
Na-167	◇	◇ 374	岸本 静子	◇	S20年代	3.88	0.76
Na-168	◇	ヤブエーキ屋部175	岸本 久嗣	◇	明治37年	2.56	0.80
Na-169	◇	屋部16	儀部 真一	◇	戦 前	2.52	0.92
Na-170	◇	◇ 117	岸 本	◇	不 明	2.60	0.86
Na-171	◇	ヌルドウンチ屋部17	吉本 栄徳	◇	◇	3.60	1.1
Na-172	◇	◇	◇	◇	戦 前	3.00	0.95
Na-173	◇	アジシチャー屋部	岸 本	◇	不 明	2.35	0.85
Na-174	◇	イジガチャー屋部64		◇	◇	1.9	1.0
Na-175	◇	屋部566	岸 本	◇	◇	3.56	0.94
Na-176	◇	屋部537	比嘉 啓三	◇	戦 前	3.25	0.90
Na-177	名 護	◇ 582	大 城	◇	戦 前	3.40	0.87
Na-178	◇	◇ 575	渡口 良吉	◇	S30年代	3.15	0.87
Na-179	◇	◇ 577	岸本桃次郎	◇	戦 前	3.25	0.80
Na-180	◇	◇ 529	吉 元	◇	◇	2.62	0.84
Na-181	◇	◇ 530		◇	◇	3.46	0.90
Na-182	◇	◇ 531	渡口 良徳	◇	◇	3.20	0.80
Na-183	◇	◇ 583	大城 ウト	◇	◇	2.98	1.10
Na-184	◇	◇ 72	比嘉 カネ	◇	◇	1.9	0.85
Na-185	◇	◇ 66	儀部 文子	◇	◇	2.04	0.72
Na-186	◇	◇ 32	吉 元	◇	S20年代	2.5	0.90
Na-187	◇	◇ 67	東江 定義	◇	戦 前	2.03	0.80
Na-188	◇	◇ 600	久高 栄助	◇	◇	3.25	0.80
Na-189	◇	◇ 77	宮平 善勝	◇	◇	2.40	1.30
Na-190	◇	◇ 435	比嘉 信夫	◇	◇	2.7	0.72
Na-191	◇	◇ 435	◇	◇	◇	2.78	0.85
Na-192	◇	◇ 412-2	津波松次郎	◇	不 明	2.24	0.70

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレートの位置	備 考
m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
4.94					
4.34					
3.74					
3.76					
2.90					
3.67					
3.60					
1.16					
1.92					
1.90					
2.0					
2.38					
2.05					
1.6					
2.61					
2.85					
2.80					
2.53					
2.55					
2.47					
2.72					
2.35					
2.48					
1.4					
1.55					
2.0					
1.9					
2.56					
2.30					
2.0					
1.99					
1.59					

名護市(旧屋部村)

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井 経
Na-193	名 護	屋部412-2	安里 陽子	雑用水	不 明	1.98	0.68
Na-194	◇	◇ 405	儀部 真秀	◇	戦 前	2.23	0.09
Na-195	◇	◇ 40		◇	◇	2.50	0.77
Na-196	◇	◇ 490-1	比 嘉	◇	◇	2.10	0.78
Na-197	◇	◇ 498	比嘉 トシ	◇	◇	2.31	0.82
Na-198	◇	山ノ端6	具志堅連四郎	◇	◇	1.2	0.83
Na-199	◇	◇ 5	◇	◇	◇	1.2	0.81
Na-200	◇	◇ 5	◇	◇	◇	1.1	0.79
Na-201	◇	◇ 7	比嘉 安子	◇	◇	4.75	0.77
Na-202	◇	◇		◇	不 明	3.94	0.9
Na-203	◇	◇ 9	比 嘉	◇	戦 前	4.64	1.0
Na-204	◇	◇ 10	比嘉 カメ	◇	不 明	5.02	0.85
Na-205	◇	◇ 11	比 嘉	◇	◇	4.90	0.90
Na-206	◇	◇ 50	岸 本	◇	S20年代	3.74	1.0
Na-207	◇	◇ 52	岸本 東三	◇	戦 前	4.00	0.78
Na-208	◇	◇ 53	宮城 正和	◇	◇	4.15	0.78
Na-209	◇	◇ 55		◇	戦 前	4.36	0.85
Na-210	◇	◇ 56	岸本 定仁	◇	◇	4.33	0.95
Na-211	◇	◇ 85	宮 城	◇	◇	3.96	0.92
Na-212	◇	◇ 86		◇	不 明	4.10	0.80
Na-213	◇	◇ 87		◇	◇	3.76	1.1
Na-214	◇	◇ 88		◇	◇	3.83	0.80
Na-215	◇	◇ 91	大城 花江	◇	戦 前	4.26	0.86
Na-216	◇	◇ 115	比嘉 義弘	◇	◇	4.08	0.90
Na-217	◇	◇		◇	◇	3.19	0.90
Na-218	◇	イヌカー山入端	山入端区	拝井泉	不 明	2.60	2.3×1.8
Na-219	◇	安和171	仲村 定信	雑用水	戦 前	3.07	0.93
Na-220	◇	◇ 140	宮城 キク	◇	◇	2.66	0.83
Na-221	◇	メーガー安和	安 和 区	拝井泉	不 明	1.25	2.0×1.5
Na-222	◇	安和167	中村 清	雑用水	戦 前	3.40	0.90
Na-223	◇	◇ 164	長山 豊成	◇	不 明	2.75	0.70
Na-224	◇	◇ 47	宮城 哲喜	◇	戦 前	2.67	0.84

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレーナの位置	備 考
m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
1.64					
1.73					
1.80					
1.60					
2.12					
0.9					空井戸、水ほとんどなし
0.8					*
0.8					*
4.52					
3.80					水ほとんどなし
4.38					
4.59					
4.08					
3.59					
3.55					
3.75					
3.92					
3.96					
3.61					
3.65					
3.42					
3.33					
3.73					
3.50					
2.82					
1.90					
2.57					
2.16					
0.93					
2.70					
2.45					
2.17					

名護市 (旧屋部村)

村照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
Na-225	名 鐘	安和150	中村 五郎	雑用水	戦 前	2.97	0.85
Na-226	◇	メーバギウガ-安和	安 波 区	拝井泉	不 明	1.90	4.0×2.5
Na-227	◇	安波496	比嘉 正一	雑用水	◇	2.5	0.92
Na-228	◇	◇	比嘉 ナベ	◇	戦 前	1.9	0.85



名 護 市 (旧屋我地村)

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Na-229	仲 尾 次	屋我50	王城 平吉	雑用水	不 明	5.09	0.90
Na-230	◇	◇ 75	金城 福助	◇	◇	5.02	0.86
Na-231	◇	◇ 31	金城 岩男	◇	◇	6.96	0.94
Na-232	◇	殿平名90		◇	◇	5.25	0.90
Na-233	◇	◇ 89		◇	◇	5.20	0.87
Na-234	◇	◇ 138	宮 城	◇	S 20年代	5.10	0.84
Na-235	◇	◇ 135		◇	不 明	4.80	0.87
Na-236	◇	◇ 65		◇	◇	7.05	0.85
Na-237	◇	◇ 70	真 喜 屋	◇	S 20年代	9.21	0.86
Na-238	◇	我部33	宮 城	◇	戦 前	8.9	0.85
Na-239	◇	◇ 32	仲 宗 根	◇	◇	9.1	0.85
Na-240	◇	◇ 35	伊 差 川	◇	◇	5.7	0.99
Na-241	◇	運天原404	上 地	◇	◇	3.20	0.92
Na-242	◇	済井出71	王城 カメ	◇	◇	2.85	0.96
Na-243	◇	◇ 70	金 城	◇	◇	2.72	0.84
Na-244	◇	◇ 49	長 浜	◇	◇	2.52	0.85
Na-245	◇	◇ 65	宮 城	◇	◇	2.61	0.86
Na-246	◇	◇ 189	山 里	◇	S 20年代	3.16	0.89
Na-247	◇	◇ 196	大 城	◇	◇	3.15	0.84
Na-248	◇	◇ 202	長 浜	◇	◇	3.20	0.84
Na-249	◇	◇ 58		◇	戦 前	3.0	手押し ポンプ
Na-250	◇	◇ 9	志 堅 原	◇	◇	2.38	0.86
Na-251	◇	◇ 169	長 山	◇	◇	2.75	0.80
Na-252	◇	◇ 171	棚 原	◇	◇	2.90	0.75
Na-253	◇	◇ 262	松 田	◇	S 20年代	2.67	0.97
Na-254	◇	◇ 159	長 浜	◇	戦 前	3.16	0.87
Na-255	◇	◇ 118	宮城 正信	◇	◇	2.58	0.92
Na-256	◇	◇ 158	宮城 次郎	◇	◇	3.01	0.94

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレーナの位置	備 考
m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
2.50					
3.32					
4.26					
2.50					
2.31					
1.20					
2.00					
4.05					
7.76					
7.90					
7.90					
1.89					
1.70					
1.63					
1.54					
2.42					
2.06					
2.70					
2.60					
2.70					
2.60					
1.98					
2.05					
2.40					
2.50					
2.88					
2.03					
2.59					



名 護 市

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Na-257	瀬 崎	久志132	大城 福松	雑用水	不 明	3.95	0.78
Na-258	〃	〃 136	比 嘉	〃	〃	3.70	0.85
Na-259	〃	〃 142	福 本	〃	〃	3.70	0.90
Na-260	〃	〃 21		〃	〃	3.40	0.82
Na-261	〃	〃 18	比 嘉	〃	〃	3.50	0.61
Na-262	〃	チンガー大浦	大 浦 区	押井泉	〃	2.43	0.85
Na-263	〃	瀬崎72	大 城 洋	雑用水	戦 前	2.31	0.83
Na-264	〃	〃 71	大 城	〃	〃	2.06	0.80
Na-265	〃	〃 67	大城 一也	〃	〃	2.62	0.86
Na-266	〃	〃 28	大城 栄吉	〃	不 明	2.50	0.84
Na-267	〃	〃 47	池 宮	〃	〃	2.62	0.82
Na-268	〃	汀間52	玉城浦五郎	〃	戦 前	3.26	0.81
Na-269	〃	〃 56	松 田	〃	〃	3.10	0.89
Na-270	〃	〃 54		〃	〃	2.90	0.87
Na-271	〃	〃 48		〃	〃	2.70	0.93
Na-272	〃	〃 50		〃	〃	1.97	0.82
Na-273	〃	安部20	比嘉 斤正	〃	〃	3.91	0.83
Na-274	〃	安部67	比嘉 マツ	〃	〃	3.43	0.85
Na-275	〃	〃 15		〃	〃	2.90	1.30
Na-276	〃	嘉陽68	知念 浦助	〃	〃	3.66	0.84
Na-277	〃	〃 72	上原 マツ	〃	〃	4.02	0.84
Na-278	〃	〃 23	大 城	〃	〃	4.69	0.86
Na-279	〃	〃 54	翁 長	〃	〃	3.30	0.83
Na-280	〃	〃 53	安部屋 修	〃	S20年代	3.73	0.85
Na-281	〃	〃 49	比嘉 重三	〃	S20年代	2.98	0.82
Na-282	〃	〃 36	真栄田幸三	〃	戦 前	3.14	0.84
Na-283	〃	〃 37	真 栄 田	〃	〃	3.89	0.82

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日) $m^3/d$	水温 (観測) (年月日) $^{\circ}C$	ストレーナの位置 $m$	備 考
3.03					
2.80					
3.20					
2.50					
2.37					
2.23					
1.88					
1.63					
2.20					
2.29					
2.22					
1.74					
2.44					
2.24					
2.18					
1.69					
3.51					
2.91					
2.40					
3.26					
3.45					
4.40					
2.90					
3.03					
2.70					
2.39					
2.57					

今 冊 仁

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Nk-1	大 宜 味	ウブカー運天	運 天 区	拝 井 泉	不 明	2.3 <sup>m</sup>	0.64×0.56 <sup>m</sup>
Nk-2	◇	運天12	林	雑用水	◇	2.10	0.86
Nk-3	◇	運天52	与 那 嶺	◇	◇	2.13	0.85
Nk-4	◇	運天	—	◇	◇	2.05	0.85
Nk-5	◇	上運天1194	座 間 味	◇	◇	9.0	0.85
Nk-6	◇	◇ 8	鞍 元	◇	◇	3.53	0.86
Nk-7	仲 宗 根	白間	岩 下	◇	◇	9.33	0.88
Nk-8	◇	ナカガー渡喜仁	渡喜仁区	拝 井 泉	◇	3.4	0.95×1.75
Nk-9	◇	◇ 257	与 那 嶺	雑用水	◇	18.56	0.88
Nk-10	◇	シチャヌハー勢理客65		◇	◇	3.3	2.7×1.2
Nk-11	◇	字職名17	親川 長吉	◇	◇	12.8	1.07
Nk-12	◇	ヤシダカー字与那嶺	与 那 嶺 区	拝 井 泉	◇	2.20	0.85×1.25
Nk-13	◇	字諾志27	宮 城	雑用水	◇	11.4	1.1
Nk-14	◇	ムラガー字今泊		拝 井 泉	◇	4.31	1.7
Nk-15	◇	◇		◇	◇	2.5	1.4
Nk-16	◇	◇ 530		◇	◇	2.4	0.98
Nk-17	◇	◇ 408	仲 宗 根	雑用水	◇	2.12	0.98
Nk-18	◇	◇ 510	玉 城	◇	◇	測定不可	—
Nk-19	◇	◇ 369	諾 喜 田	◇	◇		—
Nk-20	◇	◇ 67	玉 城	◇	◇	4.5	0.85
Nk-21	◇	◇ 65	宮 里	◇	◇	5.4	1.4
Nk-22	◇	◇		◇	◇	4.6	1.9
Nk-23	◇	◇ 45	嘉 敷	◇	◇	4.1	0.90
Nk-24	◇	◇		拝 井 泉	◇	2.65	1.13

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレートの位置	備考
m	m	m/d	℃	m	
2.0					
1.38					
1.55					
1.60					
4.24					
1.60					
6.98					
1.8					
16.90					
1.2					
6.3					
1.15					
7.8					
4.2					
2.1					
2.0					
1.24					
測定不可					ポンプ設置
*					*
4.0					
4.2					
3.9					
3.6					
2.55					

本 部 町

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又は 管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Mo-1	名 護	字塩川原		使用不能	不 明	3.05 <sup>m</sup>	0.85 <sup>m</sup>
Mo-2	◇	字塩川原798	渡口 政福	雑用水	◇	3.0	—
Mo-3	◇	崎本部41	金城 虎二	◇	戦 前	5.0	0.80
Mo-4	◇	138	仲地 誠元	◇	◇	4.37	0.84
Mo-5	◇	上ノカー字崎本部	崎本 部 区	拝井泉	不 明	1.05	3.8×1.0
Mo-6	◇	ニシヌカー字崎本部	◇	◇	◇	1.20	3.2×1.5
Mo-7	◇	崎本部75	仲宗根清一	雑用水	戦 前	4.3	—
Mo-8	◇	崎本部87	金城 忠吉	◇	◇	4.75	0.90
Mo-9	◇	健壁浜崎1106	浜 崎 区	拝井泉	不 明	2.66	1.05
Mo-10	◇	◇ 1104	◇	◇	◇	2.16	1.70
Mo-11	◇	字健壁	具 志 堅	雑用水	戦 前	4.85	0.72
Mo-12	◇	◇ 1020	島袋 勝徳	◇	◇	4.16	0.70
Mo-13	◇	◇ 1021-2	崎 浜	◇	◇	4.5	—
Mo-14	◇	◇ 92-1	平 良	◇	S26年	12.0	1.25
Mo-15	◇	—	—	◇	S24年	8.5	1.85
Mo-16	◇	字大浜28	具志堅用憲	◇	不 明	—	—
Mo-17	◇	◇ 21	具志堅用良	雑用水	◇	—	—
Mo-18	◇	◇ 6	玉城 幸治	◇	◇	3.3	1.7
Mo-19	◇	◇ 31	玉 城	◇	◇	5.5	1.1
Mo-20	◇	字谷茶140	—	◇	◇	3.0	0.55
Mo-21	◇	◇ 85	仲 宗 根	◇	◇	2.6	0.84
Mo-22	◇	公民館横	谷 茶 区	拝井泉	◇	1.92	0.80
Mo-23	◇	字並里	並 里 区	◇	◇	1.25	2.0×1.40
Mo-24	◇	◇	—	雑用水	◇	3.5	0.85
Mo-25	◇	ムラガー字浜元77	仲 宗 根	◇	◇	2.65	1.04
Mo-26	◇	字浜元24	仲 村	◇	戦 前	1.85	1.02
Mo-27	◇	◇	浜 元 区	拝井泉	不 明	2.35	1.3
Mo-28	◇	◇ 52		雑用水	S20年代	2.50	0.84
Mo-29	◇	◇ 27	上 原	◇	不 明	2.48	0.85
Mo-30	仲 宗 根	◇ 11	島袋 ウト	◇	戦 前	3.55	1.10
Mo-31	◇	◇ 49	—	◇	S20年代	2.75	0.90
Mo-32	◇	ムラガー字浜元	浜 元 区	拝井泉	不 明	3.3	1.34

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレーナの位置	備 考
m	m	m <sup>3</sup> /d	m <sup>3</sup>	m	
2.95					
—					手押しポンプ吸上げ
2.35					
2.47					
1.00					水がかかる
0.92					
2.5					うめ込ポンプ式
2.72					
2.16					
2.10					
4.25					
3.46					
3.6					うめ込ポンプ式
6.5					
7.32					
—					
—					ポンプ埋め込み
2.55					
3.5					
2.1					
1.4					
0.72					
0.50					
2.6					ポンプ
2.3					
1.55					
1.95					
2.15					
2.18					
3.45					
2.27					
2.0					







宜野座村

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深 度	井 径
Gi-1	金 武	漢那157		雑用井戸	不 明	2.64 <sup>m</sup>	0.62 <sup>m</sup>
Gi-2	◇	◇ 151	津嘉山宅	◇	◇	2.56	0.84
Gi-3	◇	◇ 124	仲本 吉昌	◇	◇	2.48	0.86
Gi-4	◇	◇ 45		◇	◇	1.52	0.95
Gi-5	◇	◇ 44		◇	◇	1.41	0.80
Gi-6	◇	◇ 149	安 嘉 祖	◇	S20年代	3.44	0.84
Gi-7	◇	◇ 147	吉野電気店	◇	◇	2.74	0.84
Gi-8	◇	◇ 65	星 宜 宅	◇	不 明	1.91	0.85
Gi-9	◇	◇ 13		◇	◇	2.10	0.85
Gi-10	◇	◇ 155	名 嘉 真 氏	◇	◇	2.75	0.85
Gi-11	◇	◇ 160	伊 芸 氏	◇	◇	2.60	0.84
Gi-12	◇	◇ 142	◇	◇	S37年代	2.52	0.89
Gi-13	◇	◇ 107	安 富 祖 氏	◇	S20年代	1.82	0.69
Gi-14	◇	◇ 14	安 富 祖 代	◇	不 明	2.00	0.83
Gi-15	◇	◇ 1771	安 次 富	◇	◇	6.97	0.85
Gi-16	◇	◇ 1750	幸 喜 宅	◇	◇	4.11	0.85
Gi-17	◇	◇ 1752		◇	不 明	4.42	0.85
Gi-18	◇	◇ 1829	玉 城	◇	◇	3.96	0.89
Gi-19	◇	徳慶	仲 田	◇	◇	11.65	0.90
Gi-20	◇	松田・兼久		◇	◇	5.55	0.84
Gi-21	◇	◇		◇	◇	2.32	0.95
Gi-22	◇	松田432	嘉 手 納	◇	◇	9.20	0.88
Gi-23	◇	◇ 428	吉 田	◇	戦 前	11.6	1.15
Gi-24	◇	松田前原	前 原 区	拝井泉	不 明	3.03	0.85
Gi-25	◇	松田1944	小 渡 ツル	雑用水	◇	12.55	0.88
Gi-26	◇	◇ 1945		◇	◇	13.51	0.85

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレーナの位置	備 考
2.14 m	m	m <sup>3</sup> /d	20.5 °C	— m	
2.20			20.5	—	
1.61			20.4	—	
0.87			19.5	—	
0.42			19.5	—	
2.04			20.6	—	
2.06			20.5	—	
1.09			19.8	—	
1.37			19.5	—	
1.85			19.5	—	
1.78			20.0	—	
1.82			20.0	—	
1.35			19.5	—	
1.30			19.5	—	
2.27					
3.39					
2.90				—	
2.87				—	
7.15					
1.72			18.5 1.26		
1.20			18.5 1.26		
7.40					
8.32					
1.20					
11.45					
12.41					

金 武 町

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月日	深 度	井 径
Ki-1	石 川	屋森209	仲間 正昌	雑用水	不 明	4.20	1.0
Ki-2	＊	＊ 210	前 田	＊	＊	4.40	0.88
Ki-3	金 武	金武393	比嘉 良子	＊	＊	9.62	1.0
Ki-4	＊	＊ 395		＊	＊	14.01	1.0
Ki-5	＊	並里520	宮 平	＊	＊	6.89	1.3



# V-6 使用目的別湧水一覧表 (農業用)

## 恩納村

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又 は管理者	用途	作井年月	深 度	井 径
On-1	石 川	恩納5418	糸 満 盛 和	農業用水	不 明	1.95 m	0.90 m
On-2	名護南部	カガリガー瀬良垣	瀬良垣区	〃	〃	—	—

自然水位 (観測湖) (年月日)	揚水水位 (観測湖) (年月日)	揚水量 (観測湖) (年月日)	水温 (観測湖) (年月日)	ストレーナの位置	備 考
0.13 m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
—					コンクリートを埋め込んである。

名 護

封照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
Na-1	仲尾次	山田		農業用水	不明	5.5 <sup>m</sup>	0.90 <sup>m</sup>
Na-2	◇	伊差川706	仲宗根	◇	S 55年	4.40	0.90
Na-3	◇	喜瀬の川伊差川706	喜瀬	◇	不明	0.8	1.2×3.5
Na-4	◇	振慶名166	野原	◇	◇	1.42	0.91
Na-5	◇	◇ 169	前原信林	◇	◇	3.42	0.90
Na-6	名護	我部祖河		◇	S 40年	—	0.90
Na-7	◇	◇		◇	不明	2.1	0.85
Na-8	仲尾次	◇		◇	◇	3.22	0.87
Na-9	◇	◇		◇	◇	2.30	0.90
Na-10	◇	我部祖河515	新城	◇	◇	3.20	0.89
Na-11	◇	集落井戸呉我	呉我区	◇	◇	2.30	1.06
Na-12	名護	山入端砂田原303	比嘉尚司	◇	◇		
Na-13	◇	安和山川原718	大城義屋	◇	◇		
Na-14	◇	◇ 776	池原正秀	◇	◇		
Na-15	瀬 嵩	ムラガ-豊原	豊原区	農業用水 井泉	◇	0.9	0.9×4.0
Na-16	◇	イズミカー字汀間	汀間区	◇	◇	1.4	1.3

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレーナの位置	備 考
m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
0.7					
0.63					
0.4					
0.0					
0.17					
—					
0.9					
0.17					
0.32					
0.78					
0.95					
		580			ポンプ揚水
		580			♪
		5			♪
—					
0.7					



今 帰 仁

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	川 途	作井年月	深 度	井 径
Nk-1	名 護	湧川		農業用水	戦 前	1.1 <sup>m</sup>	0.50×0.89 <sup>m</sup>
Nk-2	◇	湧川2033	津波古	◇	◇	4.94	0.87
Nk-3	◇	◇ 1931	山田重信	◇	◇	0.90	0.50×0.89
Nk-4	伴宗根	—		◇	不 明	0.70	0.9 ×0.85
Nk-5	◇	字渡喜仁702	那覇安建	◇	◇	—	—
Nk-6	◇	ウイメカー字勢理客798	豊里友邦	◇	S 57年	2.5	1.3
Nk-7	◇	字渡喜仁36	石川清之	◇	S 30年		
Nk-8	◇	字上運天	—	◇	不 明	0.46	2.5 ×1.25
Nk-9	◇	ウイスハー字勢理客13	—	◇	◇	2.0	1.5 ×2.0
Nk-10	◇	ウブガー字平敷	平敷区	農業用水 井泉	◇	0.8	2.5 ×2.5
Nk-11	◇	ギブガー字平敷	◇	◇	◇	0.45	1.5 ×2.3
Nk-12	◇	ウブガー字緒志	緒志区	◇	◇	0.9	1.4 ×2.4



本部町

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井 径
Mo-1	名 護	字大浜大小堀原751	玉城昌栄	農業用水	不 明	—	—
Mo-2	*	本部町ウパー字健堅原498	健堅野菜 生産組合	*	*	—	—
Mo-3	仲宗根	字嘉津字	区	*	*		
Mo-4	*	本部長ウパー字具志堅大平原2463	具志堅 土地改良区	*	*	0.9	17×15
Mo-5	*	字伊野波	不 明	*	*	0.5	3.0×4.5



宜野座

参照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井 径
Gi-1	金 武	字漢那	漢 那 区	農業用水 採 井 泉	不 明	— m	m
Gi-2	◇	字惣慶	惣 慶 区	◇	◇	1.5	4×1.7
Gi-3	◇	◇ 1316	伊 苙 幸 雄	農業用水	◇	—	65 mm 管 ポンプ揚水
Gi-4	◇	◇ 1374-2	新 里 勝 義	◇	◇	—	75 mm 管 ポンプ揚水
Gi-5	◇	字宜野座866	島 袋 和 則	◇	◇	—	40 mm 管 ポンプ揚水
Gi-6	◇	字松田1812	当 間 嗣 哲	◇	◇	—	50 mm 管 ポンプ揚水
Gi-7	◇	◇ 1582-1	小 橋 川 栄	◇	◇	—	65 mm 管 ポンプ揚水
Gi-8	◇	◇ 1462-1	島 田 米 雄	◇	◇	—	65 mm 管 ポンプ揚水
Gi-9	◇	◇	志 利 ガ ー 松 田 区	◇	◇	3.0	ポンプ揚水 0.65mm 1.3×3.0

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレナーナの位置	備考
- m	m	m <sup>3</sup> /d	16.5 °C 62.1 .15	m	
0.40			18.0 62.1 .15		
-		40			年間使用
-		25			
-		1			
-		10			
-		20			
-		15			
0.8					

金武町

参照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井 径
Ki-1	金 武	ウッカー金武町字並里	並 里 区	農 業 用 水 簡 易 水 道	不 明	0.0 m	11.0×1.5 <sup>m</sup>
Ki-2	◆	キンタガー ◆	◆	◆	◆	0.0	





Ⅵ-7 使用目的別湧水一覧表 (水道用)

恩納村

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	外井年月	深度	井径
On-1	石川	恩納村字恩納	恩納区	簡易水道 水 源	不明	2.2 <sup>m</sup>	1.43×1.2 <sup>m</sup>



本部町

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又 は管理者	用途	作井年月	深度	井径
Mo-1	名護	笹川水源並里笹原	本部町	上水道	不明	m	m
Mo-2	*	* 西屋名座	*	*	*		
Mo-3	*	竹山水源伊豆味谷久保	伊豆味区	簡易水道	*		



VI-8 使用目的別湧水一覽表（工業用）

今 帰 仁

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
NK-1	仲 宗 根	ソ-リガー字仲宗根248	北 部 製 糖	工 業 用 水	不 明	— m	— m
NK-2	〃	〃	〃	〃	〃	—	—



VI-9 使用目的別湧水一覧表 (雑用湧水および拝井泉)

恩納村

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
On-1	石 川	恩納村字仲泊	字 仲 泊	拝井泉	不 明	— <sup>m</sup>	— <sup>m</sup>
On-2	*	* *	*	*	*	—	—
On-3	*	恩納村字真栄田	真栄田区	チーガー 拝井泉	*	3.0	0.5×1.2
On-4	*	* 字恩納	カイジャガー 字恩納区	拝井泉	*	3.3	1.13×0.85
On-5	名護南部	字名嘉真	ムラガー 名嘉真区	*	*	1.25	1.60×2.55
On-6	*	*	ハマスカ 名嘉真区	*	*	—	2.5×3.5

自然水位 (観測) (年月日)	揚水水位 (観測) (年月日)	揚水量 (観測) (年月日)	水温 (観測) (年月日)	ストレータの位置	備考
— m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
—					
0.80					
0.60					
—					水：少量
—					



名護市

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
Na-1	名護南部	クシノウタキ名護市許田	許田区	拝井泉 許田の手水	不明	— <sup>m</sup>	1.5×2.8 <sup>m</sup>
Na-2	◇	泉川名護市数久田	数区田区	拝井泉	◇	0.7	0.80
Na-3	◇	カミガー名護市数久田	◇	◇	◇	0.9	2.15×1.85
Na-4	◇	ヤマガー名護市数久田	◇	◇	◇	0.65	1.75×2.90
Na-5	◇	アザガー名護市世富慶	世富慶区	◇	◇	1.20	1.97×1.90
Na-6	仲尾次	ソージガー我部祖河284	—	雑用井戸	◇	1.0	4×6
Na-7	名護	ソージガー我部祖	我部祖河区	拝井泉	◇	1.2	
Na-8	◇	我部祖河252	新城普雄	雑用水	戦前	2.6	0.9
Na-9	◇	◇ 263	宮城繁	◇	◇	2.8	0.87
Na-10	仲尾次	◇ 282	新城	◇	S 52年	3.75	1.15
Na-11	◇	◇ 138	金城ナリエ	◇	不明	4.0	0.82
Na-12	◇	損慶名12	不明	◇	◇	1.0	1.55
Na-13	◇	◇ 23	◇	◇	◇	0.9	1.61×1.93
Na-14	◇	新川16	砂川二雄	◇	戦前	2.17	0.95
Na-15	◇	◇ 17	小橋 27	◇	◇	0.82	0.84
Na-16	◇	◇ 20	宮城宗善	◇	◇	0.58	1.07
Na-17	◇	損慶名59	親川信徳	◇	不明	1.73	0.88
Na-18	◇	◇ 192	津波幸男	◇	戦前	1.53	0.83
Na-19	◇	ウブシマ具我	具我区	拝井泉	不明	1.3	1.1
Na-20	◇	ハミカー具我	◇	◇	◇	0.9	1.3
Na-21	◇	ピンカーガー具我	◇	◇	◇	1.65	2.7×2.0
Na-22	◇	仲尾107	金城敏郎	雑用水	◇	5.43	0.92
Na-23	◇	仲尾次460	當間達進	◇	S 52年	1.80	0.90
Na-24	◇	◇ 68	宮里貫徳	◇	戦前	0.88	0.90
Na-25	◇	◇ 328	伊 礼	◇	不明	0.94	0.95
Na-26	◇	ウェーガマダガー仲尾次406	仲尾区	◇	◇	1.15	3.5×1.24
Na-27	◇	◇ 286	當間亀太郎	◇	戦前	1.76	0.85
Na-28	◇	◇ 369	松田幸一	◇	◇	2.37	1.0
Na-29	◇	◇ 364	平 良	◇	◇	2.23	0.8
Na-30	◇	◇ 270	大兼久善殿	◇	◇		
Na-31	◇	真喜屋	ウイナハーガー 真喜屋区	拝井泉	不明	1.27	1.0
Na-32	◇	源河	クイナルガー 源河区	◇	◇	—	1.5×1.2

自然水位 (観測 年月日)	揚水水位 (観測 年月日)	揚水量 (観測 年月日)	水温 (観測 年月日)	ストレーナの位置	備 考
m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
1.3					
0.65					水が漏れる。
0.80					
0.50					
0.37					
0.4					
0.5					
0.4					
0.8					
0.3					
0.3					
0.8					
0.27					
0.77					
0.27					
0.15					
0.7					
0.53					
0.8					
0.3					
0.52					
0.61					
0.93					
0.55					
0.34					
0.3					
0.4					
0.74					
0.73					
0.73					
-					



自然水位 観測 (年月日)	揚水水位 観測 (年月日)	揚水量 観測 (年月日)	水温 観測 (年月日)	ストレータの位置	備 考
- m	m	m <sup>3</sup> /d	°C	m	

名護市(旧屋我地村)

対照番号	2.5万分1 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	作井年月	深度	井径
Na-34	仲尾次	字屋我	屋我区	拝井泉	不明	1.25 <sup>m</sup>	16×3.8 <sup>m</sup>
Na-35	*	アミンガー字鏡平名	鏡平名区	*	*	1.40	6.0×1.8
Na-36	*	ハインジャガー字鏡平名	*	*	*	2.15	1.75×3.5
Na-37	*	ブルガー字我部区	我部区	*	*	2.94	0.91
Na-38	大宜味	ムラガー字前垣	前垣区	*	*	1.90	0.85×1.80
Na-39	仲尾次	* 字上運天原	字上運天原	*	*	1.8	1.1×1.2
Na-40	大宜味	ナカママヌハー字上運天	字上運天	*	*	1.5	2.0
Na-41	*	サンガー字済井出	済井出区	*	*	1.2	1.6





自然水位 観測 (年月日)	揚水水位 観測 (年月日)	揚水量 観測 (年月日)	水温 観測 (年月日)	ストレータの位置	備 考
0.30 m	m	m <sup>3</sup> /d	℃	m	
0.51					
0.45					
0.63					
0.60					
0.70					
0.50					
0.85					
0.80					



今 婦 仁

対照番号	2.5万分1 地形図名	井 戸 の 位 置	所有者又 は管理者	用 途	作井年月	深 度	井 径
Nk-1	名 護	湧川2027	鱒 井	雑 用	戦 前	0.9	0.90
Nk-2	*	* 2028	山 城	*	*	0.9	0.90
Nk-3	*	湧川・兼久	ムラガー区 兼久区	採井泉	不 明	1.2	1.5×1.2
Nk-4	仲 宗 根	ウブガー天底 豊謝堂	天 底 区	*	*	—	—
Nk-5	*	イキガガー天底 豊謝堂	*	*	*	—	—
Nk-6	*	アシスガー天底 豊謝堂	*	*	*	—	—
Nk-7	*	シーガー仲宗根	仲宗根区	*	*	0.8	3.0×7.0
Nk-8	*	イースカー仲宗根	*	*	*	1.4	1.4×1.75
Nk-9	*	マーカー仲宗根	*	*	*	1.5	1.1×1.2
Nk-10	*	字諸名17	観川長吉	雑 用	*		1.07

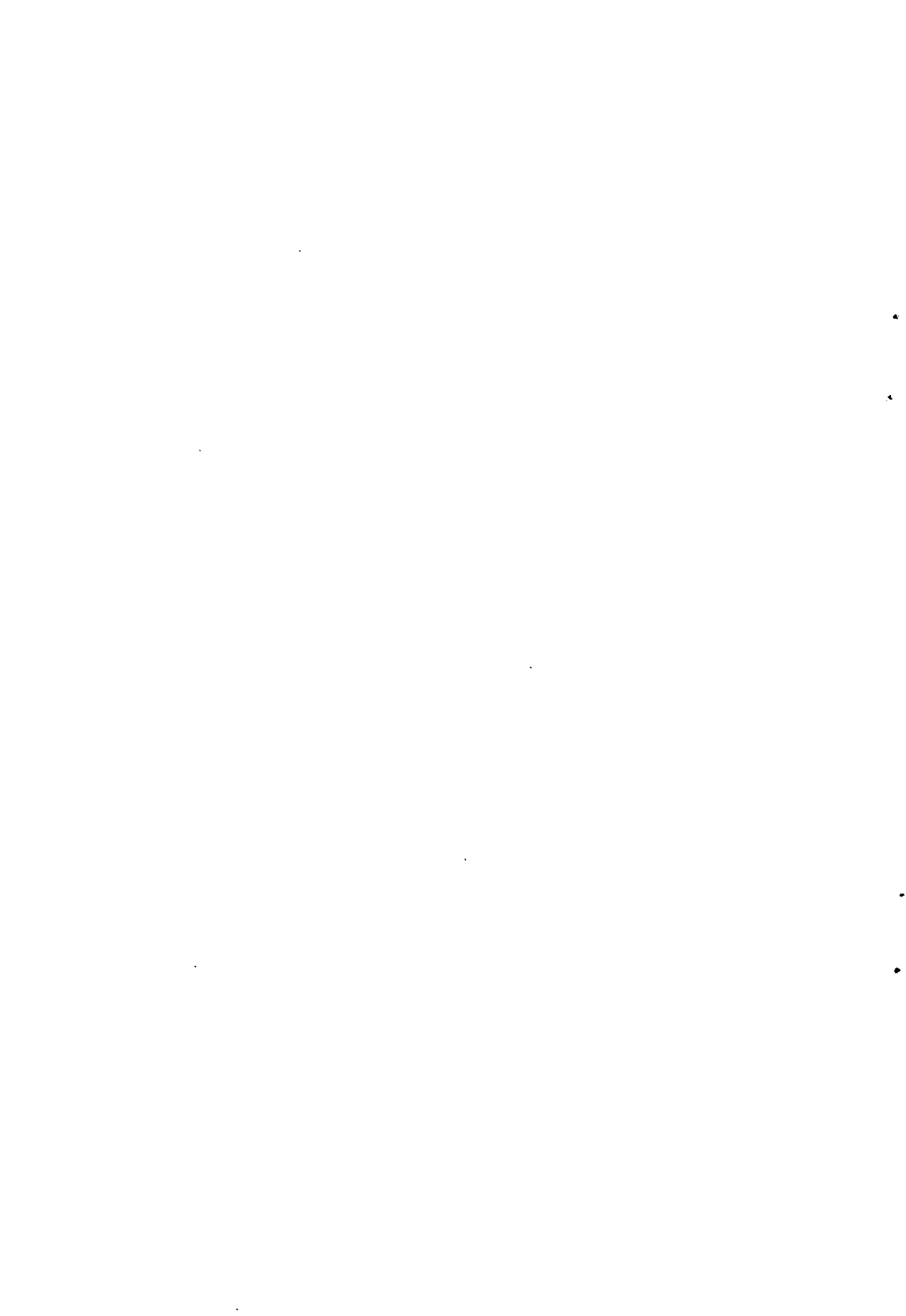












## Ⅶ 上水道および簡易水道（専用水道を含む）資料

### Ⅶ-1-1 水道用水（事業別）総括表

	行政区城内 総人口	上水道			簡易水道			専用水道		
		箇所数	計画給水人口	現在給水人口	箇所数	計画給水人口	現在給水人口	箇所数	計画給水人口	現在給水人口
今帰仁村	9,690				7	15,000	9,690			
本部町	15,106		14,940	13,794	4	2,140	1,280			
名護市	48,823	1	46,500	42,391	15	8,174	6,212			
恩納村	8,467	1	14,880	1,172	15	上水を含む	7,486	1	124	99
宜野座村	4,369				3	4,500	4,369			
金武町	13,100				5	13,100	10,019			
計	99,555	2	76,320	57,357	49	42,914	39,056	1	124	99

### Ⅶ-1-2 水道用水（主要項目別）総括表

	箇所数	計画給水区地域の計画給水人口 (人)	給水区城内の現在人口 a (人)	給水区城内の現在給水人口 b (人)	現況普及率 b/a%	日最大取水量積算		摘要	
						地下水 (m <sup>3</sup> /日)	地表水 (m <sup>3</sup> /日)		
上水道	本部町	1	14,940	13,794	13,781	99.5	890	7,174	
	名護市	1	46,500	42,391	42,180	99.5	1,608	21,302	
	恩納村	1	14,880	1,172	1,172	13.8		1,989	
簡易水道	今帰仁村	7	15,000	9,743	9,690	99.4	3,840 3,130	(湧水)	
	本部町	4	2,140	1,280	1,236	96.5	109	(湧水) 109	
	名護市	15	8,174	6,212	6,157	99.1		3,075	
	恩納村	15	—	7,486	7,196	96.1	※上水に含まれる		
	宜野座村	3	4,500	4,369	4,369	100.0		1,852	
	金武町	5	13,100	10,019	10,019	100.0	2,600	4,386	
水道専用	恩納村	1	124	99	99	100		50	



Ⅶ-1-3 上水道地区一覽表

対照番号	2.5万分1 地形図名	所在地	事業主 体者名	計画目標年次	計 画		給水区域内 現在人口 (a)	現在給水 面積	現在給水 人口 (b)
					給水区域 面積	給水人口			
1	仲尾次 名尾次 名尾次 尾南 南	名護市	名護市	S 65年		46,500 <sup>人</sup>	42,180 <sup>人</sup>		46,500 <sup>人</sup>
2	仲宗根 名宗根 名宗根 南 南	本部町	本部町	S 64年		14,940	13,794		13,781
3	名武 名武 名武 南 南 石	恩納村		S 62年		14,880	8,467		1,172

現況普及率 b/a×100	計画1人1日当たり 最大給水量	日最大給水能力		計画日最大取水量	日最大取水量実績		使用井戸本数		水利権 水量	備考
		認可済	現在 公 称		地下水	地表水	深井戸	浅井戸		
99.5 *	538 t/d	m <sup>3</sup> /d 25,000	m <sup>3</sup> /d 22,910	m <sup>3</sup> /d 25,000	m <sup>3</sup> /d 1,608	m <sup>3</sup> /d 21,302	本 10	本	m <sup>3</sup> /sec	
99.9	540	8,067	8,066	8,067	890	7,174	4			
13.8	540	8,035	3,075	8,035	—	3,075				

Ⅶ-2 簡易水道地区一覽表

対照番号	2.5万分1 地形図名	所在地	事業主 体者名	計画目標年次	計 画		給水区域内 現在人口 (a)	現在給水 面積	現在給水 人口(b)
					給水区域 面積	給水人口			
34	仲宗根	今帰仁村諸志	諸志区			4,000 <sup>人</sup>	2,717 <sup>人</sup>	1,402 <sup>人</sup>	
35	〃	〃 謝名	謝名区			1,600	1,233	1,233	
36	〃	〃 仲宗根	仲宗根区			3,100	1,955	1,955	
37	仲宗根 保護	〃 天底 呉我山	天底区 呉我山区			5,000	2,763	2,710	
38	仲尾次 護	〃 湧川	湧川区			13,000	1,075	1,075	
39	仲宗根	〃 今泊	今泊区			諸志	諸志	1,057	
40	〃	〃 兼次	兼次区			に含む	に含む	258	
計		7 地区				15,000	9,743	9,690	
41	名護	本部町 伊豆味第1	伊豆味 第1地区			1,070	503	464	
42	〃	本部町 伊豆味第2	伊豆味 第2地区			450	450	445	
43	〃	本部町 塩川	塩川区			300	125	125	
44	〃	〃 大嘉陽	大嘉陽区			320	202	202	
計		4 地区				2,140	1,280	1,236	
45	名護南部	名護市 喜瀬	喜瀬			606	479	479	
46	〃	〃 幸喜	幸喜区			433	279	279	
47	〃	〃 許田	許田区			666	498	470	
48	〃	〃 数久田	数久田区			1,143	1,079	1,079	
49	〃	〃 世富慶	世富慶区			548	582	582	
50	名護	〃 為又	為又区			342	263	263	
51	仲尾次	〃 源河	源河区			1,100	833	806	
52	瀬 越	〃 久志	久志区			1,160	664	664	
53	〃	〃 大浦	大浦区			180	130	130	
54	〃	〃 三原	三原区			650	401	401	
55	瀬天 仁屋	〃 天仁屋	天仁屋区			530	202	202	
56	天仁屋	〃 底仁屋	底仁屋区			170	105	105	
57	名護	〃 中山	中山区			257	195	195	
58	〃	〃 旭川	旭川区			230	356	356	
59	〃	〃 勝山	勝山区			165	146	146	
計		15 地区				8,174	6,212	6,157	
60	残波岬	恩納村 宇加地	宇加地区			上水に含む	298	291	
61	石 川	〃 塩屋	塩屋区			〃	339	329	
62	〃	〃 山田	山田区			〃	928	918	

現況普及率 b/a×100	計画1人1日当たり 最大給水量	日最大給水能力		計画日最大取水量	日最大取水実績量		使用井戸本数		水利権 水量	備考
		認可済	現在 公称		地下水	地表水	深井戸	浅井戸		
100 %	727 t/d	m <sup>3</sup> /d	m <sup>3</sup> /d 746	746 m <sup>3</sup> /d	m <sup>3</sup> /d 600	m <sup>3</sup> /d	本	1 本	m <sup>3</sup> /sec	
100	300		476	476	424					
100	300		857	857	775					
98.1	452		732	732	656					
100	300		338	338	306					
100	} 諸志を含む		422	422	370					
100			180	180	90					
99.5	465		3,751	3,751	3,221					
92.2	200		230	230	136					
98.9	357		102	102	60.1					
100	150		132	132		5.6				
100	200		120	120		6.1				
96.5	226		584	584	196.1	11.7				
100	150		123	99		72				
100	183		60	51		51				
94.3	120		90	79		79				
100	120		190	137		159				
100	120		99	66		89				
100	120		70	41		58				
96.7	160		300	180		250				
100	300		500	350		0				
100	180		43	33		35				
100	184		130	120		107				
100	181		70	96		54				
100	218		37	37		24				
100	179		70	46		43				
100	195		45	45		28				
100	212		52	35		43				
99.1	170		1,879	1,388		1,116				
97.6	上水を含む		73	上水を含む		58				
97.0	*		82	*		66				
98.9	*		230	*		184				

\*湧水は地下水に含める

対照番号	2.5万分1 地形図名	所在地	事業主 体者名	計画目標年次	計 画		給水区域内 現在人口 (a)	現在給水 面 積	現在給水 人口 (b)
					給水区域 面 積	給水人口			
63	石 川	恩納村 仲 泊	仲 泊区			上水に含む <sup>人</sup>	1,043 <sup>人</sup>		1,034 <sup>人</sup>
64	〃	〃 葛 着	葛 着区			〃	370		305
65	〃	〃 谷 茶	谷 茶区			〃	432		325
66	〃	〃 南恩納	南恩納区			〃	702		702
67	〃	〃 恩 納	恩 納区			〃	1,033		989
68	〃	〃 大 田	大 田区			〃	301		301
69	石 川 名護南部	〃 瀬良垣	瀬良垣区			〃	396		395
70	名護南部	〃 安高祖	安高祖区			〃	413		402
71	〃	〃 熱 田	熱 田区			〃	191		184
72	金 武	〃 喜瀬武原	喜瀬武原区			〃	385		384
73	名護南部	〃 名嘉真	名嘉真区			〃	529		511
74	〃	〃 伊武部	伊武部区			〃	126		126
計		15 地区					7,486		7,196
75	金 武	宜野座村松 田	松 田区			1,178	1,077		1,077
76	〃	〃 宜野座	宜野座区			1,071	1,016		1,016
77	〃	〃 惣 慶	惣 慶区			2,251	2,276		2,276
計		3 地区				4,500	4,369		4,369
78	金 武	金武町 金 武	金 武区			5,000	4,990		4,990
79	〃	〃 並 里	並 里区			5,000	2,459		2,459
80	〃	〃 中 川	中 川区			700	625		625
81	〃	〃 伊 芸	伊 芸区			900	635		635
82	石 川	〃 星 嘉	星 嘉区			1,500	1,310		1,310
計		5 地区				13,100	10,019		10,019

現況普及率 b/a×100	計画1人1日当たり 最大給水量	日最大給水能力		計画日最大取水量	日最大取水実績量		使用井戸本数		水利権 水量	備考
		認可済	現在 公称		地下水	地表水	深井戸	浅井戸		
%	t/d	m <sup>3</sup> /d	m <sup>3</sup> /d	m <sup>3</sup> /d	m <sup>3</sup> /d	m <sup>3</sup> /d	本	本	m <sup>3</sup> /sec	
99.1	上水を含む		259	上水を含む		210				
82.4	〃		76	〃		61				
75.2	〃		81	〃		65				
100	〃		176	〃		140				
95.7	〃		247	〃		197				
100	〃		75	〃		60				
99.7	〃		99	〃		79				
97.3	〃		101	〃		80				
96.3	〃		46	〃		36				
99.7	〃		96	〃		76				
96.6	〃		128	〃		102				
100	〃		32	〃		25				
96.1	〃		1,801	〃		1,440				
100	415		397	490		354				
100	476		360	510		327				
100	444		1,095	1,000		915				
100	444		1,852	2,000		1,596				
100	600		2,500	3,000	2,178		5			
100	520		1,200	2,600	1,160		3			
100	451		300	316		273				
100	416		458	375		37				
100	410		600	615		470				
100	527		5,058	6,906	3,338	780				

Ⅶ-3 専用水道地区一覧表

対照番号	2.5万分1 地形図名	所在地	事業主 体者名	計画目標年次	計 画		給水区域内 現在人口 (a)	現在給水 面 積	現在給水 人口(b)
					給水区域 面 積	給水人口			
1	石 川	恩納村自衛隊 恩納分屯地	紅雲白衛隊 恩納 分屯地			124 人	99 人		99 人

現況普及率 b/a×100	計画1人1日当たり 最大給水量 t/d	日最大給水能力		計画日最大取水量 m <sup>3</sup> /d	日最大取水実績量		使用井戸本数		水利権 水量 m <sup>3</sup> /sec	備考
		認可済 m <sup>3</sup> /d	現在 公称 m <sup>3</sup> /d		地下水 m <sup>3</sup> /d	地表水 m <sup>3</sup> /d	深井戸 本	浅井戸 本		
100 %	403			50						



## VIII 工業用水使用状況資料

### Ⅷ-1 産業中分類別水源別用水量

産 業 中 分 類		報告のあつ た事業所数	水 源 別 用 水 量 (㎡/日)						合 計
			工業用水	上 水 道	地 下 水 (汚濁水含む)	井 戸 水	そ の 他	回 収 水	
12	食料品製造業	48	1,229	3,099	52,234	16,658	1,654	18,305	93,179
13	飲料・飼料・たばこ製造業	8	0	1,715	785	835	0	500	3,835
14	繊維工業	2	X	X	X	X	X	X	X
15	衣服・その他の繊維製品製造業	7	0	24	0	0	0	0	24
16	木材・木製品製造業(家具を除く)	3	0	172	0	60	12	0	244
17	家具・整備品製造業	2	X	X	X	X	X	X	X
18	パルプ・紙加工品製造業	6	0	81	2,000	2,226	0	1,865	6,172
19	出版・印刷関連作業	15	0	215	0	0	0	0	215
20	化学工業	6	400	64	0	70	0	300	834
21	石油製品・石炭製品製造業	4	5,875	257	0	0	0	224,100	230,232
22	プラスチック製品製造業	3	0	21	0	0	0	0	21
23	ゴム製品製造業		0	0	0	0	0	0	0
24	なめ革・同製品・毛皮製造業		0	0	0	0	0	0	0
25	窯業・土石製品製造業	26	301	1,023	381	3,395	382	7,312	12,794
26	木材・木製品製品製造業(家具を除く)	4	0	372	0	1,608	0	16,850	18,830
27	非鉄金属製品製造業	1	X	X	X	X	X	X	X
28	金属製品製造業	13	0	147	0	6	0	13	166
29	一般機械器具製造業		0	0	0	0	0	0	0
30	電気機械器具製造業	2	X	X	X	X	X	X	X
31	輸送用機械器具製造業	2	X	X	X	X	X	X	X
32	精密機械器具製造業		0	0	0	0	0	0	0
34	その他の製造業	4	0	17	0	0	0	0	17
12-1	パインアップル缶詰製造業	1	X	X	X	X	X	X	X
12-2	砂糖製造業	15	1,049	742	50,994	14,528	1,607	18,192	87,112
合 計		156	7,975	7,270	55,400	24,928	2,048	269,245	366,866

(Xは秘匿数字) 沖縄県の工業 昭和61年

Ⅷ-2 市町村別業所数・従業者数

	従業者10人以上		従業者0人以上		合 計	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
今 掃 仁 村	1	X	1	X	2	X
本 部 町	7	135	—	—	7	135
名 護 市	36	1,251	13	853	49	2,104
恩 納 村	2	X	—	—	2	X
宜 野 座 村	1	X	—	—	1	X
金 武 町	3	64	—	—	3	64
計	50	1,392	14	853	64	2,303

沖縄県の工業 昭和61年

規模30人以上工業用水量

	事業所数	従業者数	用 水 量 (m <sup>3</sup> /日)	
			淡 水	海 水
今 掃 仁 村	1	X	—	—
本 部 町	—	—	—	—
名 護 市	13	853	15,704	60,480
恩 納 村	—	—	—	—
宜 野 座 村	—	—	—	—
金 武 町	—	—	—	—
計	14	853		

沖縄県の工業 昭和61年

Ⅷ-3 工業用水使用状況調査一覧表

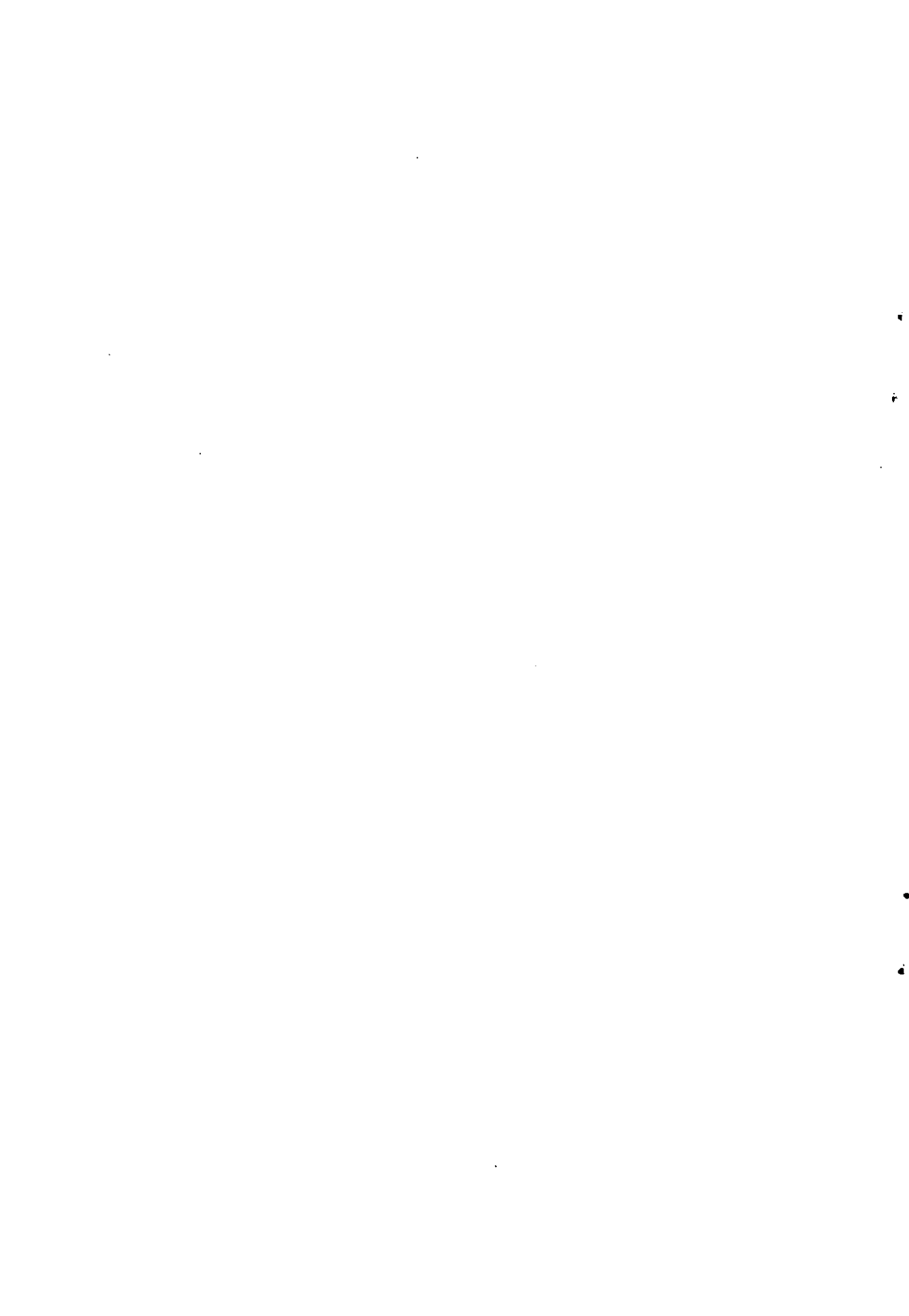
市 群 名	主 要 業 種 (中 分 類)	主 要 事 業 所 名 と 事 業 所 数	1 日 当 り 淡 水	
			工 業 用 水 道	地 表 水 (伏流水を含む)
今 帰 仁 村	砂 糖 製 造 業	北部製糖今帰仁工場		2,400
＊	窯業、土石製品製造業	沖縄ビューム管工業 今帰仁、砂採取場		
＊	＊	真喜志ブロック		
＊	飲 料、飼 料 製 造 業	今 帰 仁 酒 造 所		
合 計				2,400
本 部 町	窯業、土石製品製造業	南興物探鉱部		
＊	＊	本 部 砕 石		
＊	＊	親平名ブロック工場		
＊	飲 料、飼 料 製 造 業	山 川 酒 造 所		
合 計				
名 護 市	飲 料、飼 料 製 造 業	オリオンビール㈱	原 水 172,017	2,000
＊	窯業、土石製品製造業	㈱琉球セメント		800
＊	砂 糖 製 造 業	北部製糖羽地工場		1,440
＊	飲 料、飼 料 製 造 業	津 嘉 山 酒 造 所		
＊	＊	ヘリオス酒造所		
＊	＊	御 龍 泉 酒 造		
＊	食 料 品 製 造 業	太平製パン工場		
＊	＊	沖縄ハム総合食品㈱		
＊	＊	中央食品加工㈱		
＊	＊	真喜志製パン所		
＊	＊	上 間 カマボコ 店		
＊	＊	岸 本 カマボコ 店		
＊	＊	宮 里 カマボコ 店		
＊	窯業、土石製品製造業	協栄二次製品工業		
＊	＊	協 和 工 業		
＊	＊	名 護 生 コ ン		
＊	＊	北 部 生 コ ン		
＊	＊	北 部 生 コ ン 工 業		
＊	＊	儀 保 砕 石		
＊	＊	岸 本 鉱 一		
＊	＊	那覇通商㈱砕石事業部		

(平均・最大) 実績水量 (m <sup>3</sup> /d)				地下水の使用井戸本数 (本)		備 考
地下水	上水道	その他 (回収水を含む)	合 計	浅井戸	深井戸	
800			3,200 <sup>⑤</sup>	4本		
	10		10 <sup>②</sup>	—		
	5		5 <sup>②</sup>			
	(15)		(15) <sup>④</sup>			
800	30		3,230	4本		
	15		15 <sup>⑤</sup>			
	12		12 <sup>②</sup>			
	(8)		(8) <sup>④</sup>			
	17		17 <sup>⑤</sup>			
	52		25			
			174,017 <sup>①⑤</sup>			
	500		1,300			
			1,440 <sup>⑤</sup>			
	12		12 <sup>⑤</sup>			
	(10)		(10) <sup>④</sup>			
	15		15 <sup>⑤</sup>			
	(5)		(5) <sup>④</sup>			
3	12		15 <sup>②</sup>			
5	(7)		(13) <sup>②</sup>			
	7.3		7.3 <sup>②</sup>			
	4.2		4.2 <sup>③</sup>			
	3.2		3.2 <sup>③</sup>			
	3.5		3.5 <sup>③</sup>			
	40		40 <sup>⑤</sup>			
	(35)		(35) <sup>④</sup>			
	45		45			
	34		34 <sup>②</sup>			
	30		30 <sup>⑤</sup>			
	(25)		(25) <sup>④</sup>			
	(15)		(15) <sup>④</sup>			
	20		(20) <sup>④</sup>			

① 企業局工業用水資 (S59) ② 工業用水資源開発基礎調査 (S53) ③ 水産加工業者・流通業者実態調査 (S55)  
 ④ 業種の水使用料に従業者数で算出したもの (推定使用量) ⑤ ヒヤリング

市 群 名	主 要 業 種 (中 分 類)	主 要 事 業 所 名 と 事 業 所 数	1 日 当 り 淡 水	
			工 業 用 水 道	地 表 水 (伏流水を含む)
名 護 市	窯業、土石製品製造業	名護コンクリート工業		15
〃	〃	海洋コンクリート工業		10
〃	〃	辺野古採石場		15
〃	〃	金城セメント瓦工場		
〃	〃	丸ヒセメント瓦工場		
〃	〃	比嘉セメント瓦工場		
〃	金属製品製造業	琉球製缶工場		
合 計				
恩 納 村	窯業、土石製品製造業	沖縄伝統工芸センター		
〃	〃	琉球協栄ガラス工房		
〃	飲 料、飼 料 業 たばこ 製 造 業	恩納酒造所		
〃	窯業、土石製品製造業	山田コーリー		
〃	〃	琉球鋳業		
〃	〃	古波蔵ブロック		
合 計				
宜 野 座 村	窯業、土石製品製造業	北陽生コン		
〃				
合 計				
金 武 町	窯業、土石製品製造業	牧港ヒューム管工業		
〃	〃	金武ブロック工場		
〃	飲 料、飼 料 業 たばこ 製 造 業	金武酒造所		
〃	〃	崎山酒造所		
合 計				

(平均・最大) 実績水量 (m <sup>3</sup> /d)				地下水の使用井戸本数 (本)		備 考
地下水	上水道	その他 (回収水を含む)	合計	浅井戸	深井戸	
	14		⑤ 29			
	15		25			
			⑤ 15			
	10		⑤ 10			
	7		⑤ 7			
	12		⑤ 12			
	(20)		④ (20)			
	( 5)		④ ( 5)			
	(10)		④ (10)			
4	10		⑤ 14			
5	5		⑤ 10			
	8		⑤ 8			
	( 7)		⑤ ( 7)			
	33		⑤ 33			
(10)	(10)		④ (20)			
	5		⑤ 5			
	(12)		④ (12)			
	(11)		④ (11)			



# Ⅹ ダム 資料

## Ⅹ-1 管理中および建設中のダム総括表

主要項目別 所 属 別	ダム数	有効貯水量 10 <sup>4</sup> m <sup>3</sup>	経 済 効 果 別 ダ ム 数								備 考	
			水調整 ダム	かんがい(ダム)	発 電(ダム)	上 水 道(ダム)	工業用水(ダム)					
			ヶ所 2	m <sup>3</sup> /日 97,000	ヶ所 1	KW	ヶ所 7	m <sup>3</sup> /日 214,100	ヶ所 5	m <sup>3</sup> /日 68,400		
沖 縄 県	沖縄開発庁	8	106,300	8							建設中の漢那ダム 羽地ダムを加える	
	沖縄県企業局	3	4,210					3	21,900		瑞慶山ダム再開発 を含める	
	沖縄県土木部							—				
	各 市 町 村											
	そ の 他											
	合 計											
今 回 調 査 地 域	沖縄開発庁	2	27,000	2	2	最 大 95,800	—	—	2	23,500	—	—
	沖縄県企業局	1	660						1	7,600		
	沖縄県土木部											
	名 護 市								1	326		
	恩 納 村	1	423		1	28 ha						
	宜 野 座 村	2	600		2	149.3ha			1	180		
	金 武 町	2	360		1	96 ha			1	326		
	その他(米軍)	1	不 明						1	2,696		名護市取水 米軍専用(基地内)
計	9			6			0	7	34,628	0		



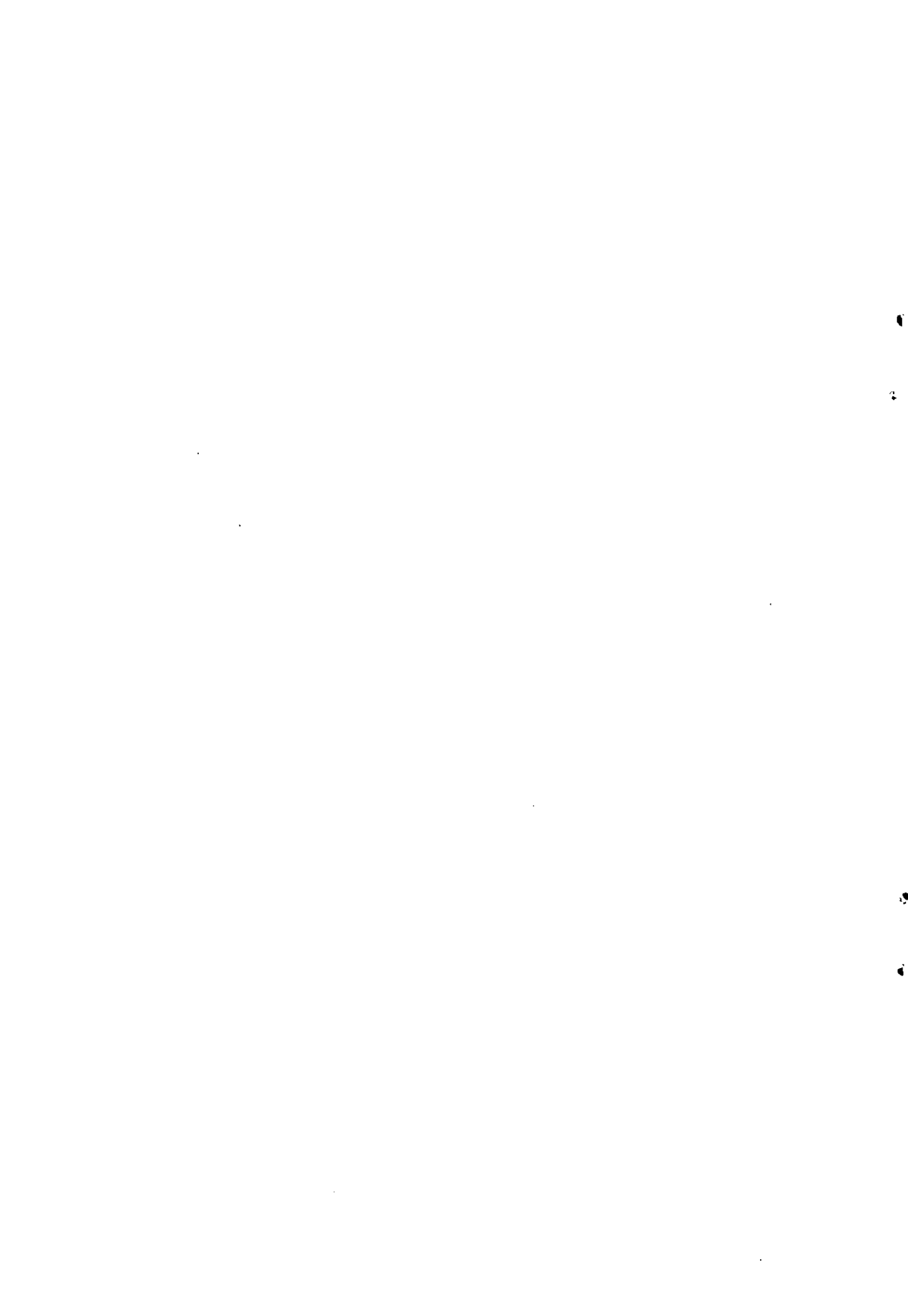
IX-2 ダム一覽表

対照 番号	2.5万分1 地形図名	ダム名	位 置	目 的	水系名	該 当 河川名	集水面積	ダ ム		竣工 年月	有 効 貯水量	計 画 堆砂量
								高  さ	型 式			
1	仲尾次	羽地ダム	名護市親川 田井良	F・N A・N	羽地川	羽地川	10.9 <sup>km<sup>2</sup></sup>	66.5 <sup>m</sup>	ロックフィル	S51	19,200 <sup>10<sup>4</sup>m<sup>3</sup></sup>	10 <sup>4</sup> m <sup>3</sup>
2	金 武	漢那ダム	宜野座村字 漢	F・N A・N	漢那川	漢那川	7.6	4.0	重カ式 コンクリート	S58 3・9	7,800	
1	金 武	金武ダム	金武町金武	W	億首川	億首川	14.6	12.8	アースダム	S34 ~36	66	
2	石 川	屋嘉ダム	金武町字屋嘉	W	前田川	前田川	0.46	25	自 動 式 コンクリート	S55-10 S57-11	60	23
3	瀬 嵩	宜野座 ダム	名 護 市 字 辺 野 古	W	辺 野 古 ミジャ川	辺 野 古 ミジャ川						
1	金 武	喜瀬武原 ダム	金 武 町 喜 瀬 武 原	A	億首川	億首川	0.8	14.6	アースダム	S59	300	
2	石 川	当袋ダム	恩納村字恩納	A	新 川	ブガチャ川					423	
3	金 武	海原ダム	宜野座村字 松田海原地区	A	慶武原川	慶武原川	1.05	32.5	重カ式コン クリートダム		267	
4	〃	鍋川ダム	宜野座村 松田鍋川	A	松田鍋川	松田鍋川	1.05	29.0	中心遮水 ゾ ー ン		333	
5	仲尾次	真喜屋 ダム	名護市真喜屋	A	真喜屋大川	真喜屋大川	4.15	33.6	ロックフィル			

F = 洪水調整 A = かんがい  
 W = 上水道 I = 工業用水

実績 堆砂量	経済効果					使用開始 年月	使用者名	事業主体者名 (管理者名)	備考
	洪水調節量 計画洪水量	かんがい (面積)	発電 (最大出力)	上水道 (日給水量)	工業用水道 (日給水量)				
10 <sup>mf</sup>	3,600mf/d	最大 83,800mf/日	— KW	12,000 <sup>mf/d</sup>	— <sup>mf/d</sup>	S 65年予定	北部ダム事務所	北部ダム事務所	多目的ダム 建設中
	1,150mf/d	最大 12,000mf/日	—	11,500		S 63年予定	*	*	*
				8,000			沖縄県企業局	沖縄県企業局	上水道用ダム
	313mf/d	—	—	326			金武町堰器区	金武町	簡易水道用 ダム
				2,696			米軍名護市		上水道用ダム 米軍専用 (基地内)
	55mf/s	96ha					金武町	金武町	農業かんがい ダム建設予定
		23ha							農業用かんがい ダム
	130mf/s	49.3ha		松田地区 180		S 60年	宜野座村	宜野座村	*
		かんがい用水量 0.073mf/日 100ha				S 64年予定			農業用かんがい ダム建設中

沖縄のダム事業概要より



# X 溜池資料

## X-1 溜池（市町村別）総括表

目的別	農 業 用 溜 池				その他（上水道・水調整等）用沼地				管 理 主 体				備 考
	100千㎡以上	千㎡以上	千㎡以下	有効貯水量	100千㎡以上	千㎡以上	千㎡以下	有効貯水量	県	市町村	土地改良区	個人	
今帰仁村													
本部町		1		73					1				
名護市	3	5		1ヶ所貯水量不明 672		1		不明	1	4	4		
恩納村		1		57						1			
宜野座村	1			636					1				
金武町	1			不明					1				
合 計	5	7		2ヶ所不明 10ヶ所計 143名		1		不明	4	5	4		

X-2 溜池一覽表

村照 (整理) 番号	名称	2.5万分1 地形図名	所在地	事業主体	工事期間	管理者	目的	受益面積
3	辺名地	名護	本部町字大嘉陽	沖縄県	S 34年 4月	土地改良区	かんがい	44 <sup>ha</sup>
4	安部	瀬嵩	名護市字安部	沖縄県	S 32年10月	安部 土地改良区	かんがい	19
5	幸喜	名護南部	◇ 字幸喜	◇	S 38年 6月	名護市	◇	18
6	城	名護	◇ 字城	◇	S 38年 6月	◇	◇	15
7	内原	◇	◇ 字我部祖河	◇	S 25年 5月	内原 土地改良区	◇	12
8	新波	◇	◇ 字屋部	◇	S 33年 9月	土地改良区	◇	30
9	真喜屋	仲尾次	◇ 字真喜屋	◇	S 36年 6月	沖縄県	◇	35
10	為又		◇ 字為又	◇	S 32年 6月	土地改良区	◇	32
11	恩納	石川	恩納村	沖縄県	S 57年	恩納村	かんがい	57
12	宜野座村	名護南部 金武	宜野座村字宜野座	沖縄県	S 33年 6月	土地改良区	かんがい	112
13	名護市	名護	名護市大北	◇		沖縄県 農業試験場	◇	
14	平川池		金武町字金武	◇	S 7年			
15	九年又ダム	名護	名護市字大北	名護市		名護市	上水道	

堰堤型式	有効貯水量	堤高	堤長	溜池の現況	備考
フィルダム (ロック材主体)	4 73	17 <sup>m</sup>	65 <sup>m</sup>		
フィルダム (ロック材主体)	85	10	60		
*	65	12	49		
*	90	12	40		
*	51	12	60		
*	138	11	60		
*	182	15	60		56年より全体実施計画の継続中
*	61	7	36		
フィルダム (ロック材主体)	168	14	60		
フィルダム (ロック材主体)	636	11	245		
キャンプハン	セン設置により	接続			

# XI 下水道資料

XI-1 下水道一覧表

対照番号	2.5万分1地形図名	水系名	該当河川名	排水地点 (放流)	事業者 または 事業名	計画目標年次	排水区域 面積	計画排水 人口	計画 排水量 m <sup>3</sup> /day
1	名護	幸地川	幸地川	名護湾	名護市		220	32,500	
2	*	濁名川	濁名川	本部湾	本部町		300	8,500	6,000





## Ⅺ 土地改良区資料

### Ⅺ-1 土地改良区一覽表

#### 宜野座村

2.5万分1 地形図名	名 称	主たる事務所の所在地	認可番号及び 年 月 日	新設又は組織変更 の 別	現 況
金 武	宜 野 座	宜野座村字宜野座314の1	S 29・10・28		かんばい・かんがいが主
＊	松 田	宜野座村字松田1	S 52・12・10		ほ場整備
＊	漢 那	宜野座村字漢那1840	S 48・2・24		畑かん・ほ場整備
＊	真 平 原	宜野座村字松田1	S 58・3・18		農地造成
＊	中 山	宜野座村字中山	S 55		＊

#### 金武町

金 武	並 里	金武町字金武714	S 30・1・18		農業用水路
＊	金 武	金武町金武1	S 38・5・23		かんばいは場整備
石 川	屋 森	金武町字屋森138	S 51・10・20		農地造成・区画整理
金 武	字 謝	金武町字金武714	S 56・10・28		＊

#### 本部町

名 護	本 部	本部町字大嘉陽554	S 30・11・19		かんばい事業(本部ダム)
名 宗 根	具 志 堅	本部町字具志堅158	S 51・9・10		農道・区画整理
名 護	大 浜	本部町字大浜867-1	S 56・2・25		＊
＊	塩 川	本部町崎本部55	S 58・12・9		＊
仲 宗 根	備 瀬 北	本部町字備瀬457	S 57・12・27		土地改良

事業概要		地区面積 ha	国県営事業の関係		備考
種目	内容		国営	県営	
かんばい事業	一級かんがい排水 土地改良	114		沖縄県	
畑 総	ほ 場 整 備	121		*	
かんがい事業	畑 か ん	23			団体土地改良区
農地開発事業	農 地 造 成	96		沖縄県	
*	*	26			団体土地改良区

かんばい事業	かんばい事業	52		琉球政府	
*	かんばいほ場整備	33		*	
農地開発	農地開発	272		沖縄県	
*	*	72		*	

かんばい事業	本部ダム	40		琉球政府	
土地改良総合	ほ 場 整 備	19			団体土地改良区
*	土 地 改 良	17			*
*	*	18.3			*
*	*	21			*

名 護

2.5万分1 地形図名	名 称	主たる事務所の所在地	認可番号及び 年 月 日	新設又は組織変更 の 別	事 業 名
	羽 地 ・ 東 部	名護市	S32・11・25		かんばい事業
名護・仲尾次	羽 地 西 部	名護市古我地292	S40・6・2		かんばい事業区画整理
仲 尾 次	屋 我 地 東 部	名護市字鏡名369	S48・2・21		農業・排水路区画整理
＊	済 井 出	名護市字済井出96	S48・3・26		
＊	呉 我	名護市呉我508	S52・8・29		農道・区画整理
瀬 嵩 汀 間		名護市字汀間29	S54・1・12		農道用排水路区画整理
名 護 長 筋 原		名護市屋部344	S54・3・28		農道・区画整理
仲 尾 次 源 河		名護市源河130	S54・10・24		ほ場整備、農道
＊	屋 外 地 西 部	名護市字鏡平名396	S55・1・14		農道・農地造成区画整理
名 護 南 長 浜 原		名護市字許田240	S55・11・4		土地改良
仲 尾 次 仲 川		名護市字仲尾次406	S55・12・22		ほ場整備・農道
天 仁 屋 天 仁 屋		名護市字天仁屋14	S55・12・26		農道・区画整理
名 護 南 喜 瀬		名護市字喜瀬96	S56・2・10		農道・区画整理
瀬 嵩 浦 川		名護市大浦144	S56・12・22		用・排水路区画整理
名 護 南 幸 喜		名護市字幸喜46	S56		農道・区画整理
仲 尾 次 羽 地 中 部		名護市字仲尾次	S57・4・17		ほ場整備
名 護 南 許 田		名護市字許田205-22	S58・1・18		土地改良
名 護 嵐 山		名護市字名護905	S58・1・18		土地改良
瀬 嵩 名 護 市 安 部		名護市字名護905	S58・2・2		土地改良
仲 尾 次 仲 尾		＊	S58・2・10		土地改良
瀬 嵩 辺 野 古		＊	S58・11・18		農地開発
仲 尾 次 真 喜 屋		＊	S59・2・7		道路・排水区画整理

事業概要		地区面積 ha	国県庁事業の関係		備 考
種 目	内 容		国 営	県 営	
かんばい事業	かんばい事業	76		琉球政府	
・	かんばいほ場整備	78		・	
ほ場整備	ほ場整備	95		沖縄県	
農業開発実施 調査事業		72			土地改良区
土地改良総合	ほ場整備	18			・
・	ほ場整備	17			・
農地開発	農地開発	23			・
農村基盤 総合整備	かんがい土地改良	32			名護市
畑地帯総合 土地改良	土地改良	147		沖縄県	
土地改良 総合	・	24			土地改良区
農村基盤整備	ほ場整備	31			・
畑地帯総合 土地改良	土地改良	79		沖縄県	
土地改良 総合	・	28			土地改良区
・	・	45			・
畑地帯総合 土地改良	・	77		沖縄県	
ほ場整備	ほ場整備	75		・	
土地改良総合	土地改良	19			土地改良区
畑地帯総合 土地改良	・	60		沖縄県	
土地改良 総合	・	16			団体土地改良区
畑地帯総合 土地改良		64		沖縄県	
団体実施開発	農地開発	26			団体土地改良区
農地開発	区画整理	8		沖縄県	

今帰仁村

2.5万分1 地形図名	名 称	主たる事務所の所在地	認可番号及び 年 月 日	新設又は組織変更 の 別	現 況
仲 宗 根	今 帰 仁 村 諸 志	今帰仁村字仲宗根219	S 40・6・2		かんばい・ほ場整備
＊	今 帰 仁 村 平 敷	今帰仁村字平敷	S 48・2・24		農道・畑かん
＊	今 帰 仁 村 仲 尾 次	今帰仁村仲尾次70	S 48・9・6		畑地かんがい、農道
＊	今 帰 仁 村 東 部	今帰仁村上運天335-2	S 54・7・28		農道、区画整理
大 宜 味	今 帰 仁 村 古 字 利	今帰仁村古字利42	S 48・2・24		かんばい
名 護	今 帰 仁 村 兵 我 山	今帰仁村仲宗根219	S 59・1・17		道路・排水区画整理

恩納村

石 川	恩 納	恩納村	S 30・3・15		ほ場整備かんばい
金 武	安 高 祖	恩納村字安高祖120	S 35・3・25		かんばい・ほ場整備
＊	名 嘉 真	恩納村字名嘉真	S 56・2・10		ほ場整備
石 川	大 日	恩納村字瀬良垣3517	S 57・1・7		土地改良
＊	野 原	恩納村字恩納2524	S 55・1・19		ほ場整備
金 武	廻 袋	恩納村字喜瀬武原	S 57・12・20		農地開発
石 川	仲 泊	恩納村字仲泊40	S 58・12・12		道路・排水区画整理

事業概要		地区面積 h a	国県営事業の関係		備考
種目	内容		国営	県営	
かんばい事業	かんばいほ場整備	41		琉球政府	
土地改良合 計	かんばい事業	71		沖縄県	
畑 総	畑地かんがい	22			土地改良区
土地改良総合	土地改良	43			・
かんばい事業	かんばい	10			・
団 ほ場整備	ほ場整備	8			・

かんばい事業	かんばい事業 ほ場整備	51		琉球政府	S54・9・26
・	・	32		・	
ほ場整備	ほ場整備	13			土地改良区
土地改良 総合	土地改良	18			・
ほ場整備	ほ場整備	25			・
農地開発	農地開発	30			・
団地土地総	土地改良	17			・

## Ⅷ 資料の出典

### I) 降水量資料

「沖繩北部水位雨量年表」〔昭和49年～昭和60年〕

沖繩開発庁沖繩総合事務局開発建設部北部ダム事務所

「河川開発調査水文観測報告書」〔昭和51年～昭和60年〕

沖繩開発庁沖繩総合事務局農林水産部

「水文観測業務報告書」〔昭和47年～昭和61年〕

沖繩県土木建設部河川課・(財)日本気象協会沖繩支部

「水量記録資料集」〔昭和47年～昭和59年〕

沖繩県企業局

「沖繩本島河川総合開発事業計画(図面)」

沖繩開発庁沖繩総合事務局開発建設部北部ダム事務所

### II) 水位・流量資料

「沖繩北部水位雨量年表」〔昭和49年～昭和60年〕

沖繩開発庁沖繩総合事務局開発建設部北部ダム事務所

「河川開発調査水文観測報告書」〔昭和51年～昭和60年〕

沖繩開発庁沖繩総合事務局農林水産部

「水文観測業務報告書」〔昭和47年～昭和61年〕

沖繩県土木建設部河川課・(財)日本気象協会沖繩支部

「水量記録資料集」〔昭和47年～昭和59年〕

沖繩県企業局

「沖繩本島河川総合開発事業計画(図面)」

沖繩開発庁沖繩総合事務局開発建設部北部ダム事務所

「沖繩水文特性調査報告書」〔昭和54年～昭和56年〕

沖繩開発庁沖繩総合事務局開発建設部河川課

### III) 地下水位資料

「沖繩本島地下水業務報告書」〔昭和50年～昭和60年〕

沖繩開発庁沖繩総合事務局開発建設部河川課

### IV) 水質資料

「沖繩県における公共用水域の水質測定結果」〔昭和54年～昭和60年〕 沖繩県環境保健部

「金武村簡易水道資料」〔区域図・配管図・水源位置図・給水量・取水量・水道用ダム資料〕

金武町水道課

## V) 取水口・排水口資料

「河川現況台帳」 沖縄県土木建設部河川課

「河川水利台帳」 沖縄県土木建設部河川課

「水利使用一覧表」 沖縄県土木建設部河川課

「恩納村河川台帳」 恩納村経済課

「沖縄本島北部河川水利現況調査報告書(東系列)」〔昭和46年〕

琉球政府・(株)中央建設コンサルタント

「沖縄本島北部河川水利現況調査報告書(西系列)」〔昭和47年〕

琉球政府・(株)中央建設コンサルタント

「沖縄本島新規水源施設取水増量計画」〔昭和53年〕

沖縄県企業局

「新規水源取水河川現況調査資料」〔昭和53年〕

沖縄県企業局

「水資源総合開発調査報告書」〔昭和48年〕

沖縄開発庁沖縄総合事務局

今帰仁村水利利用状況(ヒヤリング) 今帰仁村経済課・水道課

名護市水利利用状況(ヒヤリング) 名護市農林課・水道課

本部町水利利用状況(ヒヤリング) 本部町経済課・水道課

恩納村水利利用状況(ヒヤリング) 恩納村建設課・水道課

宜野座村水利利用状況(ヒヤリング) 宜野座村企画室・経済課・建設課

金武町水利利用状況(ヒヤリング) 金武町産業課・水道課・並里区・伊芸区・屋嘉区

## VI) 工業用水使用状況資料

「沖縄県の工業」(工業統計調査)〔昭和62年〕

「工業用水資源開発基礎調査報告書」〔昭和63年〕

沖縄県企業局

「水産加工業者・流通業者実態調査報告書」〔昭和55年〕

沖縄県農林水産部漁港課・沖縄県環境保健部公害対策課

「沖縄県環境白書」〔昭和54年～昭和60年〕

沖縄県環境保健部公害対策課

「羽地大川水質調査資料」〔昭和57年～昭和60年〕

沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部北部ダム事務所

「漢那福地川水質調査資料」〔昭和57年～昭和60年〕

沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部北部ダム事務所



Ⅶ) 上水道及び簡易水道

「水道概要」〔昭和59年～昭和61年〕

沖縄県環境保健部環境衛生課

「水量記録資料集」〔昭和59年〕

沖縄県企業局

「今帰仁村簡易水道資料」〔区域・配管図・給水量〕

今帰仁村水道課

「本部町上水道及び簡易水道資料」〔区域図・配管図・水源位置図水給水量・取水量〕

本部町水道課

「名護市簡易水道実態調査報告書」〔昭和53年〕

名護市環境保健課

「名護市簡易水道事業調査標」〔昭和60年〕

名護市環境保健課

「名護市上水道資料」〔区域図・配管図・水源位置図・給水量・取水量〕

名護市水道課

「恩納村上水道資料」〔区域図・配管図・給水量〕

恩納村水道課

「恩納村簡易水道資料」〔区域図・配管図・水源位置図・取水量〕

名嘉真区・熱田区・安富祖区・瀬良垣区・恩納区・南恩納区・谷茶区・塩屋区

「宜野座村簡易水道資料」〔区域図・配管図・水源位置図・給水量・取水量・ダム資料〕

宜野座村建設課

Ⅷ) 主要井戸資料

「昭和60年農業用地下水利用実態報告書」

沖縄開発庁沖縄総合事務局農林水産部耕地課・沖縄県農林水産部耕地課

「沖縄水質資源開発調査報告書」〔昭和48年〕

通産省工業技術院地質調査所

「試掘井処理状況調査個票」〔昭和60年〕

沖縄開発庁沖縄総合事務局土地改良課・沖縄県農林水産部耕地課

「名護市地下水試掘調査報告書」〔昭和57年〕

沖縄県企画調整部開発局水資源開発班

「名護市ボーリング関係資料」 名護市水道課

「金武町ボーリング関係資料」 金武町産業課

「本部町ボーリング関係資料」 本部町水道課

今帰仁村教育委員会・名護市教育委員会・本部町教育委員会・恩納村教育委員会・

宜野座村教育委員会・金武町教育委員会

IX) ダム資料

「沖縄のダム事業概要」

沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部河川課

羽地ダム（パンフ） 沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部北部ダム事務所

漢那ダム（パンフ） //

屋嘉ダム（パンフ） 金武町産業課

喜瀬武原ダム（パンフ） //

鴻原ダム・鍋川ダム関係資料 宜野座村建設課

「土木建築部概要」 沖縄県土木建設部

X) 溜池資料

「溜池一覧表」 沖縄県農林水産部農林建設課

「土地改良10年の歩み」 沖縄県農林水産部農林建設課・耕地課

XI) 下水道資料

「本部町下水道配管図及び関係資料」 本部町産業課

「名護市下水道配管図及び関係資料」 名護市下水道課

「土木建築部概要」 沖縄県土木建設部

XII) 土地改良区資料

「沖縄県の土地改良」 沖縄県農林水産部農林建設課・耕地課

「土地改良10年の歩み」 沖縄県農林水産部農林建設課・耕地課

「土地改良関係かんぱい事業の資料」 沖縄県農林水産部耕地課

## 序 文

わが県では、井戸を中心に集落が発達したこともあって、古来、水との関係が深く、その利用及び保全には、県民独特の英知が活かされてきておりました。水は、島人<sup>シマムネ</sup>にとって、まさに宝であり、信仰の対象であったのです。

しかし、一方で「島ちャび(離島苦)」という言葉がありますように、干ばつ、台風などの自然災害に、絶えず悩まされるとともに、飲み水はもちろんのこと生活用水の安定的確保に非常に苦しんでいたのであります。

近年の人口の増加や生活水準の向上等による水需要の増大は、従来の水利用を超え、それへの対応は、県民の課題となっております。そのため、わが県におきましては、河川の開発を中心に地下水の再利用など、水資源の総合的な開発保全を進めているところでありますが、限られた水資源を有効に利用するためには、水の利用の実態を把握しておくことが重要なこととあります。

ところで、水に関する資料は、各機関によってそれぞれの必要に応じて調査・保管されており、必ずしも系統的に整備統合されていないことから、資料そのものが有効に利・活用されているとはいえない状況にあります。

本調査は、国土調査法に基づく水調査の一環として、沖縄県における2級水系の流域及びその周辺地域の概況、利水並びに利水施設の状況、水文、水質等に係る諸資料を収集・整理し、「沖縄県主要水系調査書」及び「利水現況図」としてまとめるものであります。

本書は、沖縄本島中北部地域の源河川、羽地大川をはじめとする13水系の2級水系について調査した結果を基に作成されたもので、この成果が広く利用され、水資源の開発・保全及び利用の高度化に大いに貢献できることを期待するものであります。

終わりに、本調査の実施にあたって、御協力を頂きました沖縄総合事務局をはじめ、国、県等の関係機関及び市町村等の関係各位に対し、深く感謝の意を表するものであります。

昭和63年3月

沖縄県企画開発部長

金城 祐 俊

# 総目次

## 調書編

調査書の概要 .....	1
(1) 収録資料 .....	2
(2) 利水現況図の概要 .....	5
調査流域の概要 .....	9

## 資料編

資料表 .....	1
-----------	---